はじめに

このたびは、「SoftBank 820SC」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

●SoftBank 820SCをご利用の前に、この「取扱説明書」と「らくらくスタートブック」をご覧になり、正しくお取り扱いください。

●本書をご覧いただいたあとは、大切に保管してください。

●本書を万一紛失または損傷したときは、お問い合わせ先（➔P.14-31）までご連絡ください。

●ご契約の内容により、ご利用になれるサービスが限定されます。

SoftBank 820SCは、3G方式とGSM方式に対応しております。

ご注意

・本書の内容の一部でも無断転載することは禁止されております。

・本書の内容は将来、予告なしに変更することがございます。

・本書の内容に関して、一部日本では提供していない機能、サービスの説明が記載されている場合があります。
Not all functions and services described in this user guide are available in Japan.

・本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、お問い合わせ先（➔P.14-31）までご連絡ください。

・乱丁、落丁はお取り替えいたします。

- 「SoftBank 820SC」には、この「取扱説明書」と「らくらくスタートブック」が付属されています。
  - 基本的な使いかたや利用方法を知りたい場合は「らくらくスタートブック」をお読みください。
  - 各機能の詳しい使いかたを知りたい場合はこの「取扱説明書」をお読みください。

本書の構成

説明	章	
820SCをお使いになるための準備や基礎的な知識、基本的な共通操作をまとめて説明しています。必ずお読みください。	準備／基礎知識	1
	共通機能／操作	2
820SCの代表的な機能を、章単位でまとめて説明しています。 お使いになりたい機能の章をお読みください。	電話	3
	メール	4
	インターネット	5
	テレビ	6
	カメラ／静止画編集	7
	メディアプレイヤー／S! アプリ	8
820SCで利用できるその他の便利なツール（道具）やサービスについて説明しています。	ツール	9
	コミュニケーションサービス	10
820SCのセキュリティを強化する機能を説明しています。	セキュリティ	11
データ通信やパソコン接続、データのバックアップについて説明しています。	通信／バックアップ	12
820SCを使いこなすためのカスタマイズ方法について説明しています。	カスタマイズ	13
820SCについての資料や各種情報、索引をまとめています。	資料／付録	14

SoftBank 820SC
らくらくスタートブック
すぐに
ケータイを
使いたい方
操作方法編

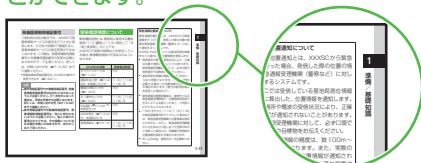
最初に「らくらくスタートブック」をお読みください。

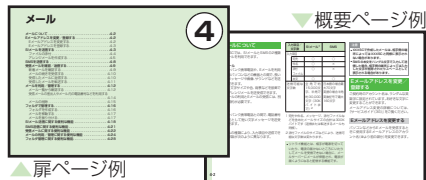
機能の探しかた

パラパラとめくって探す

820SC の新しい魅力を発見しましょう。

各誌面の内容は説明のためのサンプルです。実際の誌面とは異なります。

ページの端にはサイドインデックスが付いています。目的の章をすばやく確認することができます。

●各ページでは上の例のように、縦組み文字で章の番号とタイトルが書かれています。本書を閉じていても、章の区切りがわかりやすくなっています。

章の始まりには、扉ページが付いています。区切りの目安にしましょう。

●章の冒頭などには、その章で説明する機能やサービスの内容をまとめた概要ページがあります。ここで全体像をつかんでください（一部ない章もあります）。

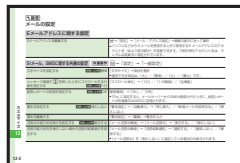
説明ページのレイアウトはいくつかのパターンに分かれています。それぞれのパターンの意味を覚えておけば、必要な箇所だけを読むことができます。

基本操作パターン

機能やサービスの基本操作を説明しているページです。章や項目の前半にあります。

応用操作パターン

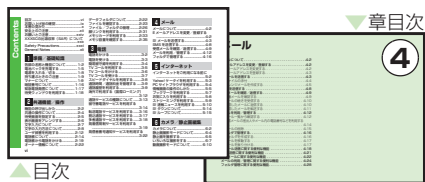
機能やサービスの応用的な操作を説明しているページです。章の後半にあります。

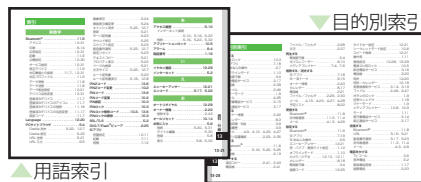
設定操作パターン

820SC の設定変更を説明しているページです。カスタマイズの章にあります。

目的の機能や用語を探す

いろいろな方法で、検索が行えます。

各誌面の内容は説明のためのサンプルです。実際の誌面とは異なります。

全体像が一覧できる「目次」と、章内の内容がわかる「章目次」を活用しましょう。

●「目次」には、この取扱説明書の章構成と各章内の見出しが記載されています。また、各章の扉ページに入っている「章目次」は、章内の内容が詳しく記載されています。目的に応じて使い分けてください。

用語と目的機能で引ける３つの「索引」で目的の機能や用語をすばやく見つけましょう。

●820SC内の用語があいうえお順に並んでいる「用語索引」と、「登録する」「消去する」などの目的別にまとめた「目的別索引」、応用操作のある機能をまとめた「便利な機能索引」を「資料／付録」の章に掲載しています。ご活用ください。

表示やアイコンの意味を探す

気になる項目やアイコンを調べましょう。

各誌面の内容は説明のためのサンプルです。実際の誌面とは異なります。

メニューなどの項目の意味や操作を調べるときは、「機能一覧」がおすすめです。

●「資料／付録」の章の「機能一覧」は、820SCのメニュー構造に沿って、各項目の掲載ページを記載しています。操作中に気になる項目があれば、ここからすぐにジャンプできます。

画面に表示されるアイコンの意味を知りたいときは、「ディスプレイ」をご覧ください。

●「準備／基礎知識」の章にある「ディスプレイ」では、ディスプレイに表示されるアイコンの意味を掲載しています。知らないアイコンが表示されたときは、すぐに確認しましょう。

本書の記載パターン

便利 この機能のいろいろな応用操作をしたいとき

各誌面の内容は説明のためのサンプルです。実際の誌面とは異なります。

設定操作パターン

各機能をカスタマイズする設定操作を表形式で説明しています。

S!メールに関する設定　共通操作 ✉→「設定」→「S!メール設定」

設定	操作
送信メールの優先度を設定する　お買い上げ時 標準	「送信オプション」→「優先度」→「高」／
送信メールのメールサーバーへの保存期間を設定する　お買い上げ時 最大	「送信オプション」→「有効期限」→項目を選択 ●選択できる項目は、「最大」／「1時間」／「3時間」／「6時間」／「1日」／「3日」／「1週間」です。 ●設定した保存期間が経過すると、メールサーバーからS!メールが自動的に削除されます。
送信メールをメールサーバーから相手に配信する時間を設定する　お買い上げ時 指定なし	「送信オプション」→「配信時間指定」→項目を選択 ●選択できる項目は、「指定なし」／「1時間」／「3時間」／「6時間」／「12時間」／「1日」／「3日」／「1週間」です。 ●設定した期間が経過すると、メールサーバーからS!メールが送信されます。
受信するS!メールを設定する　お買い上げ時 自動受信	「受信設定」→「国内での自動受信」→「自動受信」／「電話番号のみ自動」／「手動取得」 ●設定内容は次のとおりです。 「自動受信」：自動的に受信する 「電話番号のみ自動」：電話番号を使って送られたS!メールのみ受信する 「手動取得」：受信通知のみを受信する
ローミング中に受信するS!メールを設定する　お買い上げ時 手動取得	「受信設定」→「ローミング自動受信」→「自動受信」／「手動取得」 ●設定内容は次のとおりです。 「自動受信」：自動的に受信する 「手動取得」：受信通知のみを受信する
返信先を設定する　お買い上げ時 Off	「返信先指定」→「On」／「Off」 ●XXXSCからメールを送り、受信した相手が返信する際の宛先を設定できます。設定内容は次のとおりです。 「On」：「「返信先」アドレス」で設定したアドレスに返信されます。 「Off」：XXXSCのアドレスに返信されます。

カスタマイズ 12

12-4

共通操作

表内の各操作に共通する操作を示しています。この共通操作を行ったあと、続けて表内の操作を行ってください。

応用操作パターン

各機能の応用操作を統一フォーマットで簡単に説明しています。
使いこなしチェックで記載されている機能のほかにも、さまざまな応用操作が記載されています。

便利

S!メール送信に関する便利な機能

「電話帳検索」以外の方法で宛先を入力したい
S!メール作成画面で宛先欄を選択
■ **履歴を利用して宛先を入力するとき**
表示されている履歴を選択
■ **電話番号を宛先として直接入力するとき**
「番号入力」→電話番号を入力
■ **Eメールアドレスを宛先として直接入力するとき**
「直接入力」→Eメールアドレスを入力
■ **電話帳のグループから宛先を選択するとき**
「グループ検索」→グループを選択→宛先の選択画面が表示された場合は入力する宛先を選択

宛先を追加したい
宛先が入力済みのS!メール作成画面で宛先欄を選択→「宛先追加」
■ **履歴を利用して宛先を入力するとき**
表示されている履歴を選択→✉（完了）
■ **電話帳から宛先を選択するとき**
「電話帳検索」→電話帳を検索し、選択（➲P.2-19）→電話番号／Eメールアドレスを選択→✉（完了）
■ **電話番号を宛先として直接入力するとき**
「番号入力」→電話番号を入力→✉（完了）
■ **メールアドレスを宛先として直接入力するとき**
「直接入力」→Eメールアドレスを入力→✉（完了）
■ **電話帳のグループから宛先を選択するとき**
「グループ検索」→グループを選択→宛先の選択画面が表示された場合は入力する宛先を選択→✉（完了）
●複数の宛先が登録されている場合は、メール作成画面の宛先欄に👤と件数が表示されます。

宛先の種類をTO/CC/BCCに変更したい　[TO/CC/BCCに変更]
S!メール作成画面で宛先欄を選択→変更したい宛先を反転表示→Y!→「TOに変更」／「CCに変更」／「BCCに変更」

宛先を削除したい　[削除]
S!メール作成画面で宛先欄を選択
■ **1件削除するとき**
削除したい宛先を反転表示→Y!→「削除」→「1件」
■ **すべて削除するとき**
Y!→「削除」→「全件」→「はい」

添付したファイルを確認したい
S!メール作成画面で添付ファイル欄を選択→確認したいファイルを選択

添付したファイルを削除したい　[削除]
S!メール作成画面で添付ファイル欄を選択
■ **1件削除するとき**
削除したいファイルを反転表示→Y!→「削除」→「1件」
■ **すべて削除するとき**
Y!→「削除」→「全件」→「はい」

フィーリングメールを送信したい　[フィーリング設定]
S!メール作成画面でY!→「フィーリング設定」→「Happy／うれしい」／「OK/Good」／「悲しい／ごめんね」／「NG/Bad」／「重要／注目」→感情を表す絵文字を選択

フィーリング設定を解除したい　[フィーリング設定解除]
S!メール作成画面でY!→「フィーリング設定解除」

4 メール

4-18

操作中の画面で Y!（メニュー）を押して選択できる操作はここで説明しています。

Contents

Contents

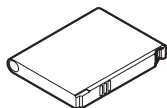
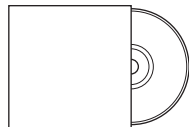
13 カスタマイズ

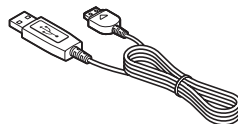
14 資料／付録

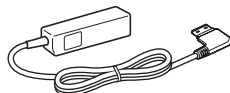
お買い上げ品の確認

SoftBank 820SC本体のほかに、次の付属品がそろっていることをお確かめください。付属品は、オプション品としても取り扱いしております。

付属品、オプション品につきましては、お問い合わせ先（➔P.14-31）までご連絡ください。

電池パック［SCBAK1］

ユーティリティソフトウェア[1]（CD-ROM）

共通充電器変換アダプタ（SC-A）［SCDAJ2］[2]

USBケーブル［SCDAJ1］

ステレオイヤホン［SCLAD1］

マイク付きステレオイヤホン変換ケーブル［SCLAJ2］

ワンセグスタンド

1 ユーティリティソフトウェアは、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。なお、最新版のユーティリティソフトウェアはソフトバンクホームページ（http://www.softbank.jp）からダウンロードしてご利用いただけます。

2 急速充電器に接続して使用します（➔P.1-7）。お買い上げ時には、2個同梱されています。

※ 820SCの充電には、ソフトバンクが指定した充電器（オプション品）を使用してください。

- 820SCではmicroSD™メモリカードに対応しています。ご利用にあたっては、市販のmicroSD™メモリカードを購入してください。
- 本書では、microSD™メモリカードを「メモリカード」と記載しています。

本書の見かた

本書では、「SoftBank 820SC」を「820SC」と表記しています。あらかじめご了承ください。

また、主にお買い上げ時の状態を基準に説明しているため、設定を変更された場合、820SCの表示や動作が本書の記載と異なる場合があります。

ディスプレイの表記と820SCのイラストについて

記載している画面は、表示されている内容や番号などが実際の画面と異なる場合があります。操作の目安としてご利用ください。

本書のイラストはイメージイラストであり、実際の商品とは形状が異なる場合があります。

確認／警告メッセージについて

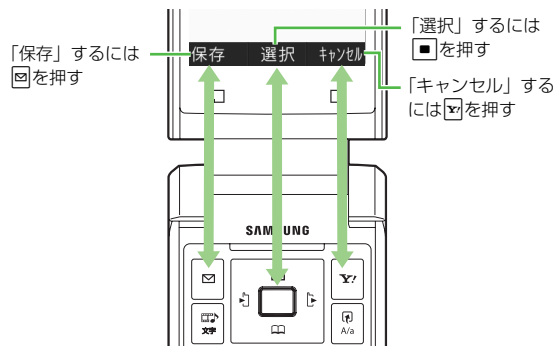
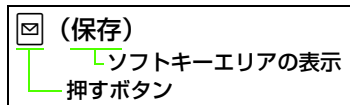
操作中、本書に記載していないメッセージが表示されることがあります。確認や警告のメッセージが表示されたときは、内容をよくご確認ください。

ボタンの使いかたと表記について

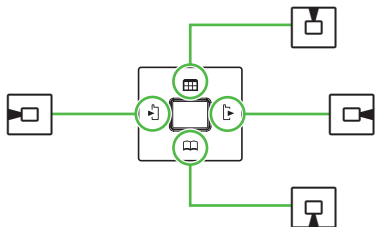
本書では、820SCのボタンをすべて記号で表記しています。「各部の名称と機能」（➔P.1-2）を参照してください。

ソフトキーとマルチファンクションボタンの操作については、次のように表記しています。

ソフトキー

ディスプレイの最下段（ソフトキーエリア）には「選択」「保存」のような、操作や設定の選択肢が表示されます。これらの内容を実行するには、その表示位置に対応するソフトキーを押します。

ソフトキー操作の表記

マルチファンクションボタン

マルチファンクションボタンは、上下左右の4か所を押せるボタンです。目的の項目を選択するときや文字入力画面でカーソルを移動するとき、画面をスクロールするときなどに使います。

マルチファンクションボタン操作の表記

または を押すとき：

または を押すとき：

、 、 、 を押すとき：

「反転表示」について

メニュー項目や設定項目の選択画面でカーソル（「　」や画像ファイルを囲む枠など）を目的の項目に移動させることを、この取扱説明書では「反転表示する」と表記します。

メニュー操作の表記について

メインメニュー操作やメニュー操作は、簡略化した表記方法で説明しています。

メインメニュー操作

メインメニュー操作の詳細は、「メインメニューから機能を呼び出す」（➲P.2-2）を参照してください。

メニュー操作

安全上のご注意

- ご使用の前に、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
  また、お読みになったあとは必要なときにご覧になれるよう、大切に保管してください。
- この取扱説明書に示した説明事項は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 本製品の故障、誤作動または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

ご使用の前に

●絵表示について

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな絵表示をしています。
その表示を無視し、誤った取り扱いをすることによって生じる内容を次のように区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 危険	誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負うおそれが高い内容を示しています。
⚠ 警告	誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
⚠ 注意	誤った取り扱いをしたときに、けがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

●絵表示の意味

記号は
してはいけないこと（禁止）を表しています。

記号は
しなければならないこと（指示）を表しています。

記号は
気をつける必要があることを表しています。

危険

820SC、電池パック、充電用機器の取り扱いについて（共通）

820SCに使用する充電器および電池パックは、ソフトバンクが指定したものを使用してください（➔P.ix）。

指定品以外のものを使用すると、電池パックを漏液、発熱、破裂させる原因となります。また、充電器が発熱したり、故障、感電、火災の原因となります。

充電端子どうしを金属などで接触させないでください。

充電端子を針金などの金属類（金属製のストラップなど）で接触させないでください。また、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。電池パックの液が漏れたり、発熱、破裂、発火、感電により、やけどやけがの原因となります。専用ケースなどに入れて持ち運んでください。

電池パックの取り扱いについて

電池パックが漏液して液が目に入ったときは、こすらずに、すぐにきれいな水で十分に洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。

目に障害を与えるおそれがあります。

電池パックを充電するときや、使用する場合は、必ず次のことを守ってください。
正しく使用しないと、電池パックの液が漏れたり、発熱、破裂、発火により、やけどやけがの原因となります。

- 加熱したり、火の中へは投げ込まないでください。
- 分解、改造、破壊しないでください。
- 釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、ハンダ付けをしないでください。
- 外傷、変形の著しい電池パックは使用しないでください。
- 充電するときは、専用の充電器以外は使用しないでください（➔P.ix）。
- 820SCに電池パックがうまく装着できないときは、無理に装着しないでください。
- 火のそばや、ストーブのそば、炎天下など、高温の場所での充電、使用、放置はしないでください。
- 付属品の電池パックは、820SC専用です。それ以外の機器には使用しないでください。

警告

820SC、電池パック、充電用機器の取り扱いについて（共通）

内部に物や水などを入れないでください。

820SCや充電器の開口部から内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災、感電の原因となります。特にお子様のいる家庭ではご注意ください。

風呂場や雨に当たるところなどの、湿気の多いところでは使用しないでください。

火災、感電の原因となります。

水などの入った容器を近くに置かないでください。

820SCや充電器の近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電の原因となります。

引火、爆発のおそれがある場所では使用しないでください。

プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。

電子レンジや高圧容器に、電池パックや 820SC、充電器を入れないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、820SCや充電器の発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

分解や改造はしないでください。

- 820SCや充電器の外装ケースは、開けないでください。感電やけがの原因となります。
  内部の点検、調整、修理は、ソフトバンクの故障受付窓口にご依頼ください。
- 820SCや充電器を改造しないでください。火災、感電の原因となります。

モバイルライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。

視力障害の原因となります。また、目がくらんだり、驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。当製品に使用のモバイルライト光源LEDは、指定されていない調整部の操作を意図的に行った場合、眼の安全性を超える光量を放出する可能性がありますので分解しないでください。修理は、ソフトバンクの故障受付窓口に依頼してください。

内部に水や異物などが入ったときは

820SCの電源を切って電池パックを取り外し、急速充電器はプラグを AC コンセントから、シガーライター充電器はプラグをシガーライターソケットからそれぞれ抜いてソフトバンクの故障受付窓口にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。

衝撃を与えないでください。

820SCや充電器を持ち運ぶときは、落としたり、衝撃を与えないようにしてください。けがや故障の原因となります。

万一、820SC や充電器を落とすなどして外装ケースを破損した場合は、電池パックを外してソフトバンクの故障受付窓口にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。

異常が起きたときは

万一、異常な音がしたり、煙が出たり、へんなにおいがするなどの異常な状態に気がついたときは、820SCの電源を切って電池パックを取り外し、急速充電器はプラグを ACコンセントから、シガーライター充電器はプラグをシガーライターソケットからそれぞれ抜いてソフトバンクの故障受付窓口に修理を依頼してください。

異常な状態のまま使用すると、火災･感電の原因となります。

ガソリンスタンドなど、引火、爆発のおそれがある場所では、使用しないでください。

引火ガスが発生する場所では、必ず事前に電源をお切りください。ガスに引火するおそれがあり、火災の原因となります。ガソリンスタンドでの給油中など、引火ガスが発生する場所ではソフトバンク携帯電話の電源も切り、充電しないでください。

820SCの取り扱いについて

事故防止のために

- 自動車や自転車などの乗物を運転するときは、820SC を絶対にご使用にならないでください。安全走行を損ない事故の原因となります。車などを安全なところに止めてからご使用ください。
  道路交通法により、運転中の携帯電話の使用は罰則の対象となります（2004年11月1日改正施行）。
- 自動車やバイク、自転車などの運転中は、ステレオイヤホンマイクを絶対に使わないでください。交通事故の原因となります。
- 歩行中は、周囲の音が聞こえなくなるほど、音量を上げすぎないでください。特に、踏切や横断歩道などでは、十分に気をつけてください。交通事故の原因となります。

ステレオイヤホンマイクやストラップを持って820SCを振り回したり、投げたりしないでください。
本人や他人に当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

航空機内では、820SCの電源を切ってください。
電波の影響で航空機の電子精密機器の故障の原因および安全に支障をきたすおそれがあります。

バイブレータや着信音の設定にご注意ください。
心臓の弱い方は、設定にご注意ください。

屋外で使用中に雷が鳴りだしたら、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。
落雷、感電の原因となります。

ぬれた手で820SCに触らないでください。
感電、故障の原因となります。

充電用機器の取り扱いについて

指定以外の電圧では使用しないでください。
指定された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災、感電の原因となります。

- **急速充電器：AC100V〜 240V**
  海外での充電に起因するトラブルについては、当社は一切責任を負いません。
- **シガーライター充電器：DC12/24V**

市販の「変圧器」は使用しないでください。
急速充電器を、海外旅行用として市販されている「変圧器」などに接続しますと、火災、感電、故障の原因となることがあります。

シガーライター充電器はプラスアース車には使用しないでください。
シガーライター充電器は、マイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。火災の原因となります。

充電器のプラグを、ぬれた手で抜き差ししないでください。
感電の原因となります。

充電器は、タコ足配線しないでください。
発熱により火災の原因となります。

充電器のコードを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、加工したりしないでください。また、重い物を載せたり、加熱したり、引っぱったりしないでください。
コードが破損し、火災、感電の原因となります。

接続コネクターの端子をショートさせないでください。
接続コネクターの端子を金属類でショートさせないでください。充電器が発熱したり、発火、感電の原因となります。

事故防止のために
シガーライター充電器は、運転に支障のない位置に取り付けてください。取り付けが不十分な場合、落ちたりして、けがや事故の原因となります。

急速充電器コードやシガーライター充電器コードが傷ついたときは（芯線の露出、断線など）
ソフトバンクの故障受付窓口に交換をご依頼ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。

雷が鳴りだしたときは
安全のため早めに急速充電器のプラグを AC コンセントから抜いておいてください。火災、感電、故障の原因となります。

充電器は、乳幼児の手の届かない所で使用、保管してください。
感電、けがの原因となります。

電池パックの取り扱いについて

充電の際に所定充電時間を超えても充電が完了しないときには、充電をやめてください。
発熱、破裂、発火の原因となります。

電池パックが漏液したり、異臭がするときにはただちに火気から遠ざけてください。
漏液した電解液に引火し、発火、破裂する原因となります。

電池パックの使用中や充電中または保管時に異臭を感じたり、発熱したり、変色、変形など、今までと異なることに気がついたときには、820SCから取り外し、使用しないでください。
そのまま使用すると、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

医用電気機器の近くでの取り扱いについて

ここで記載している内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会［平成9年4月］）に準拠、ならびに「電波の医用機器等への影響に関する調査研究報告書」（平成13年 3月「社団法人　電波産業会」）の内容を参考にしたものです。

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、ペースメーカなどの装着部位から22cm以上離して携行および使用してください。

電波により、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

満員の電車など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、820SCの電源を切るようにしてください。

電波により、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には、820SCを持ち込まない。
- 病棟内では 820SCの電源を切る。
- ロビーなどであっても、付近に医用電気機器がある場合は、820SCの電源を切る。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従う。

自宅療養など、医療機関の外で植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合は、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

820SC、電池パック、充電用機器の取り扱いについて（共通）

置き場所について

- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。落ちたりして、けがや故障の原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災、事故の原因となることがあります。
- 冷気が直接吹きつけるところへは置かないでください。露が付き、漏電、焼損の原因となることがあります。
- 直射日光が長時間当たる場所（特に密閉した自動車内）や暖房器具の近くには置かないでください。外装ケースが変形、変色したり、火災の原因となることがあります。また、電池パックが変形して、使用できなくなることがあります。
- 極端に寒い場所に置かないでください。故障や事故の原因となることがあります。
- 火気の近くに置かないでください。故障や事故の原因となることがあります。

使用場所について

- ほこりの多いところでは使用しないでください。放熱が悪くなり、焼損、発火の原因となることがあります。
- 海辺や砂地など内部に砂の入りやすいところで使用しないでください。故障や事故の原因となることがあります。
- キャッシュカード、テレホンカードなどの磁気を利用したカード類を820SCや充電器に近づけないでください。カードに記録されているデータが消えることがあります。

820SCの取り扱いについて

820SCの温度（発熱）について

820SCを長時間利用すると、820SCが熱くなることがあります。また、820SCを長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどになるおそれがあります。気温や室温が高い場所では、特にご注意ください。

真夏の自動車内など、高温になる場所には置かないでください。

820SCの外装ケースが熱くなり、やけどの原因となることがあります。

音量の設定について

音量の設定については、十分に気をつけてください。思わぬ大音量が出て、耳を痛める原因となることがあります。また、耳をあまり刺激しないように適度な音量でお楽しみください。

ステレオイヤホンマイクの取り扱いについて

- 抜くときは、必ずプラグを持って行ってください。コードを持って抜くと、断線や故障の原因となることがあります。
- プラグはいつもきれいにしておいてください。プラグが汚れていると雑音が出たり、誤動作の原因となることがあります。

自動車内でご使用のときは

820SCを自動車内で使用したときは、自動車の車種によって、まれに車両電子機器に影響を及ぼすことがあります。

皮膚に異常が生じた場合は、ただちに使用をやめ医師の診断を受けてください。

下記の箇所に金属などを使用しています。お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。

使用箇所	使用材料、表面処理
外装ケース（ディスプレイ面）	PC
外装ケース（ディスプレイ側裏面）	PC+GF40%
外装ケース（ボタン操作面）	PC+GF20%
ボタン操作面	PC
マルチファンクションボタン	PC+アクリル
レシーバー飾り部分	SUS
充電端子／外部接続端子キャップ	PC+ウレタン
電池カバー	PC+ABS
サイドキー	ABS+ウレタン
カメラ部周囲の飾り部分	PC+ABS

充電用機器の取り扱いについて

急速充電器コードやシガーライターコードの取り扱いについて

- プラグを抜くときは、コードを引っぱらないでください。コードを引っぱるとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。急速充電器やシガーライターのプラグを持って抜いてください。
- コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆がとけて、火災、感電の原因となることがあります。
- ACコンセントやシガーライターソケットへの差し込みがゆるくぐらついていたり、コードやプラグが熱いときは使用を中止してください。
  そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。
- シガーライターソケットの中は、きれいにしておいてください。灰などで汚れているときは、プラグを接続しないでください。発熱によりやけどの原因となることがあります。

指定以外のヒューズは使用しないでください。

シガーライター充電器のヒューズは、1A（アンペア）のものを使用してください。
指定以外のヒューズを使用したり、針金などで代用すると、火災、故障の原因となります。

風通しの悪い場所では使用しないでください。

充電器は風通しのよい状態でご使用ください。
布や布団で覆ったり、包んだりしないでください。
熱がこもり、外装ケースが変形し、火災の原因となることがあります。

エンジンが切れた状態では使用しないでください。

シガーライター充電器をご使用になるときは、必ずエンジンをかけておいてください。エンジンを切ったまま使用すると、車のバッテリーを消耗させる原因となることがあります。

長期間ご使用にならないときは

安全のため、必ず急速充電器はプラグをACコンセントから、シガーライター充電器はプラグをシガーライターソケットからそれぞれ抜いて、820SCを取り外してください。

お手入れのときは

安全のため、急速充電器はプラグをACコンセントから、シガーライター充電器はプラグをシガーライターソケットからそれぞれ抜いて行ってください。感電やけがの原因となることがあります。

シガーライター充電器のケーブル類の配線について

ケーブル類の配線は、運転または車の乗降に支障がないようにご注意ください。けがや事故の原因となることがあります。

電池パックの取り扱いについて

電池パックは乳幼児の手の届かないところに保管してください。

けがなどの原因となることがあります。
また、使用する際にも乳幼児が機器から取り外さないようにご注意ください。

電池パックを直射日光の強い所や炎天下の車内などの高温の場所で使用したり、放置しないでください。

発熱、発火、電池パックの性能や寿命を低下させる原因となることがあります。

水や海水などにつけたり、ぬらさないでください。

電池パックの破損や性能や寿命を低下させる原因となることがあります。

電池パックが漏液して液が皮膚や衣類に付着したときには、すぐにきれいな水で洗い流してください。

皮膚がかぶれたりする原因となることがあります。

不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てないでください。

端子にテープなどを貼り、個別回収に出すか、最寄りのソフトバンクショップへお持ちください。
電池を分別している市町村では、その規則に従って処理してください。

衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。

発熱、破裂、発火の原因となることがあります。

電池パックの充電は、周囲温度5～40℃の場所で行ってください。

この温度範囲以外で充電すると、漏液や発熱したり、電池パックの性能や寿命を低下させる原因となることがあります。

電池パックをお子様がご使用の場合は、保護者が取扱説明書の内容を教えてください。

また、使用中においても、取扱説明書のとおりに使用しているかどうかをご注意ください。

電池パックを初めてご使用の際に、異臭や発熱など、その他異常と思われたときは、使用しないで、ソフトバンクの故障受付窓口にご連絡ください。

電池パックを使い切った状態で、保管、放置はしないでください。

また、電池パックを長期間保管、放置されるときは、半年に1回程度、電池パックの補充電を行ってください。電池パックが使用できなくなります。

お願いとご注意

ご利用にあたって

- 事故や故障などにより820SC本体またはメモリカードに登録したデータ（電話帳、画像、サウンドなど）が消失・変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。大切な電話帳などのデータは、控えをとっておかれることをおすすめします。
- 820SCは、電波を利用しているため、特に屋内や地下街、トンネル内などでは電波が届きにくくなり、通話が困難になることがあります。また、通話中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通話が急に途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 820SCを公共の場所でご利用いただくときは、まわりの方の迷惑にならないようにご注意ください。
- 820SCは電波法に定められた無線局です。したがって、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。あらかじめご了承ください。
- 一般の電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで820SCを使用すると、雑音が入るなどの影響を与えることがありますので、ご注意ください。
- **傍受にご注意ください。**
  820SCは、デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を利用している関係上、通常の手段を超える方法をとられたときには第三者が故意に傍受するケースもまったくないとは言えません。この点をご理解いただいたうえで、ご使用ください。
  傍受（ぼうじゅ）とは
  無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。

自動車内でのご使用にあたって

- 運転中は、820SCを絶対にご使用にならないでください。
- 820SCをご使用になるために、禁止された場所に駐停車しないでください。
- 820SCを車内で使用したときは、自動車の車種によって、まれに車両電子機器に影響を与えることがありますので、ご注意ください。

航空機の機内でのご使用について

- 航空機の機内では、絶対にご使用にならないでください（電源も入れないでください）。運航の安全に支障をきたすおそれがあります。

機能制限について

- 機種変更または解約した場合、820SCでは次の機能が利用できなくなります。
  - カメラ
  - メディアプレイヤー
  - S!アプリ
  - テレビ
- 820SCを長期間お使いにならなかった場合、上記の機能が利用できなくなる可能性があります。

お取り扱いについて

- 820SCの電池パックを長い間外していたり、電池残量のない状態で放置したりすると、お客様が登録、設定した内容が消失または変化してしまうことがありますので、ご注意ください。なお、これらに関しまして発生した損害につきましては、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 820SCは5～40℃の範囲でご使用ください。極端な高温や低温環境、直射日光の当たる場所でのご使用、保管は避けてください。
- カメラ部分に、直射日光が長時間当たると、内部のカラーフィルターが変色して、映像が変色することがあります。
- 820SCを落下させたり衝撃を与えたりしないでください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布などで拭いてください。また、アルコール、シンナー、ベンジンなどを用いると色があせたり、文字が薄くなったりすることがありますので、ご使用にならないでください。
- 雨や雪の日など、湿気の多い場所でご使用になるときは、水にぬらさないように十分ご注意ください。
- 820SCは精密部品で作られた無線通信装置です。絶対に分解、改造はしないでください。
- 820SCのディスプレイを堅いものでこすったり、傷つけないようにご注意ください。
- 820SCを閉じるときは、ストラップなどを挟まないでください。ディスプレイを破損する原因となります。
- ステレオヘッドフォンの中には開放型のものがあり、音が外に漏れることがあります。周囲の人の迷惑にならないようにご注意ください。
- 820SCは防水仕様にはなっていません。水にぬらしたり、湿度の高い所に置かないでください。
  - 雨の日にバッグの外のポケットに入れたり、手で持ち歩かないでください。
  - エアコンの吹き出し口に置かないでください。急激な温度変化により結露し、内部が腐食する原因となります。

- 洗面所などでは衣服に入れないでください。ポケットなどに入れて、身体をかがめたりすると、洗面所に落としたり、水でぬらす原因となります。
- 海辺などに持ち出すときは、海水がかかったり直射日光が当たらないように、バッグなどに入れてください。
- 汗をかいた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットに入れないでください。手や身体の汗が 820SCの内部に浸透し、故障の原因になる場合があります。

- 820SC に無理な力がかかるような場所には置かないでください。故障やけがの原因となります。
  - 820SCをズボンやスカートの前、または後ろのポケットに入れたまま、しゃがみこんだり座席や椅子などに座らないでください。特に、厚い生地の衣服のときはご注意ください。
  - 荷物の詰まった鞄などに入れるときは、重たいものの下にならないようにご注意ください。
- 820SC の充電端子／外部接続端子に指定品以外の商品は取り付けないでください。誤動作を起こしたり、820SC を傷めることがあります。
- 電池パックを取り外すときは、必ず 820SCの電源を切ってから取り外してください。データの登録やメールの送信などの動作中に電池パックを取り外さないでください。データの消失、変化、破損などのおそれがあります。

著作権などについて

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守のうえ、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、本製品にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

820SCに搭載のソフトウェアは著作物であり、著作権、著作者人格権などをはじめとする著作者等の権利が含まれており、これらの権利は著作権法により保護されています。ソフトウェアの全部または一部を複製、修正あるいは改変したり、ハードウェアから分離したり、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング等は行わないでください。第三者にこのような行為をさせることも同様です。

登録商標について

- 下記一件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM社よりライセンスされています。
  Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations:
  4,901,307 5,490,165 5,056,109 5,504,773
  5,101,501 5,506,865 5,109,390 5,511,073
  5,228,054 5,535,239 5,267,261 5,544,196
  5,267,262 5,568,483 5,337,338 5,600,754
  5,414,796 5,657,420 5,416,797 5,659,569
  5,710,784 5,778,338
- TVコール、S!メール、PCサイトブラウザ、S!速報ニュース、S!タウン、S!ループ、S!アプリ、S!ともだち状況、S!一斉トーク、ちかチャット、S!電話帳バックアップ、S!おなじみ操作、アレンジメール、デルモジはソフトバンクモバイル株式会社の登録商標または商標です。
- 「BookSurfing®」は、株式会社セルシス、株式会社ボイジャー、株式会社インフォシティの登録商標または商標です。
- SOFTBANKおよびソフトバンクの名称、ロゴは日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。
- 「Yahoo!」および「Yahoo!」「Y!」のロゴマークは、米国Yahoo! Inc.の登録商標または商標です。
- This product contains ACCESS Co., Ltd.' s NetFront Internet browser software
  NetFront is a trademark or registered trademark of ACCESS Co., Ltd. in Japan and in other countries.

ACCESS NetFront®

- 本製品のソフトウェアの一部に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR (i) ENCODING VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD ("MPEG-4 VIDEO") AND/OR (ii) DECODING MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NONCOMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, LLC. SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM.

- Contains Macromedia® Flash® Flash Lite™ technology by Adobe Systems Incorporated.
-
- Macromedia, Flash, Macromedia Flash, and Macromedia Flash Lite are trademarks or registered trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and other countries.
- この製品では、株式会社アプリックスがJava™アプリケーションの実行速度が速くなるように設計したJBlend™が搭載されています。
- Powered by JBlend™ Technology.
  JBlendおよびJBlendロゴマークは、株式会社アプリックスの商標または登録商標です。

-
- JBlendおよびJBlendに関連する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。
- JavaおよびJavaに関連する商標は、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。

- 「着うた®」「着うたフル®」は、株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。
- microSD™はSDアソシエーションの商標です。

- Bluetooth is a trademark of the Bluetooth SIG, Inc.
  The Bluetooth word mark and logos are owned by the Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by Samsung Electronics is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners.

- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
-

Bluetooth® について

820SCのBluetooth®機能の周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器や、工場の製造ラインなどで使用されている構内無線局、アマチュア無線局など（以下、「他の無線局」と略す）が運用されています。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記の事項に注意してご使用ください。

1 Bluetooth®機能を使用する前に、近くで同じ周波数帯を使用する「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。

2 万一、Bluetooth®機能の使用にあたり、820SCと「他の無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、Bluetooth®機能の使用を停止（電波の発射を停止）してください。

3 その他不明な点やお困りのことが起きたときには、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先：ソフトバンクお客様センター

ソフトバンク携帯電話から　157（無料）

※ 一般電話からおかけの場合、「お問い合わせ先一覧」（➔P.14-31）を参照してください。

この無線機器は、2.4 GHz帯を使用します。変調方法としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は1.5～5m以下です。

与干渉距離は、周囲の環境により変化します。

820SCの比吸収率（SAR）について

820SCの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。

この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。

820SCのSARは、0.056W/kgです。この値は、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。

個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm

社団法人電波産業会のホームページ

http://www.arib-emf.org/initiation/sar.html

※ 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

Safety Precautions

- Read these safety precautions before using handset.
- Observe all precautions to avoid injury to yourself and others, or damage to property.
- SoftBank is not liable for any damage resulting from use of this product.

Before Using Handset

● Symbols

Make sure you thoroughly understand these symbols before reading on. Symbols and their meanings are described below:

Symbol	Meaning
⚠ Danger	Great risk of death or serious injury from improper use
⚠ Warning	Risk of death or serious injury from improper use
⚠ Caution	Risk of injury or damage to property from improper use

● Symbols

Danger

Handset, Battery, & Charger

Use only specified battery and Charger.

Using non-specified equipment may cause malfunctions, electric shock or fire due to battery leakage, overheating, or bursting.

Do not short-circuit Charger Port.

Keep metal objects away from the Charger Port. Keep handset away from jewelry. Battery may leak, overheat, burst, or ignite causing injury. Use a case to carry handset.

Battery

If battery fluid gets into your eyes, do not rub them. Rinse with clean water and consult a doctor immediately.

Eyes may be severely damaged.

Prevent injury from battery leakage, breakage, or fire.
Do not:

- Heat or dispose of battery in a fire.
- Disassemble, modify, or break battery.
- Damage or solder on to battery.
- Use a damaged or deformed battery.
- Use a non-specified charger.
- Force battery into handset.
- Charge or place battery near fire, heat sources or expose it to extreme heat.
- Use battery for other equipments.

Warning

Handset, Battery, & Charger

Do not insert foreign objects into handset.
Do not place metal or flammable objects in handset or Charger. This may cause fire or electric shock. Keep handset out of the reach of children.

Keep handset out of rain or extreme humidity.
Fire or electric shock may occur.

Keep handset away from liquid-filled containers.
Keep handset and Charger away from chemicals/liquids. Fire or electric shock may result.

Avoid sources of fire.
To prevent fire or explosion, do not use handset near gas or fine particles (Coal, dust, metal, etc.).

Keep handset and Charger away from microwave ovens.
Battery or handset may leak, burst, overheat, or ignite.

Do not disassemble or modify handset.

- Do not open the housing of handset or Charger; it may cause electric shock or injury. Contact the SoftBank Customer Center, Customer Assistance for repairs.
- Do not modify handset or Charger. Fire or electric shock may result.

Do not use Mobile Light near people's faces.
Eyesight may be temporarily affected leading to accidents.
Use of controls, adjustments, or performance of procedure other than those specified herein may result in hazardous radiation exposure. As the emission Record from Mobile Light LED used in this product is harmful to the eyes, do not attempt to disassemble the cabinet. Servicing is limited to qualified servicing station only. Contact SoftBank Customer Center, Customer Assistance for repairs.

If water or foreign matter gets inside handset:
Discontinue handset use to prevent fire or electric shock. Turn handset power off, remove battery, unplug Charger and contact the SoftBank Customer Center, Customer Assistance.

Do not subject handset to shocks.

Subjecting handset or Charger to shocks may cause malfunction or injury. Should handset break, remove battery and contact the SoftBank Customer Center, Customer Assistance. Discontinue handset use. Fire or electric shock may occur.

If an abnormality occurs:

Should there be any unusual sound, smoke, or odor, discontinue handset use to avoid fire or electric shock. Turn handset power off, remove battery, unplug the Charger, and contact the SoftBank Customer Center, Customer Assistance. Fire or electric shock may result.

Keep handset off and Charger disconnected near filling station or places with risk of fire/explosion.

Handset use near petrochemicals or other flammables may lead to fire or explosion.

Handset

Preventing accidents

- For safety, never use handset while driving. Pull over beforehand. Mobile phone use while driving is prohibited by the revised Road Traffic Law (Effective November 1 2004).
- Do not use headphones while driving or riding a bicycle. Accidents may result.
- Do not turn the volume up so high that ambient sounds cannot be heard, especially when walking in or around traffic to avoid accidents.

Do not swing handset by the strap.

Injury or breakage may result.

Turn handset power off before boarding aircraft.

Using wireless devices aboard aircraft may cause electronic malfunctions or endanger aircraft operation.

Ringtone & Vibration Settings

Select settings carefully if you have a heart condition or wear a pacemaker/defibrillator.

During thunderstorms, turn power off; move to a safe place.

There is a risk of a lightning strike or electric shock.

Do not use handset with wet hands.
Doing so may lead to electric shock or damage to 820SC.

Charger

Use only the specified voltage.
Non-specified voltages may cause fire or electric shock.

- **AC Charger: AC 100V-240V Input**
  SoftBank is not liable for problems caused by charging handset abroad.
- **In-Car Charger: DC 100V-240V Input**

Do not use step up/down transformers.
Use of the AC Charger with step up/down transformers may cause fire, electric shock or damage.

Do not use In-Car Charger inside vehicles with a positive earth.
Fire may result. Use In-Car Charger only inside vehicles with a negative earth.

Do not touch plug blades with wet hands.
Electric shock may occur.

Do not plug multiple cords in one outlet.
Excess heat or fire may occur.

Do not bend, twist, pull, or set objects on the cord.
Do not put heavy objects on the cords or heat or pull the cords.
Fire or electric shock may result.

Do not short-circuit Charger Port.
Keep the metal away from Port. Overheating, fire, or electric shock may result.

Be sure to secure In-Car Charger.
Avoid injury or accidents.

Do not use AC/In-Car Charger if the cord is damaged.
Fire or electric shock may be caused. Contact the SoftBank Customer Assistance to replace the cord.

During thunderstorms:
Unplug Charger to avoid damage, fire, or electric shock.

Keep Charger out of the reach of children.
Electric shock or injury may result.

Battery

If battery does not charge properly, stop charging.
Battery may overheat, burst or ignite.

If there is leakage or abnormal odor, keep battery away from fire sources.
It may catch fire or burst.

If there is abnormal odor, excessive heat, discoloration, or distortion, remove battery from handset.
It may leak, overheat, or explode.

Handset Use & Electronic Medical Equipment

This section is based on "Guidelines on the Use of Radio Communications Equipment such as Cellular Telephones and Safeguards for Electronic Medical Equipment" (Electromagnetic Compatibility Conference, April 1997) and "Report of Investigation of the Effects of Radio Waves on Medical Equipment, etc." (Association of Radio Industries and Businesses, March 2001).

People with implanted pacemakers/defibrillators should keep handset more than 22 cm away.
Implanted pacemakers/defibrillators may malfunction due to radio waves.

Turn handset power off in crowded places such as trains. People with implanted pacemakers/ defibrillators may be near.
Implanted pacemakers/defibrillators may malfunction due to radio waves.

Observe these rules inside medical facilities:

- Do not take handset into operating rooms or Intensive or Coronary Care Units.
- Keep handset off in hospitals.
- Keep handset off in hospital lobbies. Electronic equipment may be near.
- Obey rules regarding mobile phone use in medical facilities.

Consult the manufacturer of other electronic medical equipment about radio wave effects.

Caution

Handset, Battery, & Charger

Handset Care

- Place 820SC on stable surfaces to avoid malfunction or injury.
- Keep 820SC away from oily smoke or steam. Fire or accidents may result.
- Cold air from air conditioners may condense, resulting in leakage, or burnout.
- Keep 820SC away from direct sunlight (Inside vehicles, etc.) or heat sources. Distortion, discoloration, or fire may occur. Battery shape may be affected.
- Keep 820SC out of extremely cold places to avoid malfunction or accidents.
- Keep 820SC away from fire sources to avoid malfunction or accidents.

Usage Environment

- Excessive dust may prevent heat release and cause burnout or fire.
- Avoid using 820SC on the beach. Sand may cause malfunction or accidents.
- Keep 820SC away from credit cards, phone cards, etc. to avoid data loss.

Handset

820SC temperature

820SC may become hot while in use. Avoid prolonged contact with skin especially at high temperature. May cause burn injuries.

Avoid leaving 820SC in extreme heat (Inside vehicles, etc.).

Handset may heat up and lead to burns.

Volume settings

Keep handset volume moderate.
Excessive volume may cause damage to your hearing.

Headphones

- Do not unplug by pulling the cord; may damage the cord.
- Keep the plug clean to avoid noise or malfunction.

Inside vehicles:

Handset use may cause other electronic equipment to malfunction.

Should skin irritation occur, discontinue handset use and consult a doctor.

Skin irritation, rashes, or itchiness may result depending on your physical condition.

Parts	Materials & Finishing
Housing (Slide upper)	PC
Housing (Slide lower)	PC + GF40%
Housing (Keys side)	PC + GF20%
Keypad	PC
Multi Selector	PC + Acryl
Earpiece Ornament	SUS
Charger/External Device Port Cover	PC + Urethane
Battery Cover	PC + ABS
Side keys	ABS + Urethane
CAMERA DECO	PC + ABS

Charger

Charger & In-Car Charger

- Grasp the plug (not the cord) to disconnect Charger. Otherwise, fire or electric shock may result.
- Keep the cord away from heaters. Exposed wire may cause fire or electric shock.

- Stop use if the plug is hot or improperly connected. Fire or electric shock may result.
- Keep In-Car Charger socket clean. If might overheat and cause injury.

Use only the specified fuse

A 1A fuse is specified for In-Car Charger. An improper fuse may cause damage or fire.

Always charge 820SC in a well-ventilated area.

Avoid covering/wrapping Charger; may cause damage or fire.

Do not use In-Car Charger when engine is off.

Start engine before use; may weaken car battery.

Disconnect AC/In-Car Charger during long periods of disuse.

Be sure to unplug AC/In-Car Charger after use.

Handset Maintenance

When cleaning, disconnect AC/In-Car Charger to prevent shock or injury.

Installing In-Car Charger

Properly position the cable for safe driving to avoid injury or accidents.

Battery

Keep battery out of the reach of children.

They may sustain injuries. And when using, do not let them remove battery from handset.

Do not leave battery in direct sunlight or inside vehicles.

Overheating or fire may occur and performance may be reduced.

Do not expose battery to liquids.

Performance may deteriorate.

If battery fluid makes contact with skin or clothes:

Rinse with clean water immediately.

Do not dispose of exhausted batteries with ordinary refuse.

Tape over battery terminals before disposal, or bring them to a SoftBank shop. Follow local regulations regarding battery disposal.

Do not throw or abuse battery.

Battery may overheat, burst, or ignite.

Charge battery within a range of 5°C- 40°C.

Battery may leak/overheat and performance may deteriorate.

If a child is using handset, explain all these instructions and supervise handset's usage.

If there is any abnormal odor or excessive heat, stop using battery and call the SoftBank Customer Center, Customer Assistance.

Do not leave battery uncharged.

Charge at least once every six months.

General Notes

General Use

- SoftBank is not liable for any damage resulting from accidental loss/alteration of any data on handset/Memory Card. Please keep separate records of Phonebook entries, etc.
- Handset transmissions may be disrupted inside buildings, tunnels, or underground, or when moving into/out of such places.
- Use handset without disturbing others.
- Handsets are radios as stipulated by the Radio Law. Under the Radio Law, handsets must be submitted for inspection upon request.
- Handset use near landlines, TVs or radios may cause interference.
- **Beware of eavesdropping.**

  Because this service is completely digital, the possibility of signal interception is greatly reduced. However, some transmissions may be overheard.

  Eavesdropping

  Deliberate/accidental interception of communications constitutes eavesdropping.

Inside Vehicles

- Never use handset while driving.
- Do not park illegally to use handset.
- Handset use may affect a vehicle's electronic equipment.

Aboard Aircraft

- Never use handset aboard aircraft (Keep the power off). Handset use may impair aircraft operation.

Function Usage Limits

- The following functions are disabled after handset upgrade/replacement or service cancellation:
  - Camera
  - Media Player
  - S! Appli
  - TV
- After a long period of disuse, these functions may be unusable; establish a Network connection to restore usability.

Handset Care

- If handset is left with no battery or an exhausted one, data may be altered/lost. SoftBank is not liable for any resulting damage.
- Use handset between 5°C - 40°C. Avoid extreme temperatures/direct sunlight.
- Exposing the lens to direct sunlight may damage the color filter and affect image color.
- Do not drop or subject handset to shocks.
- Clean handset with a dry, soft cloth. Using alcohol, thinner, etc. may damage it.
- Do not expose handset to rain, snow, or high humidity.
- Never disassemble or modify handset.
- Avoid scratching Display.
- When closing handset, keep straps, etc. outside to avoid damaging Display.
- When using headphones, moderate the volume to avoid sound bleed.
- Handset is not water-proof. Avoid exposure to liquids and high humidity.
  - Keep handset away from precipitation.
  - Cold air from air conditioning, etc. may condense causing corrosion.
  - Avoid placing handset in damp places (Restrooms, bath/shower rooms, etc.).
  - On the beach, keep handset away from water and direct sunlight.
  - Perspiration may get inside handset causing malfunction.
- Heavy objects or excessive pressure should be avoided. This may cause malfunction or injury.
  - Do not sit down with handset in a back pocket.
  - Do not place heavy objects on handset in a bag.
- Insert only specified devices into Headphone Port. Malfunction or damage may result.
- Always turn power off before removing battery. If battery is removed while saving data or sending mail, data may be lost, changed or destroyed.

Copyrights

Copyright laws protect sounds, images, computer programs, databases, other materials for copyright holders. Duplicated material is limited to private use only.

Use of materials beyond this limit or without permission of copyright holders may constitute copyright infringement, and be subject to criminal punishment. Comply with copyright laws when using images captured with handset camera.

The software contained in 820SC is copyrighted material; copyright, moral right, and other related rights are protected by copyright laws. Do not copy, modify, alter, disassemble, decompile, or reverse-engineer the software, and do not separate it from hardware in whole or part.

準備／基礎知識

各部の名称と機能について

本体

❶ レシーバー（受話口）／スピーカー

❷ 内側カメラ（インカメラ）
自分を撮影するときや、TVコール利用時に使います。

❸ タッチキー
テレビやカメラをビューアポジションで使用するときに使います。

❹ ディスプレイ

❺ 左ソフトキー／メールボタン✉
画面左下のソフトキーエリアに表示された内容を実行するときに使います。

❻ メディアプレイヤー／文字ボタン[文字]
メディアプレイヤーの起動や、文字の入力モードを切り替えるときに使います。

❼ クリア／バックボタン[CLEAR/メモ]
文字を消去するときや、操作を1つ前の状態に戻すときに使います。

❽ 開始ボタン[📞]
音声電話をかけたり、受けたりするときに使います。

❾ ＊ボタン[＊]
絵文字を入力するときなどに使います。わたしの状況画面の呼び出しにも使います（1秒以上押す）。

❿ 内蔵アンテナ

⑪ マルチファンクションボタン
項目やカーソルの移動、画面のスクロールなどに使います。

⑫ 右ソフトキー／Yahoo!ケータイボタン
画面右下のソフトキーエリアに表示された内容を実行するときに使います。

⑬ メインメニューボタン／中央ソフトキー
メインメニューを呼び出すときに使います。画面中央下のソフトキーエリアに表示された内容を実行するときにも使います。

⑭ スイッチボタン
スイッチバー（➔P.2-3）を表示します。

⑮ 電源／終了ボタン
電源を入れたり切ったりするときや、操作を終了するときに使います。

⑯ ダイヤルボタン～
電話番号や文字を入力するときに使います。メニューの選択にも使います。

⑰ #／マナーボタン
記号を入力するときなどに使います。マナーモードの設定や解除にも使います（1秒以上押す）。

⑱ マイク（送話口）

⑲ 着信ライト
着信時や不在着信、メール着信などがあるときに点滅してお知らせします。また、充電中に赤色で点灯します。

⑳ ストラップ取り付け穴

㉑ 赤外線ポート
赤外線通信でデータを送受信するときに使います。

㉒ サブディスプレイ

㉓ モバイルライト
暗い場所で撮影するときに使います。

㉔ 外側カメラ（アウトカメラ）
撮影するときや、TVコール中に周囲の風景などの映像を送信するときに使います。

㉕ アンテナ
テレビを受信するときに使います。

㉖ 電池カバー
電池パックやUSIMカード、メモリカードの取り付けや取り外しをするときは、ここを開けます。

㉗ 充電端子／外部接続端子
急速充電器やステレオイヤホンマイク、パソコンなどを接続する端子です。

㉘ サイドキー
着信中やメディアプレイヤー起動中などに音量を上げます。S!一斉トークメンバーリストの表示や、TVコール中に画像を拡大するときにも使います。

㉙ サイドキー
着信中やメディアプレイヤー起動中などに音量を下げます。TVコール中に画像を縮小するときにも使います。

㉚ カメラボタン
カメラの起動（2秒以上押す）や撮影に使います。

㉛ テレビボタン
テレビの起動に使います。

- **内蔵アンテナ**
820SCは内蔵アンテナで送受信するため、外部アンテナはありません。
内蔵アンテナ部分は、手で覆ったりすると感度に影響しますのでご注意ください。また、内蔵アンテナ部分にシールなどを貼らないでください。ご使用中の体の向きや通話している場所によっては通話品質が変わることがあります。

ディスプレイ

❶ 電波の受信レベル（の棒の数が多いほど電波の状態が良好）
圏外 圏外（サービスエリア外または電波の届かない場所にいるときに表示）
Out 圏外（Languageが「English」または「한국어」に設定されている場合の表示）
オフラインモード中

❷ 3G網接続中
3G網パケット通信中（待機中）
3G網パケット通信中（データ送受信中）
パケット通信不可状態
SSL接続中
GSM網接続中
GSM網パケット通信中（待機中）
GSM 網パケット通信中（データ送受信中）
音声電話発着信中／通話中
TVコール発着信中／通話中
S!一斉トーク受信中
わたしの状況オンライン

❸ 新着メールあり
コンテンツ・キー受信時

❹ S!アプリ起動中
S!アプリ一時停止中
S!アプリ開始要求受信時
ミュージック再生中
ミュージック一時停止中
テレビ録画中
テレビ予約中

❺ メモリカードを取り付けている状態
メモリカードを読み込み中
ソフトウェア更新表示
PCサイトブラウザ接続中
S!速報ニュース未読あり

❻ （青）Bluetooth®通信可能
（青と赤に点滅）Bluetooth®通信中
Bluetooth® を利用してインターネット通信中
Bluetooth®通話中
（青）USB通信可能
USB通信中
（灰色）赤外線通信データ送受信中
（赤）赤外線通信接続中
データ同期中

❼ マナーモード中
運転中モード中
会議モード中
アウトドアモード中

❽ 電池が十分残っている
電池の残量が少ない
電池がほとんど残っていない
（点滅）電池残量なし

❾ 留守番電話または音声電話の転送電話「呼出なし」を設定中
簡易留守録設定中
S!メール空き容量なし
SMS空き容量なし
アラーム設定中
未再生の簡易留守録メッセージあり
未再生の留守番電話メッセージあり
誤動作防止設定中
キー操作ロック中
シークレットモード設定表示中

S!ともだち状況登録要求通知あり
未読のS!ともだち状況通知あり
ローミング中

⑩ 「音量」の「音声着信」を「Off」以外に、かつ「バイブ」の「音声着信」を「Off」以外に設定中
♪ 「音量」の「音声着信」を「Off」以外に、かつ「バイブ」の「音声着信」を「Off」に設定中
「音量」の「音声着信」を「Off」に、かつ「バイブ」の「音声着信」を「Off」以外に設定中
「音量」の「音声着信」を「Off」に、かつ「バイブ」の「音声着信」を「Off」に設定中

- （赤）が表示されたときは、パケット接続とS!メール送信のみ可能です。通話、S!メールの受信通知およびSMS送受信はできません。

サブディスプレイ

クローズポジションでサイドキーを押すと、バックライトが点灯し、時刻や着信などを確認できます。

❶ 電波の受信レベル（の棒の数が多いほど電波の状態が良好）

❷ 新着メールあり

❸ マナーモード中かつ「バイブ」の「音声着信」を「Off」以外に設定中

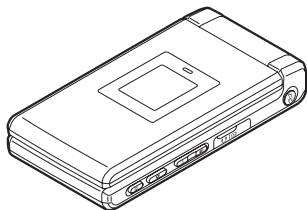
❹ 電池が十分残っている
電池の残量が少ない
電池がほとんど残っていない
電池残量なし

❺ 不在着信、着信メール、アラーム通知、配信レポートがある場合に件数が表示されます。また、着信時やメール受信時などにアニメーションと電話番号、Eメールアドレスが表示されます。音楽再生中は曲名などが表示されます。

ポジションについて

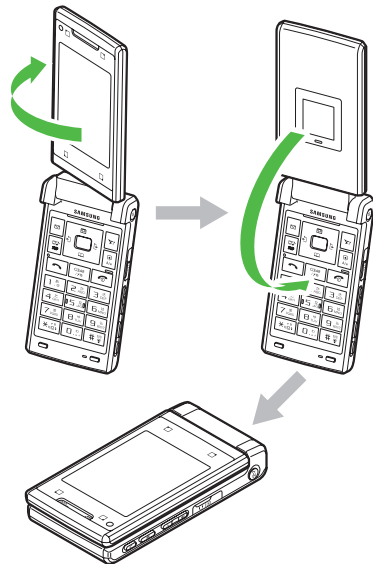
本書では、820SCの状態を「クローズポジション」／「オープンポジション」／「ビューアポジション」と表記しています。

クローズポジション

本機を2つ折りにした状態です。携帯するときは、この状態にしてください。

オープンポジション

本機を開いた状態です。ボタン操作や通話などを行うときは、この状態にしてください。

ビューアポジション

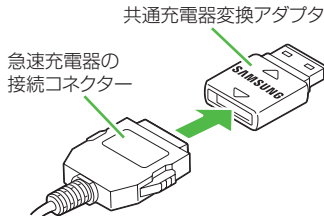
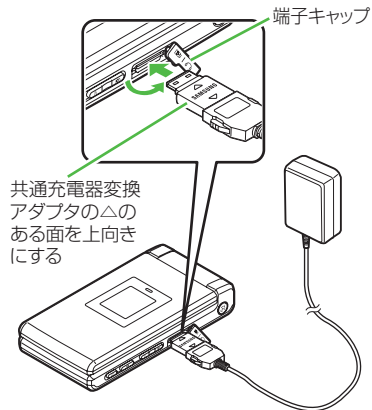
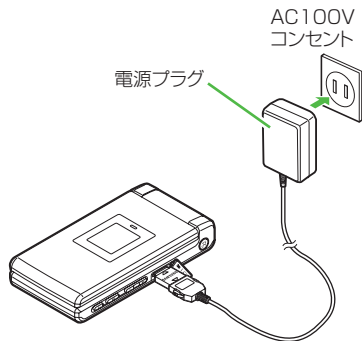
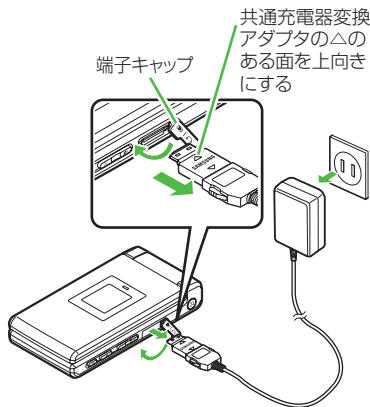
ディスプレイ部分を外側にして、2つ折りにした状態です。テレビまたはカメラが自動的に起動するように設定できます（➔P.13-25）。
テレビとカメラをサイドキーとタッチキーで操作できます。

注意

- ビューアポジションでは着信の応答はできません。オープンポジションにしてから操作してください。ただし、イヤホンマイクなどとの接続時は着信に応答できます。
- ビューアポジションのまま携帯しないでください。ディスプレイを破損するおそれがあります。

電池パックを充電する

- 電源が入っているときは、ディスプレイの電池アイコンで電池の充電状態が確認できます。充電中は▯→▯→▯のように残量表示が変わり、充電が完了すると▯が点滅します。電源を切っているときは、充電が開始されるとディスプレイに「充電中…」と表示され、完了すると、「充電が完了しました」と表示されます。また、充電中は着信ランプが点灯します。
- 充電にかかる時間は、約180分です。時間は820SCの電源をOFFにした状態で充電した場合の目安です。周囲の温度によっても変わります。

急速充電器を利用して充電する

1. 付属の共通充電器変換アダプタを急速充電器に取り付ける

2. 端子キャップを開き、外部接続端子に共通充電器変換アダプタを差し込む

3 電源コードのプラグをAC100Vコンセントに差し込む

4 充電が終わったら、820SCから共通充電器変換アダプタを抜いて端子キャップを閉め、電源コードのプラグをACコンセントから抜く

パソコンのUSBポートを利用して充電する

付属のUSBケーブルでパソコンと接続することにより、820SCを充電できます。

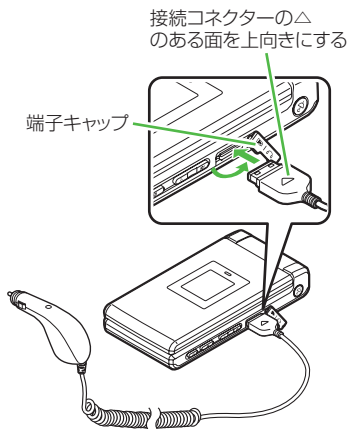
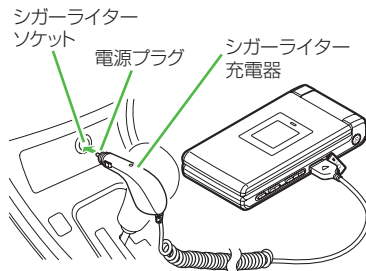
1 820SCの端子キャップを開き、外部接続端子にUSBケーブルの接続コネクターを差し込む

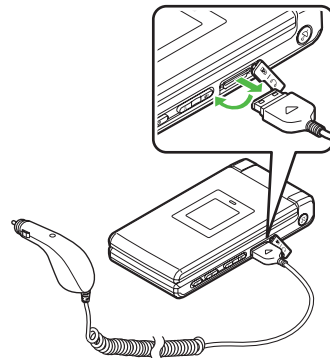
2 USBケーブルのUSBコネクターをパソコンのUSBポートに差し込む

3 充電が終わったら、820SCから接続コネクターを抜いて端子キャップを閉め、USBケーブルのコネクターをUSBポートから抜く

- 急速充電器を利用するときよりも、充電完了まで時間がかかります。また、接続するパソコンにより、充電にかかる時間が異なります。電池がほとんど残っていない場合、充電できないことがあります。

シガーライター充電器（オプション）を利用して充電する

1 端子キャップを開き、外部接続端子に接続コネクターを差し込む

2 シガーライターソケットにプラグを差し込む

3 車のエンジンをかける

4 充電が終わったら、820SCから接続コネクターを抜いて端子キャップを閉め、プラグをシガーライターソケットから抜く

- シガーライター充電器をお使いになる場合は、操作方法などについてはシガーライター充電器の取扱説明書を参照してください。充電するときは、820SCを固定させるため、車載ホルダーを利用されることをおすすめします。

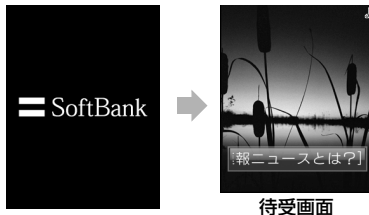
注意

- 炎天下で高温になった自動車内では充電しないでください。
- シガーライター充電器はマイナスアース車専用（12V/24V両用）です。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 820SCを開く

2 [電源キー]（1秒以上）

待受画面

注意

- 820SCを開くときは両手で持って軽く開いてください。力を入れすぎると、破損の原因になります。

- お客様の電話番号を確認するには [■] → [0] を押します。オーナー情報の一部としてお客様の電話番号が表示されます。オーナー情報の編集やメニュー操作ができます（➔P.2-25）。
- 操作をしない状態が続くと電池の消耗を抑えるため、自動的に画面表示が消えます（➔P.13-22）。
- お買い上げ後、初めて[■]、[✉]、[Y!]、[文字]、[ ]、[TV]などを押してネットワーク接続が必要となる機能を起動すると、ネットワーク自動調整をうながす確認メッセージが表示されます。画面の指示に従い「はい」を選択して設定を行ってください。
  - USIMカードを交換したときや、「オールリセット」を行ったときにも確認メッセージは表示されます。
  - ネットワーク自動調整を行うと、日付／時刻が設定されます。また、メールやYahoo!ケータイ、S!ともだち状況、S!一斉トークなどネットワークを利用するサービスがお使いいただけます。
  - ネットワーク自動調整は、手動で行うこともできます（➔P.13-35）。
  - 本書では、ことわりがない限り、日付／時刻が設定されている状態での操作を説明しています。

電源を切る

 [終話キー]（2秒以上）

- 終了画面が表示されたあと、電源が切れます。

注意

- **電源を切るときは、必ず[終話キー]を2秒以上押して正常に終了してください。**

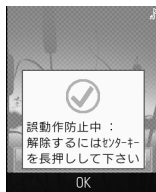
持ち運ぶときのご注意

820SCを持ち運ぶときは、次の点にご注意ください。

- 端末を開いた状態で持ち運ぶと、破損の原因となります。
- 鞄やポケットなどに入れて持ち運ぶときは、誤動作しないようにボタンをロックすることをおすすめします。
- 電源コードを持ち運ぶときは、プラグを倒してください。また、コードを強く引っぱったり無理にねじったりすると、断線の原因となります。

ボタンをロックする（誤動作防止）

820SCを開いた状態で、待受画面を表示中に操作します。

 （1秒以上）

- 誤動作防止を設定するとディスプレイ上部に[アイコン]が表示されます。ボタン操作すると、一時的に誤動作防止を解除するためのガイダンスが表示されます。
- 誤動作防止を解除するには820SCをオープンポジションにした状態で、待受画面で[■]を1秒以上押します。
- オープンポジションまたはビューアポジションで、[カメラキー]（2秒以上）を押してカメラを起動すると、誤動作防止の一時解除方法をお知らせする旨のメッセージが表示されます。そのまま[カメラキー]を押し続けると、誤動作防止を一時解除しすぐにカメラを起動するかどうかの確認メッセージに変わり、「はい」を選択するとカメラが起動します。

マナーについて

携帯電話は、マナーを守ってご使用ください。

- 劇場や映画館、美術館などでは、電源を切っておきましょう。
- 航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、電源を切っておきましょう。
- レストランやホテルのロビーなど、静かな場所では、周囲の迷惑にならないように気をつけましょう。
- 新幹線や電車の中などでは、車内のアナウンスや掲示に従いましょう。
- 街中では、通行の妨げにならない場所で使いましょう。

マナーを守るための機能について

820SCには、マナーを守るための2つのモードが用意されています。

- マナーモード
  着信音や警告音などをミュートまたはバイブレータにするモードです。マナーモードは、ワンタッチで設定／解除できます。
- オフラインモード
  電波の送受信を停止するモードです。通信以外の操作はできます。
  マナーモードやオフラインモード以外でも、着信音や警告音などをバイブレータやミュートに設定することができます。

オフラインモードを設定／解除する

1 ■→「設定」→「通話設定」→「オフラインモード」

2 「On」／「Off」

- オフラインモード中に電源を切ると、電源を入れ直したときに、オフラインモードを設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。Y!（いいえ）を押すと、通常モードに切り替わります。

マナーモードを設定／解除する

現在設定中のモードからマナーモードに切り替えることができます。#を1秒以上押してマナーモードを解除すると、その前に設定していたモードに戻ります。

1 #（1秒以上）

- マナーモード中はディスプレイ最上段にが表示されます。
- マナーモードを設定しても、カメラ撮影時のシャッター音は鳴ります。

モードを切り替える

マナーモードを含む5種類の中から選択できます。

1 ■→「設定」→「モード設定」

2 「通常モード」/「マナーモード」/「運転中モード」/「会議モード」/「アウトドアモード」

モードの種類

モードは使用状況に合わせて選択し、必要に応じて設定を編集してご利用ください（➔P.1-13）。

モード	内　容
通常モード※	820SCから出る音を気にせずに使える状況に適したモード
マナーモード	820SCから音を出さないモード
運転中モード	車の運転中にも使えるモード
会議モード	着信音やボタン確認音が、あらかじめミュートに設定されているモード
アウトドアモード	着信音やボタン確認音が、あらかじめ最大音量に設定されているモード

※ 通常モードのアイコンは、ディスプレイには表示されません。

各モードの設定内容を変更する

各モードの音声電話やTVコール、メールを受けたときの着信設定を変更できます。

1 ■→「設定」→「モード設定」

2 設定したいモードを反転表示→✉（編集）

3 各項目の設定操作

■ **着信音の音量を設定するとき**

「音量」→設定したい項目を選択→✥で音量を調節→✉（再生）→■（選択）

■ **効果音やボタン確認音の音量を設定するとき**

「音量」→「操作音」→✥で音量を調節→■（選択）

1 準備/基礎知識

■ 音声電話／TVコール／S!一斉トークの着信音を設定するとき

「着信音」→「音声着信」／「TVコール着信」／「S!一斉トーク着信」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを反転表示→☒（再生）→Y!（選択）

■ 電話以外の着信音を設定するとき

「着信音」→「メール着信」／「S!ともだち状況着信」／「着信お知らせ機能」／「S!速報ニュース」／「配信確認」→「着信音選択」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを反転表示→☒（再生）→Y!（選択）

■ 着信鳴動時間を設定するとき

「着信音」→「メール着信」／「S!ともだち状況着信」／「着信お知らせ機能」／「S!速報ニュース」／「配信確認」→「鳴動時間」→時間を入力

■ バイブレータを設定するとき

「バイブ」→設定したい項目を選択→「Off」／「パターン1」～「パターン5」→☒（再生）→■（選択）

■ ボタン確認音を設定するとき

「操作音」→「ボタン確認音」→「ブザー」／「木琴」／「Off」

■ S!一斉トークの効果音を設定するとき

「操作音」→「S!一斉トーク」→「動物王国」／「鳥」／「ファンタジー」／「ゲーム」／「ジョーク」／「木琴」／「電子音」→☒（再生）→■（選択）

■ 効果音を設定するとき

「操作音」→「効果音」→設定したい項目をチェック→☒（保存）

■ 着信ライトを設定するとき

「着信ライト」→「着信時ライト」／「通知ライト」→設定したい項目を選択→「On」／「Off」

- 設定項目の内容は、「各モードの設定内容について」（➲P.1-15）と「効果音の設定項目について」（➲P.1-18）を参照してください。

- 「着信音調節機能」が「On」の場合、音声電話やTVコールの着信音量が大きな音で設定されていても、レベル1の音量で2秒間呼び出したあと、設定されている音量で呼び出します。
- 着信中に音量を調節するには、着信中に▯／▯を押します。
- 着信時やメール受信時のお知らせをミュート（表示のみ）にするには、「音量」を「Off」にし、「バイブ」を「Off」にします。ミュートにしているときは、ディスプレイに▯が表示されます。
- 「設定」の「音・バイブ・着信ライト設定」は、通常モードの設定内容を変更するためのメニューです。他のモードの内容は変更できません。
- 「マナーモード設定」では、「モード設定」の「マナーモード」の設定内容を変更できます。

各モードの設定内容について

モードによって、設定できない項目があります。お買い上げ時には次のように設定されています。

設定項目＼モード		通常モード	マナーモード	運転中モード	会議モード	アウトドアモード
音量						
	音声着信	レベル3	－	－	Off	レベル5
	TVコール着信	レベル3	－	－	Off	レベル5
	メール着信	レベル3	－	－	Off	レベル5
	S!ともだち状況着信	レベル3	－	－	Off	レベル5
	S!一斉トーク着信	レベル3	－	－	Off	レベル5
	着信お知らせ機能	レベル3	－	－	Off	レベル5
	S!速報ニュース	Off	－	－	Off	Off
	配信確認	レベル3	－	－	Off	レベル5
	操作音	レベル3	－	－	Off	レベル5
着信音						
	着信音選択					
	音声着信	Right Here.mmf	－	－	Right Here.mmf	Right Here.mmf
	TVコール着信	Revelation.mmf	－	－	Revelation.mmf	Revelation.mmf
	メール着信	Sunny day.mp4	－	－	Sunny day.mp4	Sunny day.mp4
	S!ともだち状況着信	Sunny day.mp4	－	－	Sunny day.mp4	Sunny day.mp4
	S!一斉トーク着信	Sunny day.mp4	－	－	Sunny day.mp4	Sunny day.mp4
	着信お知らせ機能	Sunny day.mp4	－	－	Sunny day.mp4	Sunny day.mp4
	S!速報ニュース	Sunny day.mp4	－	－	Sunny day.mp4	Sunny day.mp4
	配信確認	Sunny day.mp4	－	－	Sunny day.mp4	Sunny day.mp4

設定項目＼モード		通常モード	マナーモード	運転中モード	会議モード	アウトドアモード
着信音						
	鳴動時間					
	メール着信	5秒	－	－	5秒	5秒
	S!ともだち状況着信	5秒	－	－	5秒	5秒
	着信お知らせ機能	5秒	－	－	5秒	5秒
	S!速報ニュース	5秒	－	－	5秒	5秒
	配信確認	5秒	－	－	5秒	5秒
バイブ						
	音声着信	Off	パターン　1	－	Off	Off
	TVコール着信	Off	パターン　1	－	Off	Off
	メール着信	Off	パターン　1	－	Off	Off
	S!ともだち状況着信	Off	パターン　1	－	Off	Off
	S!一斉トーク着信	Off	パターン　1	－	Off	Off
	着信お知らせ機能	Off	パターン　1	－	Off	Off
	S!速報ニュース	Off	Off	－	Off	Off
	配信確認	Off	パターン　1	－	Off	Off
操作音						
	ボタン確認音	木琴	－	－	木琴	木琴
	S!一斉トーク	木琴	－	－	木琴	木琴
	効果音	個別設定On	通話中イベント通知	－	通話中イベント通知	個別設定On

設定項目＼モード		通常モード	マナーモード	運転中モード	会議モード	アウトドアモード
着信ライト						
	着信時ライト					
	音声着信	On	On	On	On	On
	TVコール着信	On	On	On	On	On
	メール着信	On	On	On	On	On
	S!ともだち状況着信	On	On	On	On	On
	S!一斉トーク着信	On	On	On	On	On
	着信お知らせ機能	On	On	On	On	On
	通知ライト					
	不在着信通知	On	On	On	On	On
	メール着信通知	On	On	On	On	On
	簡易留守録通知	On	On	On	On	On
	S!ともだち状況着信通知	On	On	On	On	On
	着信お知らせ機能	On	On	On	On	On
簡易留守録		Off	On	–※	Off	Off

※「運転中モード」を設定すると、自動的に簡易留守録が「On」になります。

効果音の設定項目について

モードによって、設定できない項目があります。これらの音量は、「操作音」の音量の設定に従います。

設定項目	内　容
全チェック／全解除	効果音の項目すべてをチェックあり、またはチェックなしにします。
ポップアップ音	確認や警告のメッセージが表示されたときに音が鳴ります。
通話時間通知（毎分）	通話中に約1分たつごとに音が鳴ります。
呼び出し開始音	電話をかけたとき、相手の着信音が鳴る前に、電話が接続され、これから相手を呼び出すことをお知らせする音が鳴ります。
通話終了音	通話終了時に音が鳴ります。
電源On	電源を入れたときに音が鳴ります。
電源Off	電源を切るときに音が鳴ります。
オープン／クローズ音	820SCを開閉したときに音が鳴ります。
通話中イベント通知	通話中にアラームの設定時刻になったときやメールを受信したときに音が鳴ります。

使いこなしチェック！

設定

- 音量を設定する（☞P.13-18）
- 音声通話／TVコール／S!一斉トークの着信音を設定する（☞P.13-18）
- 電話以外の着信音を設定する（☞P.13-18）
- 電話以外の着信鳴動時間を設定する（☞P.13-19）
- バイブレータを設定する（☞P.13-19、P.13-20）
- ボタン確認音を設定する（☞P.13-19）
- S!一斉トークの効果音を設定する（☞P.13-19）
- 効果音を設定する（☞P.13-19、P.13-20）
- 受信中に照明の点滅でお知らせする（☞P.13-19、P.13-20）
- 不在時に着信などがあったことを照明の点滅でお知らせする（☞P.13-19、P.13-20）
- 簡易留守録を設定する（☞P.13-20）
- オフラインモードを設定する（☞P.13-32）
- 着信音調節機能を設定する（☞P.13-33）
- モードを切り替える（☞P.13-33）

暗証番号について

820SCのご使用にあたっては、「操作用暗証番号」「交換機用暗証番号」「発着信規制用暗証番号」が必要になります。

操作用暗証番号

お買い上げ時は「9999」に設定されています。820SCの各機能を操作するときに使用します。

- 入力した操作用暗証番号は「*」で表示されます。
- 操作用暗証番号を間違って入力したときは、番号間違いのメッセージが表示されます。操作をやり直してください。
- 操作用暗証番号は、820SCの操作で変更できます（➲P.11-2）。

交換機用暗証番号

ご契約時の4桁の数字です。ご契約内容の変更や、一般電話から操作するときなどに必要な番号です。

発着信規制用暗証番号

ご契約時の4桁の数字です。820SCで発着信規制サービスの設定を行うときに使用します。入力を3回続けて間違えると、発着信規制サービスの設定変更ができなくなります。この場合、発着信規制用暗証番号と交換機用暗証番号の変更が必要となりますので、ご注意ください。詳しくは、お問い合わせ先（➲P.14-31）までご連絡ください。

- 発着信規制用暗証番号は、820SCの操作で変更できます（➲P.3-22）。

注意

- **操作用暗証番号や交換機用暗証番号、発着信規制用暗証番号はお忘れにならないようにご注意ください。万一お忘れになった場合は、所定の手続きが必要になります。詳しくは、お問い合わせ先（➲P.14-31）までご連絡ください。**
- **操作用暗証番号や交換機用暗証番号、発着信規制用暗証番号は、他人に知られないようにご注意ください。他人に知られ悪用されたときは、その損害について当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。**

緊急電話発信について

緊急電話発信とは、緊急時に使用する電話発信「110（警察）」「119（消防）」「118（海上保安部）」のことです。
820SCで発信の制限などを設定している場合、緊急電話発信の可否は次のようになります。

820SCの状態	緊急電話発信
オフラインモード中（➲P.1-12）	不可
通話料金上限（➲P.13-30）を超過したとき	「110」「119」「118」可
電源On時ロック中（➲P.11-5）	不可
キー操作ロック中（➲P.11-5）	「110」「119」「118」可
PIN認証（➲P.11-2）で、未認証のとき	不可
USIM照合（➲P.11-4）で、未認証のとき	不可
発信規制中（➲P.3-20）	「110」「119」「118」可

緊急通報位置通知について

緊急通報位置通知とは、820SCから緊急通報を行った場合、発信した際の位置の情報を緊急通報受理機関（警察など）に対して通知するシステムです。

820SCでは受信している基地局測位情報をもとに算出した、位置情報を通知します。

- 発信場所や電波の受信状況により、正確な位置が通知されないことがあります。緊急通報受理機関に対して、必ず口頭で発信場所や目標物をお伝えください。
- 基地局測位情報の精度は、数100m～10km程度となります。また、実際の位置とは異なった位置情報が通知される場合があります（遠方の基地局電波を受信した場合など）。
- 緊急通報位置通知機能は、接続先となる緊急通報受理機関が、位置情報を受信できるシステムを導入したあと、ご利用いただけるようになります。
- 「184」を付けて、「110」「119」「118」の緊急通報番号をダイヤルした場合などは、緊急通報受理機関に位置情報は通知されません。ただし、緊急通報受理機関が人の生命などに差し迫った危険があると判断した場合には、同機関が発信者の位置情報を取得する場合があります。
- 申し込み料金、通信料は一切必要ありません。

注意

- **海外でのご利用にあたっては、無線ネットワークや無線信号、820SCの機能の設定状態によって動作が異なるため、すべての国や地域での接続を保証するものではありません。**

待受ウィンドウを利用する

待受ウィンドウ画面の見かた

待受ウィンドウではショートカットアイコン（➲P.1-22）、S!ともだち状況リスト（➲P.10-2）、S!速報ニュース（➲P.5-10）で受信したニュースなどを表示することができます。待受ウィンドウには次の3つの表示モードがあります。

ショートカットモード※

ニュースヘッドラインモード

コミュニケーションモード

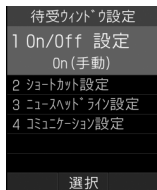
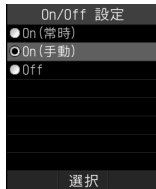
※テンプレートを「ニュース、メンバー、ショートカット」に設定している場合です。

注意

- S!ともだち状況やS!速報ニュースを利用するには、あらかじめ登録や設定が必要です。

待受ウィンドウの表示について

待受ウィンドウの表示方法を変更できます。

1 ■→「設定」→「待受ウィンドウ設定」

2 「On/Off設定」

3 設定の選択操作

■常に待受ウィンドウを表示させるとき
「On（常時）」

■待受ウィンドウの表示／非表示を手動で行うとき
「On（手動）」

- 表示／非表示を切り替えるときは、[☎]を押します。

■待受ウィンドウを表示しないとき
「Off」

待受ウィンドウのモードを切り替える

ショートカットモード、ニュースヘッドラインモード、コミュニケーションモードを切り替えます。

1 [⏏]で待受ウィンドウを表示→[✉]（切替）

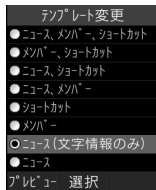
- [✉]（切替）を押すごとにモードが切り替わります。

ショートカットモードについて

ショートカットモードを設定する

ショートカットモードに表示する情報をテンプレートから選択することができます。ショートカットモードでは、ニュース、機能やYahoo!ケータイのブックマークのショートカット、S!ともだち状況を表示できます。

1 [キー]で待受ウィンドウを表示→[メール]（切替）でショートカットモードを表示

2 [Y!]→「テンプレート変更」

3 項目の選択操作

■ すべて表示したいとき
「ニュース、メンバー、ショートカット」

■ ショートカットと S! ともだち状況を表示したいとき
「メンバー、ショートカット」

■ ショートカットとニュースを表示したいとき
「ニュース、ショートカット」

■ S!ともだち状況とニュースを表示したいとき
「ニュース、メンバー」

■ いずれか1つだけ表示したいとき
「ショートカット」／「メンバー」／「ニュース（文字情報のみ）」／「ニュース」

- テンプレートを確認してから変更するときは、[メール]（プレビュー）を押してプレビューを表示し、[■]（選択）を押します。

ショートカットモードを利用する

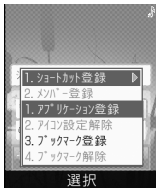
ショートカットに登録した機能やYahoo!ケータイのブックマークの利用や、受信したニュースの閲覧、S!ともだち状況メンバーの確認ができます。

1 [キー]で待受ウィンドウを表示→[メール]（切替）でショートカットモードを表示→利用したいショートカット／ニュース／S!ともだち状況を反転表示→[■]（選択）

ショートカットを登録／上書きする

ショートカットには、あらかじめアラームなどの機能やYahoo!ケータイのブックマークのアイコンが設定されています。すでにショートカットが設定されている場所に登録すると、上書きされます。

1. [待受]で待受ウィンドウを表示→[✉]（切替）でショートカットモードを表示→登録したい場所を反転表示

2. [Y!]→「ショートカット登録」

3. 設定の選択操作

■ 機能を登録するとき

「アプリケーション登録」→登録したい機能を反転表示→[✉]（保存）

■ Yahoo! ケータイのブックマークを登録するとき

「ブックマーク登録」→登録したいブックマークを選択→アイコンを選択

- 事前にYahoo!ケータイのブックマークを登録しておく必要があります。

ニュースヘッドラインモードについて

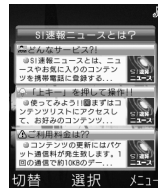
ニュースコンテンツを登録する

ニュースの一覧に表示されるコンテンツを登録します。

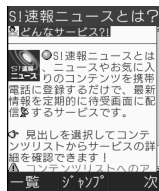
1. [待受]で待受ウィンドウを表示→[✉]（切替）でニュースヘッドラインモードを表示→登録したい欄を反転表示

2. [Y!]→「コンテンツ登録」→画面の指示に従い操作

1

準備／基礎知識

ニュースヘッドラインモードを利用する

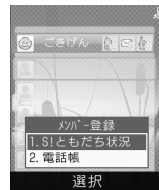
ニュースヘッドラインモードでは、ニュースコンテンツを確認することができます。

1 [key]で待受ウィンドウを表示→[key]（切替）でニュースヘッドラインモードを表示→確認したいニュースを選択

コミュニケーションモードについて

コミュニケーションモードでS!ともだち状況メンバーを登録する

登録済みのS!ともだち状況メンバーリストや電話帳から、メンバーを登録します。

1 [key]で待受ウィンドウを表示→[key]（切替）でコミュニケーションモードを表示→メンバーを登録したい欄を反転表示

2 [Y!]→「メンバー登録」

3 メンバーの登録操作

■ メンバーリストから登録するとき

「S!ともだち状況」→メンバーを選択

■ 電話帳から登録するとき

「電話帳」→電話帳を検索し、選択（➔P.2-22）→電話番号を選択

コミュニケーションモードを利用する

コミュニケーションモードでは、S!ともだち状況の情報を確認することができます。

1. [キー]で待受ウィンドウを表示→[キー]（切替）でコミュニケーションモードを表示→[キー]で確認したいメンバーのS!ともだち状況を反転表示

2. [キー]→「メンバーリスト詳細」

使いこなしチェック！

便利 （☞P.1-26）

- S!ともだち状況メンバーのアイコンを変更したい
- 待受ウィンドウの表示の設定をしたい
- ニュースコンテンツを手動で更新したい
- ニュースヘッドラインモードのコンテンツを削除したい
- ニュースコンテンツを自動更新したい
- わたしの状況を設定したい

設定

- 待受ウィンドウを設定／解除する（☞P.13-15）
- ショートカットモードを設定／解除する（☞P.13-15）
- 機能をショートカットに登録する（☞P.13-15）
- Yahoo!ケータイのブックマークをショートカットに登録する（☞P.13-15）
- ショートカットを解除する（☞P.13-16）
- ショートカットモードでS!ともだち状況メンバーをメンバーリスト登録する（☞P.13-16）
- ショートカットモードでS!ともだち状況メンバーを解除する（☞P.13-16）
- ショートカットモードでコンテンツを登録する（☞P.13-16）
- ショートカットモードからコンテンツを削除する（☞P.13-16）
- ショートカットモードでS!ループを登録する（☞P.13-16）
- ショートカットモードからS!ループを削除する（☞P.13-16）
- ショートカットモードの表示方法を変更する（☞P.13-16）
- ニュースタイトルの表示速度を変更する（☞P.13-16）
- ニュースの表示種別を変更する（☞P.13-16）
- ショートカットモードでニュース速報の更新間隔を設定する（☞P.13-17）
- ショートカットモードで一般コンテンツの自動更新を設定する（☞P.13-17）
- ショートカットモードでS!ループの自動更新を設定する（☞P.13-17）
- ニュースヘッドラインモードを設定／解除する（☞P.13-17）
- ニュースヘッドラインモードのコンテンツを追加する（☞P.13-17）
- ニュースヘッドラインモードのコンテンツを削除する（☞P.13-17）
- ニュースヘッドラインモードでニュース速報の更新間隔を設定する（☞P.13-17）
- ニュースヘッドラインモードで一般コンテンツの自動更新を設定する（☞P.13-17）
- ニュースヘッドラインモードでS!ループの自動更新を設定する（☞P.13-17）
- コミュニケーションモードを設定／解除する（☞P.13-18）
- S!ともだち状況メンバーをメンバーリストから追加登録する（☞P.13-18）
- S!ともだち状況メンバーを電話帳から追加登録する（☞P.13-18）
- S!ともだち状況メンバーを解除する（☞P.13-18）

便利

待受ウィンドウの操作に関する便利な機能

機能／Yahoo!ケータイのブックマークのショートカットを解除したい　[アイコン設定解除]／[ブックマーク解除]

[待受]で待受ウィンドウを表示→[メール]（切替）でショートカットモードを表示→登録を解除したい機能／Yahoo!ケータイのブックマークを反転表示→[Y!]→「ショートカット登録」→「アイコン設定解除」／「ブックマーク解除」→「はい」

ショートカットモードからS!ともだち状況メンバーを登録したい　[登録]

[待受]で待受ウィンドウを表示→[メール]（切替）でショートカットモードを表示→メンバーを登録したい場所を反転表示→[Y!]→「メンバー登録」→「登録」

■ **S!ともだち状況から登録するとき**

「S!ともだち状況」→メンバーを選択

■ **電話帳から登録するとき**

「電話帳」→電話帳を検索し、選択（➲P.2-22）→電話番号を選択

ショートカットモードからS!ともだち状況メンバーを解除したい　[設定解除]

[待受]で待受ウィンドウを表示→[メール]（切替）でショートカットモードを表示→解除したいメンバーのアイコンを反転表示→[Y!]→「メンバー登録」→「設定解除」→「はい」

ショートカットモードからS!速報ニュースのコンテンツを登録したい　[コンテンツ登録]

[待受]で待受ウィンドウを表示→[メール]（切替）でショートカットモードを表示→ニュースタイトルを反転表示→[Y!]→「S!速報ニュース登録」→「コンテンツ登録」→画面の指示に従い操作

ショートカットモードからS!速報ニュースのコンテンツを削除したい　[コンテンツ解除]

[待受]で待受ウィンドウを表示→[メール]（切替）でショートカットモードを表示→ニュースタイトルを反転表示→[Y!]→「S!速報ニュース登録」→「コンテンツ解除」

■ **1件削除するとき**

削除したいコンテンツを反転表示→[メール]（削除）→「はい」

■ **複数削除するとき**

[Y!]→「削除」→「複数」→削除したいコンテンツをチェック→[メール]（削除）→「はい」

■ **すべて削除するとき**

[Y!]→「削除」→「全件」→操作用暗証番号を入力→[■]（OK）→「はい」

ショートカットモードからS!ループを登録したい　[S!ループ登録]

[待受]で待受ウィンドウを表示→[メール]（切替）でショートカットモードを表示→ニュースタイトルを反転表示→[Y!]→「S!速報ニュース登録」→「S!ループ登録」→画面の指示に従い操作

ショートカットモードからS!ループを削除したい [S!ループ解除]

[待受]で待受ウィンドウを表示→[メール]（切替）でショートカットモードを表示→ニューススタイトルを反転表示→[Y!]→「S!速報ニュース登録」→「S!ループ解除」

■ **1件削除するとき**
削除したいS!ループの項目を反転表示→[メール]（削除）→「はい」

■ **複数削除するとき**
[Y!]→「削除」→「複数」→削除したいS!ループの項目をチェック→[メール]（削除）→「はい」

■ **すべて削除するとき**
[Y!]→「削除」→「全件」→操作用暗証番号を入力→[■]（OK）→「はい」

S!ともだち状況メンバーのアイコンを変更したい [アイコン変更]

[待受]で待受ウィンドウを表示→[メール]（切替）でショートカットモード／コミュニケーションモードを表示→登録されているS!ともだち状況メンバーのアイコンを反転表示→[Y!]→「アイコン変更」→アイコンの一覧から変更したいアイコンを選択

待受ウィンドウの表示の設定をしたい [待受ウィンドウ設定]

[待受]で待受ウィンドウを表示→[Y!]→「待受ウィンドウ設定」→設定したい項目を選択

- 次の項目を設定できます。設定できる内容は、「設定」の「待受ウィンドウ設定」と同じです（➔P.13-15）。
  - 「On/Off設定」
  - 「ショートカット設定」
  - 「ニュースヘッドライン設定」
  - 「コミュニケーション設定」

ニュースコンテンツを手動で更新したい [手動更新]

[待受]で待受ウィンドウを表示→[メール]（切替）でニュースヘッドラインモードを表示→ニュースコンテンツを反転表示→[Y!]→「手動更新」→「選択アップデート」／「全てアップデート」

ニュースヘッドラインモードのコンテンツを削除したい [コンテンツ解除]

[待受]で待受ウィンドウを表示→[メール]（切替）でニュースヘッドラインモードを表示→[Y!]→「コンテンツ解除」

■ **1件削除するとき**
削除したいコンテンツを反転表示→[メール]（削除）→「はい」

■ **複数削除するとき**
[Y!]→「削除」→「複数」→削除したいコンテンツをチェック→[メール]（削除）→「はい」

■ **すべて削除するとき**
[Y!]→「削除」→「全件」→操作用暗証番号を入力→[■]（OK）→「はい」

ニュースコンテンツを自動更新したい [自動更新設定]

[待受]で待受ウィンドウを表示→[メール]（切替）でニュースヘッドラインモードを表示→ニュースコンテンツを反転表示→[Y!]→「自動更新設定」

■ **ニュース速報の更新間隔を設定するとき**
「速報」→[■]（OK）→「1時間毎」／「2時間毎」／「4時間毎」／「8時間毎」／「自動更新しない」

■ **一般コンテンツの自動更新を設定するとき**
「一般」→[■]（OK）→「自動更新する」／「自動更新しない」

登録したメンバーに電話／メール／S!一斉トークをしたい

[ ]で待受ウィンドウを表示→[ ]（切替）でコミュニケーションモードを表示→S!ともだち状況メンバーを反転表示

■ **電話をかけるとき**

[ ]で[ ]を選択→「音声発信」／「TVコール発信」

■ **メールを送信するとき**

[ ]で[ ]を選択→「S!メール」／「SMS」（➔P.4-3 S!メールを送信する5、➔P.4-8 SMSを送信する5）

■ **S!一斉トークを発信するとき**

[ ]で[ ]を選択→[ ]（発信）（➔P.10-7）

- S!ともだち状況メンバーの応答ステータス欄に[ ]が表示されているときは発信できません。

わたしの状況を設定したい

［わたしの状況設定］

[ ]で待受ウィンドウを表示→[ ]（切替）でコミュニケーションモードを表示→[Y!]→「わたしの状況設定」→「表示」／「非表示」

共通機能／操作

2

共通機能／操作

機能の呼び出しかた

メインメニューから機能を呼び出す

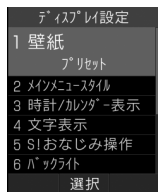
1 待受中に■

メインメニュー画面

2 目的の項目を反転表示→■（選択）

3 操作2を繰り返して、目的の機能を呼び出し

〈例〉「設定」から「ディスプレイ設定」を選択し、「壁紙」を選択する場合

「設定」を反転表示→■（選択）

「ディスプレイ設定」を反転表示→■（選択）

「壁紙」が反転表示されている状態で■（選択）

壁紙の設定画面が表示される

- メニュー操作を終了するには、[終話]を押します。メニュー操作を終了し、待受画面に戻ります。ただし、複数の機能を同時に使っている場合は、起動中のほかの機能に切り替わります。
- メニュー操作を途中でやめるには、[終話]を押します。設定中の内容を破棄して待受画面やもとの画面に戻ります。ただし、メニューによっては内容を破棄するかどうかの確認メッセージが表示されます。
- 「ポップアップメニュー」（➔P.13-22）を「On」に設定しているときは、操作2のあとに小項目が吹き出しで表示されます。表示は異なりますが、操作手順は同様です。
- メニュー項目画面や一覧画面に「1」「2」などの項目番号が表示されている場合は、この数字のダイヤルボタンを押すことにより、項目を選択できます。

待受中にショートカットキーで機能を呼び出す

ボタン	呼び出される画面
[メール]	メールメニュー
[メール]（1秒以上）	メールの作成画面
[Y!]	Yahoo!ケータイのメインメニュー
[Y!]（1秒以上）	Yahoo!ケータイメニュー
[文字]	メディアプレイヤーの音楽再生画面
[A/a]	スイッチバー
[下]	待受ウィンドウ
[上]	電話帳の検索画面
[上]（1秒以上）	電話帳の登録画面
[左]	着信履歴
[右]／[発信]	発信履歴
[CLEAR/メモ]	録音メッセージ再生画面
[CLEAR/メモ]（1秒以上）	簡易留守録の設定／解除
[＊]（1秒以上）	S!ともだち状況のわたしの状況詳細画面
[#]（1秒以上）	マナーモードの設定／解除
[サイドキー]	S!一斉トークのメンバーリスト
[カメラ]（2秒以上）	カメラの起動
[TV]	TVメニュー
[TV]（2秒以上）	テレビの起動

スイッチバーで機能を呼び出す

「マルチ検索」「発信」「メール」「Yahoo!ケータイ」「メディアプレイヤー」を呼び出すことができます。スイッチバーを使うと、音楽を聴きながらメールを作成したり、通話中にインターネットを利用するなど、複数の機能を切り替えながら利用できます。

1 待受中または操作中に[A/a]

2 [左右]で目的の機能を反転表示→[■]（選択）

- 起動中の機能を１つ終了するときは、終了する機能の画面を表示中に[終話]を押します。
- 起動中の機能をすべて終了するときは、[×]を反転表示して[■]（はい）を押します。

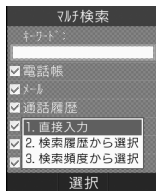
- 起動中の機能をすべて終了するときに、機能によっては終了するかどうかの確認メッセージが表示されることがあります。確認メッセージが表示されたときは、「はい」または「いいえ」を選択して終了します。
- メール作成中に他の機能を起動し、起動中の機能をすべて終了すると、他の機能を終了してメール作成画面に戻ります。

マルチ検索でキーワード検索する

820SC本体とメモリカード内のデータや機能をキーワードで検索できます。電話帳、メール、通話履歴、データフォルダ、メモ／スケジュール、メニューから検索します。

1 待受中または操作中に[A/a]

2 [◎]で「マルチ検索」を反転表示→[■]（選択）

3 検索したい機能をチェック→キーワード欄を選択

4 キーワードの入力操作

■ **直接入力するとき**

「直接入力」→キーワードを入力

■ **履歴から選択するとき**

「検索履歴から選択」→検索したい単語を選択

■ **よく検索する単語から選択するとき**

「検索頻度から選択」→検索したい単語を選択

5 [✉]（検索）

検索結果画面

6 820SC本体内での検索結果を確認

- [◎]でタブを切り替えて機能ごとの結果に切り替えることができます。
- 新しいキーワードで検索し直すときは、[Y!]を押して「新規検索」を選択します。

マルチ検索での検索方式

機能／検索対象		検索方式
電話帳		
	名前	姓、名またはヨミガナの始まりで検索（全／半角の区別なし）
	Eメールアドレス	「@」または「.」で区切られた部分の始まりで検索
	電話番号	番号の始まりまたは終わりから検索
メール		
	差出人／宛先	姓名またはEメールアドレスの始まりで検索
	件名	件名に含まれる単語の始まりから検索（ハングル検索不可）
通話履歴		
	電話番号	番号の始まりまたは終わりから検索
	名前	姓名の始まりで検索
データフォルダ		
	ファイル名、拡張子	ファイル名に含まれる文字または拡張子で検索
メモ／スケジュール		
	メモ帳、予定リスト／スケジュールの詳細	詳細の内容に含まれる単語の始まりで検索（ハングル検索不可）
メニュー		
	機能名	機能名の始まりで検索
メモリカード		
	ファイル名	ファイル名に含まれる文字で検索

- 検索結果を電話帳、メール、通話履歴、データフォルダ、メモ／スケジュール、メニューの各機能ごとにタブで表示します。検索結果の項目を選択してデータを表示したり、機能を利用したりできます。キーワードによっては、検索できないこともあります。
- メモリカードを取り付けているときに、820SC本体で検索したあとに[メール]（メモリカード）を押すと、メモリカード内のデータを検索することができます。
- メモリカードを取り付けているときに、820SC本体にキーワードに該当するデータまたは機能がない場合は、メモリカード内で検索するかどうかの確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると、メモリカード内で検索することができます。
- シークレットモードを設定しているデータは、検索できません。

使いこなしチェック！

便利 ☞P.2-40

- マルチ検索の結果からさらに絞り込んで検索したい
- マルチ検索の結果からメールを作成したい
- マルチ検索の結果から各機能を利用したい
- マルチ検索の結果の詳細を確認したい

共通の操作について

メニューを呼び出す

画面の右下に「メニュー」と表示されているときに[Y!]を押すと、メニューが表示されます。
メニューを実行するには、目的の項目を反転表示して[■]（選択）を押します。

複数の項目をまとめて選択／選択解除する

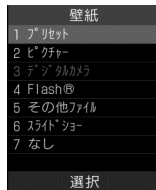
削除や移動など複数の項目を選択するときに、すべての項目をチェック／チェックを外すには[Y!]（全チェック）／[Y!]（全解除）を押します。

- 機能により、行える操作が異なります。
- 複数削除する場合にすべての項目をチェックしたときは、全件削除と同様に操作用暗証番号の入力が必要になります。

待受画面を設定する

ディスプレイの壁紙を設定する

データフォルダに保存されている静止画やアニメーション、スライドショーを設定できます。静止画を表示しないように設定することもできます。

1 [■]→「設定」→「ディスプレイ設定」→「壁紙」

2 壁紙の設定操作

■ データフォルダの画像を設定するとき
ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→[■]（設定）

■ スライドショーを設定するとき
「スライドショー」→（➔P.2-6 スライドショーを設定する ②）

■ 表示しないように設定するとき
「なし」

スライドショーを設定する

最大9枚の静止画を次々にスライド表示させる「スライドショー」を、壁紙に設定できます。

1 [■]→「カメラ」→「スライドショー」

❷ ■（追加）

❸ ファイルの保存場所を選択→設定したい画像をチェック→✉（完了）

❹ スライドショーの編集操作

■ **プレビューを見るとき**

✉（プレビュー）→「はい」（左右を切り取る）／「いいえ」（もとの縦横比率で表示）

■ **効果を設定するとき**

効果欄を反転表示→◀▶で設定を切り替え

■ **静止画１枚あたりの再生時間を変更するとき**

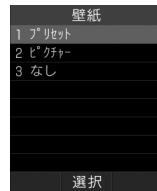
▲▼で切替時間欄を反転表示→◀▶で設定を切り替え

❺ ■（設定）→「はい」（左右を切り取る）／「いいえ」（もとの縦横比率で表示）

● **スライドショーのサイズ調整**
ディスプレイに大きく表示するには、操作❹で「はい」を選択します。もとの縦横比率のまま全体を表示するには、「いいえ」を選択します。

サブディスプレイの壁紙を設定する

保存されている静止画を表示できます。

❶ ■→「設定」→「ディスプレイ設定」→「サブディスプレイ」→「壁紙」

❷ ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択

■ **位置を調節するとき**

✥で切り取る位置を調節

■ **サイズを調節するとき**

✉（ズームアウト）／Y!（ズームイン）でサイズを調節

❸ ■（切り取り）→■（設定）

使いこなしチェック！

便利 ☞P.2-41

設定

- ディスプレイの壁紙の設定を変更する（☞P.13-21）

表示画面をアレンジする

820SCの表示画面を、すでに発売済みのソフトバンク携帯電話またはその他の携帯電話の操作イメージに変更できます。

- 以前お使いの機種と近い操作感覚で820SCをご利用いただけます。

注意

- **S!おなじみ操作は、既存機種と完全に同じ操作、画面表示に変更するわけではありません。**

S!おなじみ操作をダウンロードする

利用したい機種のコンテンツをS!おなじみ操作提供サイトからダウンロードします。

1 ■→✉（スタイル）→「S!おなじみ操作」

2 「S!おなじみ操作ダウンロード」

- インターネット上のS!おなじみ操作提供サイトの画面の指示に従って操作してください。

S!おなじみ操作を設定する

設定する前に、あらかじめ利用する機種のS!おなじみ操作のコンテンツをダウンロードしてください。

1 ■→✉（スタイル）→「S!おなじみ操作」

2 S!おなじみ操作のコンテンツを反転表示→■（適用）→■（OK）

S!おなじみ操作を解除する

1. ■→「設定」→「ディスプレイ設定」→「S!おなじみ操作」

2. 設定しているS!おなじみ操作のコンテンツを反転表示

3. ■（解除）→「はい」

●S! おなじみ操作を設定中に、設定されたコンテンツのメインメニューからY!を押し、表示されたメニューからS!おなじみ操作を一時的に解除することもできます。

注意

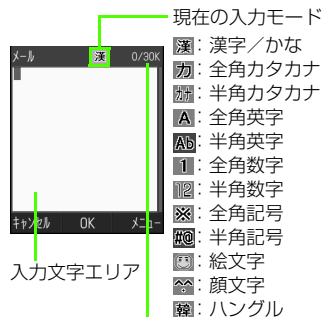
●**S!おなじみ操作を設定時の画面では、文字サイズ（****➲P.13-21、13-22****）の設定内容は反映されません。また、英語や韓国語表示（****➲P.13-23****）の設定は反映されません。**

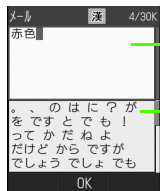
文字入力について

漢字、ひらがな、カタカナ（全角／半角）、英数字（全角／半角）、記号（全角／半角）、絵文字、顔文字、ハングルを入力できます。

文字入力画面の見かた

現在の入力モード

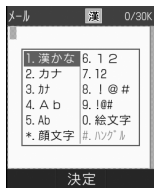
漢：漢字／かな
カ：全角カタカナ
ｶﾅ：半角カタカナ
A：全角英字
Ab：半角英字
1：全角数字
12：半角数字
※：全角記号
#@：半角記号
絵：絵文字
顔：顔文字
韓：ハングル

入力文字エリア

入力した文字数（バイト）／入力可能な文字数（バイト）

※ 候補表示エリアは、全角および半角のカタカナ、英字、数字の各入力モードでは表示されません。予測入力の機能を解除すると、漢字／かな入力モードでは［変換］（変換）や［Y!］（英数カナ）で文字を変換したときに表示されます。

- 文字の入力中や編集中に音声電話やTVコールがかかってきたときは、そのまま応答してください。通話が終了すると、もとの文字入力画面に戻ります。アラーム通知が起動した場合も、アラーム通知を終了させるともとの画面に戻ります。
- 日時設定の日付欄やアラームの時刻欄など数字しか入力できない場合は、文字入力画面には切り替わりません。登録、設定画面の入力欄に数字を直接入力します。

入力モードを切り替える

使用できる入力モードは、状況によって制限されます。

1 文字入力画面で［文字］

2 切り替えたい入力モードを選択

- 文字入力画面で［#］を押すと記号、［*］を押すと絵文字、顔文字に切り替わります。

使いこなしチェック！

設定

- S!おなじみ入力の設定をする（☞P.13-24）

文字の入力方法について

ひらがな／漢字を入力する

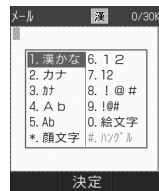
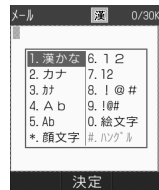
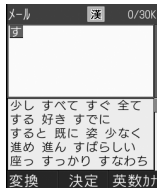
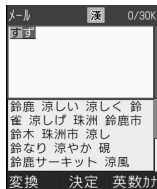
候補表示エリアに表示される予測候補を使って簡単に入力できます。予測候補を使わずに、入力したひらがなを目的の文字に変換することもできます。候補表示エリアにカタカナや絵文字などが表示されたときは、これらの文字も入力できます。
ここでは例として、「鈴木」と入力します。

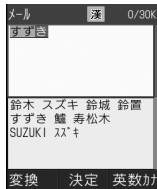
1 文字入力画面で［文字］

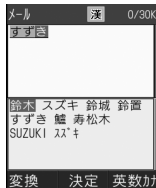
2 「漢かな」

3

- 「す」と入力されます。

4 →3（3回）→

- 「ず」と入力されます。

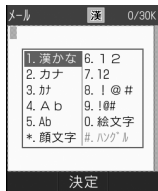
5 2（2回）

- 「き」と入力されます。

6

7 予測候補から「鈴木」を反転表示→■（決定）

- 「゛」や「゜」を付ける場合は、濁点や半濁点を付けるひらがなを入力したあと、＊を押します。
- 「っ」などの小文字を入力する場合は、小文字にするひらがなを入力したあと、#を押します。
- ボタンを押し間違えた場合はCLEARを押して文字を消し、もう一度ボタンを押します。
- ボタンを押しすぎた場合は⌒を押して、同じボタンの1つ前の割り当て文字に戻ります。
- 続けて同じボタンの文字を入力する場合は、▶を押してカーソルを右に移動します。

- ひらがなで決定する場合は、■（決定）を押します。
- 目的の予測候補が表示されていない場合は、✉（変換）→必要に応じて◀▶で変換する範囲を変更→▼でカーソルを候補表示エリアに移動→目的の変換候補を反転表示→■（決定）→同じ操作を繰り返してすべての文字を決定する操作をします。
- 目的の漢字に変換されないときは、漢字の読みかたを変えて入力してください。一度に変換できない2文字以上の漢字は、変換する範囲を1文字に変更して変換してください。
- 候補表示エリアに予測候補が表示されているときに✉（変換）を押すと変換候補が、変換候補が表示されているときに✉（予測）を押すと予測候補が表示されます。

カタカナ／英字／数字を入力する

1 文字入力画面で[文字]

2 入力モードを選択

3 文字を入力

- 「゛」や「゜」を付ける場合は、濁点や半濁点を付けるカタカナを入力したあと、[＊]を押します。
- 大文字／小文字を切り替える場合は、カタカナ／英字を入力したあと、[A/a]を押します。
- ボタンを押し間違えた場合は[CLEAR]を押して文字を消し、もう一度ボタンを押します。
- ボタンを押しすぎた場合は[終話]を押して、同じボタンの１つ前の割り当て文字に戻ります。
- 続けて同じボタンの文字を入力する場合は、[右]を押してカーソルを右に移動します。
- 漢字／かな入力モードで、文字を入力して[Y!]（英数カナ）を押すとカタカナ／英字／数字に変換できます。例として、「くも」と入力して[Y!]（英数カナ）を押すと、カタカナの「クモ」や英字の「C」、数字の「22277777」が変換候補として表示されます。

記号を入力する

1 文字入力画面で[#]

- 入力したい記号が表示されるまで[#]／[Y!]を押します。

2 候補表示エリアで目的の文字を反転表示→[■]（決定）

- 記号を続けて入力するときは、[■]（決定）の代わりに[✉]（連続）を押します。

- 全角記号を一度入力すると履歴が残り、候補表示エリアの記号の前に履歴が表示されます。[#]を押すごとに、全角記号の履歴→全角記号→半角記号の順で候補が表示されます。ただし、入力モードが半角カタカナ、半角英字、半角数字、ハングルの場合は、候補の表示は全角記号の履歴→半角記号→全角記号の順になります。

●漢字／かな入力モードで、文字を入力して[✉]（変換）を押すと記号に変換できます。例として、「てん」と入力して[✉]（変換）を押すと、記号の「・」や「･･･」が変換候補として表示されます。

絵文字／顔文字を入力する

1 文字入力画面で[*絵]

2 候補表示エリアで目的の文字を反転表示→[■]（決定）

●絵文字または顔文字を続けて入力するときは、[■]（決定）の代わりに[✉]（連続）を押します。

●絵文字を一度入力すると履歴が残り、候補表示エリアの絵文字の前に履歴が表示されます。[*絵]を押すごとに、絵文字の履歴→絵文字→顔文字の順で候補が表示されます。

●漢字／かな入力モードで、「はーと」や「でんわ」と入力して[✉]（変換）を押すと、絵文字に変換できます。同様に、「わーい」や「えーん」などを顔文字に変換することもできます。

改行する

改行の操作は、どの入力モードでも同じです。

1 文字入力画面で[#記号]

2 改行記号を選び[■]（決定）

●文末で[↓]を押しても改行できます。

●入力画面によっては、改行の操作ができない場合があります。

ハングル入力する

1 文字入力画面で [文字] →「ハングル」

2 文字を入力

●画面に表示された文字に対応する数字を押して、子音と母音を組み合わせて文字を入力します。

子音の入力例	
ㄱ	[4] (1回押す)
ㅋ	[4] (2回押す)
ㄲ	[4] (3回押す)
母音の入力例	
아	[0][1] (ㅣ)、[2] (・)
어	[0][2] (・)、[1] (ㅣ)
오	[0][2] (・)、[3] (ー)
야	[0][1][2][2]
여	[0][2][2][1]
요	[0][2][2][3]
왜	[0][2] (・)、[3] (ー)、[1] (ㅣ)、[2] (・)、[1] (ㅣ)

●S! メールでは受信したメールのハングルを表示できますが、S! メールの入力画面でハングルを入力することはできません。

文字を消去/編集する

1 消去する文字に [十字キー] でカーソルを合わせ [CLEAR/メモ]

●カーソル上に文字がない場合は、カーソルの左側の1文字が消去されます。

●カーソル以降の文字をすべて消去するには、[CLEAR/メモ] を1秒以上押します。カーソル以降に文字がない場合は、すべての文字が消去されます。

使いこなしチェック！

便利 ☞P.2-41

- 定型文を削除したい
- 範囲を指定して文字のコピー/カットをしたい
- コピー/カットした文字を貼り付けたい
- 文字をもとに戻したい
- カーソルを先頭/最後に移動したい
- 登録した定型文を引用したい

●電話帳にEメールアドレスやURLを登録するときに簡単に入力したい

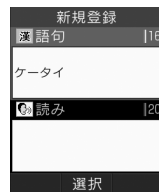
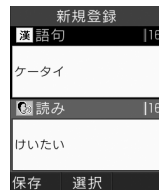
設定

●文字入力履歴をリセットする（☞P.13-25）

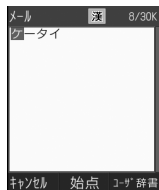
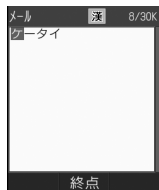
ユーザ辞書を利用する

よく使う単語や文（最大20文字）をユーザ辞書に登録しておくと、「読み」を入力しただけで目的の単語や文が候補表示エリアに表示され、入力が簡単になります。

1 ■→「設定」→「一般設定」→「ユーザ辞書」→「新規登録」

2 語句欄を選択→単語や文を入力

3 読み欄を選択→文字を入力

4 ✉（保存）

入力した文字をユーザ辞書に登録する

1 文字入力画面で [Y!] →「ユーザ辞書登録」

2 登録する文字の先頭に [十字] でカーソルを合わせ [■]（始点）

- ユーザ辞書のメニューを表示して登録済みの内容を確認するときは、[Y!]（ユーザ辞書）を押します。

3 [十字] で範囲を指定→ [■]（終点）

4 読み欄を選択→文字を入力

5 [✉]（保存）

- 改行を含む範囲を指定すると、改行前までの文字列が語句に登録されます。
- 操作2で[Y!]（ユーザ辞書）を押して「辞書編集」を選択すると、現在登録されている単語の一覧が表示されます。

使いこなしチェック！

便利 ☞P.2-42

- ユーザ辞書の登録時に予測入力機能を設定／解除したい

設定

- ユーザ辞書を登録する（☞P.13-24）
- ユーザ辞書の登録内容を編集する（☞P.13-24）
- ユーザ辞書の登録内容を削除する（☞P.13-24）
- 文字入力履歴をリセットする（☞P.13-25）

電話帳について

電話帳に登録できる項目について

820SC本体には最大1,000件の電話帳を登録できます。USIMカードに登録できる件数は、カードの種類によって異なります。USIMカードの電話帳は、カードを差し替えることにより、ほかのソフトバンク携帯電話でも利用できます。
1件の電話帳に登録できる内容は次のとおりです。

項目／内容	登　録
名前／姓	
全角／半角文字（USIMカードには「名前」として登録）	820SC本体：○（50バイトまで） USIMカード：○[2]
名前／名	
全角／半角文字（USIMカードには「名前」として登録）	820SC本体：○（50バイトまで） USIMカード：○[2]
ヨミガナ／姓	
半角文字（USIMカードには「ヨミガナ」として登録）	820SC本体：○（50バイトまで） USIMカード：○[2]
ヨミガナ／名	
半角文字（USIMカードには「ヨミガナ」として登録）	820SC本体：○（50バイトまで） USIMカード：○[2]
電話番号	
市外局番も含めて登録	820SC本体：○（32バイトまでで5件） USIMカード：○[1 2]
電話番号アイコン	
7種類から選択	820SC本体：○ USIMカード：×（1種類のみ）
Eメールアドレス	
半角英数字	820SC本体：○（128バイトまでで5件） USIMカード：○[2]（1件）
Eメールアドレスアイコン	
4種類から選択	820SC本体：○ USIMカード：×（1種類のみ）
フォト	
音声電話、TVコールの着信時に表示させる静止画。データフォルダからの選択やカメラでの撮影が可能	820SC本体：○ USIMカード：×
着信音設定	
音声電話／TVコール／メール／S!ともだち状況／S!一斉トークの着信音。データフォルダからの選択が可能	820SC本体：○ USIMカード：×
バイブ設定	
音声電話／TVコール／メール／S!ともだち状況／S!一斉トークのバイブレータを設定	820SC本体：○ USIMカード：×
グループ	
20個の中から選択	820SC本体：○ USIMカード：○[1]
シークレットモード	
On/Off	820SC本体：○ USIMカード：×

項目／内容		登　録
誕生日		
	生年月日	820SC本体：○
		USIMカード：×
血液型		
	4種類から選択	820SC本体：○
		USIMカード：×
趣味		
	100バイトまで	820SC本体：○
		USIMカード：×
会社		
	64バイトまで	820SC本体：○
		USIMカード：×
役職		
	64バイトまで	820SC本体：○
		USIMカード：×
住所		
	郵便番号は40バイトまで、国名は64バイトまで、都道府県名、市町村名、番地、追加情報は128バイトまで	820SC本体：○（2件）
		USIMカード：×

項目／内容		登　録
ホームページ		
	1024バイトまで	820SC本体：○（2件）
		USIMカード：×
ホームページアイコン		
	3種類から選択	820SC本体：○
		USIMカード：×
メモ		
	512バイトまで	820SC本体：○
		USIMカード：×

1 登録できる件数は、USIMカードの種類によって異なります。
2 登録できる文字数は、USIMカードの種類によって異なります。

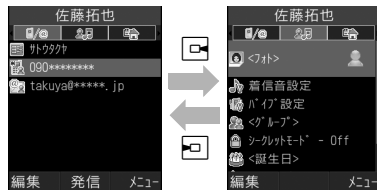
- USIMカードを差し替えて初めて電話帳を利用すると、USIMカードの電話帳の内容を820SC本体にコピーするかどうかの確認メッセージが表示され、「はい」を選択するとコピーが開始されます。

注意

- **大切なデータを失わないために**
  電話帳に登録した電話番号や名前などは、電池パックを長い間外していたり電池残量のない状態で放置したりすると、消失または変化してしまうことがあります。事故や故障でも同様の可能性があります。大切な電話帳などは、控えをとっておかれることをおすすめします。電話帳が消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

電話帳の各項目のタブを切り替える

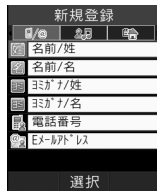
820SC本体の電話帳の各項目は、3つのタブに分かれています。タブを切り替えることで情報を確認することができます。

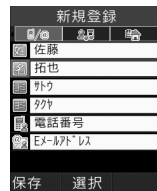
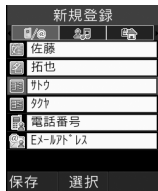
1 ［ ］→電話帳を検索し、選択（➔P.2-22）→［ ］で各項目のタブを切り替え

電話帳に登録する

お買い上げ時の電話帳の保存先は「本体」になっていますが、あらかじめ設定するとUSIMカードを常に保存先に指定することもできます（➔P.13-15）。

電話帳の登録画面

ここでは例として、820SC本体に姓名、ヨミガナ、電話番号、Eメールアドレスを登録します。

1 （新規）

2 名前／姓欄を選択→名字を入力

3 名前／名欄を選択→名前を入力

4 ヨミガナ／姓欄を選択→必要に応じて名字のヨミガナを編集

5 ヨミガナ／名欄を選択→必要に応じて名前のヨミガナを編集

6 電話番号欄を選択→電話番号を入力→アイコンを選択

7 Eメールアドレス欄を選択→Eメールアドレスを入力→アイコンを選択

8 [メールキー]（保存）

- **電話番号欄に入力できる内容は**
  電話番号には、0～9の数字のほか、#、*、-、P（ポーズ）、+（国際コード）を登録できます。*、-、Pは[*キー]を押すごとに切り替わります。「+」を入力するには、[0キー]を1秒以上押します。
- メモリカードに保存されているファイルを着信画像や着信音などに設定すると、ファイルを820SC本体にコピーしてから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。著作権保護ファイルの場合は、移動してから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると設定が完了します。
- Samsung PC Studioで電話帳を同期すると、「シークレットモード-On」に設定されている電話帳は、同期されません（パソコン側にバックアップされません）。シークレットモードを「シークレットモード-Off」から「シークレットモード-On」に変更した電話帳は、「シークレットモード-On」に設定して同期した時点から同期されなくなります。パソコン側でも削除されます。Samsung PC Studioについては、付属のCD-ROMのユーザーズガイドを参照してください。

通話履歴から登録する

通話履歴に記録されている電話番号を新規登録したり、既存の電話帳へ追加登録したりできます。

1

（着信履歴）／（発信履歴）

2 登録したい履歴を反転表示→[Y!]→「電話帳登録」

3 登録方法の選択操作

■新しい電話帳に登録するとき

「新規」

■既存の電話帳に追加登録するとき

「更新」→電話番号を登録する電話帳を検索し、選択（➲P.2-22）

4 各項目を登録するには、「電話帳に登録する」の操作2～8（➲P.2-19）を行う

使いこなしチェック！

便利 ☞P.2-43

- 電話帳からメールを作成したい
- 電話帳からスピードダイヤルに追加したい
- 電話帳からS!ともだち状況メンバーに追加したい
- S!ともだち状況を表示したい
- USIMカードのグループを作成したい
- グループにメンバーを追加したい
- グループからメンバーを削除したい
- 自分の電話番号を通知するかどうかを設定して電話をかけたい
- 電話帳をvファイルに変換して送信したい
- vファイルを作成して「その他ファイル」フォルダに保存したい
- 820SC本体とUSIMカードとの間で電話帳をコピーしたい
- 登録内容をコピーしたい
- 優先的に使用する電話番号やEメールアドレスを用途ごとに設定したい
- 電話帳の詳細をBluetooth®対応のプリンタで印刷したい
- USIMカードに保存されているサービス番号を表示したい
- 電話帳のシークレット設定を一時的に解除したい
- メモリ使用状況を確認したい
- 電話番号を入力してから登録したい
- グループ名を編集したい

設定

- 優先的に登録される電話帳を変更する（☞P.13-15）
- 優先的に表示される電話帳（820SC本体／USIMカード）を変更する（☞P.13-15）
- 電話帳の検索方法を切り替える（☞P.13-15）
- 電話帳のバックアップをとる（☞P.13-15）
- 電話帳の文字サイズを変更する（☞P.13-15）
- 電話帳のメニュー文字サイズを変更する（☞P.13-21）
- スピード検索の設定をする（☞P.13-25）

電話帳から電話をかける

電話帳を検索する

ここでは例として、あかさたなで検索します。

1

電話帳の一覧画面

- 一覧画面で[Y!]→「設定」→「検索方法」を選択することで、電話帳の検索方法を変更できます。変更した設定は保存されます。

2 [◁▷]で目的の行に切り替え

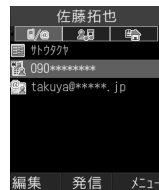
- カナ欄に名前（先頭の一部でもよい）を入力しても検索することができます。

3 [▲▼]で表示された一覧から目的の電話帳を確認

- 詳細画面を表示するときは、[■]（詳細／選択）を押します。

- 「シークレットモード」の設定が「表示しない」のとき、「シークレットモード-On」に設定されている電話帳は表示されません。検索する場合は、電話帳の検索画面で[Y!]を押して「シークレット一時解除」を選択し、一時的にシークレットモード設定を表示してください。

電話帳から電話をかける

1 [▽]→一覧画面で目的の電話帳を反転表示→[■]（詳細）→目的の電話番号を反転表示

電話帳の詳細画面

② 電話の発信操作

■ 音声電話をかけるとき

■（発信）→「音声発信」

■ TVコールをかけるとき

■（発信）→「TVコール発信」

■ S!一斉トークを発信するとき

■（発信）→「S!一斉トーク発信」→（➲P.10-7 S!一斉トークを発信する③）

■ 国際電話をかけるとき

■（発信）→「国際発信」（➲P.3-23 日本から国際電話をかけたい）

- 一覧画面で目的の電話帳を反転表示して Y! を押し、「発信」を選択後に「音声発信」／「TVコール発信」／「S!一斉トーク発信」／「国際発信」を選択してもかけることができます。1つの電話帳に複数の電話番号が登録されている場合は、「優先電話番号設定」で設定されている電話番号（未設定の場合は1件目の電話番号）に発信します。電話番号の選択画面が表示されたとき（「優先電話番号設定」が「設定なし」の場合）は、電話番号を選択してください。

- **スピード検索と検索結果からの発信**
  「スピード検索設定」（➲P.13-25）を「On」に設定しているときは、ダイヤルボタンの数字を押すと、その数字に割り当てられた文字に対応する「ヨミガナ」を先頭にもつ電話帳を検索し、名前と電話番号を表示します。電話番号を反転表示して ⌒ または ■（選択）を押したあと ■（発信）を押すと音声電話、Y! を押して「TVコール」を選択するとTVコールをかけることができます。

- **電話番号検索と検索結果からの発信**
  4桁の数字を入力すると、その番号を先頭または末尾にもつ電話帳を検索し、名前と電話番号を表示します。「スピード検索設定」を「On」に設定していて、該当する電話帳が検索されたときは、◀▶ を押すと、電話番号検索とスピード検索の検索結果を切り替えることができます。電話番号を反転表示して ⌒ または ■（選択）を押したあと ■（発信）を押すと音声電話、Y! を押して「TVコール」を選択するとTVコールをかけることができます。

電話帳の検索方法を切り替える

待受画面で ⌸ を押したとき、指定した検索画面を表示するように設定できます。

① ⌸ → Y! →「設定」→「検索方法」

② 「あかさたな」／「ヨミガナ」／「グループ」

- 「あかさたな」に設定した場合は、待受画面で ⌸ を押すと一覧画面が表示されます。それ以外の項目に設定した場合は、設定した検索画面が表示されます。
- 「シークレットモード-On」に設定されている電話帳は表示されません。検索する場合は、電話帳の検索画面で Y! を押して「シークレット一時解除」を選択し、一時的にシークレットモード設定を表示してください。

電話帳を削除する

電話帳を1件削除する

❶ [キー]→削除したい電話帳を一覧画面で反転表示

❷ [Y!]→「削除」→「1件」→「はい」

●詳細画面から削除するときは、操作❶のあと、[■]（詳細）→[Y!]→「削除」→「はい」を選択します。

電話帳を複数削除する

❶

❷ [Y!]→「削除」→「複数」

❸ 削除したい電話帳をチェック

❹ [✉]（削除）→「はい」

電話帳をすべて削除する

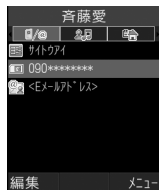
820SC本体またはUSIMカードに保存されている電話帳をまとめて削除できます。

❶ [キー]

❷ [Y!]→「削除」→「全件」

❸ 操作用暗証番号を入力→[■]（OK）→「はい」

オーナー情報について

ご使用のUSIMカードに登録されている電話番号を確認できます。ご自分の名前やEメールアドレス、住所なども登録できます。

- 待受画面で■を押し、「電話帳」→「オーナー情報」を選択しても同じ操作を行うことができます。

使いこなしチェック！

便利 ☞P.2-47

- オーナー情報をvファイルに変換して送信したい
- オーナー情報をリセットしたい
- vファイルを作成してオーナー情報をデータフォルダに保存したい
- オーナー情報の項目をコピーしたい
- Bluetooth®対応のプリンタでオーナー情報を印刷したい

データフォルダについて

データフォルダは、いろいろなデータを一括管理する機能です。

データフォルダの構成について

あらかじめ12個の種別フォルダが用意されています。各機能でデータを作成したり、Bluetooth®通信やインターネット、メールなどからデータを入手すると、ファイル形式に応じた種別フォルダに保存されます（下記参照）。
あらかじめ用意されている種別フォルダ内にサブフォルダを作成することもできます。

あらかじめ用意されている種別フォルダ

データフォルダ
- ピクチャー
- マイ絵文字
- 着うた・メロディ
- S!アプリ
- ミュージック
- ムービー
- ブック
- S!おなじみ操作
- S!メールテンプレート
- Flash®
- 着信音 Flash®
- その他ファイル
- メモリ容量確認

フォルダ／概要	ファイル形式[1]
ピクチャー	
820SCで撮影した静止画などの画像ファイルを保存	JPEG、BMP、GIF、WBMP、PNG、Animation GIF
デジタルカメラ	
820SCで撮影した静止画を保存（メモリカードを取り付けているときのみ保存可能）	JPEG
マイ絵文字	
ダウンロードした絵文字を保存	GIF、GPK
着うた・メロディ	
ダウンロードしたメロディや、ボイスレコーダーで録音した音声などのファイルを保存	SMAF/MIDI/SP-MIDI、MPEG4 Audio、AMR、SMF、Mobile XMF
S!アプリ	
S!アプリを保存	JAVA

2 共通機能／操作

フォルダ／概要		ファイル形式[1]
ミュージック		
	ダウンロードした着うたフル®を保存	MPEG4 Audio（mp4、m4a、aac、3gp）、smc
ムービー		
	820SCで撮影した動画などのファイルを保存	MPEG4（mp4、3gp）、H.263、H.264
ブック		
	ダウンロードした電子コミックや、電子写真集などのファイルを保存	CCF
S!おなじみ操作		
	ダウンロードした他機種のメインメニュー操作を保存	UIE
S!メールテンプレート		
	S!メールで作成したテンプレート	HMT
Flash®		
	Flash®ファイルを保存	SWF
着信音Flash®		
	ダウンロードした着信音に設定できるFlash®ファイルのみ保存	SWF
その他ファイル		
	表示の際にファイルビューアが必要なドキュメント、グラフィックスのほか、vファイル[2]などを保存	SVG、SVGZ、vCard、vCalendar、vBookmark、PDF、XLS、DOC、PPT、TXT、HTML、非サポートファイル

1 ファイル形式に応じて振り分けられます。対応していないファイルは、フォルダ間の移動や保存ができません。

2 vファイルとは、電話帳などの情報をインターネット経由で交換するためのファイル形式の規格です。820SCでは、電話帳の情報を交換するためのvCard（拡張子：vcf）、スケジュール／予定リストの情報を交換するための vCalendar（拡張子：vcs）、ブックマークの情報を交換するためのvBookmark（拡張子：vbm）のファイル形式を利用できます。

- 1件の種別フォルダ内には、フォルダとファイルを合わせて最大999件保存できます。
- 「メモリ容量確認」を選択すると、データフォルダのフォルダごとのメモリ使用状況を確認できます。「設定」からも同じ操作を行うことができます（➔P.2-39）。
- データフォルダで（メモリカード）を押すと、メモリカードのデータフォルダに切り替わり、フォルダにが表示されます。（本体）を押すと、820SC本体のデータフォルダに戻ります。
- 種別フォルダ内に表示されるは、ダウンロードサイトへのショートカットです。選択すると、インターネット上のダウンロードサイトに接続できます。

ファイルを確認する

1 ■→「データフォルダ」

2 ファイルの保存場所を選択

3 一覧画面でファイルを反転表示→■（表示／再生／選択／起動）

- ファイルの一覧に表示されるアイコン
  - ：転送不可
  - ：転送不可かつ利用不可
  - ：保護あり
  - ：著作権保護ファイル（転送可、コンテンツ・キー有効）
  - ：著作権保護ファイル（転送可、コンテンツ・キー期限切れ）
  - ：著作権保護ファイル（転送不可、コンテンツ・キー有効）
  - ：著作権保護ファイル（転送不可、コンテンツ・キー期限切れ）
  - ：壁紙の設定あり（➲P.2-51）
  - ：着信音の設定あり（➲P.2-51）
- 他のUSIMカードを取り付けた場合は、S!アプリは起動できません。また、プリインストール以外の転送不可ファイルと著作権保護ファイルは利用できません。

- **データフォルダからのカメラ／ボイスレコーダー起動**
  「ピクチャー」フォルダを反転表示するか、820SCで撮影した画像ファイルを反転表示して[Y!]を押し、「カメラ起動」を選択すると、静止画撮影モードのカメラが起動します。同様に、「ムービー」フォルダを反転表示するか、820SCで撮影した動画ファイルを反転表示して[Y!]を押し、「ビデオカメラ起動」を選択すると、動画撮影モードのカメラが起動します。
  「着うた・メロディ」フォルダを反転表示するか、820SCで録音した音声ファイルを反転表示して[Y!]を押し、「ボイスレコーダー起動」を選択したときは、ボイスレコーダーが起動します。

注意

- ファイルのサイズが 3M バイトを超えるファイルや、解像度が1600×1600を超えるファイルは、編集およびズームの操作ができません。また、1.3Mバイトを超えるファイルは着信画像や代替画像に設定できません。ただし、解像度が2560×2560以下のJPEGファイルは、編集およびズームが可能です。
- 音楽の再生中は、「ムービー」フォルダの一覧画面などに、ムービーのサムネイルは表示されません。

ピクチャーブラウザで画像ファイルを確認する

静止画は、標準表示／全画面表示で確認できます。
横長の静止画は、全画面表示にすると自動的に回転し、大きく表示されます。

標準表示

全画面表示

❶ ■→「データフォルダ」

❷「ピクチャー」

❸ 一覧画面でファイルを反転表示→■（表示）

- 全画面表示で確認するには■（全画面）を押します。もとの表示に戻るときには[CLEAR/メモ]を押します。

❹ [方向キー]で画像を移動

- データによっては、表示されない場合があります。
- 「ピクチャー」フォルダの一覧画面で画像ファイルを選択すると、自動的にピクチャーブラウザが起動します。
- 「人物別」では、顔リンクを設定された写真別に画像が並びます。

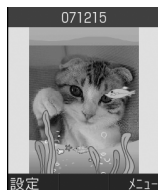
ピクチャーブラウザの画像を並べ替える

ピクチャーブラウザに表示される画像の並びかたを選択できます。
- フォルダ別（保存したフォルダごとに表示）
- 構図別（画像の構図ごとに表示）
- カラー別（画像全体の色ごとに表示）
- 日付別（撮影した日付順に表示）
- 人物別（顔リンクを設定した写真ごとに表示）

❶ ファイルの確認操作（➲P.2-28 ピクチャーブラウザで画像ファイルを確認する）

2 [key]で並びかたを選択

SVG-T/Flash®ビューアでグラフィックス／アニメーションを確認する

グラフィックスやアニメーションは、標準表示または全画面表示で確認できます。どちらの表示でも、メニューやショートカット（ボタン操作）を使って画面を操作できます。

標準表示　　全画面表示

1 [■]→「データフォルダ」

2 ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択

- データフォルダ内のSVG、SVGZ、SWF形式のファイルを確認できます。
- データによっては、表示されない場合があります。
- データフォルダの一覧画面でこれらのファイルを選択すると、自動的にSVG-T/Flash®ビューアが起動します。
- 画像を壁紙に設定するには、標準表示で[✉]（設定）を押すか、全画面表示で[Y!]を押して「設定」を選択し、「壁紙（メインディスプレイ）」を選択します。

使いこなしチェック！

便利 ☞P.2-48

- 画像を自動的に切り替えながら確認したい
- ファイルに含まれているリンク情報のサイトへアクセスしたい
- ファイルやフォルダの詳細を確認したい
- データフォルダの表示をメモリカード／820SC本体に切り替えたい

ファイル／フォルダの管理

フォルダを作成する

種別フォルダ内にサブフォルダを作成できます。
自分で作成したサブフォルダに「シークレット設定」を設定すると、非表示にできます。

1. ■→「データフォルダ」

2. サブフォルダを作成したい種別フォルダを選択

3. Y!→「データ管理」→「フォルダ作成」

4. 名前を入力

- サブフォルダの中にサブフォルダを作成することはできません。
- 「シークレットデータフォルダ」を「表示する」にすると、「シークレット設定」を設定しているフォルダが表示されます。

ファイル名／フォルダ名を編集する

1. ■→「データフォルダ」

2. 種別フォルダを選択→名前を編集したいファイル／サブフォルダを反転表示

3 [Y!]→「データ管理」→「ファイル名変更」／「フォルダ名変更」

4 名前を入力

- S! メールテンプレートの名前を変更するときは、「テンプレート名変更」を選択して名前を入力します。

- ファイルが保護されていると、ファイル名を編集できません。

ファイル／フォルダを移動する

メモリカードを取り付けているときは、820SC本体とメモリカードの間でもファイル／フォルダ移動ができます。

1 [■]→「データフォルダ」

2 種別フォルダを選択→移動したいファイル／サブフォルダを反転表示

3 [Y!]→「移動」

4 ファイル／フォルダの移動操作

■ 1件移動するとき
「1件」

■ 複数移動するとき
「複数」→移動したいファイル／サブフォルダをチェック→[✉]（移動）

■ 同一フォルダ内のすべてのファイル／すべてのサブフォルダを移動するとき
「全件」

5 移動先のフォルダを選択→「ここに移動」

- メモリカードを取り付けているときは、「本体」／「メモリカード」を選択してから移動先のフォルダを選択します。

- ファイルが保護されていると、移動できません。
- 移動先にすでに同名のファイル／フォルダがあったときは、移動するファイルまたはフォルダの名前を編集する必要があります。表示された文字入力画面に新しい名前を入力してください。
- 壁紙や着信音などに設定しているファイルをメモリカードへ移動するときは、確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると設定は解除され、移動が完了します。複数または全件移動するときに「いいえ」を選択すると、設定されていないファイルのみを移動します。移動を中止するときは[Y!]を押します。

注意

- 820SCでダウンロードしたファイルは、他の携帯電話に移動したときや820SCに異なるUSIMカードを挿入したときには、表示や再生ができない場合があります。
- 転送不可かつ利用不可ファイル（）、保護ありファイル（）、転送不可の著作権保護ファイル（、）はメモリカードに移動できません。

ファイル／フォルダをコピーする

コピーを作成して、別のフォルダ内またはフォルダの外に貼り付けることができます。メモリカードを取り付けているときは、820SCとメモリカードの間でも貼り付け操作ができます。

1 [■]→「データフォルダ」→種別フォルダを選択

2 コピーしたいファイル／フォルダを反転表示→[Y!]→「コピー」

3 ファイル／フォルダのコピー操作

■ **1件コピーするとき**
「1件」

■ **複数コピーするとき**
「複数」→移動したいファイル／フォルダをチェック→[✉]（コピー）

■ **同一フォルダ内のすべてのファイル／すべてのフォルダをコピーするとき**
「全件」

4 コピー先のフォルダを選択→「ここにコピー」

- メモリカードを取り付けているときは、「本体」／「メモリカード」を選択してからコピー先のフォルダを選択します。

- ファイル／フォルダのコピーをコピー元と同じ場所に貼り付けると、貼り付けたファイルまたはフォルダに、自動的に「_001」などが付き、別名で保存されます。
- 貼り付け先にすでに同名のファイル／フォルダがあったときは貼り付けるファイルまたはフォルダの名前を編集する必要があります。表示された文字入力画面に新しい名前を入力してください。

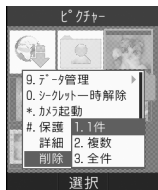
注意

- 転送不可のファイルはコピーできません。

ファイル／フォルダを削除する

ファイルを削除する

1 ■→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択

2 一覧画面で削除したいファイルを反転表示→Y!→「削除」

3 ファイル／フォルダの削除操作

■ **1件削除するとき**

「1件」→「はい」

■ **複数削除するとき**

「複数」→削除したいファイルをチェック→✉（削除）→「はい」

■ **同一フォルダ内のすべてのファイルを削除するとき**

「全件」→操作用暗証番号を入力→■（OK）→「はい」

- 壁紙や着信音などの設定や、保護を設定しているファイルを削除するときは、確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると設定は解除され、削除を実行します。複数または全件削除するときは、「いいえ」を選択すると設定や保護のないファイルのみが削除されます。
- ファイルにコンテンツ・キーがあるときは、コンテンツ・キーがあるファイルを削除すると、確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると、コンテンツ・キーも削除されます。

自分で作成したサブフォルダを削除する

1 ■→「データフォルダ」

2 種別フォルダを選択→削除したい自分で作成したサブフォルダを反転表示→Y!→「削除」

3 操作用暗証番号を入力→■（OK）→「はい」

- サブフォルダにファイルが保存されているときのみ、操作用暗証番号を入力します。

- 壁紙や着信音などの設定や保護を設定しているファイル、著作権保護ファイルがフォルダ内に含まれているときは、確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると設定は解除され、削除を実行します。「いいえ」を選択すると、設定や保護のないファイルのみが削除され、フォルダは削除されません。
- フォルダ内のファイルにコンテンツ・キーがあるときは確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると、コンテンツ・キーも削除されます。

使いこなしチェック！

便利 ☞P.2-49
- ファイルを送信したい
- 静止画をUSB接続／Bluetooth®通信で接続したプリンタで印刷したい
- フォルダの一覧画面の表示方法を切り替えたい
- ファイルを並べ替えたい
- シークレット設定を一時的に解除したい
- 静止画撮影モードのカメラを起動したい
- 動画撮影モードのカメラを起動したい
- ボイスレコーダーを起動したい
- ファイルの保護／保護を解除したい
- サブフォルダにシークレット設定をしたい

顔リンクを利用する

顔リンクのデータを登録する

静止画の人物の顔に電話帳の情報をリンクさせ、静止画から電話をかけたりメールを送信したりできます。

静止画を撮影して登録する

1. （2秒以上）

2. →で を反転表示

3. 「On」→■（）

- 顔リンクを「On」に設定しないと登録できません。
- 撮影後に顔が認識されると、静止画の顔部分に枠が表示されます。
- すでに顔リンクのデータを登録済みの場合は、登録された名前が表示されます。登録されていない場合は、「不明」と表示されます。
- 撮影後に顔が認識されなかった場合は、枠は表示されず、画像を保存するとカメラの撮影画面に戻ります。

4. →「顔リンク」

■ **電話帳から登録するとき**

「電話帳」→電話帳を検索し、選択（➔P.2-22）

■ **直接入力するとき**

「直接入力」→名前を入力

5. ■（保存）

保存した画像にデータを登録する

1. ■→「データフォルダ」→「ピクチャー」

2. ファイルを選択

3. Y!→「顔リンク設定」→Y!→「顔リンク変更」

4. ✥で枠の位置を調整

5. ✉（サイズ）→✥で枠の大きさを調整

6. ■（OK）→✉（顔リンク）

7. データの登録操作

■ 電話帳から登録するとき

「電話帳」→電話帳を検索し、選択（➲P.2-22）

■ 直接入力するとき

「直接入力」→名前を入力

8. ■（OK）

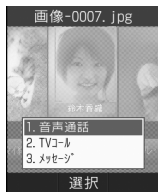
- 登録した顔リンクのデータは、ファイルを選択して⌒を押し、Y!を押して「コンタクト情報」を選択すると、登録した電話帳の詳細情報が確認できます。
- メモリカードに保存した画像には、顔リンクを設定できません。

顔リンクを利用する

顔リンクのデータが登録された静止画から、電話をかけたりメールを送信することができます。

登録した画像から電話／メールをする

1
■→「データフォルダ」→「ピクチャー」

2 ファイルを選択→[発信キー]→■（発信）

3 顔リンクのデータからの選択操作

■ **音声電話をかけるとき**
「音声通話」

■ **TVコールをかけるとき**
「TVコール」

■ **メールを送信するとき**
「メッセージ」→（➔P.4-3 S!メールを送信する⑤）

登録した顔リンクのデータを送信する

1 ■→「データフォルダ」→「ピクチャー」

2 ファイルを選択

3

- リンクした電話帳の名前が表示され、顔リンクが利用できるようになります。

4 Y! →「送信」→「メール添付」→確認メッセージが表示されたら「はい」/「いいえ」

- 「はい」を選択すると画像と電話帳のデータを添付し、「いいえ」を選択すると画像のみを添付します。

5 データの送信操作（➔P.4-3 S!メールを送信する②）

使いこなしチェック！

便利 ☞P.2-52

メモリカードを利用する

820SCはmicroSD™メモリカードに対応しています。メモリカードを利用する場合は、市販のmicroSD™メモリカードを購入してください。

- 820SCで利用するmicroSD™メモリカードは、64Mバイト、128Mバイト、256Mバイト、512Mバイト、1Gバイト、2Gバイトのメモリカードを推奨します。

注意

- **大切なデータを失わないために**
  メモリカードに登録した内容は、事故や故障などにより消失または変化してしまうことがあります。大切なデータは、控えをとっておかれることをおすすめします。データが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **microSD™メモリカードには、ライトプロテクトがありません。データの消去や上書きなどにご注意ください。**

メモリカードの取り扱いについて

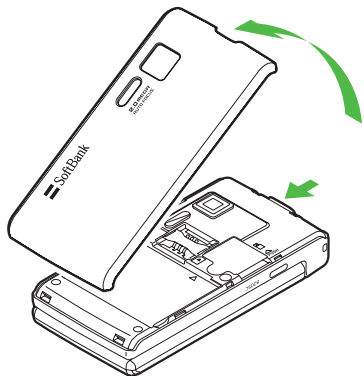
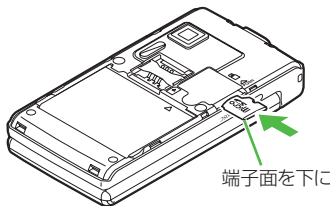
次の点にご注意ください。

- 推奨のものを使用してください。推奨以外のメモリカードを使用すると、正しく動作しないことがあります。
- ラベルやシールなどを貼り付けないでください。メモリカードは非常に薄く、精密に作られているため、ラベルやシール程度の厚みでも接触不良やデータの破壊などの原因となることがあります。
- 分解や改造などをしないでください。
- 強い衝撃を与える、曲げる、落とす、水にぬらすなどしないでください。
- 端子部分を手や金属で触れないでください。
- 高温になる所、湿度が高い所、ほこりが多い所には置かないでください。
- 腐食性のガスなどが発生する所には置かないでください。
- 火気に近づける、火の中に投げ込むなどしないでください。
- メモリカードには寿命があります。長期間使用するとデータが書き込めなくなることがあります。

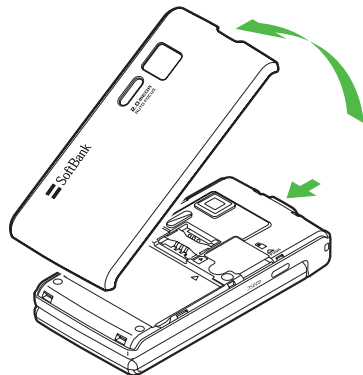
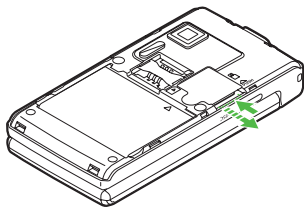
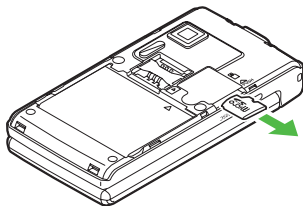
メモリカードを取り付ける／取り外す

取り付けや取り外しをするときは、必ず電源を切ってください。

取り付ける

1. ロックを矢印の方向に押しながら電池カバーを持ち上げて、取り外す

2. メモリカードの端子部分を下にしてメモリカードスロットに差し込み、「カチッ」と音がするまで押し込む

3. 電池カバーのツメを820SCのくぼみに差し込んで、取り付ける

取り外す

1. ロックを矢印の方向に押しながら電池カバーを持ち上げて、取り外す

2 「カチッ」と音がするまでメモリカードを軽く押し込む

3 メモリカードから手を離し、メモリカードが少し飛び出したら取り出す

4 電池カバーのツメを820SCのくぼみに差し込んで、取り付ける

- メモリカードをデータフォルダ表示中に取り外すと、820SC本体のデータフォルダ表示に切り替わります。

注意

- **無理に取り付けたり取り外したりすると、メモリカードや820SCが破損することがありますのでご注意ください。**
- **取り外したメモリカードは、紛失しないようにご注意ください。**
- **メモリカードの取り付けや取り外しを行うときは、端子部分に不用意に触れたり、傷をつけたりしないでください。**
- **データの読み込み中や書き込み中は絶対にメモリカードや電池パックを取り外さないでください。メモリカードや820SCが破損することがあります。**

使いこなしチェック！

設定

- メモリカードの詳細情報を確認する（☞P.13-36）
- メモリカードをフォーマット（初期化）する（☞P.13-36）
- メモリカードの表示名を編集する（☞P.13-36）
- データの保存先を820SC本体／メモリカードに指定する（☞P.13-37）

メモリ容量を確認する

次の情報を確認できます。

- 共有メモリの空き状況
- SMS および S! メールのメールボックスの使用状況
- データフォルダのメモリ使用状況
- カレンダーの種別の登録状況の確認
- 電話帳（820SC本体およびUSIMカード）の登録状況

1 ■→「設定」→「メモリ設定」→「メモリ容量確認」

2 確認する項目の選択操作

■ 共有メモリを確認するとき

「共有メモリ」

■ **メールの容量を確認するとき**
「メール」→「S!メール（件数表示）」／「S!メール（サイズ表示）」／「SMS」

■ **データフォルダの容量を確認するとき**
「データフォルダ」→「本体メモリ」／「メモリカード」

■ **カレンダーの容量を確認するとき**
「カレンダー」

■ **電話帳を確認するとき**
「電話帳」

使いこなしチェック！

便利 ☞P.2-52

設定

- 820SC本体のメモリを消去する（☞P.13-36）
- メモリ容量を確認する（☞P.13-37）

便利

共通機能／操作に関する便利な機能

マルチ検索の結果からさらに絞り込んで検索したい　［結果を絞り込む］

マルチ検索結果画面で[Y!]→「結果を絞り込む」→キーワードを入力→[✉]（検索）

マルチ検索の結果から電話／S!一斉トークをしたい　［音声発信］／［TVコール発信］／［S!一斉トーク発信］／［国際発信］

マルチ検索結果画面の電話帳／通話履歴のデータを反転表示→[Y!]→「発信」

■ **音声電話／TVコールをかけるとき**
「音声発信」／「TVコール発信」

■ **S!一斉トークをするとき**
「S!一斉トーク発信」→（➔P.10-7 S!一斉トークを発信する③）

■ **国際電話をかけるとき**
「国際発信」→（➔P.3-23）

マルチ検索の結果からメールを作成したい　［メール作成］

マルチ検索結果画面の電話帳／通話履歴のデータを反転表示→[Y!]→「メール作成」→「S!メール」／「SMS」→（➔P.4-3 S!メールを送信する⑤、P.4-8 SMSを送信する⑤）

マルチ検索の結果から各機能を利用したい　［電話帳へ］／［メールへ］／［通話履歴へ］／［データフォルダへ］／［スケジュールへ］／［予定リストへ］／［メモ帳へ］

マルチ検索結果画面の各機能を反転表示→[Y!]→「電話帳へ」／「メールへ」／「通話履歴へ」／「データフォルダへ」／「スケジュールへ」／「予定リストへ」／「メモ帳へ」

マルチ検索の結果の詳細を確認したい　［詳細］

マルチ検索結果画面の「メール」／「データフォルダ」のデータを反転表示→[Y!]→「詳細」

メインメニューを設定したい

[■]→[✉]（スタイル）→「プリセットメインメニュー」→「水滴」／「パノラマ」／「ネオン」

- メニュー画面（Yahoo!ケータイメニューを除く）の表示タイプを変更できます。
- 設定すると、待受画面に設定していた画像は解除されます。

便利

スライドショーに関する便利な機能

スライドショーを編集したい

■→「カメラ」→「スライドショー」

■ **静止画を変更するとき**
Y!→「画像変更」→設定したい静止画をチェック→✉（完了）→■（設定）→「はい」／「いいえ」

■ **静止画の順序を変更するとき**
順序を変更したい静止画を反転表示→Y!→「順序変更」→✚で順序を変更→■（保存）→■（設定）→「はい」／「いいえ」

■ **静止画を削除するとき**
削除したい静止画を反転表示→Y!→「削除」→「はい」→■（設定）→「はい」／「いいえ」

■ **静止画を追加するとき**
静止画を設定していない箇所を反転表示→Y!（追加）→追加したい静止画をチェック→✉（完了）→■（設定）→「はい」／「いいえ」

- 画像をディスプレイの幅に合わせて表示するときは「はい」を、もとの縦横比のまま全体を表示するときは「いいえ」を選択します。

便利

文字入力に関する便利な機能

日付や時刻を入力したい

文字入力画面で漢字／かな入力モードにし、数字が割り当てられているボタンを押してひらがなを入力→Y!（英数カナ）→日付や時刻の変換候補を反転表示→■（決定）

全角の記号と半角の記号を切り替えたい

文字入力画面で、全角／半角記号の候補表示エリアの表示中に#

よく使う文を定型文に登録したい

✉→「テンプレート」→「定型文」

■ **1件も登録されていないとき**
✉（新規追加）→文を入力

■ **すでに登録されているとき**
Y!→「新規追加」→文を入力

- 定型文は、最大70文字まで登録できます。

定型文を編集したい

✉→「テンプレート」→「定型文」→編集したい内容を反転表示→■（編集）→文を編集

定型文を削除したい　[削除]

✉→「テンプレート」→「定型文」

■ **1件削除するとき**
削除したい定型文を反転表示→Y!→「削除」→「1件」→「はい」

■ **複数削除するとき**
Y!→「削除」→「複数」→削除したい定型文をチェック→✉（削除）→「はい」

■ **すべて削除するとき**
Y!→「削除」→「全件」→操作用暗証番号を入力→■（OK）→「はい」

範囲を指定して文字のコピー／カットをしたい　[コピー]／[カット]

文字入力画面でY!→「コピー」／「カット」→コピー／カットをする最初の文字に✚でカーソルを合わせ■（始点）→✚で範囲を指定→■（終点）

- 文字入力画面上のすべての文字をコピー／カットする場合は、Y!（全て）を押します。
- コピー／カットを行うと、コピー／カットをした内容は電源を切っても保持されます。

コピー／カットした文字を貼り付けたい　[貼り付け]

文字入力画面で文字を貼り付ける位置に✚でカーソルを移動→Y!→「貼り付け」

2
共通機能／操作

文字をもとに戻したい　[元に戻す]

文字入力画面でY!→「元に戻す」

- 漢字／かな入力モードで直前に行った文字の入力や切り取り、貼り付け、削除などの操作をもとに戻すことができます。変換した文字をもとに戻すこともできます。

カーソルを先頭／最後に移動したい [カーソル移動]

文字入力画面でY!→「カーソル移動」→「文頭」／「文末」

登録した定型文を引用したい [定型文]

メール本文の入力画面でY!→「定型文」→定型文を選択

電話帳に登録されている電話番号やEメールアドレスを引用したい [電話帳引用]

メール本文の入力画面でY!→「その他」→「電話帳引用」→電話帳を検索し、選択（➔P.2-22）→項目を選択

電話帳にEメールアドレスやURLを登録するときに簡単に入力したい [簡単アドレス入力]

■→「電話帳」→「新規登録」

■ **Eメールアドレスを登録するとき**

Eメールアドレス欄を選択→Y!→「簡単アドレス入力」

■ **URLを登録するとき**

ホームページ欄を選択→Y!→「簡単アドレス入力」

便利

ユーザ辞書に関する便利な機能

ユーザ辞書の登録内容を削除したい

■→「設定」→「一般設定」→「ユーザ辞書」→「辞書編集」

■ **1件削除するとき**

削除したいユーザ辞書を反転表示→Y!→「削除」

■ **すべて削除するとき**

Y!→「全削除」→操作用暗証番号を入力→■（OK）→「はい」

ユーザ辞書の登録時に予測入力機能を設定／解除したい [予測入力 On] ／ [予測入力 Off]

ユーザ辞書の語句入力画面でY!→「予測入力On」／「予測入力 Off」

便利

電話帳に関する便利な機能

電話帳に情報を登録したい

→（新規）

■ **グループを登録するとき**
で に切り替え→グループ欄を選択→グループを選択→（保存）

■ **シークレットモードを設定するとき**
で に切り替え→シークレットモード欄を選択→「On」／「Off」→（保存）

■ **誕生日を登録するとき**
で に切り替え→誕生日欄を選択→生年月日を入力→（保存）

■ **血液型を登録するとき**
で に切り替え→血液型欄を選択→血液型を選択→（保存）

■ **趣味を登録するとき**
で に切り替え→趣味欄を選択→内容を入力→（保存）

■ **会社を登録するとき**
で に切り替え→会社欄を選択→会社名を入力→（保存）

■ **役職を登録するとき**
で に切り替え→役職欄を選択→役職名を入力→（保存）

■ **住所を登録するとき**
で に切り替え→住所欄を選択→郵便番号欄を選択→郵便番号を入力→国欄を選択→国名を入力→都道府県欄を選択→都道府県名を入力→市町村欄を選択→市町村名を入力→番地欄を選択→番地を入力→追加情報欄を選択→追加情報を入力→（OK）→アイコンを選択→（保存）

■ **ホームページのURLを登録するとき**
で に切り替え→ホームページ欄を選択→内容を入力→アイコンを選択→（保存）

■ **メモを登録するとき**
で に切り替え→メモ欄を選択→内容を入力→（保存）

- グループ以外は USIM カードの電話帳には登録できません。

電話帳に着信画像を設定したい

→（新規）→で に切り替え→フォト欄を選択

■ **保存された静止画を設定するとき**
「ピクチャー」→ファイルを選択→（保存）
- メモリカードを取り付けているときは、「ピクチャー」フォルダと「デジタルカメラ」フォルダからファイルを選択できます。

■ **静止画を撮影して設定するとき**
「カメラ起動」→静止画を撮影→（保存）

■ **設定した着信画像を解除するとき**
「Off」→（保存）

- メモリカードに保存されているファイルを着信画像や着信音などに設定すると、ファイルを820SC本体にコピーしてから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。著作権保護ファイルの場合は、移動してから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると設定が完了します。

電話帳に着信音を設定したい

[キー]→[メール]（新規）→[キー]で[アイコン]に切り替え→着信音設定欄を選択

■ **音声電話／TV コール／S! 一斉トークの着信音を設定するとき**

「音声着信」／「TV コール着信」／「S! 一斉トーク着信」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを反転表示→[メール]（再生）→[Y!]（選択）→[メール]（完了）→[メール]（保存）

■ **メール／S! ともだち状況の着信音を設定するとき**

「メール着信」／「S!ともだち状況着信」→「着信音選択」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを反転表示→[メール]（再生）→[Y!]（選択）→[メール]（OK）→[メール]（完了）→[メール]（保存）

■ **メール／S! ともだち状況の着信鳴動時間を設定するとき**

「メール着信」／「S! ともだち状況着信」→「鳴動時間」→時間を入力→[メール]（OK）→[メール]（完了）→[メール]（保存）

- メモリカードに保存されているファイルを着信画像や着信音などに設定すると、ファイルを820SC本体にコピーしてから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。著作権保護ファイルの場合は、移動してから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると設定が完了します。

電話帳にバイブレータを設定したい

[キー]→[メール]（新規）→[キー]で[アイコン]に切り替え→バイブ設定欄を選択→「音声着信」／「TVコール着信」／「メール着信」／「S!ともだち状況着信」／「S!一斉トーク着信」→「Off」／「パターン1」～「パターン5」→[メール]（再生）→[■]（選択）→[メール]（完了）→[メール]（保存）

電話帳の番号に国際コードと国番号を付加して国際電話をかけたい　[国際発信]

[キー]→電話帳を検索し、選択（➲P.2-22）→電話番号を反転表示→[Y!]→「発信」→「国際発信」（➲P.3-23 日本から国際電話をかけたい）

電話帳からメールを作成したい　[メール作成]

[キー]→メールを作成したい電話帳を一覧画面で反転表示→[Y!]→「メール作成」→「S!メール」／「SMS」→（➲P.4-3 S! メールを送信する❺、P.4-8 SMSを送信する❺）

電話帳からスピードダイヤルに追加したい　[スピードダイヤル登録]

[キー]→電話帳を検索し、選択（➲P.2-22）→[Y!]→「スピードダイヤル登録」→登録する番号欄を選択

電話帳からS! ともだち状況メンバーに追加したい　[S!ともだち状況登録]

[キー]→追加したい電話帳を一覧画面で反転表示→[Y!]→「S!ともだち状況登録」

S!ともだち状況を表示したい　[S!ともだち状況表示]

[キー]→一覧画面で電話帳を反転表示→[Y!]→「S!ともだち状況表示」

USIMカードのグループを作成したい　[新規グループ]

[キー]→[Y!]→「新規グループ」→グループ名欄を選択→グループ名を入力→[メール]（保存）

- 電話帳の検索方法を「グループ」に設定し（➲P.2-23）、USIM電話帳を表示した状態で作成します（➲P.2-46）。

グループにメンバーを追加したい　[メンバー追加]

[キー]→メンバーを追加したいグループを選択→[Y!]→「メンバー追加」→追加したいメンバーをチェック→[メール]（追加）

- 電話帳の検索方法を「グループ」に設定した状態で追加します（➲P.2-23）。

グループからメンバーを削除したい　［メンバー削除］

[icon]→メンバーを削除したいグループを選択→[Y!]→「メンバー削除」→削除したいメンバーをチェック→[✉]（グループ削除）

- 電話帳の検索方法を「グループ」に設定した状態で操作します（➲P.2-23）。
- グループから削除しても、電話帳からは削除されません。

自分の電話番号を通知するかどうかを設定して電話をかけたい　［発信者番号通知／非通知］

[icon]→電話をかける相手の電話帳を反転表示→[Y!]→「発信者番号通知／非通知」

■ **発信者番号通知サービスの設定に従うとき**

「ネットワーク設定に従う」→[発信]

■ **番号を通知するとき**

「番号通知」→[発信]

■ **番号を非通知にするとき**

「番号非通知」→[発信]

電話帳をvファイルに変換して送信したい　［送信］

[icon]→送信したい電話帳を検索し、選択（➲P.2-22）→電話番号／Eメールアドレスを反転表示→[Y!]→「送信」

■ **メールで送信するとき**

「メール添付」→（➲P.4-3 S!メールを送信する❷）

■ **Bluetooth®で送信するとき**

「Bluetooth」→（➲P.12-9 データを送信する❷）

■ **赤外線で送信するとき**

「赤外線通信」（➲P.12-3）

vファイルを作成して「その他ファイル」フォルダに保存したい　［データフォルダに保存］

[icon]→電話帳を検索し、選択（➲P.2-22）→[Y!]→「データフォルダに保存」→「本体」／「メモリカード」→「はい」

- メモリカードを取り付けているときは、「メモリカード」を選択できます。

820SC本体とUSIMカードとの間で電話帳をコピーしたい　［USIMにコピー］／［本体にコピー］

[icon]→コピーしたい電話帳を一覧画面で反転表示→[Y!]→「USIMにコピー」／「本体にコピー」

■ **1件コピーするとき**

「1件」→「はい」

- 詳細画面から電話帳を1件コピーするときは、一覧画面で[■]（詳細）を押してメニューから操作します。

■ **複数コピーするとき**

「複数」→コピーしたい電話帳をチェック→[✉]（コピー）→「はい」

■ **820SC本体／USIMカードに保存されている電話帳をまとめてコピーするとき**

「全件」→「はい」

登録内容をコピーしたい　［項目コピー］

[icon]→電話帳を検索し、選択（➲P.2-22）→コピーしたい項目を反転表示→[Y!]→「項目コピー」

- コピーした内容は、文字入力画面に貼り付けることができます。

優先的に使用する電話番号やEメールアドレスを用途ごとに設定したい [優先電話番号設定]

[電話帳]→設定したい電話帳を検索し、選択（➲P.2-22）→[Y!]→「優先電話番号設定」→「音声通話」／「TVコール」／「メール」→電話番号／Eメールアドレスを選択→[✉]（保存）

- 優先的に使用する電話番号やEメールアドレスを指定しないときは、項目を反転表示して[Y!]（リセット）を押すと、「設定なし」に設定できます。

電話帳の詳細をBluetooth®対応のプリンタで印刷したい [Bluetoothで印刷]

[電話帳]→電話帳を検索し、選択（➲P.2-22）→[Y!]→「Bluetoothで印刷」→（➲P.7-16 Bluetooth®経由でプリントする❺）

USIMカードに保存されているサービス番号を表示したい [サービス番号]

[電話帳]→[Y!]→「サービス番号」

表示をUSIMカード／820SC本体の電話帳に切り替えたい [表示切替]

[電話帳]→[Y!]→「設定」→「表示切替」→「本体」／「USIM」

- 電話帳表示を変更すると、次に設定を変更するまで設定は保持されます。

電話帳の検索方法を切り替えて検索したい [検索方法]

[電話帳]→[Y!]→「設定」→「検索方法」

■ ヨミガナで検索するとき

「ヨミガナ」→カナ欄にヨミガナ（先頭の一部でよい）を入力→表示された一覧から目的の電話帳を確認

■ グループで検索するとき

「グループ」→目的のグループを選択→[◆]で表示された一覧から目的の電話帳を確認

- 「グループ」で目的のグループを選択したあと、カナ欄にヨミガナ（先頭の一部でよい）を入力しても検索することができます。

電話帳のシークレット設定を一時的に解除したい [シークレット一時解除]

[電話帳]→[Y!]→「シークレット一時解除」→操作用暗証番号を入力→[■]（OK）

- 「シークレットモード」の設定を「表示しない」にしているときに、シークレットモード設定を「シークレットモード-On」に設定した電話帳を一時的に表示することができます。

メモリ使用状況を確認したい [メモリ容量確認]

[電話帳]→[Y!]→「メモリ容量確認」

- 確認したメモリを削除するには[✉]（削除）を押します（➲P.2-52 登録／保存した内容を削除してメモリを整理したい）。

電話帳を編集したい

[電話帳]→編集したい電話帳を検索し、選択（➲P.2-22）→[✉]（編集）→（➲P.2-19 電話帳に登録する❷）

- シークレットモードを「シークレットモード-On」に設定している電話帳を編集するときは、あらかじめ「シークレットモード」を「表示する」にしてください。

電話番号を入力してから登録したい [電話帳登録]

電話番号を入力→[Y!]→「電話帳登録」

■ 新規で登録するとき

「新規」→各項目を登録→[✉]（保存）

■ 追加で登録するとき

「追加」→電話帳を検索し、選択（➲P.2-22）→各項目を登録→[✉]（保存）

- 通話中に[Y!]を押して「電話帳登録」を選択しても、同様に登録できます。
- 姓名、ヨミガナ、Eメールアドレス、グループ以外の項目はUSIMカードの電話帳では登録できません。

グループ名を編集したい

[本体グループから表示]／[USIMグループから表示]

■→「電話帳」→「グループ設定」→Y!→「本体グループから表示」／「USIMグループから表示」→編集したいグループを選択→グループ名欄を選択→グループ名を入力→✉（保存）

グループの設定を変更したい

■→「電話帳」→「グループ設定」→設定したいグループを選択

■ **着信画像を設定するとき**

画像欄を選択→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→✉（保存）

■ **音声電話／TVコール／S!一斉トークの着信音を設定するとき**

着信音設定欄を選択→「音声着信」／「TVコール着信」／「S!一斉トーク着信」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを反転表示→✉（再生）→Y!（選択）→✉（完了）→✉（保存）

■ **メール／S!ともだち状況の着信音を設定するとき**

着信音設定欄を選択→「メール着信」／「S!ともだち状況着信」→「着信音選択」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを反転表示→✉（再生）→Y!（選択）→✉（OK）→✉（完了）→✉（保存）

■ **メール／S!ともだち状況の着信鳴動時間を設定するとき**

着信音設定欄を選択→「メール着信」／「S!ともだち状況着信」→「鳴動時間」→時間を入力→✉（OK）→✉（完了）→✉（保存）

■ **バイブレータを設定するとき**

バイブ設定欄を選択→「音声着信」／「TVコール着信」／「メール着信」／「S!ともだち状況着信」／「S!一斉トーク着信」→「Off」／「パターン1」～「パターン5」→✉（再生）→■（選択）→✉（完了）→✉（保存）

- 設定された画像やバイブレータ設定を解除して保存するときは、画像欄／バイブ設定欄を反転表示→Y!（リセット）→✉（保存）を押します。
- 設定された各着信音を解除して保存するときは、着信音設定欄を選択→リセットしたい項目を反転表示→Y!（リセット）→✉（完了）→✉（保存）を押します。各着信音を一度に解除するときは、着信音設定欄を反転表示→Y!（リセット）→✉（保存）を押します。
- 820SC 本体のグループにのみ設定できます。
- 着信画像や着信音などを電話帳ごとに個別に設定している場合は、グループごとの設定よりもそちらが優先されます。

便利

オーナー情報に関する便利な機能

オーナー情報の内容を編集したい

■→0→✉（編集）→電話帳の登録と同様の操作で各項目を登録（➔P.2-19 電話帳に登録する❷）→✉（保存）

オーナー情報をvファイルに変換して送信したい

[送信]

■→0→Y!→「送信」

■ **メールで送信するとき**

「メール添付」→（➔P.4-3 S!メールを送信する❷）

■ **Bluetooth®で送信するとき**

「Bluetooth」→（➔P.12-9 データを送信する❷）

■ **赤外線で送信するとき**

「赤外線通信」（➔P.12-3）

オーナー情報をリセットしたい

[リセット]

■→0→Y!→「リセット」→「はい」

- USIMカードに登録されている電話番号を除くすべてのオーナー情報がリセットされます。

vファイルを作成してオーナー情報をデータフォルダに保存したい

[データフォルダに保存]

■→0→Y!→「データフォルダに保存」→「本体」／「メモリカード」→「はい」
- メモリカードを取り付けているときは、「メモリカード」を選択できます。

オーナー情報の項目をコピーしたい

[項目コピー]

■→0→コピーしたい項目を反転表示→Y!→「項目コピー」
- コピーした内容は、文字入力画面に貼り付けることができます。

Bluetooth®対応のプリンタでオーナー情報を印刷したい [Bluetoothで印刷]

■→0→Y!→「Bluetoothで印刷」→（➲P.7-16 Bluetooth®経由でプリントする⑤）

オーナー情報のEメールアドレスにメールを送りたい

■→0→Eメールアドレスを反転表示→■（送信）→（➲P.4-3 S!メールを送信する⑤）

オーナー情報のURLに接続したい

■→0→◀▶で［　］に切り替え→URLを反転表示→■（接続）

便利

ファイルの確認に関する便利な機能

画像を拡大して確認したい

■→「データフォルダ」→「ピクチャー」→一覧画面でファイルを反転表示→■（表示）→■（全画面）→■（ズーム）
- 必要に応じて画像を▲／▼で拡大／縮小や、✥でスクロールして確認します。

画像を自動的に切り替えながら確認したい [スライドショー]

■→「データフォルダ」→「ピクチャー」→一覧画面でファイルを反転表示→■（表示）→Y!→「スライドショー」
- 一時停止／再開する場合は■（ポーズ／再起動）を押します。
- スライドショーを停止する場合は ✉（停止）を押します。

画像のグループ表示を切り替えたい

■→「データフォルダ」→「ピクチャー」→一覧画面でファイルを反転表示→■（表示）→▲▼で並びかたを選択→▲／▼でグループごとに画像を移動

全画面表示時にガイドを表示したい

■→「データフォルダ」→「ピクチャー」→一覧画面でファイルを反転表示→■（表示）→■（全画面）→✉
- 画像表示後約3秒経過すると、非表示になります。

SVG、SVGZ、SWF形式のグラフィックス／アニメーションを確認したい

■→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→Y!

■ **全画面表示／標準表示に切り替えるとき**
「全画面表示」／「標準表示」

■ **画面を拡大／縮小するとき**
「ズームイン／アウト」→✉（🔍）、Y!（🔍）を押して拡大／縮小→スクロールするときは✥→もとの画面に戻るときは■

■ **Flash®画像を一時停止／再開するとき**
「一時停止」／「再開」

■ **画質を切り替えるとき**
「画質」→「高」／「中」／「低」

■ **画面を左右に90度回転するとき**
「回転」→「右90度」／「左90度」

ファイルに含まれているリンク情報のサイトへアクセスしたい
[ブラウザアクセス]

■→「データフォルダ」→「ブック」→ファイルを反転表示→Y!→「ブラウザアクセス」

- 電子コミックや、電子写真集などのファイルに含まれているリンク情報のサイトへアクセスします。

ファイルやフォルダの詳細を確認したい
[詳細]

■→「データフォルダ」→ファイル／フォルダの保存場所を選択→ファイル／フォルダを反転表示→Y!→「詳細」

データフォルダの表示をメモリカード／820SC本体に切り替えたい
[メモリカードに切替]／[本体に切替]

■→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを反転表示→Y!→「メモリカードに切替」／「本体に切替」

- メモリカードを取り付けているときに、表示を切り替えられます。

便利

ファイル／フォルダの管理に関する便利な機能

静止画を利用してFlash®画像を作成したい
[ダイナミックエフェクト]

■→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→Y!→「編集」→「ダイナミックエフェクト」→(➲P.7-15 Flash®を作成する❷)

静止画を使って画像を合成したい
[画像合成]

■→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→Y!→「編集」→「画像合成」→(➲P.7-14 静止画を合成する❸)

ファイルを送信したい
[送信]

■→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→Y!→「送信」

■ メールで送信するとき

「メール添付」→(➲P.4-3 S!メールを送信する❷)

■ Bluetooth®で送信するとき

「Bluetooth」→(➲P.12-9 データを送信する❷)

■ 赤外線で送信するとき

「赤外線通信」(➲P.12-3)

静止画をUSB接続／Bluetooth®通信で接続したプリンタで印刷したい
[印刷]

■→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを反転表示→Y!→「印刷」

■ USBのとき

「USB」→(➲P.7-16 USB接続でプリントする❷)

■ Bluetooth®のとき

「Bluetooth」→(➲P.7-16 Bluetooth®経由でプリントする❺)

フォルダの一覧画面の表示方法を切り替えたい
[表示切替]

■→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを反転表示→Y!→「表示切替」→「リスト表示」／「サムネイル表示」

ファイルを並べ替えたい　［ソート］

■→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→一覧画面でファイルを反転表示→Y!→「ソート」→項目を選択

- 次の項目で並び替えができます。
  - 日付の新しい順（「日付順」）
  - ファイル形式別（「ファイルタイプ順」）
  - ファイル名（「ファイル名順」）
  - ファイルのサイズの小さい順（「サイズ順」）
  - タイトル（「タイトル順」）
  - コンテンツ・キーの状態別（「頻度順」）
- 一覧にフォルダが含まれているときは、どの基準で並べたときも、先頭にフォルダが表示されます。
- 「ファイルタイプ順」を選択したときの並び順は、拡張子のアルファベット順で表示されます。
- 「ファイル名順」を選択したときの並び順は、数字→英字→日本語の順で表示されます。
- 「タイトル順」で並び替えられるファイルは、「着うた・メロディ」／「ミュージック」／「ムービー」／「ブック」／「S!おなじみ操作」／「S!メールテンプレート」のファイルです。
- 「頻度順」を選択したときの並び順は、著作権保護や転送の制限のないファイル→転送不可のファイル→著作権保護のファイル（コンテンツ・キー有効）→著作権保護のファイル（コンテンツ・キー期限切れ）→転送不可かつ利用不可のファイルの順に表示されます。

ファイルをプレイリストに追加したい　［プレイリストに追加］

■→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを反転表示→Y!→「データ管理」→「プレイリストに追加」

フォルダ名やファイル名の表示／非表示を設定したい　［ファイル名表示］／［ファイル名非表示］

■→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを反転表示→Y!→「データ管理」→「ファイル名表示」／「ファイル名非表示」

- フォルダの一覧画面をサムネイル表示にしているとき、フォルダやファイルを反転表示してフォルダ名やファイル名を表示させるかどうか設定できます。

コンテンツ・キーを削除したい　［コンテンツ・キー情報］

■→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを反転表示→Y!→「データ管理」→「コンテンツ・キー情報」

■ 1件削除するとき

削除したいコンテンツ・キーを反転表示→Y!→「削除」→「1件」→「はい」

■ すべて削除するとき

Y!→「削除」→「全件」→操作用暗証番号を入力→■（OK）→「はい」

データフォルダ内のコンテンツ・キーを管理したい　［コンテンツ・キー情報］

■→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを反転表示→Y!→「データ管理」→「コンテンツ・キー情報」

■ コンテンツ・キーの詳細を確認するとき

確認したいコンテンツ・キーを反転表示→■（詳細）

■ ファイルを再生するとき

再生したいファイルを反転表示→Y!→「再生」

シークレット設定を一時的に解除したい　［シークレット一時解除］

■→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを反転表示→Y!→「シークレット一時解除」→操作用暗証番号を入力→■（OK）

静止画撮影モードのカメラを起動したい　［カメラ起動］

■→「データフォルダ」→「ピクチャー」→ファイルの一覧画面でY!→「カメラ起動」

動画撮影モードのカメラを起動したい　［ビデオカメラ起動］

■→「データフォルダ」→「ムービー」→ファイルの一覧画面でY!→「ビデオカメラ起動」

ボイスレコーダーを起動したい

［ボイスレコーダー］

■→「データフォルダ」→「着うた・メロディ」→ファイルの一覧画面でY!→「ボイスレコーダー起動」

ファイルの保護／保護を解除したい

［保護］／［保護解除］

■→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを反転表示→Y!→「保護」／「保護解除」

- 保護すると、ファイル名の編集やファイルの移動、削除などが制限されます。

サブフォルダにシークレット設定をしたい

［シークレット設定］／［シークレット解除］

■→「データフォルダ」→作成したサブフォルダを反転表示→Y!→「シークレット設定」／「シークレット解除」→操作用暗証番号を入力→■（OK）

- 「シークレットデータフォルダ」が「表示しない」のとき、自分で作成したサブフォルダを「シークレット設定」で非表示にすることができます。設定を解除するときは、あらかじめ「シークレットデータフォルダ」を「表示する」にしてください。

著作権保護ファイルのコンテンツ・キーを購入または取得したい

［コンテンツ・キー再取得］

■→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを反転表示→Y!→「データ管理」→「コンテンツ・キー再取得」

画像ファイルを各種の画面に設定したい

■→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→一覧画面でファイルを反転表示→✉（設定）

■ ディスプレイの壁紙に設定するとき

「壁紙（メインディスプレイ）」→プレビューを確認→■（設定）

■ 電話帳の着信画像に設定するとき

「個別着信画像」→設定したい電話帳を検索し、選択（➲P.2-22）→■（設定）

■ 代替画像に設定するとき

「TVコール代替画像」→■（OK）

- メモリカードに保存されているファイルを設定すると、ファイルを820SC本体にコピーしてから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。著作権保護ファイルの場合は、移動してから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると設定が完了します。

Flash®ファイルを壁紙に設定する

■→「データフォルダ」→「Flash®」→一覧画面でファイルを反転表示→✉（設定）→「壁紙（メインディスプレイ）」→プレビューを確認→■（設定）

サウンドファイルを通常モードの着信音に設定したい

■→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→一覧画面でファイルを反転表示→✉（設定）

■ 各機能の着信音に設定するとき

「音声着信音」／「TVコール着信音」／「メール着信音」／「S!ともだち状況着信音」／「S!一斉トーク着信音」／「着信お知らせ機能着信音」／「S!速報ニュース着信音」／「配信確認着信音」

■ 各電話帳の着信音に設定するとき

「個別着信音」→設定したい電話帳を検索し、選択（➲P.2-22）

- メモリカードに保存されているファイルを設定すると、ファイルを820SC本体にコピーしてから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。著作権保護ファイルの場合は、移動してから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると設定が完了します。
- MPEG4ファイルのオーディオコーデックがAAC、AAC+、Enhanced AAC+の場合は、著作権保護ファイルのみ設定できます。

動画ファイルを通常モードの着信音に設定したい

■→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→一覧画面でファイルを反転表示→✉（設定）

■ **各機能の着信音に設定するとき**

「音声着信音」／「TVコール着信音」

■ **各電話帳の着信音に設定するとき**

「個別着信音」→設定したい電話帳を選択（➔P.2-22）

- MPEG4（mp4、3gp）ファイルのオーディオコーデックがAAC、AAC+、Enhanced AAC+の場合は、著作権保護ファイルのみ設定できます。

vファイルを各機能に取り込みたい

■→「データフォルダ」→「その他ファイル」→取り込みたいvファイルを選択→■（登録）

- データフォルダに保存されているvCardファイルやvCalenderファイルを電話帳やカレンダーに登録します。

便利

顔リンクに関する便利な機能

顔リンクが設定された待受画像から電話／メールをしたい

顔リンクが設定された待受画面で⌒（2秒以上）→■（発信）

■ **電話をかけるとき**

「音声通話」／「TVコール」

■ **メールを送信するとき**

「メール」→（➔P.4-3 S!メールを送信する⑤）

- 顔リンクが設定された画像からのみご利用になれます（➔P.2-6）。

顔リンクの画像を個別着信画像に設定したい

■→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→⌒→✉（設定）→「個別着信画像」→電話帳を検索し、選択（➔P.2-22）→■（設定）

- 顔リンクの枠の部分で切り取られた画像が着信画像に設定されます。

便利

メモリ容量確認に関する便利な機能

登録／保存した内容を削除してメモリを整理したい

■→「設定」→「メモリ設定」→「メモリ容量確認」→機能を選択→削除したい項目を反転表示→✉（削除）→「はい」→内容の一覧を呼び出し

■ **1件または複数削除するとき**

削除したい項目をチェック→✉（削除）→「はい」

■ **すべて削除するとき**

Y!（全チェック）→✉（削除）→操作用暗証番号を入力→■（OK）→「はい」

- メールボックスやデータフォルダ、カレンダー、電話帳の内容を削除します。
- 削除する内容に機能や保護が設定されている内容が含まれているときは、削除するかどうかの確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると、削除が実行されます。「いいえ」を選択すると機能や保護の設定されていないファイルのみが削除されます。

電話

電話をかける

電話帳から電話をかける操作は「電話帳から電話をかける」(➲P.2-22)、TVコールをかける操作は「TVコールをかける」(➲P.3-6)を参照してください。

1 電話番号全桁(市外局番を含む)を入力

2 電話番号を確認→[発信キー]/[■](発信)

3 通話終了後[終話キー]

- 電話番号を押し間違えたときは、[マルチキー]で消す数字の後ろにカーソルを移動して[CLEAR/メモ]を押します。[CLEAR/メモ]を1秒以上押すと、すべての数字が消えます。
- 電話番号として「P(ポーズ)」を入力するには、[*]を2回押します。「+(国際コード)」を入力するには、[0]を1秒以上押します。
- 相手がお話し中のときは、[終話キー]を押して電話を切り、しばらくしてからかけ直してください。「オートリダイヤル」(➲P.13-33)を「On」に設定している場合は、自動的に電話を切ってリダイヤルする動作が繰り返されます。リダイヤルを停止するには、[Y!](キャンセル)または[終話キー]を押します。
- ステレオイヤホンマイクを接続している場合は、「イヤホン通話を使う」を「On」に設定すると、ステレオイヤホンマイクのスイッチを1秒以上押すだけで指定した電話番号に電話をかけることができます。電話を切るときもスイッチを1秒以上押します。

使いこなしチェック!

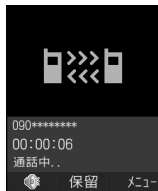
便利 ☞P.3-23

- 入力した電話番号からS!一斉トークを発信したい
- 入力した電話番号を電話帳に登録したい
- 入力した電話番号を宛先としたメールを作成したい
- 電話番号入力画面から電話帳検索画面に切り替えたい
- 電話番号入力画面から通話履歴画面に切り替えたい
- 日本から国際電話をかけたい
- 自分の電話番号を通知するかどうかを設定して電話をかけたい
- 小さい声で通話したい
- ヘッドセットでの通話と本体での通話を切り替えたい
- 音声の送信を設定したい
- 通話中に別の相手に電話をかけたい
- 通話中に電話帳を検索したい
- 通話相手の電話番号を電話帳に登録したい
- 通話中に通話履歴を確認したい
- 通話相手の電話番号を宛先としたメールを作成したい
- 通話中にプッシュトーンを送信したい
- 通話中に相手の声を録音したい
- 通話中にメモを作成したい
- 通話中のメニュー操作から通話を終了したい

設定

- 発信者番号の通知/非通知を設定する(☞P.13-32)
- お話し中だった相手に自動的にリダイヤルする(☞P.13-33)

電話を受ける

1 着信中に[ ]

2 通話終了後[ ]

- 「エニーキーアンサー」を「On」に設定している場合は、着信中に[ ]、[■]、[ ]、[ ]、[ ]、[ ]を除くどのボタンを押しても音声電話を受けられます。
- 着信中に応答せずに保留にするには、[ ]を押します。保留を終了して通話をするには、保留中に[■]（通話）を押します。
- 着信音量を調節するには、着信中に[ ]／[ ]を押します。
- ステレオイヤホンマイクを接続しているときは、着信中にステレオイヤホンマイクのスイッチを1秒以上押しても音声電話を受けられます。電話を切るときもスイッチを1秒以上押します。

- **着信音**

  相手の電話番号が電話帳に登録され、個別またはグループごとの着信音が設定されている場合は、設定されている着信音が鳴ります（➲P.2-44、P.2-47）。それ以外の場合は、モードごとに設定されている着信音が鳴ります（➲P.1-13）。

  シークレットモード設定が「表示しない」の場合は、電話帳のシークレットモードが「シークレットモード-On」の相手から着信があったときは、モードごとに設定されている着信音が鳴ります。

- **電話がかかってきたときの表示**

  相手が電話番号を通知してかけてきたときは、ディスプレイに電話番号が表示されます。電話番号が電話帳に登録されている場合は、登録されている名前が表示されます。相手が電話番号を通知してこなかった場合は、「非通知設定」と表示されます。

  電話帳やグループに着信画像が設定されている場合は、画像も表示されます（➲P.2-43、P.2-47）。

  シークレットモード設定が「表示しない」の場合、電話帳のシークレットモードが「シークレットモード-On」の相手から着信があったときは、名前や画像は表示されません。

- **電話に出なかったときの表示（不在着信）**

  かかってきた電話に出なかったときは、不在着信としてお知らせします。[■]（表示）を押すと、着信履歴（➲P.3-9）を確認できます。

- **電話に出られないときの便利な機能**

  オプションサービスの転送電話サービスまたは留守番電話サービスをご利用になれます。着信中に[ ]（転送）を押すと、すぐに転送先または留守番電話センターに転送できます（➲P.3-15、P.3-16）。

  また、着信中に[■]（留守録）を押すと、すぐに簡易留守録を利用することができます（➲P.3-4）。

使いこなしチェック！

便利 ☞P.3-23

設定

- エニーキーアンサーを設定する（☞P.13-25）
- 着信中に820SCを開くだけで応答するかどうか設定する（☞P.13-25）
- 電話番号を指定して着信の許可／拒否を設定する（☞P.13-32）
- 着信拒否する電話番号を登録する（☞P.13-32）
- 電話帳に登録していない番号からの着信の許可／拒否を設定する（☞P.13-32）

● 非通知着信の許可／拒否を設定する（☞P.13-32）
● 公衆電話からの着信の許可／拒否を設定する（☞P.13-32）
● 電話番号が通知不可能な着信の許可／拒否を設定する（☞P.13-32）

簡易留守録を利用する

電話に出られないとき、相手の用件を820SC本体に録音できます。用件は1件につき最長15秒間録音でき、3件まで保存できます。

簡易留守録を設定／解除する

1 ■→「設定」→「通話設定」→「簡易留守録」→「簡易留守録設定」

2 「On」／「Off」

- 簡易留守録を設定すると、ディスプレイに▣が表示されます。
- 待受画面で[CLEAR/メモ]を1秒以上押しても、設定／解除が行えます。

注意

- 電波の届かない場所にいるときや820SCの電源を切っているとき、オフラインモード中は、簡易留守録を利用できません。着信ができない状況の場合は、オプションサービスの留守番電話サービスをご利用ください。
- 820SC本体の共有メモリ（➲P.14-18）の空き容量が600Kバイトより少ない場合は、簡易留守録を利用できません。

録音された用件を確認する

1 ■→「設定」→「通話設定」→「簡易留守録」→「録音メッセージ再生」

2 用件を反転表示→■（再生）

- 簡易留守録に伝言メッセージが録音されると、ディスプレイに▣が表示されます。
- 待受画面で[CLEAR/メモ]を押しても、録音された用件を確認できます。

録音された用件を削除する

1 ■→「設定」→「通話設定」→「簡易留守録」→「録音メッセージ再生」

2 **用件の削除操作**

■ **1件削除するとき**

削除したい用件を反転表示→✉（削除）→「はい」

■ **すべて削除するとき**

Y!（全削除）→操作用暗証番号を入力→■（OK）→「はい」

TVコールを利用する

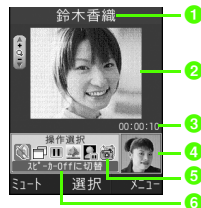
TVコールをご利用になる前に

TVコールに対応している携帯電話との間で、お互いの映像を見ながら通話できます。

- スピーカーホン通話（➔P.3-26）中は、受話音量を大きくすると会話しづらくなることがあります。この場合は音量を下げるか、ステレオイヤホンマイクをお使いになることをおすすめします。
- 周囲の騒音が大きい場所では、音声が途切れるなど良好な通話ができないことがあります。この場合はステレオイヤホンマイクをお使いになることをおすすめします。
- スピーカーホン通話のときは、相手の音声がスピーカーから流れます。ほかの人の迷惑にならないようにご注意ください。

注意

- **ソフトバンクのTVコールと異なる方式の携帯電話と接続した場合に、通話が切れることがあります。このときも、切れるまでの通話料金が課金されます。**

TVコール中の画面の見かた

1 相手の名前／電話番号

2 大画面（通常は相手の映像）

3 通話時間

4 小画面（通常は自分の映像）

5 操作用アイコン

- ／：スピーカーOffに切替／スピーカーOnに切替
- ：表示切替（相手画像大／小の切替）
- ／：自画像を静止画に切替／自画像をカメラに切替
- ／：代替画像に切替／自画像送信に切替
- ／：相手画像を静止画に切替／相手画像をカメラに切替
- ：アウトカメラに切替／インカメラに切替

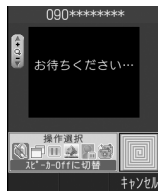
6 カーソル位置のアイコンの意味

TVコールをかける

音声電話をかけるときと同様に、電話帳や通話履歴なども利用できます。

1 **電話番号全桁（市外局番を含む）を入力**

2 **［発信キー］（1秒以上）**

3 **通話終了後［終話キー］**

- **TVコールがつながらなかったときの操作**
  メニュー操作をうながす確認メッセージが表示されたときは［■］（リトライ）を押し、「音声電話」を選択して音声電話でかけ直したり、「メール作成」を選択して相手にメールを送信したりできます。「電話帳表示」を選択すると、登録している相手の電話帳の詳細画面を確認できます。「電話帳登録」を選択すると、相手の電話番号を本体またはUSIMカードの電話帳に登録できます。

使いこなしチェック！

便利 ☞P.3-25
- メニュー操作からTVコールをかけたい
- 自分の電話番号を通知するかどうかを設定してTVコールをかけたい
- ヘッドセットでの通話と本体での通話を切り替えたい
- TVコール通話を保留にしたい
- TVコール中に電話帳を検索したい
- 通話相手の電話番号を電話帳に登録したい
- 通話相手の電話番号を宛先としたメールを作成したい
- プッシュトーンを送信したい
- TVコール中にメモを作成し、保存したい
- 相手の電話番号が登録されている電話帳の詳細画面を確認したい

設定
- 自画像の代わりに送信する代替画像を設定する（☞P.13-30）
- TVコール中の自画像の画質を調整する（☞P.13-31）
- TVコール中の保留画像について設定する（☞P.13-31）
- TVコール中にスピーカーホンを利用するかどうか設定する（☞P.13-31）
- TVコール中のバックライトの明るさを設定する（☞P.13-31）
- TVコールがつながらなかったときの動作を設定する（☞P.13-31）
- TVコール発信時の自画像の送信について設定する（☞P.13-32）
- 発信者番号の通知／非通知を設定する（☞P.13-32）
- お話し中だった相手に自動的にリダイヤルする（☞P.13-33）

TVコールを受ける

1 TVコール着信中に［発信］／［■］（応答）

- 自画像を送信するかどうかの確認メッセージが表示されたときは、「はい」／「いいえ」を選択します。

2 通話終了後［終話］

- 「エニーキーアンサー」を「On」に設定している場合は、着信中に［メール］、［■］、［Y!］、［終話］、［サイドキー上］、［サイドキー下］を除くどのボタンを押してもTVコールを受けられます。
- 着信音量を調節するには、TVコール着信中に［サイドキー上］／［サイドキー下］を押します。
- ステレオイヤホンマイクを接続している場合は、TVコール着信中にステレオイヤホンマイクのスイッチを１秒以上押しても受けられます。TVコールを切るときもスイッチを1秒以上押します。

- TVコールに応答せずに切るには、［メール］（転送）または［Y!］（拒否）を押します。
- 操作1で［発信］／［■］（応答）を押した直後には自分の映像が大画面に表示されますが、この映像は相手に送信されていません。確認メッセージが表示された場合、自画像を送信するときは「はい」、代替画像を送信するときは「いいえ」を選択してください。選択操作後、TVコール通話が開始されると、小画面に自画像または代替画像が表示されます。
- 受話音量を調節するには、TVコール中に［十字キー上下］を押します。
- TVコール中に送信する画像を拡大／縮小するには、［サイドキー上］／［サイドキー下］を押します。
- カメラ画像の送信を停止したときは、相手には代替画像が送信されます。

使いこなしチェック！

設定

- 自画像の代わりに送信する代替画像を設定する（☞P.13-30）
- TVコール中の相手画像の画質を調整する（☞P.13-30）
- TVコール中の音声の送信について設定する（☞P.13-31）
- 指定した相手からのTVコール着信を自動で受ける（☞P.13-31）
- TVコール着信を自動で受ける相手を指定する（☞P.13-31）
- 電話番号を指定して着信の許可／拒否を設定する（☞P.13-32）
- 着信拒否する電話番号を登録する（☞P.13-32）
- 電話帳に登録していない番号からの着信の許可／拒否を設定する（☞P.13-32）
- 非通知着信の許可／拒否を設定する（☞P.13-32）
- 公衆電話からの着信の許可／拒否を設定する（☞P.13-32）
- 電話番号が通知不可能な着信の許可／拒否を設定する（☞P.13-32）

スピードダイヤルを利用する

スピードダイヤルに登録する

よく電話をかける相手をスピードダイヤルに登録すると、簡単な操作で電話をかけることができます。スピードダイヤルは10件登録できます。

1. ■→「電話帳」→「スピードダイヤル設定」

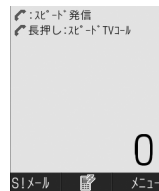
2. 登録したい番号欄を選択

3. 電話帳を検索し、選択(➔P.2-22)→登録したい電話番号を選択

- 登録した電話番号を変更するときは、一覧画面で変更したい相手を反転表示→■（変更）→「はい」→電話帳を検索し、選択（➔P.2-22）→登録したい電話番号を選択します。
- 登録した番号を削除するときは、一覧画面で削除したい相手を反転表示→Y!→「削除」を選択します。
- 登録した番号をすべて削除するときは、一覧画面でY!を押して「設定リセット」を選択します。
- 「シークレットモード-On」に設定している電話帳は、スピードダイヤルに登録できません。
- すでにスピードダイヤルに登録されている電話帳を、「シークレットモード-On」に設定した場合はスピードダイヤルから自動的に削除されます。

スピードダイヤルで電話をかける

1. スピードダイヤルに登録済みの0～9のいずれかを選択

2. ■（　）／

- 操作1のあと、を1秒以上押すと、TVコールをかけることができ、✉（S!メール）を押すと、メール作成画面に切り替わります。
- 「スピード検索設定」を「On」に設定しているときに数字を入力すると、スピード検索で該当した電話帳の名前と電話番号が表示されます。約5秒経過すると表示が消えます。が表示されたら、スピードダイヤルで電話をかけることができます。

通話時間／通話料金などを管理する

通話データ管理の各項目から、次の操作ができます。

設　定	設定内容
累積	合計通話時間、合計通話料金の目安を確認、リセットできます。
直前の通話	前回の通話時間、通話料金の目安を確認できます。
累積データ通信量	累積送信データ量、累積受信データ量の目安を確認、リセットできます。
通話後料金表示	通話終了後に通話料金を表示するかどうか設定します。
通貨設定	通貨単位の変更ができます。
通話料金上限設定	通話料金の上限の設定ができます。

- 「通話後料金表示」は、ご契約の内容によりご利用になれない場合があります。また、「通話後料金表示」がご利用になれない場合、「通話料金上限設定」もご利用になれません。

通話時間／通話料金／データ通信量などを確認する

1 ■→「設定」→「通話設定」→「通話時間・料金」

2 確認したい項目を選択

- 確認した項目をリセットするには、リセットしたい項目を反転表示して ✉（リセット）を押します。

使いこなしチェック！

設定
- すべての通話の合計通話時間／合計通話料金を確認する（☞P.13-29）
- 前回の通話時間／通話料金を確認する（☞P.13-29）
- 累積データ通信量を確認する（☞P.13-29）
- 通話終了後に通話料金を表示するかどうか設定する（☞P.13-29）
- 通話料金の通貨単位を変更する（☞P.13-29）
- 通話料金の限度額を設定する（☞P.13-30）
- 通話料金の限度額の設定を解除する（☞P.13-30）

通話履歴を利用する

通話履歴には、着信履歴（かかってきた電話の履歴）と発信履歴（かけた電話の履歴）があります。それぞれの履歴から相手の電話番号や通話時間などを確認したり、履歴を利用して電話をかけたりすることができます。着信履歴、発信履歴はそれぞれ500件まで記録されます。

通話履歴を確認する

1 ⬅（着信履歴）／➡（発信履歴）

3 電話

❷ 確認したい履歴を反転表示→■（詳細）

●履歴一覧のアイコン
履歴一覧には、音声電話、TVコール、S!一斉トークを識別するアイコンが表示されます。
：音声通話発信
：TVコール発信
：S!一斉トーク発信
：音声通話着信
：TVコール着信
：S!一斉トーク着信
：音声通話の不在着信
：TVコールの不在着信
：S!一斉トークの不在着信
：音声電話の着信拒否
：TVコールの着信拒否
：留守番電話のお知らせ
：着信のお知らせ

●「シークレットモード」を「表示しない」に設定しているとき、シークレットモードが「シークレットモード-On」に設定されている電話帳は、履歴には電話帳に登録された名前などの情報は表示されません。

通話履歴を使って電話をかける

❶ （着信履歴）／（発信履歴）

❷ 電話の発信操作

■ 音声電話をかけるとき
電話をかけたい履歴を反転表示→（発信）→「音声発信」

■ TVコールをかけるとき
電話をかけたい履歴を反転表示→（発信）→「TVコール発信」

■ S!一斉トークを発信するとき
発信したい履歴を反転表示→（発信）→「S!一斉トーク発信」

通話履歴を削除する

通話履歴を1件削除する

❶ （着信履歴）／（発信履歴）

❷ 削除したい履歴を反転表示→→「削除」→「1件」→「はい」

●1通話ごとの履歴を確認し、削除するときは、操作❶のあと、削除したい履歴を反転表示→■（詳細）→履歴を確認後→「削除」→「はい」を選択します。

3 電話

通話履歴を複数削除する

1 （着信履歴）／（発信履歴）

2 →「削除」→「複数」

3 削除したい履歴をチェック

4 （削除）→「はい」

通話履歴をすべて削除する

各履歴一覧の内容をまとめて削除できます。

1 （着信履歴）／（発信履歴）

2 →「削除」→「全件」

3 操作用暗証番号を入力→（OK）→「はい」

使いこなしチェック！

便利☞P.3-28

- 通話履歴からTVコールをかけたい
- 通話履歴からS!一斉トークを発信したい
- 直前に退出したS!一斉トークに再参加したい
- 通話履歴の電話番号を宛先としたメールを作成したい
- 通話履歴の電話番号を電話帳に登録したい
- 通話履歴の電話番号を着信拒否リストに追加したい
- 通話履歴の電話番号が登録されている電話帳の詳細画面を確認したい
- 通話履歴の電話番号に国際コードと国番号を付加して国際電話をかけたい
- 通話履歴から自分の電話番号を通知するかどうかを設定して電話をかけたい

海外で利用する（国際ローミング）

国際ローミングのご利用には、別途お申し込みが必要です。海外でのご利用の詳細については、『国際ローミングガイド』を参照してください。海外にお出かけになるときは、『国際ローミングガイド』を携帯してください。

ネットワークモードを切り替える

お買い上げ時は自動的にネットワークモードが切り替わるように設定されています。手動で特定のネットワークモードを選択するように設定することもできます。

1 ■→「設定」→「通話設定」→「通話サービス」→「国際設定」→「3G/GSM選択」

2 設定の選択操作

■ **自動的にネットワークモードを選択させるとき**
「自動」

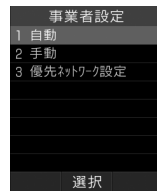
■ **手動で特定のネットワークモードを選択するとき**
「手動」→「3G/GSM」／「3G」／「GSM」

- **ネットワークモードの設定**
  「自動」:
  お使いの場所（ネットワークの状態）に応じて、自動的にモードが切り替わる
  「3G」:
  日本国内と海外の3G/UMTSサービスエリアで使用できるモード
  「GSM」:
  海外のGSMサービスエリアで使用できるモード
- 通常は「自動」に設定してお使いになることをおすすめします。

ネットワークを設定する

接続するネットワークを選択する

ご利用になる地域によって、ネットワーク（事業者）を切り替える必要があります。「手動」で切り替えることもできます。

1 ■→「設定」→「通話設定」→「通話サービス」→「国際設定」→「事業者設定」

2 設定の選択操作

■ **自動的にネットワークを選択させるとき**
「自動」

■ **特定のネットワークを選択するとき**
「手動」→ネットワークを選択

優先されるネットワークを設定する

ネットワーク選択を「自動」に設定したときに、優先的に選択されるネットワークの一覧を編集できます。

❶ ■→「設定」→「通話設定」→「通話サービス」→「国際設定」→「事業者設定」→「優先ネットワーク設定」

❷ 優先度リストの編集操作

■ ネットワークリストから選択して挿入するとき
「優先度リスト」→挿入したい位置のネットワークを選択→ネットワークリストから挿入したいネットワークを反転表示→■（挿入）

■ ネットワークを新規追加するとき
「新規追加」→国番号を入力→ネットワークコードを入力→「GSM」／「3G」

- 操作❷で、ネットワークリストから挿入すると一覧で選択したネットワークの上の順位に挿入されます。新規追加すると一覧の最後にネットワークが追加されます。
- **「新規追加」で設定できる項目は次のとおりです。**
  「国番号」：最大3桁
  「ネットワークコード」：最大3桁
  「ネットワークタイプ」：GSM/3Gから選択

海外で電話をかける

❶ 電話番号を全桁（市外局番を含む）入力→[発信]

❷ 電話の発信操作

■ 日本へ電話をかけるとき
「日本へ」

■ 日本以外の国へかけるとき
「他国番号付加」→発信したい国を選択

■ 滞在国の一般電話や携帯電話にかけるとき
「このまま発信」

- 国番号などを直接入力して電話をかけるには、[0]を1秒以上押して「+」を入力します。続けて国番号、先頭の「0」を除いた電話番号の順に入力して[発信]を押すと発信できます。イタリアに電話をかける場合、先頭に「0」があるときは除かずにそのまま電話番号を入力してください。
- 電話番号の最初に「＋国番号」が付く場合は、操作❷が不要です。

オプションサービスの種類について

オプションサービスの種類は次のとおりです。

サービス	内　容
留守番電話サービス	電波の届かない場所にいるときや、電話に出られないときに、留守番電話センターで伝言メッセージをお預かりします。 ●「着信お知らせ機能」を設定すると、電源を切っているときや圏外のときにかかってきた電話をSMSでお知らせします（➔P.3-16）。
転送電話サービス	電波の届かない場所にいるときや、電話に出られないときに、かかってきた電話を指定した電話番号へ転送します。
割込通話サービス※	通話中の相手を保留にし、他の相手からの電話を受けたり、他の相手へ電話をかけることができます。また、相手を切り替えながら通話することもできます。
多者通話サービス※	通話中に他の相手に音声電話をかけ、最大6人同時に通話できます。相手を切り替えながら通話することもできます。
発着信規制サービス	電話をかけたり受けたりすることを、状況に合わせて制限できます。
発信者番号通知サービス	お客様の電話番号を相手に通知したり、非通知にする設定ができます。

※ サービスのご利用には、別途お申し込みが必要です。

注意

- **電波の届かない場所では、820SCからは操作できません。一般電話からの操作、サービスの詳細については『サービスガイド（3G）』をご覧ください。**

留守番電話サービスを利用する

下記の転送条件に従って、かかってきた音声電話を留守番電話センターに転送します。

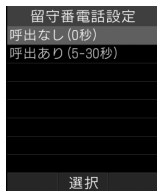
留守番電話サービスの種類は次のとおりです。

転送条件	内　容
呼出なし	着信音を鳴らさずに、すべての着信を転送します。不在着信も記録されません。
呼出あり	設定した呼出時間内に電話に出なかったときや、通話中または圏外などのために電話がつながらないときに転送します。

注意

- **留守番電話サービスと転送電話サービスを同時に利用することはできません。**
- **すでに転送電話サービスを設定しているときに留守番電話サービスを設定すると、転送電話サービスは解除されます。**

留守番電話サービスを設定する

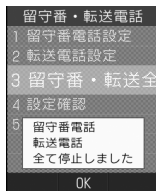
1 **■→「設定」→「通話設定」→「通話サービス」→「留守番・転送電話」→「留守番電話設定」**

2 **項目の選択操作**

■ **すぐに転送電話につなぎたいとき**
「呼出なし（0秒）」

■ **呼び出し時間を設定したいとき**
「呼出あり（5-30秒）」→「5秒」／「10秒」／「15秒」／「20秒」／「25秒」／「30秒」

- 「呼出あり」で転送電話サービスを設定したときは、着信中（呼出時間の設定秒数内）に電話に出ると、そのまま通話できます。また、着信中に✉（転送）を押すと、すぐに転送できます。

留守番電話サービスを解除する

1 **■→「設定」→「通話設定」→「通話サービス」→「留守番・転送電話」→「留守番・転送全停止」→「はい」**

注意

- **転送電話サービスが設定されている場合も、解除されます。**

留守番電話の伝言メッセージを聞く

留守番電話センターに伝言メッセージが録音されると、その旨の通知画面が表示され、ディスプレイに📼が表示されます。

通知画面が表示されているときの操作

通知画面が表示されているときは、次のように操作すると留守番電話センターに接続できます。接続後はガイダンスに従って操作してください。

1 **（再生）**

- 伝言メッセージの詳細情報を確認するときは、通知画面の表示中に[■]（表示）を押します。
- 伝言メッセージを聞かずに通知画面を消すときは、[Y!]（キャンセル）を押します。
- 820SCから伝言メッセージを聞くと、ディスプレイの[1416]が消えます。

通知画面が表示されていないときの操作

1 「1416」を入力→[発信]

着信お知らせ機能を設定する

留守番電話サービス設定中に、電波の届かない場所や電源が入っていなかったために受けられなかった着信があったときは、SMSでお知らせします。また、通話中に留守番電話センターで伝言メッセージをお預かりした場合もお知らせします。

1 「1414」を入力→[発信]

- 国内の固定電話から設定するときは、「090-665-1414」を入力し、[発信]を押します。

2 ガイダンスに従って操作

- 通知されたSMSは、メールではなく着信履歴として管理されます。
- 着信お知らせ機能は、通話料無料で設定できます。

使いこなしチェック！

設定

- 呼び出し時間なしで留守番電話サービスを開始する（☞P.13-27）
- 呼び出し時間を設定して留守番電話サービスを開始する（☞P.13-27）
- 留守番電話サービス／転送電話サービスを解除する（☞P.13-28）
- 留守番電話サービス／転送電話サービスの設定を確認する（☞P.13-28）
- 留守番電話の伝言メッセージを聞く（☞P.13-28）
- 着信お知らせ機能を設定する（☞P.13-28）

転送電話サービスを利用する

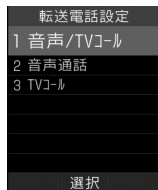
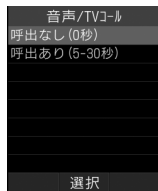
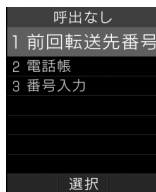
あらかじめ設定した転送条件（➔P.3-14）に従って、かかってきた電話を別の電話番号に転送します。転送は、着信種別（音声電話、TVコール）ごとに設定できます。

注意

- **転送電話サービスと留守番電話サービスを同時に利用することはできません。**
- **すでに留守番電話サービスを設定しているときに転送電話サービスを設定すると、留守番電話サービスは解除されます。**

転送電話サービスを設定する

サービスを設定するときは転送先を指定します。「音声／TVコール」「音声通話」「TVコール」から、それぞれ転送先を指定することができます。

❶ ■→「設定」→「通話設定」→「通話サービス」→「留守番・転送電話」→「転送電話設定」

❷ 「音声／TVコール」／「音声通話」／「TVコール」

❸ 「呼出なし（0秒）」／「呼出あり（5-30秒）」

❹ 転送先の設定操作

■ **前回の転送先を設定するとき**

「前回転送先番号」→前回の電話番号を選択

■ **電話帳から転送先を設定するとき**

「電話帳」→電話帳を検索し、選択（➲P.2-22）

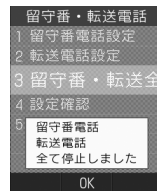
■ **電話番号を入力して設定するとき**

「番号入力」→電話番号を入力

- 「呼出あり」で転送電話サービスを設定したときは、着信中（呼出時間の設定秒数内）に電話に出ると、そのまま通話できます。また、着信中に✉（転送）を押すと、すぐに転送できます。

転送電話サービスを解除する

転送条件にかかわらず、解除することができます。

❶ ■→「設定」→「通話設定」→「通話サービス」→「留守番・転送電話」→「留守番・転送全停止」→「はい」

注意

- **留守番電話サービスが設定されている場合も、解除されます。**

使いこなしチェック！

設定

- 転送電話サービスを設定する（☞P.13-28）
- 留守番電話サービス／転送電話サービスを解除する（☞P.13-28）
- 留守番電話サービス／転送電話サービスの設定を確認する（☞P.13-28）

割込通話サービスを利用する

サービスのご利用には、別途お申し込みが必要です。このサービスは、音声電話でのみご利用いただけます。

割込通話サービスを設定／解除する

1 ■→「設定」→「通話設定」→「通話サービス」→「割込通話」

2 「On」／「Off」

- 現在の設定を確認するには操作2で「設定確認」を選択します。

割込通話を受ける

通話中に着信があったときは、割り込み音と画面表示でお知らせします。通話中の電話を保留にして、あとからかかってきた電話を受けることができます。

1 割り込み音が聞こえたら■（通話）

2 「現在の通話を保留」

- 現在の通話を切って、あとからかかってきた電話に出るときは「現在の通話を終了」を選択します。

3 相手を切り替えるときは、切り替えたい相手を反転表示→■（多者通話）→「相手切替」

4 通話の終了操作

■ **相手を選択して通話を切るとき**

通話を切りたい相手を反転表示→■（多者通話）→「この相手と終話」

■ **すべての通話を切るとき**

■（多者通話）→「全ての相手と終話」

- 割込通話中に通話中の相手が電話を切ったときは、■（再開）を押すと、保留にしていた相手との通話になります。

●転送電話サービスや留守番電話サービスを設定している場合に割り込みに応答しなかったときは、転送先または留守番電話センターに転送されます。転送条件を「呼出なし」に設定していると、割込通話サービスをご利用になれません。

使いこなしチェック！

設定
● 割込通話サービスを開始／解除する（☞P.13-28）
● 割込通話サービスの設定を確認する（☞P.13-28）

多者通話サービスを利用する

サービスのご利用には、別途お申し込みが必要です。最大6人まで同時に通話できます。

通話中に別の相手に電話をかける

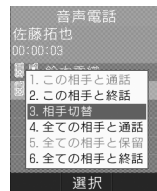
相手につながると、それまで通話していた相手は保留になります。

1 通話中に電話番号を入力

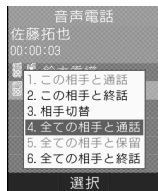
●電話帳から選択するときは、[Y!]→「電話帳」→電話帳を検索し、選択（➲P.2-22）します。

2 ■（発信）→つながったら通話

通話相手を切り替える

1 複数の相手と通話中に切り替えたい相手を反転表示→■（多者通話）→「相手切替」

●通話中の相手が電話を切っても、保留中の相手は保留状態のままです。保留中の相手と通話するには、■（再開）を押して保留を解除してください。

すべての相手と通話する

1 複数の相手と通話中に■（多者通話）→「全ての相手と通話」

- 個別通話に切り替えるには、通話中に通話したい相手を反転表示して■（多者通話）を押し、「この相手と通話」を選択します。

- すべての通話を切るには、通話中に■（多者通話）を押して「全ての相手と終話」を選択します。
- 多者通話中に相手が電話を切ったときは、残された相手との通話になります。

使いこなしチェック！

便利☞P.3-29

発着信規制サービスを利用する

音声電話やTVコールの発着信、SMSの送受信を、次の規制内容で制限できます。

設定項目		内容
発信規制		
	全発信規制	緊急通話以外、電話をかけられない、またはSMSを送信できないようにします。
	滞在国以外規制	滞在国以外へ電話をかけられない、またはSMSを送信できないようにします。
	日本／滞在国以外規制	滞在国と日本以外の国へ、国際電話をかけられない、またはSMSを送信できないようにします。
着信規制		
	全着信規制	すべての電話を受けられない、またはSMSを受信できないようにします。
	国際着信規制	日本以外では、すべての電話を受けられない、またはSMSを受信できないようにします。

- 設定時には、発着信規制用暗証番号（ご契約時の4桁の暗証番号）の入力が必要です。発着信規制用暗証番号は変更することもできます（➲P.3-22）。

- 発信規制中に電話をかけようとすると、発信規制中である旨のメッセージが表示されます。お客様がご利用になる地域によっては、表示されるまでに時間がかかることがあります。

注意

- **発着信規制用暗証番号の入力を 3 回続けて間違えると、発着信規制サービスの設定や解除ができなくなります。この場合は、発着信規制用暗証番号と交換機用暗証番号の変更が必要となりますので、ご注意ください。詳しくは、お問い合わせ先（➲P.14-31）までご連絡ください。**

発信規制／着信規制を設定／解除する

発信規制および着信規制は、通話や通信の種別ごとに設定できます。

1 ■→「設定」→「通話設定」→「通話サービス」→「発着信規制」

2 規制内容の選択操作

■ **発信規制を選択するとき**

「発信規制」→「全発信規制」／「滞在国以外規制」／「日本／滞在国以外規制」

■ **着信規制を選択するとき**

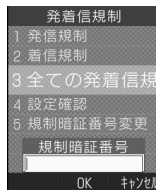
「着信規制」→「全着信規制」／「国際着信規制」

3 「On」／「Off」

発着信規制の制限をすべて解除する

発信規制および着信規制の制限をすべて解除します。

1 ■→「設定」→「通話設定」→「通話サービス」→「発着信規制」

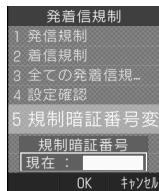
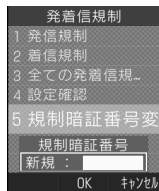
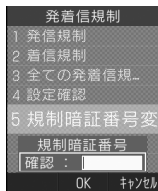
2 「全ての発着信規制解除」

3 規制暗証番号を入力→■（OK）→「はい」

発着信規制の設定状況を確認する

1 ■→「設定」→「通話設定」→「通話サービス」→「発着信規制」

2 「設定確認」→「全発信規制」／「滞在国以外規制」／「日本／滞在国以外規制」／「全着信規制」／「国際着信規制」

発着信規制用暗証番号を変更する

❶ ■→「設定」→「通話設定」→「通話サービス」→「発着信規制」→「規制暗証番号変更」

❷ 現在欄に現在の規制暗証番号を入力→■（OK）

❸ 新規欄に新しい規制暗証番号を入力→■（OK）

❹ 確認欄にもう一度新しい規制暗証番号を入力→■（OK）

使いこなしチェック！

設定

- 発信規制を設定する（☞P.13-28）
- 着信規制を設定する（☞P.13-28）
- 発着信規制の制限をすべて解除する（☞P.13-28）
- 発着信規制の設定を確認する（☞P.13-28）
- 発着信規制用暗証番号を変更する（☞P.13-28）

発信者番号通知サービスを利用する

お客様の電話番号を相手に通知するかどうか設定するサービスです。

発信者番号の通知／非通知を設定する

❶ ■→「設定」→「通話設定」→「発信者番号通知」

❷ 「通知／非通知」→「通知する」／「通知しない」

- 操作❶のあと、「設定確認」を選択すると現在の設定を確認できます。
- 本サービスの設定にかかわらず、発信するごとに電話番号を通知／非通知にできます（➲P.3-23）。

使いこなしチェック！

設定

- 発信者番号の通知／非通知を設定する（☞P.13-32）

便利

電話に関する便利な機能

入力した電話番号からS!一斉トークを発信したい　[S!一斉トーク]

電話番号全桁を入力→Y!→「S!一斉トーク」→発信したいメンバーを反転表示→■（発信）

入力した電話番号を電話帳に登録したい　[電話帳登録]

電話番号全桁（市外局番を含む）を入力→Y!→「電話帳登録」→（➔P.2-46 電話番号を入力してから登録したい）

入力した電話番号を宛先としたメールを作成したい　[メール作成]

電話番号全桁を入力→Y!→「メール作成」→「S!メール」／「SMS」→（➔P.4-3 S!メールを送信する5、P.4-8 SMSを送信する5）

電話番号入力画面から電話帳検索画面に切り替えたい　[電話帳検索]

電話番号入力画面でY!→「電話帳検索」

電話番号入力画面から通話履歴画面に切り替えたい　[通話履歴]

電話番号入力画面でY!→「通話履歴」

日本から国際電話をかけたい　[国際発信]

電話番号全桁（市外局番を含む）を入力→Y!→「国際発信」→発信先の国を選択／「ユーザ入力」を選択して国番号を入力→発信元を選択→電話番号を確認→発信

- ご利用には別途お申し込みが必要です。詳しくは、お問い合わせ先（➔P.14-31）までご連絡ください。
- 海外にいる相手のソフトバンク携帯電話へは、相手のいる国にかかわらず電話番号だけでかけることができます。

自分の電話番号を通知するかどうかを設定して電話をかけたい　[発信者番号通知／非通知]

電話番号全桁（市外局番を含む）を入力→Y!→「発信者番号通知／非通知」

■ 発信者番号通知サービスの設定に従うとき

「ネットワーク設定に従う」→発信

■ 番号を通知するとき

「番号通知」→発信

■ 番号を非通知にするとき

「番号非通知」→発信

- 1 8 6 を入力→相手の電話番号を入力→発信と操作しても、通知して電話をかけることができます。
- 1 8 4 を入力→相手の電話番号を入力→発信と操作しても、非通知で電話をかけることができます。

着信中の電話に応答せず、着信を拒否して電話を切りたい

着信中に[Y!]（拒否）

- 拒否した電話は、着信拒否履歴として記録されます。
- 「サイドキー設定」を「着信拒否」に設定している場合は、着信中に[↑]／[↓]を1秒以上押しても着信を拒否できます。
- 転送電話サービスまたは留守番電話サービスをご利用になっていない場合は、着信中に[✉]（転送）を押すと、着信を拒否します。このとき相手のディスプレイには、こちらがお話し中である旨のメッセージが表示されます。ただし、相手がこの機能に対応していない場合は、メッセージ表示されません。

通話中に相手の声の音量を調節したい

通話中に[↑]／[↓]

- 受話口やステレオイヤホンマイクのイヤホンから聞こえる相手の声の大きさを調節できます。変更した音量は、電源を切っても保持されています。

通話を保留にしたい

通話中に[■]（保留）

- 保留中は相手に保留音が流れ、双方の声が聞こえなくなります。保留操作を行うには、割込通話サービスまたは多者通話サービスのお申し込みが必要です。どちらも非加入になると、保留機能が使用できません。
- 通話に戻るときは[■]（再開）を押します。

通話中にスピーカーホン通話に切り替えたい

通話中に[✉]（🔊）→「はい」

- 通常の通話に切り替えるときは通話中に[✉]（🔇）を押します。

小さい声で通話したい ［ささやきOn］／［ささやきOff］

通話中に[Y!]→「ささやきOn」／「ささやきOff」

- 「ささやき On」に設定すると、小さい声でも相手に大きな音声で伝えられます。

ヘッドセットでの通話と本体での通話を切り替えたい ［ヘッドセットに切替］／［本体に切替］

通話中に[Y!]→「ヘッドセットに切替」／「本体に切替」

- Bluetooth®対応のヘッドセットをご利用の場合に有効です。

音声の送信を設定したい ［ミュート］

通話中に[Y!]→「ミュート」→「音声」をチェック／チェックを外す→[✉]（OK）

通話中に別の相手に電話をかけたい ［発信］

通話中に[Y!]→「発信」→電話番号を入力→[■]（発信）

- 電話帳から検索するには、[■]（発信）を押したあと、[■]（電話帳）を押します。
- 多者通話サービスをご利用の場合に有効です。

通話中に電話帳を検索したい ［電話帳］

通話中に[Y!]→「電話帳」→（➔P.2-22 電話帳を検索する❷）

通話相手の電話番号を電話帳に登録したい ［電話帳登録］

通話中に[Y!]→「電話帳登録」

■ **新規で登録するとき**

「新規」→各項目を登録→[✉]（保存）

■ **追加で登録するとき**

「追加」→電話帳を検索し、選択（➔P.2-22）→各項目を登録→[✉]（保存）

通話中に通話履歴を確認したい ［通話履歴］

通話中に[Y!]→「通話履歴」

通話相手の電話番号を宛先としたメールを作成したい ［メール作成］

通話中にY!→「メール作成」→「S!メール」／「SMS」→（➔P.4-3 S!メールを送信する❺、P.4-8 SMSを送信する❺）

通話中にプッシュトーンを送信したい ［プッシュトーン送信］

通話中にY!→「プッシュトーン送信」→ダイヤルボタンを入力→■（送信）

- 電話帳から検索するには、「プッシュトーン送信」を選択したあと、■（電話帳）を押します。

通話中に相手の声を録音したい ［音声録音］

通話中にY!→「音声録音」→■（録音）→✉（停止）

- 通話中にボイスレコーダーを利用して、相手の声を録音できます。最長2分間録音できます。
- 録音中に一時停止する場合は■（一時停止）を押します。録音を再開する場合は■（録音）、一時停止したところまで保存する場合は✉（保存）を押します。
- 録音された音声ファイルは、データフォルダの「着うた・メロディ」フォルダに保存されます。
- 割込通話サービスをご利用の場合、録音中に他の相手から電話がかかってくると、録音を終了して着信画面を表示します。
- 録音中に電話が切れると録音が自動的に終了し、音声が保存されます。

通話中にメモを作成したい ［メモ］

通話中にY!→「メモ」→メモを入力

通話中のメニュー操作から通話を終了したい ［通話終了］

通話中にY!→「通話終了」

便利

TVコールに関する便利な機能

メニュー操作からTVコールをかけたい ［TVコール］

電話番号全桁（市外局番を含む）を入力→Y!→「TVコール」

自分の電話番号を通知するかどうかを設定してTVコールをかけたい ［発信者番号通知／非通知］

電話番号全桁（市外局番を含む）を入力→Y!→「発信者番号通知／非通知」

■ 発信者番号通知サービスの設定に従うとき

「ネットワーク設定に従う」→⌒（1秒以上）

■ 番号を通知するとき

「番号通知」→⌒（1秒以上）

■ 番号を非通知にするとき

「番号非通知」→⌒（1秒以上）

- 1 8 6 を入力→相手の電話番号を入力→⌒（1秒以上）と操作しても、通知して電話をかけることができます。
- 1 8 4 を入力→相手の電話番号を入力→⌒（1秒以上）と操作しても、非通知で電話をかけることができます。

3 電話

スピーカーホン通話と本体での通話を切り替えたい

TVコール中に／を反転表示→■（選択）

- 「スピーカー Onに切替」にする場合は確認メッセージが表示されます。「はい」を選択するとスピーカーホン通話に切り替わります。

TVコール中の画像の表示を切り替えたい

TVコール中にを反転表示→■（選択）

- 相手画像を大きく自画像を小さく表示したり、相手画像を小さく自画像を大きく表示したり切り替えることができます。

自画像を静止画／カメラに切り替えたい

TVコール中に／を反転表示→■（選択）

送信する画像を代替画像／自画像に切り替えたい

TVコール中に／を反転表示→■（選択）

相手画像を静止画／カメラに切り替えたい

TVコール中に／を反転表示→■（選択）

外側カメラ／内側カメラを切り替えたい

TVコール中にを反転表示→■（選択）

音声／カメラ映像の送信を設定したい

TVコール中に✉（ミュート）→「音声」／「カメラ」をチェック／チェックを外す→✉（完了）

ヘッドセットでの通話と本体での通話を切り替えたい [ヘッドセットに切替]／[本体に切替]

TVコール中にY!→「ヘッドセットに切替」／「本体に切替」

- Bluetooth®対応のヘッドセットをご利用の場合に有効です。

TVコール通話を保留にしたい [保留]

TVコール中にY!→「保留」

- 保留中は代替画像が送信され、双方の音声が聞こえなくなります。
- 通話に戻るときは、保留中に✉（再開）、またはY!を押して「再開」を選択します。

送信する映像の明るさを調整したい [明るさ]

TVコール中にY!→「表示設定」→「明るさ」→で調整

送信する映像の色調を調整したい [エフェクト]

TVコール中にY!→「表示設定」→「エフェクト」→「ノーマル」／「モノクロ」／「セピア」

自画像の代わりに送信する画像を設定したい [代替画像]

TVコール中にY!→「設定」→「代替画像」

■ お買い上げ時の画像に戻すとき

「プリセット画像」→■（OK）

■ データフォルダから画像を選択するとき

「ピクチャー」→送信したい画像を選択→■（OK）

- メモリカードを取り付けているときは、「ピクチャー」を選択したあとに「ピクチャー」フォルダと「デジタルカメラ」フォルダからファイルを選択できます。

TVコール中の相手画像の画質を調整したい [受信画質]

TVコール中にY!→「設定」→「受信画質」→「動き優先」／「標準」／「画質優先」

TVコール中の自画像の画質を調整したい [送信画質]

TVコール中にY!→「設定」→「送信画質」→「動き優先」／「標準」／「画質優先」

保留中に送信する画像を設定したい [保留設定]

TVコール中に[Y!]→「設定」→「保留設定」

■ **お買い上げ時の画像に戻すとき**
「プリセット画像」→[■]（OK）

■ **データフォルダから画像を選択するとき**
「ピクチャー」→「ピクチャー」→送信したい画像を選択→[■]（OK）

- メモリカードを取り付けているときは、「ピクチャー」を選択したあとに「ピクチャー」フォルダと「デジタルカメラ」フォルダからファイルを選択できます。

音声を送信するかどうか設定したい [私の音声ミュート]

TVコール中に[Y!]→「設定」→「私の音声ミュート」→「On」／「Off」

- 現在通話中のTVコールには設定が反映されません。次回のTVコールから設定が反映されます。

スピーカーホン通話と本体での通話を切り替えたい [スピーカーホン]

TVコール中に[Y!]→「設定」→「スピーカーホン」→「On」／「Off」

- 現在通話中のTVコールには設定が反映されません。次回のTVコールから設定が反映されます。

TVコール中のバックライトの明るさを設定したい [バックライト]

TVコール中に[Y!]→「設定」→「バックライト」→「On」／「Off」

- TVコール中のディスプレイの明るさを設定します。「Off」に設定するとディスプレイは「On」の設定時より暗くなります。

再発信方法を設定したい [再発信方法]

TVコール中に[Y!]→「設定」→「再発信方法」→「毎回確認」／「音声通話」／「メール」／「なし」

指定した相手からのTVコール着信を自動で受けたい [自動応答]

TVコール中に[Y!]→「設定」→「自動応答」→「On/Off設定」→「On」／「Off」

- 指定した相手からTVコールの着信があったときに、通知音でお知らせして自動的に電話を受けることができます。

TVコール着信を自動で受ける相手を指定したい [自動応答リスト]

TVコール中に[Y!]→「設定」→「自動応答」→「自動応答リスト」→[Y!]→「追加」→操作用暗証番号を入力→[■]（OK）

■ **電話番号を直接入力するとき**
「直接入力」→電話番号を入力

■ **アドレス帳から選択するとき**
「電話帳」→電話帳を検索し、選択（➲P.2-22）

■ **通話履歴から選択するとき**
「通話履歴」→[着信]（着信履歴）／[発信]（発信履歴）→指定したい履歴を選択

- 指定した相手からTVコールの着信があったときに、通知音でお知らせして自動的に電話を受けることができます。

TVコール着信の自動応答に指定した相手を削除したい

TVコール中に[Y!]→「設定」→「自動応答」→「自動応答リスト」

■ **指定した番号を1件削除するとき**
削除したい電話番号を反転表示→[Y!]→「削除」→「1件」→「はい」

■ **指定した番号をすべて削除するとき**
[Y!]→「削除」→「全件」→「はい」→操作用暗証番号を入力→[■]（OK）

3
電話

3
電話

自画像を送信するかどうか設定したい **[自画像送信]**

TVコール中に[Y!]→「設定」→「自画像送信」→「On」／「Off」

- 現在通話中のTVコールには設定が反映されません。次回のTVコールから設定が反映されます。

TVコール中に電話帳を検索したい **[電話帳]**

TVコール中に[Y!]→「電話帳」→（➲P.2-22 電話帳を検索する❷）

通話相手の電話番号を電話帳に登録したい **[電話帳登録]**

TVコール中に[Y!]→「電話帳登録」

■ **新規で登録するとき**

「新規」→各項目を登録→[✉]（保存）

■ **電話帳を更新するとき**

「更新」→電話帳を検索し、選択（➲P.2-22）→各項目を登録→[✉]（保存）

通話相手の電話番号を宛先としたメールを作成したい **[メール作成]**

TVコール中に[Y!]→「メール作成」→「S!メール」／「SMS」→（➲P.4-3 S!メールを送信する❺、P.4-8 SMSを送信する❺）

プッシュトーンを送信したい **[プッシュトーン送信]**

TVコール中に[Y!]→「プッシュトーン送信」→ダイヤルボタンを押す→[■]（送信）

- 電話帳の番号から送信するときは、「プッシュトーン送信」を選択したあと、[✉]（検索）を押して電話帳を検索し、選択（➲P.2-22）します。

TVコール中にメモを作成し、保存したい **[メモ]**

TVコール中に[Y!]→「メモ」→メモを入力

相手の電話番号が登録されている電話帳の詳細画面を確認したい **[通話相手の詳細]**

TVコール中に[Y!]→「通話相手の詳細」

便利

通話履歴に関する便利な機能

通話履歴から音声電話をかけたい

[着信]（着信履歴）／[発信]（発信履歴）→発信したい履歴を反転表示→[✉]（発信）→「音声発信」

通話履歴からTVコールをかけたい **[TVコール発信]**

[着信]（着信履歴）／[発信]（発信履歴）→発信したい履歴を反転表示→[✉]（発信）→「TVコール発信」

通話履歴からS!一斉トークを発信したい **[S!一斉トーク発信]**

[着信]（着信履歴）／[発信]（発信履歴）→発信したい履歴を反転表示→[✉]（発信）→「S!一斉トーク発信」

直前に退出したS!一斉トークに再参加したい **[S!一斉トーク再参加]**

[着信]（着信履歴）／[発信]（発信履歴）→再参加したい履歴を反転表示→[Y!]→「S!一斉トーク再参加」（➲P.10-7）

通話履歴の電話番号を宛先としたメールを作成したい [メール作成]

（着信履歴）／（発信履歴）→宛先にしたい履歴を反転表示→（発信）→「メール作成」→「S!メール」／「SMS」→（➔P.4-3 S!メールを送信する❺、P.4-8 SMSを送信する❺）

通話履歴の電話番号を電話帳に登録したい [電話帳登録]

（着信履歴）／（発信履歴）→登録したい履歴を反転表示→→「電話帳登録」→（➔P.2-21 通話履歴から登録する❸）

通話履歴の電話番号を着信拒否リストに追加したい [拒否リスト追加]

（着信履歴）／（発信履歴）→着信拒否リストに追加したい履歴を反転表示→→「拒否リスト追加」→「はい」

通話履歴の電話番号が登録されている電話帳の詳細画面を確認したい [詳細]

（着信履歴）／（発信履歴）→確認したい履歴を反転表示→→「詳細」

通話履歴の電話番号に国際コードと国番号を付加して国際電話をかけたい [国際発信]

（着信履歴）／（発信履歴）→国際電話をかけたい履歴を反転表示→→「国際発信」→発信先の国を選択／「ユーザ入力」を選択して国番号を入力→発信元を選択→電話番号を確認→

通話履歴から自分の電話番号を通知するかどうかを設定して電話をかけたい [発信者番号通知／非通知]

（着信履歴）／（発信履歴）→通知／非通知にして電話をかけたい履歴を反転表示→→「発信者番号通知／非通知」

■ **発信者番号通知サービスの設定に従うとき**

「ネットワーク設定に従う」→

■ **番号を通知するとき**

「番号通知」→

■ **番号を非通知にするとき**

「番号非通知」→

便利

多者通話サービスに関する便利な機能

多者通話中に相手を選択して通話を切りたい

多者通話中に通話を切りたい相手を反転表示→（多者通話）→「この相手と終話」

多者通話中にすべての通話を保留にしたい

多者通話中に（多者通話）→「全ての相手と保留」

3

電話

メール

メールについて

820SCでは、S!メールとSMSの2種類のメールを利用できます。

S!メール

ソフトバンク携帯電話や、メールを利用できるパソコンなどの機器との間で、長い文字メッセージや画像、サウンドなどを送受信できます。
また、文字サイズや色、背景などを装飾できるアレンジメールや、件名の先頭にフィーリングメール用絵文字を挿入することで、相手に自分の気持ちを伝えられるフィーリングメールを送受信できます。

- フィーリングメールは対応機種のみ受信できます。
- S! メールの利用とメールの受信には、別途ご契約が必要です。

SMS

ソフトバンク携帯電話との間で、電話番号を宛先として短い文字メッセージを送受信できます。

メールの種類により、入力項目や送信できる文字数が次のように異なります。

入力項目／文字数		S!メール[1]	SMS
入力項目			
	宛先	○	○
	件名	○	×
	添付ファイル	○	×
	本文	○	○
送信可能な文字数		全角で約15,000文字、半角で約30,000文字（30Kバイトまで）[2]	全角で最大70文字、半角で最大70文字、半角英数記号で最大160文字[3]

1 宛先や件名、メッセージ、添付ファイルなどを含めたメールサイズの合計は300Kバイトです（返信または転送するメールも同様）。
2 添付ファイルのサイズなどにより、送信可能な文字数は変わります。
3「文字コード」（➲P.13-6）を「英語」に設定したときの文字数です。

- リトライ機能とは、相手が電源を切っていたり、電波の届かないところにいたりしてメールを受信できない場合に、メールサーバーにメールが保管され、電波が届くようになると配信する機能です。

注意

- **820SCで作成したメールは、相手側の端末によっては820SCと同様に表示されない場合があります。**
- **本文にハングルを含むS!メールやSMSを受信した場合は、ハングルを表示できます。ただし、ハングルの入力はSMSの本文にのみできます。本文にハングルを含む受信メールをS! メールで返信／転送すると、本文のハングルが削除されます。**
- **SMS の本文をハングルで入力して送信した場合、相手側の端末によっては入力した文字が削除されたりスペースとして表示されるときがあります。**

4 メール

Eメールアドレスを変更／登録する

ご契約時のEメールアドレスのアカウント名（@より前の部分）は、ランダムな英数字に設定されています。アカウント名はお好きな文字に変更することができます。Eメールアドレス変更の詳細については、『サービスガイド（3G）』をご覧ください。

Eメールアドレスを変更する

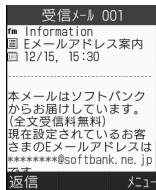
パソコンなどからメールを受信するときに使用するEメールアドレスのアカウント名を変更できます。

1 ✉→「設定」→「メール・アドレス設定」

2 画面の指示に従って操作

Eメールアドレスを登録する

Eメールアドレスの変更が完了すると、ソフトバンクよりEメールアドレス変更の完了通知が届きます。

1 ✉→「受信ボックス」→フォルダを選択→Informationからのメールを選択→「はい」／「いいえ」

使いこなしチェック！

設定

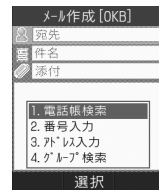
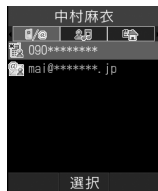
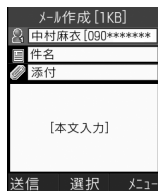
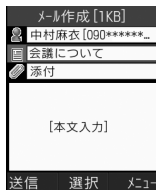
● Eメールアドレスを変更する（☞P.13-2）

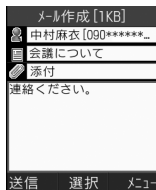
S!メールを送信する

ここでは例として、電話帳に登録している相手にS!メールを送信します。

1 ✉→「メール作成」

S!メール作成画面

2 宛先欄を選択

3 「電話帳検索」→電話帳を検索し、送信したい宛先を選択（➔P.2-22 電話帳を検索する**2**）

4 電話番号／Eメールアドレスを選択

5 件名欄を選択→件名を入力

- 件名欄が反転表示されている状態からも入力が行えます。

6 本文入力欄を選択→本文を入力

- 本文入力欄が反転表示されている状態からも入力が行えます。

7 [✉]（送信）

- 待受画面で[✉]を1秒以上押してもS!メール作成画面を呼び出すことができます。
- S! メールの宛先には電話番号またはEメールアドレスを入力します。入力できる宛先の件数は最大20件です。
- 宛先、件名、本文のいずれかを入力した状態、またはファイルを添付した状態で[CLEAR/メモ]／[▸□]／[終話]を押すとメール作成の終了を確認するメッセージが表示されます。「はい」を選択するとただちにメール作成を終了します。[CLEAR/メモ]／[▸□]を押した場合は、「保存」を選択すると作成中のメールが下書きに保存されます。

注意

- S! メールではハングルの表示はできますが、入力や送信はできません。

ファイルを添付する

S!メールに添付できるファイルのサイズは、宛先や件名、メッセージなどを含めて300Kバイトまでです。
1通のS!メールに添付できるファイルの数は20個までです。

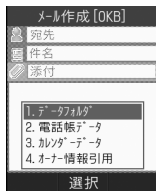
- 作成中のS!メールのサイズは、S!メール作成画面の右上に表示されます。

注意

- **メールを送信する相手によっては、添付したファイルを受信できない場合がありますのでご注意ください。ソフトバンク携帯電話が対応するファイルについては、『サービスガイド(3G)』を参照してください。**
- **S!メールで動画を添付するときは、「S!メール添付」(➔P.7-19)で撮影したファイルを選択してください。送信できない動画を添付しようとした場合、添付できないという旨のメッセージが表示されます。**

データフォルダなどからファイルを添付する

画像や動画、サウンドを選択して添付できるほか、電話帳やカレンダー、オーナー情報の登録内容をvCard形式やvCalendar形式にして添付できます。

1 ✉→「メール作成」→添付ファイル欄を選択

2 ファイルの添付操作

■ データフォルダ内のファイルを添付するとき

「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→添付したいファイルを選択

■ 電話帳の登録内容を vCard 形式で添付するとき

「電話帳データ」→電話帳を検索し、添付したい電話帳を選択(➔P.2-22)→✉(追加)

■ カレンダーの登録内容を vCalendar 形式で添付するとき

「カレンダーデータ」→[キー]で「スケジュール」/「予定」→添付したい登録内容を選択

■ オーナー情報の登録内容を vCard 形式で添付するとき

「オーナー情報引用」→✉(追加)

- ファイルを追加するには、添付ファイル欄を選択し、「ファイル追加」を選択して添付操作を繰り返します。
- ファイルを添付すると、添付ファイル表示画面にファイルの種別を示すアイコンとファイル名が表示されます。

:画像	:サウンド
:動画	:vCalendar
:vCard	:上記以外のファイル

注意

- **オーナー情報の登録内容を添付する場合に、趣味の情報は添付できません。**

アレンジメールを作成する

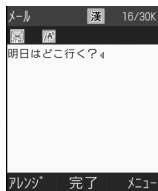
ここでは例として、アレンジを次のとおりに設定します。

- 文字サイズ、背景色を変更
- データフォルダの画像、絵文字を挿入
- 文字を左右に移動表示（スクロール）

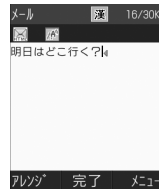
1 ✉→「メール作成」→本文入力欄を選択

2 Y!→「アレンジ設定」

アレンジメール
作成画面

3 「サイズ」→「大」／「標準」／「小」→本文を入力

- 続けてアレンジを設定するときは、✉（アレンジ）を押して操作します。

4 ✉（アレンジ）→「背景」

5 背景色を選択

6 ✉（アレンジ）→「画像」

7 「ピクチャー」→ファイルを選択

- メモリカードを取り付けているときは、「デジタルカメラ」フォルダからファイルを選択することができます。
- 画像を撮影して挿入するときは「カメラ起動」を選択します。
- メモリカードを取り付けているときは、「ピクチャー」を選択したあとに[メール]（メモリカード）を押すと、メモリカードからファイルを選択することができます。

8 [メール]（アレンジ）→「マイ絵文字」→絵文字を選択

9 [メール]（アレンジ）→[Y!]（範囲選択）→アレンジする最初の箇所に[方向キー]でカーソルを合わせ[■]（始点）→[方向キー]でアレンジしたい範囲を指定→[■]（終点）→「効果」

10 「スクロール」

11 「右から左へ」／「スイング」

12 [メール]（終了）→[■]（完了）

- 1つ前の状態に戻すには、アレンジメール作成画面で「戻す」を選択します。
- アレンジ設定をすべてやり直すには、アレンジメール作成画面で「解除」を選択し、「はい」を選択します。

使いこなしチェック！

便利 ☞P.4-19

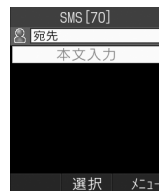
- 宛先の種類をTO/CC/BCCに変更したい
- 宛先を削除したい
- 添付したファイルを削除したい
- フィーリングメールを送信したい
- フィーリング設定を解除したい
- 作成中のS!メールを下書きに保存したい
- テンプレートを利用してS!メールを作成したい
- 入力した本文をすべて削除したい
- S!メール作成画面で本文をスクロールする単位を設定したい
- S!メール作成画面で本文の文頭／文末に移動したい
- 送信前にデルモジ表示を確認したい
- 「アクション設定」を設定したメールを送信したい
- いろいろなアレンジを利用したい
- 入力済みの文字の文字色／文字サイズを変更したい
- S!メールの本文を作成中に定型文を利用したい
- バーコードリーダーを利用したい
- S!メールの本文を作成中にカーソルを文頭／文末に移動させたい
- S!メールの本文を作成中に文字の入力／変換設定をしたい
- S!メールに情報を挿入したい
- S!メールの本文を作成中にユーザ辞書登録したい
- 他社送信用絵文字を設定したい
- S!メールの本文を作成中にアドレスを簡単に入力したい

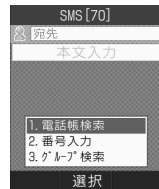
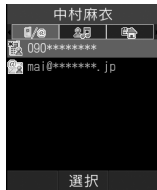
設定

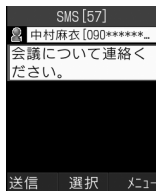
- 署名を設定する（☞P.13-2）
- 署名を編集する（☞P.13-2）
- 送信中の進行状況表示を設定する（☞P.13-2）
- 送信メールの優先度を設定する（☞P.13-4）
- 送信メールのメールサーバーへの保存期間を設定する（☞P.13-4）
- 送信メールをメールサーバーから相手に配信する時間を設定する（☞P.13-4）
- 返信先を設定する（☞P.13-4）
- 返信先アドレスを設定する（☞P.13-5）

SMSを送信する

ここでは例として、電話帳に登録している相手にSMSを送信します。

1 →「SMS新規作成」

SMS作成画面

2 宛先欄を選択

3 「電話帳検索」→電話帳を検索し、選択（➲P.2-22 電話帳を検索する❷）

4 電話番号を選択

5 本文入力欄を選択→本文を入力

- 本文入力欄が反転表示されている状態からも入力が行えます。

6 ✉（送信）

- SMSの宛先には電話番号を入力します。入力できる宛先の件数は最大20件です。
- SMSの本文で送信可能な文字数（➲P.4-2）を超えた場合、S!メールに変更する確認メッセージが表示されます。「はい」を選択するとS!メールに切り替わります。
- 本文にハングルが含まれている場合は、ハングルを削除する旨の確認メッセージが表示されます。「はい」を選択するとハングルが削除されたS!メールに切り替わります。

使いこなしチェック！

便利 ☞P.4-23
- 宛先を削除したい
- 作成中のSMSを下書きに保存したい
- 作成中のSMSをS!メールに変更したい
- 入力した本文をすべて削除したい
- 送信前にデルモジ表示を確認したい
- テンプレートを利用してSMSを送信したい

設定
- 署名を設定する（☞P.13-2）
- 署名を編集する（☞P.13-2）
- 送信中の進行状況表示を設定する（☞P.13-2）
- 返信先を設定する（☞P.13-4）
- 返信先アドレスを設定する（☞P.13-5）
- メールサーバーへの保存期間を設定する（☞P.13-6）
- SMSセンター番号を設定する（☞P.13-6）
- SMSセンター番号を編集する（☞P.13-6）
- 文字コードを変更する（☞P.13-6）

受信メールを確認／返信する

新着メールを確認する

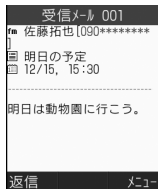
メールを受信すると、待受画面に新着メール受信の通知画面が表示され、受信件数と差出人、受信日時が表示されます。

受信の通知画面（ディスプレイ）

受信の通知画面（サブディスプレイ）

1 ■（表示）→フォルダを選択

メール一覧画面

2 新着メールを選択

メッセージ画面（S!メールの場合）

- デルモジ表示設定の確認メッセージが表示されたときは、必要に応じて「常に表示」／「未読のみ表示」／「表示しない」を選択します。

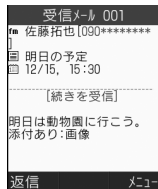
- **デルモジ**
  デルモジとは、新着または未読のメールを確認するとメッセージが単語や絵文字、顔文字などに合わせた3Dアニメーションで表示されることです。
  「デルモジ表示設定」（➲P.13-3）を「表示しない」以外に設定している場合、メッセージがデルモジ表示されます。デルモジ表示が終了するか、デルモジ表示中に✉（停止）を押すと、メッセージ画面が表示されます。各種操作を行う場合は、メッセージ画面が表示されてから操作してください。

- **新着メール受信の通知画面の差出人表示**
  電話番号またはEメールアドレスが表示されます。差出人が電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録した名前が表示されます。電話帳に着信画像が登録されている場合や、グループに着信画像が設定されている場合は、画像が同時に表示されます。シークレットモード設定が「表示しない」の場合、電話帳の「シークレットモード」が「シークレットモード-On」に設定されている相手からメールを受信したときは、名前や画像は表示されません。
- ファイルが添付されている場合は、メールの一番下にファイル名とサムネイルが表示されます。
- 待受画面以外を表示中にメールを受信すると、お買い上げ時はディスプレイ最上段に受信件数と差出人の電話番号またはEメールアドレス（電話帳に登録されている場合は、登録した名前）などがスクロールして表示されます。スクロールが終了すると、ディスプレイ最上段に✉が表示されます（➲P.1-4、P.13-3）。
- 820SCを閉じている場合は、サブディスプレイに✉が表示されます（➲P.1-5）。
- 配信レポートを受信すると、ディスプレイ最上段に📨が点滅したあと表示が消えます。待受画面には配信レポート受信の通知画面が表示されます。

メールの続きを受信する

S!メールの「受信設定」(➔P.13-4)を「手動取得」に設定している場合は、受信したS!メールがメールサーバーに一時保存され、メッセージの一部が受信通知としてお客様の820SCに送信されます。続きはメールサーバーから受信する必要があります。

1 ✉→「受信ボックス」

2 フォルダを選択→受信通知を選択

受信通知画面

3 「続きを受信」→続きを受信したメールを選択

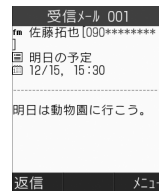
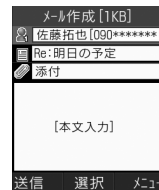
- **メール一覧画面に表示される受信通知のアイコン**
  未読の受信通知
  ：優先度高
  ：優先度標準
  ：優先度低

  既読の受信通知
  ：優先度高
  ：優先度標準
  ：優先度低

受信したメールに返信する

受信したメールの差出人に返信できます。

1 ✉→「受信ボックス」

2 フォルダを選択→返信するメールを選択

3 ✉(返信)→「S!メール」/「S!メール(引用付)」/「SMS」/「SMS(引用付)」

- 受信したメールの本文を残したい場合は、「S!メール(引用付)」または「SMS(引用付)」を選択します。

4 メールの作成操作(➔P.4-3 S!メールを送信する⑤)

4

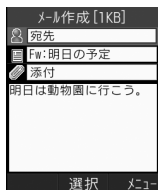
メール

- 返信するS!メールの件名には「Re:」が自動的に付きます。

受信したメールを転送する

受信したメールを他の宛先に転送できます。

1 ✉→「受信ボックス」→フォルダを選択

2 転送するメールを反転表示→Y!→「転送」

3 メールの作成操作（➲P.4-3 S!メールを送信する❷）

- 転送するS!メールの件名には「Fw:」が自動的に付きます。
- 受信したSMSを転送する場合は、S!メールで転送するかSMSで転送するかを選択できます。

使いこなしチェック！

便利 ☞P.4-24

- 受信したS!メールに入力されているすべての宛先へ返信したい
- 受信通知／サーバーメールを転送したい
- デルモジ表示したい
- 受信メールの差出人を電話帳に登録したい
- 送信者や宛先を確認したい
- メールの内容をコピーしたい
- 表示中のメールを削除したい
- メールの詳細を確認したい
- 添付画像の表示サイズを設定したい
- メールの文字サイズを設定したい
- メールの文字コードを設定したい
- メッセージ画面のスクロール単位を設定したい
- メッセージ画面の文頭／文末に移動したい
- メール一覧画面でメールサーバーに保存されているメールの続きを受信したい
- メールサーバーからのメールの受信を中止したい
- メール一覧画面で全員に返信したい

設定

- メッセージ画面で本文をスクロールする単位を設定する（☞P.13-2）
- 配信レポートの送信を設定する（☞P.13-2）
- 受信の通知を設定する（☞P.13-3）
- 「シークレット設定」を設定したフォルダの受信通知を設定する（☞P.13-3）
- メッセージのデルモジ表示を設定する（☞P.13-3）
- デルモジ表示の文字色と背景色のパターンを設定する（☞P.13-3）
- デルモジ表示の表示速度を設定する（☞P.13-3）
- S!メールの受信方法を設定する（☞P.13-4）
- ローミング中に受信するS!メールの受信方法を設定する（☞P.13-4）
- フィーリングメールを受信したときのバイブレータを設定する（☞P.13-5）
- フィーリングメールを受信したときの着信音の有無を設定する（☞P.13-5）
- フィーリングメールの着信音を設定する（☞P.13-5）
- フィーリングメール着信音の鳴動時間を設定する（☞P.13-5）
- 添付画像の表示方法を設定する（☞P.13-5）

- 添付画像の自動再生を設定する（☞P.13-5）
- 添付サウンドの自動再生を設定する（☞P.13-5）

メールを利用／管理する

820SCでは、メールの種類ごとに5種類のメールボックスが用意されています。

メールボックス	メールの種類
受信ボックス	受信したメールが保存されます。
下書き	作成途中で保存したメールが保存されます。
テンプレート	テンプレートとして登録したS!メールテンプレートやSMSの定型文が保存されます。
送信済みボックス	送信済みのメールが保存されます。
未送信ボックス	送信に失敗したメール、送信をキャンセルしたメール、送信待機中のメールが保存されます。

メール一覧から確認する

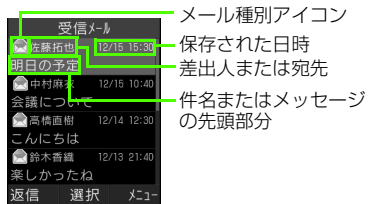
受信ボックスや送信済みボックス、未送信ボックスのメール一覧画面から、メッセージを確認できます。

1 [メール]→「受信ボックス」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択

2 メールを選択

- 「シークレット設定」を設定したフォルダは、「シークレットモード」が「表示しない」に設定されていると確認できません。確認するには、[Y!]→「シークレット一時解除」→操作用暗証番号を入力→[■]（OK）を押します。
- メッセージ画面で [*] ／ [#] を押すと、前後のメールのメッセージ画面に切り替わります。

メール一覧画面の表示

各メールボックスのメール一覧画面には、次の情報が表示されます。

メール一覧画面（受信ボックスの場合）

- **受信ボックスのメール一覧画面に表示されるアイコン**

未読のS!メール
：優先度高
：優先度標準
：優先度低
：動画やサウンドの挿入あり

既読のS!メール
：優先度高
：優先度標準
：優先度低
：動画やサウンドの挿入あり

未読の受信通知
：優先度高
：優先度標準
：優先度低

既読の受信通知
：優先度高
：優先度標準
：優先度低

未読のSMS
：本体に保存
：USIMカードに保存

既読のSMS
：本体に保存
：USIMカードに保存

受信中
：S!メール

- **下書きのメール一覧画面に表示されるアイコン**

S!メール
：S!メール
：動画やサウンドの挿入あり

SMS
：SMS

- **未送信ボックスのメール一覧画面に表示されるアイコン**

S!メール
：S!メール
：動画やサウンドの挿入あり
：送信中

SMS
：SMS
：USIMカードに保存

- **送信済みボックスのメール一覧画面に表示されるアイコン**

S!メール
：S!メール
：動画やサウンドの挿入あり

SMS
：SMS
：USIMカードに保存

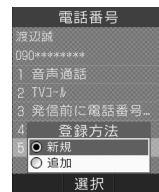
配信レポート
：未読のS!メール
：未読のSMS

- シークレットモード設定が「表示しない」のときは、電話帳のシークレットモードが「シークレットモード-On」の相手との送受信メールでは、名前は表示されずに電話番号またはEメールアドレスが表示されます。

メールの差出人や宛先、メール内の情報を利用する

メールのメッセージ画面や受信通知画面で、カーソルを合わせると反転表示する情報があります。差出人や宛先、メール本文の電話番号、Eメールアドレス、URLは、電話帳への登録や、電話の発信、メールの送信、ブックマークへの登録、インターネットへのアクセスができます。

電話帳に登録する

1 **→「受信ボックス」→フォルダを選択→メールを選択→電話番号／Eメールアドレス／URLを選択→「電話帳登録」**

❷ 電話帳の登録操作

■ 新しい電話帳に登録するとき
「新規」→各項目を登録(➲P.2-19)→✉(保存)

■ 既存の電話帳に追加登録するとき
「追加」→電話帳を検索し、選択(➲P.2-22)→各項目を登録(➲P.2-19)→✉(保存)

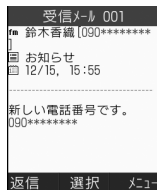
ブックマークに登録する

❶ ✉→「受信ボックス」→フォルダを選択→メールを選択→URLを選択→「ブックマーク登録」

❷ ■(選択)→タイトルを入力→✉(保存)

電話発信／メール送信／インターネットアクセスを行う

メールのメッセージ画面や受信通知画面に表示されている差出人や宛先、電話番号、Eメールアドレス、URLの情報を利用できます。

❶ ✉→「受信ボックス」→フォルダを選択→メールを選択

❷ 情報の利用操作

■ 音声電話をかけるとき
電話番号を選択→「音声通話」

■ TVコールをかけるとき
電話番号を選択→「TVコール」

■ 電話番号を変更してから電話をかけるとき
電話番号を選択→「発信前に電話番号を編集」

■ メールを送信するとき
電話番号／Eメールアドレスを選択→「メール作成」→「S!メール」／「SMS」(➲P.4-3 S!メールを送信する❺、P.4-8 SMSを送信する❺)

■ インターネットへアクセスするとき
URLを選択→「URLに接続」→「はい」

- 電話番号を選択してメールを送信する場合は、S!メールを送信するかSMSを送信するかを選択し、メールを作成します。

メール／テンプレートを削除する

メールを削除する

メールを指定して削除したり、メールボックス内のすべてのメールをまとめて削除することができます。

1 **[メール]→「受信ボックス」／「下書き」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択**

2 **メールの削除操作**

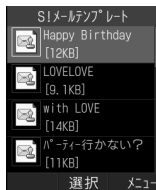
■ **1件削除するとき**
削除したいメールを反転表示→[Y!]→「削除」→「1件」→「はい」

■ **複数削除するとき**
[Y!]→「削除」→「複数」→削除したいメールをチェック→[メール]（削除）→「はい」

■ **選択したボックス内のメールをすべて削除するとき**
[Y!]→「削除」→「全件」→操作用暗証番号を入力→[■]（OK）→「はい」

テンプレートを削除する

テンプレートを指定して削除したり、登録されているすべてのテンプレートをまとめて削除することができます。

1 **[メール]→「テンプレート」→「S!メールテンプレート」／「定型文」**

2 **テンプレートの削除操作**

■ **1件削除するとき**
削除したいS!メールテンプレート／定型文を反転表示→[Y!]→「削除」→「1件」→「はい」

■ **複数削除するとき**
[Y!]→「削除」→「複数」→削除したいS!メールテンプレート／定型文をチェック→[メール]（削除）→「はい」

■ **すべて削除するとき**
[Y!]→「削除」→「全件」→操作用暗証番号を入力→[■]（OK）→「はい」

使いこなしチェック！

便利 ☞P.4-26

- 送信済みメール、未送信メールを編集して送信したい
- S!メールに添付／挿入されているファイルをデータフォルダに保存したい
- 受信S!メールや送信済みS!メールをS!メールテンプレートに保存したい
- メール一覧画面から電話帳に登録したい
- メールを保護／保護解除したい
- メール一覧画面の表示方法を設定したい
- メール一覧画面のメールを並べ替えたい
- メールを開封済み／未開封にしたい

● メール一覧画面でSMSを820SC本体／USIMカードに移動したい
● メールやフォルダの詳細情報を確認したい
● S!メールテンプレートを登録したい
● 登録したテンプレートをメールで送信したい
● 登録したテンプレートの詳細を確認したい
● 未送信メールを編集して送信したい
● 未送信メールのエラー詳細を確認したい
● メールサーバーに保存されているメールを転送したい
● メールリストを利用してサーバー内のメールを削除したい

設定

● メール一覧画面の表示方法を設定する（☞P.13-3）
● 受信ボックスのメールの表示方法を設定する（☞P.13-3）
● 送信済みボックスのメールの表示方法を設定する（☞P.13-3）

フォルダで管理する

受信ボックス、送信済みボックス内に自分でフォルダを作成したり、フォルダにルールを設定して自動でメールを振り分けることができます。フォルダにセキュリティを設定することもできます。ただし、「受信メール」フォルダ、「送信メール」フォルダは削除したり、設定を変更したりすることはできません。

フォルダを作成する

1 [メール]→「受信ボックス」／「送信済みボックス」

2 [Y!]→「フォルダ作成」

3 フォルダ名を編集

メールを移動する

1 [メール]→「受信ボックス」／「送信済みボックス」

2 メールの移動操作

■ **1件移動するとき**

フォルダを選択→移動したいメールを反転表示→[Y!]→「フォルダへ移動」→「1件」

■ 複数移動するとき

フォルダを選択→[Y!]→「フォルダへ移動」→「複数」→移動したいメールをチェック→[✉]（移動）

■ すべて移動するとき

フォルダを選択→[Y!]→「フォルダへ移動」→「全件」

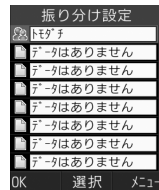
❸ 移動先のフォルダを選択

- お買い上げ時は、受信したメールは「受信メール」フォルダに、送信したメールは「送信メール」フォルダに保存されます。他のフォルダに移動したあと、メールを戻すときは操作❸で「受信メール」フォルダ／「送信メール」フォルダを選択します。

メールを振り分ける

送受信したメールを相手の電話番号やEメールアドレスによって自動的に指定したフォルダに振り分けることができます。S!メールでの件名や、SMSの本文に入力されたテキストでも振り分けることができます。1つのフォルダに設定できるルールは最大20件です。

❶ [✉]→「受信ボックス」／「送信済みボックス」

❷ 移動先に指定したいフォルダを反転表示→[Y!]→「メール振り分け設定」

❸ 振り分けルールの設定操作

■ 振り分ける電話番号／Eメールアドレスを電話帳から選択するとき

ルール欄を選択→「送信者」／「宛先」→「電話帳」→電話帳を検索し、選択（➔P.2-22）→電話番号／Eメールアドレスを選択

■ 振り分ける電話番号／Eメールアドレスを直接入力するとき

ルール欄を選択→「送信者」／「宛先」→「直接入力」→電話番号／Eメールアドレスを入力

■ 振り分ける電話番号／Eメールアドレスを電話帳のグループから選択するとき
ルール欄を選択→「送信者」／「宛先」→「グループ」→グループを選択
●USIMカードに登録されているグループは設定できません。

■ テキストから選択するとき
ルール欄を選択→「件名」→振り分けルールに設定するテキストを入力

  （OK）

使いこなしチェック！

便利 ☞P.4-30
● フォルダ名を変更したい
●「シークレット設定」を設定したい
● メールの自動振り分けルールを変更したい
● フォルダを削除したい

設定
● 受信ボックスのメールの表示方法を設定する（☞P.13-3）
● 送信済みボックスのメールの表示方法を設定する（☞P.13-3）

便利

S! メール送信に関する便利な機能

「電話帳検索」以外の方法で宛先を入力したい

S!メール作成画面で宛先欄を選択

■ 履歴から入力するとき
表示されている履歴を選択

■ 電話番号を直接入力するとき
「番号入力」→電話番号を入力

■ Eメールアドレスを直接入力するとき
「アドレス入力」→Eメールアドレスを入力

■ 電話帳のグループから選択するとき
「グループ検索」→グループを選択
●電話番号やEメールアドレスが複数登録されている電話帳が含まれている場合、宛先の選択画面が表示されることがあります。電話番号／Eメールアドレスを選択してください。

宛先を追加したい

宛先が入力済みのS!メール作成画面で宛先欄を選択→「宛先追加」

■ 履歴から入力するとき
表示されている履歴を選択→✉（完了）

■ 電話帳から選択するとき
「電話帳検索」→電話帳を検索し、選択（➔P.2-22）→電話番号／Eメールアドレスを選択→✉（完了）

■ 電話番号を直接入力するとき
「番号入力」→電話番号を入力→✉（完了）

■ Eメールアドレスを直接入力するとき
「アドレス入力」→Eメールアドレスを入力→✉（完了）

■ 電話帳のグループから宛先を選択するとき
「グループ検索」→グループを選択→✉（完了）
●電話番号やEメールアドレスが複数登録されている電話帳が含まれている場合、宛先の選択画面が表示されることがあります。電話番号／Eメールアドレスを選択してください。

●複数の宛先が登録されている場合は、メール作成画面の宛先欄👤の横に件数が表示されます。

宛先の種類をTO/CC/BCCに変更したい ［TOに変更］／［CCに変更］／［BCCに変更］

S!メール作成画面で宛先欄を選択→変更したい宛先を反転表示→Y!→「TOに変更」／「CCに変更」／「BCCに変更」→✉（完了）

宛先を削除したい ［削除］

S!メール作成画面で宛先欄を選択

■ **1件削除するとき**
削除したい宛先を反転表示→Y!→「削除」→「1件」→✉（完了）

■ **すべて削除するとき**
Y!→「削除」→「全件」→「はい」→✉（完了）

添付したファイルを確認したい

S!メール作成画面で添付ファイル欄を選択→確認したいファイルを選択

添付したファイルを削除したい ［削除］

S!メール作成画面で添付ファイル欄を選択

■ **1件削除するとき**
削除したいファイルを反転表示→Y!→「削除」→「1件」→✉（完了）

■ **すべて削除するとき**
Y!→「削除」→「全件」→「はい」→✉（完了）

フィーリングメールを送信したい ［フィーリング設定］

S!メール作成画面でY!→「フィーリング設定」→「Happy／うれしい」／「OK/Good」／「悲しい／ごめんね」／「NG/Bad」／「重要／注目」→感情を表す絵文字を選択

フィーリング設定を解除したい ［フィーリング設定解除］

S!メール作成画面でY!→「フィーリング設定解除」

作成中のS!メールを下書きに保存したい ［下書きに保存］

S!メール作成画面でY!→「下書きに保存」
- 宛先、件名、本文のいずれかが入力されている、またはファイルが添付／挿入されている場合のみ保存できます。

テンプレートを利用してS!メールを作成したい ［S!メールテンプレート呼出し］

S!メール作成画面でY!→「S!メールテンプレート呼出し」→テンプレートを選択
- すでにテンプレートを利用しているときは、編集内容を破棄する旨の確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると編集内容は破棄され、新たにテンプレートを呼び出すことができます。

入力した本文をすべて削除したい ［本文削除］

S!メール作成画面で本文入力欄を反転表示→Y!→「本文削除」→「はい」

S!メール作成画面で本文をスクロールする単位を設定したい ［スクロール単位］

S!メール作成画面で本文入力欄を反転表示→Y!→「スクロール単位」→「1行」／「1/2画面」／「全画面」

S!メール作成画面で本文の文頭／文末に移動したい ［画面移動］

S!メール作成画面で入力した本文入力欄を反転表示→Y!→「画面移動」→「文頭」／「文末」

送信前にデルモジ表示を確認したい ［デルモジ表示］

S!メール作成画面でY!→「デルモジ表示」

「アクション設定」を設定したメールを送信したい　［アクション設定］

S!メール作成画面で[Y!]→「アクション設定」

■ **相手がメールを読むと自動で削除されるかどうか設定するとき**

「メール自動消去」→「On」／「Off」

■ **相手に返信を要求するとき**

「返信リクエスト」→「On/Off 設定」→「On」→返信を要求する旨のメッセージを入力

- 「On」に設定しているときは、「返信リクエスト」の「メッセージ編集」からメッセージを編集することができます。

■ **相手が転送できないようにするとき**

「転送NG」→「On/Off設定」→「On」→転送できない旨のメッセージを入力

- 「On」に設定しているときは、「転送NG」の「メッセージ編集」からメッセージを編集することができます。

■ **相手が削除できないようにするとき**

「削除NG」→「On/Off設定」→「On」→削除できない旨のメッセージを入力

- 「On」に設定しているときは、「削除NG」の「メッセージ編集」からメッセージを編集することができます。

■ **相手がクイズ（一問一答）に答えないとメールを読めないようにするとき**

「クイズ」→「On/Off 設定」→「一問一答」→問題欄を選択→問題を入力→答え欄を選択→答えを入力→メッセージ（正解時）欄を選択→正解の場合のメッセージを入力→メッセージ（不正解時）欄を選択→不正解の場合のメッセージを入力→[✉]（完了）

- 問題を編集し直すときは、「クイズ」の「問題編集」を選択します。

■ **相手がクイズ（選択式）に答えないとメールを読めないようにするとき**

「クイズ」→「On/Off設定」→「選択式」→問題欄を選択→問題を入力→答え欄を反転表示→[◐]で正解番号を選択→選択肢1～4欄を選択しそれぞれに選択肢を入力→メッセージ（正解時）欄を選択→正解の場合のメッセージを入力→メッセージ（不正解時）欄を選択→不正解の場合のメッセージを入力→[✉]（完了）

- 問題を編集し直すときは、「クイズ」の「問題編集」を選択します。

- 「アクション設定」を設定すると、メールを受け取った相手側の動作を設定できます。

作成中のS!メールの配信確認を設定したい　［配信確認］

S!メール作成画面で[Y!]→「送信オプション」→「配信確認」→「On」／「Off」

- 「On」に設定すると、メールサーバーからメールが相手に送信されたときに、配信レポートがお客様の820SCに送信されます。作成中のメールにのみ設定が反映されます。

作成中のS!メールの返信先を設定したい　［返信先指定］

S!メール作成画面で[Y!]→「送信オプション」→「返信先指定」→「On」／「Off」

- 返信先は「返信先アドレス設定」（➔P.13-5）から設定できます。

作成中のS!メールの優先度を設定したい　［優先度］

S!メール作成画面で[Y!]→「送信オプション」→「優先度」→「高」／「標準」／「低」

作成中のS!メールのメールサーバーに保存する期限を設定したい　［有効期限］

S!メール作成画面で[Y!]→「送信オプション」→「有効期限」→「最大」／「1時間」／「3時間」／「6時間」／「12時間」／「1日」／「3日」／「1週間」

作成中のS!メールの配信時間を指定したい [配信時間指定]

S!メール作成画面で[Y!]→「送信オプション」→「配信時間指定」→「指定なし」／「1時間後」／「3時間後」／「6時間後」／「12時間後」／「1日後」／「3日後」／「1週間後」

サーバーメール転送後、サーバーからメールを削除するかどうか設定したい [サーバーメール転送設定]

S!メール作成画面で[Y!]→「送信オプション」→「サーバーメール転送設定」→「削除しない」／「転送後削除」

- サーバーメール転送時（➲P.4-29）のみ設定できます。

いろいろなアレンジを利用したい [アレンジ設定]

S!メール作成画面で本文入力欄を選択→[Y!]→「アレンジ設定」

■ **データフォルダからBGMを挿入するとき**
「挿入」→「BGMを挿入」→「着うた・メロディ」／「ミュージック」→ファイルを選択

■ **BGMを録音して挿入するとき**
「挿入」→「BGMを挿入」→「ボイスレコーダー起動」→（➲P.9-10 音声を録音する❷）

■ **Flash®を挿入するとき**
「挿入」→「Flashを挿入」→ファイルを選択

■ **区切り線を挿入するとき**
「挿入」→「区切り線を挿入」

入力済みの文字の文字色／文字サイズを変更したい [アレンジ設定]

文字が入力済みのS!メール作成画面で本文欄を選択→[Y!]→「アレンジ設定」→[Y!]（範囲選択）→アレンジする最初の文字に[✣]でカーソルを合わせ[■]（始点）→[✣]で変更したい範囲を指定→[■]（終点）

■ **文字色を変えるとき**
「色」→文字色を選択

■ **文字サイズを変えるとき**
「サイズ」→文字サイズを選択

S!メールの本文を作成中に定型文を利用したい [定型文]

S!メールの本文を作成中に[Y!]→「定型文」→定型文を選択

バーコードリーダーを利用したい [バーコードリーダー]

S!メール作成画面で本文入力欄を選択→[Y!]→「バーコードリーダー」→（➲P.9-12 バーコード／QRコードを読み取る❷）

S!メールの本文を作成中にカーソルを文頭／文末に移動させたい [カーソル移動]

S!メールの本文を作成中に[Y!]→「カーソル移動」→「文頭」／「文末」

S!メールの本文を作成中に文字の入力／変換設定をしたい [入力／変換設定]

S!メールの本文を作成中に[Y!]→「入力／変換設定」

■ **予測入力機能を設定／解除するとき**
「予測入力Off」／「予測入力On」

■ **学習機能を設定／解除するとき**
「学習Off」／「学習On」

■ **ユーザ辞書をリセットするとき**
「ユーザ辞書リセット」

■ **絵文字／記号の履歴をリセットするとき**
「絵／記号履歴リセット」

S!メールに情報を挿入したい [その他]

S!メールの本文を作成中に[Y!]→「その他」

■ **署名を挿入するとき**
「署名設定」

■ **電話帳の番号を挿入するとき**
「電話帳引用」→電話帳を検索し、選択（➲P.2-22）

■ **オーナー情報を挿入するとき**
「オーナー情報引用」

S!メールの本文を作成中にユーザ辞書登録したい [ユーザ辞書登録]

S!メールの本文を作成中に[Y!]→「ユーザ辞書登録」→（➲P.2-16 入力した文字をユーザ辞書に登録する❷）

他社送信用絵文字を設定したい　[他社送信用絵文字]

S!メールの本文を作成中に[Y!]→「他社送信用絵文字」→「ドコモ対応」／「au対応」／「ソフトバンク対応」／「携帯3社共通」

S!メールの本文を作成中にアドレスを簡単に入力したい　[簡単アドレス入力]

S!メールの本文を作成中に[Y!]→「簡単アドレス入力」→項目を選択

テンプレートを利用してS!メールを送信したい

[✉]→「テンプレート」→「S!メールテンプレート」→S!メールテンプレートを選択→[■]（メール）→（➲P.4-3 S!メールを送信する❷）

便利

SMS送信に関する便利な機能

「電話帳検索」以外の方法で宛先を入力したい

SMS作成画面で宛先欄を選択

■ **履歴から入力するとき**

表示されている履歴を選択

■ **電話番号を直接入力するとき**

「番号入力」→電話番号を入力

■ **電話帳のグループから選択するとき**

「グループ検索」→グループを選択

- 電話番号が複数登録されている電話帳が含まれている場合、宛先の選択画面が表示されることがあります。電話番号を選択してください。
- 「優先電話番号設定」の「メール」にEメールアドレスが設定されている電話帳は、宛先に設定できません。

宛先を追加したい

宛先が入力済みのSMS作成画面で宛先欄を選択→「宛先追加」

■ **履歴から入力するとき**

表示されている履歴を選択→[✉]（完了）

■ **電話帳から選択するとき**

「電話帳検索」→電話帳を検索し、選択（➲P.2-22）→電話番号を選択→[✉]（完了）

■ **電話番号を直接入力するとき**

「番号入力」→電話番号を入力→[✉]（完了）

■ **電話帳のグループから選択するとき**

「グループ検索」→グループを選択→[✉]（完了）

- 電話番号が複数登録されている電話帳が含まれている場合、宛先の選択画面が表示されることがあります。電話番号を選択してください。
- 「優先電話番号設定」の「メール」にEメールアドレスが設定されている電話帳は、宛先に設定できません。

- 複数の宛先が登録されている場合は、メール作成画面の宛先欄👤の横に件数が表示されます。

宛先を削除したい　[削除]

SMS作成画面で宛先欄を選択

■ **1件削除するとき**

削除したい宛先を反転表示→[Y!]→「削除」→「1件」→[✉]（完了）

■ **すべて削除するとき**

[Y!]→「削除」→「全件」→「はい」→[✉]（完了）

作成中のSMSを下書きに保存したい　[下書きに保存]

SMS作成画面で[Y!]→「下書きに保存」

- 宛先、本文のいずれかが入力されている場合のみ、メニューに「下書きに保存」が表示されます。

作成中のSMSをS!メールに変更したい　[S!メールに変換]

SMS作成画面で[Y!]→「S!メールに変換」

作成中のSMSの配信確認を設定したい [配信確認]

SMS作成画面で[Y!]→「送信オプション」→「配信確認」→「On」／「Off」

- 「On」に設定すると、メールサーバーからメールが相手に送信されたときに、配信レポートがお客様の820SCに送信されます。作成中のメールにのみ設定が反映されます。

作成中のSMSの有効期限を設定したい [有効期限]

SMS作成画面で[Y!]→「送信オプション」→「有効期限」→「なし」／「1時間」／「6時間」／「12時間」／「1日」／「3日」

入力した本文をすべて削除したい [本文削除]

SMS作成画面で本文入力欄を反転表示→[Y!]→「本文削除」→「はい」

送信前にデルモジ表示を確認したい [デルモジ表示]

SMS作成画面で本文入力欄を反転表示→[Y!]→「デルモジ表示」

テンプレートを利用してSMSを送信したい [送信]

[✉]→「テンプレート」→「定型文」→利用したい定型文を反転表示→[Y!]→「送信」

便利

受信メールに関する便利な機能

手動でメールを受信したい

[✉]→「新着メール受信」

受信したS!メールに入力されているすべての宛先へ返信したい [全員に返信]

[✉]→「受信ボックス」→フォルダを選択→メールを選択→[Y!]→「全員に返信」→「S!メール」／「S!メール（引用付）」→（➲P.4-3 S!メールを送信する❻）

受信通知／サーバーメールを転送したい [転送]

[✉]→「受信ボックス」→フォルダを選択→転送したい受信通知を反転表示→[Y!]→「転送」→「通知の転送」／「サーバーメール転送」→メールの作成操作（➲P.4-3 S!メールを送信する❷）

デルモジ表示したい [デルモジ表示]

[✉]→「受信ボックス」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択→メールを選択→[Y!]→「デルモジ表示」

受信メールの差出人を電話帳に登録したい [電話帳登録]

[✉]→「受信ボックス」→フォルダを選択→メールを選択→[Y!]→「電話帳登録」→電話番号／Eメールアドレスを選択

■ 新しい電話帳に登録するとき

「新規」→各項目を登録（➲P.2-19 電話帳に登録する❷）

■ 既存の電話帳に追加登録するとき

「追加」→電話帳を検索し、選択（➲P.2-22）→各項目を登録（➲P.2-19 電話帳に登録する❷）

送信者や宛先を確認したい [メールアドレス表示]

[✉]→「受信ボックス」／「送信済みボックス」→必要に応じてフォルダを選択→メールを選択→[Y!]→「メールアドレス表示」

4 メール

メールの内容をコピーしたい［コピー］

✉→「受信ボックス」／「送信済みボックス」→必要に応じてフォルダを選択→メールを選択→Y!→「コピー」

■ **差出人や宛先をコピーするとき**
「アドレス」→コピーしたいアドレスを選択

■ **件名をコピーするとき**
「件名」（➲P.2-41 範囲を指定して文字のコピー／カットをしたい）

■ **本文をコピーするとき**
「本文」（➲P.2-41 範囲を指定して文字のコピー／カットをしたい）

表示中のメールを削除したい［削除］

✉→「受信ボックス」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択→メールを選択→Y!→「削除」→「はい」

メールの詳細を確認したい［詳細］

✉→「受信ボックス」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択→メールを選択→Y!→「詳細」

添付画像の表示サイズを設定したい［画像表示設定］

✉→「受信ボックス」→フォルダを選択→メールを選択→Y!→「画像表示設定」→「通常サイズ表示」／「全画面表示」

メールの文字サイズを設定したい［文字サイズ］

✉→「受信ボックス」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択→メールを選択→Y!→「文字サイズ」→「大」／「標準」／「小」／「最小」

メールの文字コードを設定したい［文字コード変換］

✉→「受信ボックス」→フォルダを選択→メールを選択→Y!→「文字コード変換」→「自動」／「Shift-JIS」／「UTF-8」／「EUC-JP」／「ISO-2022-JP」／「ISO-8859-1」

メッセージ画面のスクロール単位を設定したい［スクロール単位］

✉→「受信ボックス」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択→メールを選択→Y!→「スクロール単位」→「1行」／「1/2画面」／「全画面」

メッセージ画面の文頭／文末に移動したい［画面移動］

✉→「受信ボックス」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択→メールを選択→Y!→「画面移動」→「文頭」／「文末」

添付ファイルを確認したい

✉→「受信ボックス」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択→メールを選択→ファイルを選択→「開く」

- 確認前にファイルをデータフォルダに保存するには、メッセージ画面でファイルを選択し、「保存」を選択します。
- 確認前にvCardやvCalendarを電話帳やカレンダーに登録するには、メッセージ画面でファイルを選択し、「電話帳登録」／「カレンダーに登録」を選択します。
- 確認後にvCardやvCalendarを電話帳やカレンダーに登録するには、■（登録）を押します。
- コンテンツ・キーの購入／取得が必要なファイルが添付されている場合は、確認メッセージが表示されます。ファイルを確認するときは、「はい」を選択してコンテンツ・キーを購入または取得してください。
- 回数制限があり、1回だけ再生／表示できるファイルが添付されているときは、表示／再生回数が1回だけ残っていることをお知らせするメッセージが表示されます。

メール一覧画面でメールサーバーに保存されているメールの続きを受信したい [続き受信]

[✉]→「受信ボックス」→フォルダを選択→メールを反転表示→[Y!]→「続き受信」

メールサーバーからのメールの受信を中止したい [受信中止]

[✉]→「受信ボックス」→フォルダを選択→メールを反転表示→[Y!]→「受信中止」

メール一覧画面で全員に返信したい [全員に返信]

[✉]→「受信ボックス」→フォルダを選択→メールを反転表示→[Y!]→「全員に返信」→「S!メール」／「S!メール(引用付)」→(➔P.4-3 S!メールを送信する❻)

便利

メールの利用／管理に関する便利な機能

送信済みメール、未送信メールを編集して送信したい [編集と送信]

[✉]→「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択→メールを選択→[Y!]→「編集と送信」→メールの作成操作（➔P.4-3 S!メールを送信する❷）

S!メールに添付／挿入されているファイルをデータフォルダに保存したい [添付ファイル保存]

[✉]→「受信ボックス」／「送信済みボックス」→必要に応じてフォルダを選択→メールを選択→[Y!]→「添付ファイル保存」

■ **1件保存するとき**

保存したいファイルを反転表示→[■]（選択）

■ **複数保存するとき**

[Y!]→「複数件保存」→保存したいファイルをチェック→[✉]（保存）

■ **すべて保存するとき**

[Y!]→「全件保存」

- 保存時にファイル名が重複する旨のメッセージが表示されたときは、[■]（OK）→[■]（選択）→ファイル名を編集→[✉]（保存）を押します。

受信S!メールや送信済みS!メールをS!メールテンプレートに保存したい [S!メールテンプレートに保存]

[✉]→「受信ボックス」／「送信済みボックス」→フォルダを選択→メールを選択→[Y!]→「S!メールテンプレートに保存」→ファイル名を入力

- 本文をアレンジしている場合のみ、テンプレートに保存できます（➔P.4-6）。

メール一覧画面から電話帳に登録したい [電話帳登録]

[✉]→「受信ボックス」／「送信済みボックス」→フォルダを選択→メールを反転表示→[Y!]→「電話帳登録」→電話番号／Eメールアドレスを選択

■ **新しい電話帳に登録するとき**

「新規」→各項目を登録（➔P.2-19 電話帳に登録する❷）

■ **既存の電話帳に追加登録するとき**

「追加」→電話帳を検索し、選択（➔P.2-22）→各項目を登録（➔P.2-19 電話帳に登録する❷）

メールを保護／保護解除したい

［保護］／［保護解除］

☐→「受信ボックス」／「下書き」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択

■ **1件保護／保護解除するとき**

保護／保護解除したいメールを反転表示→Y!→「保護」／「保護解除」→「1件」

■ **複数保護／保護解除するとき**

Y!→「保護」／「保護解除」→「複数」→保護／保護解除したいメールをチェック→☐（保護）／☐（保護解除）

■ **すべて保護／保護解除するとき**

Y!→「保護」／「保護解除」→「全件」

メール一覧画面の表示方法を設定したい

［表示切替］

☐→「受信ボックス」／「下書き」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択→Y!→「表示切替」→「2行」／「1行（件名）」／「1行（送信者）」

- メニューから行った表示切替は、メール一覧画面を閉じると無効になります。

メール一覧画面のメールを並べ替えたい

［ソート］

☐→「受信ボックス」／「下書き」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択→Y!→「ソート」→項目を選択

- 並べ替えができる項目は、次のとおりです。
  - 日付の順（「日付：古い順」／「日付：新しい順」）
  - 送信者の順（「送信者順」）
  - 宛先の順（「宛先順」）
  - 未読／既読を分けて表示（「未読／既読順」）
  - メールの種類ごとに分けて表示（「メールタイプ順」）
  - 件名の順（「件名順」）
  - メールサイズの大きい順（「サイズ順」）
  - 添付ファイルあり／なしを分けて表示（「添付順」）
  - 優先度の順（「優先度順」）
  - 保護されている／されていないメールを分けて表示（「保護順」）
- 「メールタイプ順」を選択したときは、S!メール（受信通知を含む）、USIMカードに保存されているSMS、820SC本体に保存されているSMSの順で表示されます。
- 「送信者順」「件名順」を選択したときは、半角記号、半角数字、半角英字、半角カタカナ、全角記号、全角ひらがな、全角カタカナ、漢字、全角数字、全角英字の順で表示されます。ただし、「件名順」を選択したときは「タイトルなし」が優先されます。

メールを開封済み／未開封にしたい

［開封済みに変更］／［未開封に変更］

☐→「受信ボックス」→フォルダを選択

■ **1件開封済み／未開封にするとき**

開封済み／未開封にしたいメールを反転表示→Y!→「開封済みに変更」／「未開封に変更」→「1件」

■ **複数開封済み／未開封にするとき**

開封済み／未開封にしたいメールを反転表示→Y!→「開封済みに変更」／「未開封に変更」→「複数」→開封済み／未開封にしたいメールをチェック→☐（未読／既読）

■ **すべて開封済み／未開封にするとき**

Y!→「開封済みに変更」／「未開封に変更」→「全件」

メール一覧画面でSMSを820SC本体／USIMカードに移動したい

［本体へ移動］／［USIMに移動］

☐→「受信ボックス」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択→移動したいSMSを反転表示→Y!→「本体へ移動」／「USIMに移動」

- USIMカードには、最大10通のSMSを保存できます。USIMカードに保存できる件数は、カードの種類によって異なります。

●作成したフォルダにある受信SMSをUSIMカードに移動する場合は、確認メッセージが表示されます。「はい」を選択するとUSIMカードに移動します。

メールやフォルダの詳細情報を確認したい [詳細]

■ **メールの詳細を確認するとき**
✉→「受信ボックス」／「下書き」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択→メールを反転表示→Y!→「詳細」

■ **フォルダの保存状況を確認するとき**
✉→「受信ボックス」／「送信済みボックス」→フォルダを反転表示→Y!→「詳細」

S!メールテンプレートを登録したい [テンプレート保存]

S!メール作成画面で→Y!→「テンプレート保存」→ファイル名を入力

●本文をアレンジしている場合のみ、テンプレートに保存できます（➲P.4-6）。

下書きからメールを送信したい

✉→「下書き」→メールを選択→✉（送信）

●宛先が入力されていないときは ✉（送信）は表示されません。

登録したS!メールテンプレートを表示して確認したい

✉→「テンプレート」→「S!メールテンプレート」→S!メールテンプレートを選択

登録したS!メールテンプレートを編集したい

✉→「テンプレート」→「S!メールテンプレート」→登録したS!メールテンプレートを選択→■（メール）→本文入力欄を選択→本文を入力→■（完了）→Y!→「テンプレート保存」→ファイル名を入力

登録したテンプレートをメールで送信したい [メール添付送信]

✉→「テンプレート」→「S!メールテンプレート」→S!メールテンプレートを選択→Y!→「メール添付送信」→（➲P.4-3 S!メールを送信する❷）

登録したテンプレートの詳細を確認したい [詳細]

✉→「テンプレート」→「S!メールテンプレート」→S!メールテンプレートを選択→Y!→「詳細」

配信レポートを確認したい

✉→「送信済みボックス」→フォルダを選択→「配信確認」を設定したメールを選択→✉（レポート）

未送信メールを再送信したい

✉→「未送信ボックス」→再送信したいメールを反転表示→✉（再送信）

未送信メールを編集して送信したい [編集]

✉→「未送信ボックス」→編集したいメールを反転表示→Y!→「編集」→（➲P.4-3 S!メールを送信する❷）

未送信メールのエラー詳細を確認したい [エラー詳細]

✉→「未送信ボックス」→確認したいメールを反転表示→Y!→「エラー詳細」

メールサーバーに保存されているメールを確認したい

✉→「サーバーメール操作」→「メールリスト」→確認メッセージが表示されたときは「はい」

メールリストを更新したい

✉→「サーバーメール操作」→「メールリスト」→✉（更新）

●「メールリスト」を選択したあとに Y! を押し、「メールリスト更新」を選択しても同じ操作を行うことができます。

メールリストからメールを受信したい

[✉]→「サーバーメール操作」

■ **メールを選択して受信するとき**

「メールリスト」→確認メッセージが表示されたときは「はい」→受信したいメールを反転表示→[■]（受信）

- 受信したいメールを反転表示して[Y!]を押し、「受信」を選択しても同じ操作を行うことができます。

■ **すべてのメールを受信するとき**

「メール全受信」

- 「メールリスト」→確認メッセージが表示されたときは「はい」→[Y!]→「メール全受信」を選択しても同じ操作を行うことができます。

メールサーバーに保存されているメールを転送したい［サーバーメール転送］

[✉]→「サーバーメール操作」→「メールリスト」→確認メッセージが表示されたときは「はい」→メールを反転表示→[Y!]→「サーバーメール転送」→宛先欄を選択

■ **履歴を利用して宛先を選択するとき**

表示されている履歴を選択→[✉]（送信）

■ **電話帳から宛先を選択するとき**

「電話帳検索」→電話帳を検索し、選択（➔P.2-22）→電話番号／Eメールアドレスを選択→[✉]（送信）

■ **電話番号を宛先として直接入力するとき**

「番号入力」→電話番号を入力→[✉]（送信）

■ **Eメールアドレスを宛先として直接入力するとき**

「アドレス入力」→Eメールアドレスを入力→[✉]（送信）

■ **電話帳のグループから宛先を選択するとき**

「グループ検索」→グループを選択→宛先の選択画面が表示された場合は入力したい宛先を選択→[✉]（送信）

- 件名や本文を編集するには、宛先入力後に件名欄または本文入力欄を選択し、編集操作（➔P.4-3）をします。
- 転送するメールの件名には「Fw:」が自動的に付きます。
- サーバーメール転送後、サーバーからメールを削除するかどうかをあらかじめ設定することができます（➔P.4-22 サーバーメール転送後、サーバーからメールを削除するかどうか設定したい）。

メールサーバーに保存されているメールをすべて削除したい

[✉]→「サーバーメール操作」→「メール全削除」→操作用暗証番号を入力→[■]（OK）→「新着メール以外」／「全削除」

メールリストを利用してサーバー内のメールを削除したい［削除］

[✉]→「サーバーメール操作」→「メールリスト」→確認メッセージが表示されたときは「はい」

■ **1件削除するとき**

削除したいメールを反転表示→[Y!]→「削除」→「1件」→「はい」

■ **複数削除するとき**

[Y!]→「削除」→「複数」→削除したいメールをチェック→[✉]（削除）→「はい」

■ **すべて削除するとき**

[Y!]→「削除」→「全件」→操作用暗証番号を入力→[■]（OK）→「はい」

メールサーバーの使用状況を確認したい

[✉]→「サーバーメール操作」→「サーバーメール容量」

- 最新の情報に更新する場合は[■]（更新）を押します。

メールの保存状況を確認したい

[✉]→「メモリ容量確認」→「S!メール（件数表示）」／「S!メール（サイズ表示）」／「SMS」

- 確認したメモリを削除するには[✉]（削除）を押します（➔P.2-52 登録／保存した内容を削除してメモリを整理したい）。

便利

フォルダ管理に関する便利な機能

フォルダ名を変更したい

[フォルダ名変更]

✉→「受信ボックス」／「送信済みボックス」→フォルダを反転表示→Y!→「フォルダ名変更」→名前を入力

「シークレット設定」を設定したい

[シークレット設定]

✉→「受信ボックス」／「送信済みボックス」→フォルダを反転表示→Y!→「シークレット設定」→操作用暗証番号を入力→■（OK）→■（OK）

- 「シークレット設定」を設定したフォルダは、「シークレットモード」が「表示しない」に設定されていると確認できません。確認するには、Y!→「シークレット一時解除」→操作用暗証番号を入力→■（OK）を押します。

メールの自動振り分けルールを変更したい

[ルール変更]

✉→「受信ボックス」／「送信済みボックス」→ルールを変更したいフォルダを反転表示→Y!→「メール振り分け設定」→変更したいルール欄を反転表示→Y!→「ルール変更」（➔P.4-18 メールを振り分ける❸）

振り分けルールを削除したい

✉→「受信ボックス」／「送信済みボックス」→削除したいルールがあるフォルダを反転表示→Y!→「メール振り分け設定」

■ 1件削除するとき

削除したいルール欄を反転表示→Y!→「削除」→「1件」

■ すべて削除するとき

Y!→「削除」→「全件」→「はい」

フォルダを削除したい

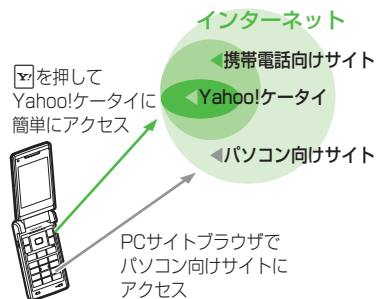
[削除]

✉→「受信ボックス」／「送信済みボックス」→削除したいフォルダを反転表示→Y!→「削除」→操作用暗証番号を入力→■（OK）→「はい」

インターネット

インターネットをご利用になる前に

インターネットについて

Yahoo!ケータイやPCサイトブラウザでインターネットにアクセスし､いろいろなコンテンツを閲覧したり､画像やサウンドなどをダウンロードしたりできます。Yahoo!ケータイやPCサイトブラウザでインターネットにアクセスしたとき､表示される画面を情報画面といいます。

- 本書では、ソフトバンクのポータルサイトを「Yahoo!ケータイ」、PCサイトブラウザを利用して閲覧できるサイトを「PCサイト」とし、これらの総称を「インターネット」と表記しています。
- インターネットのご利用には、別途ご契約が必要です。
- インターネットのご利用前に、あらかじめネットワーク自動調整を行う必要があります。

注意

- **情報画面への接続時にパケット通信料がかかります。**

SSL/TLSについて

SSL（Secure Sockets Layer）とTLS（Transport Layer Security）とは、データを暗号化して送受信するためのプロトコル（通信規約）です。SSL/TLS接続時の画面では、データを暗号化し、プライバシーにかかわる情報やクレジットカード番号､企業秘密などを安全に送受信することができ、盗聴、改ざん、なりすましなどのネットワーク上の危険から保護します。820SCでは、あらかじめ認証機関から発行されたルート証明書が登録されていて、確認することもできます（➔P.5-18、5-25）。

注意

- **SSL/TLSの利用について**
  セキュリティで保護されている情報画面を表示する場合、お客様は自己の判断と責任においてSSL/TLSを利用するものとします。
  お客様自身によるSSL/TLSの利用に際し、ソフトバンクモバイル株式会社および認証会社である日本ベリサイン株式会社、サイバートラスト株式会社、エントラストジャパン株式会社、グローバルサイン株式会社、RSAセキュリティ株式会社、セコムトラストシステムズ株式会社は、お客様に対しSSL/TLSの安全性に関して何ら保証を行うものではありません。万一、何らかの損害がお客様に発生した場合でも一切責任を負うものではありませんので、あらかじめご了承ください。

キャッシュについて

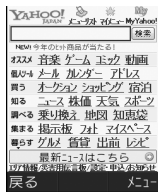
キャッシュとは、インターネットで入手したメニューや情報を、一時的に保存するメモリです。キャッシュに保存された情報は、インターネットを終了したり電源を切ったりしても保持されますが、メモリの容量がいっぱいになると古い情報から自動的に消去されます。
キャッシュに情報が保存されている情報画面を再表示すると、サービスセンター内の最新情報ではなく、以前に表示した情報画面が表示される場合があります。最新の情報を表示するには、情報を更新してください。

- 820SCに他のUSIMカードを取り付けたときは、キャッシュに保存されている情報が自動的に消去されます。
- 有効期限が設定されている情報が保存されているときは、設定されている期限になると、キャッシュから自動的に消去されます。

Yahoo!ケータイを利用する

Yahoo!ケータイのメインメニューからアクセスする

Yahoo!ケータイのメインメニューから項目を選択し、目的の情報画面にアクセスできます。

1

2 **項目を選択**

- お買い上げ後に初めてインターネットにアクセスすると、操作1で日時設定画面が表示されます。日時設定を行うと、情報画面が表示されます。

- PCサイトブラウザの情報画面に切り替えるには、Yahoo!ケータイの情報画面で[Y!]→「便利機能」→「PCサイトブラウザ切替」→「このページ」/「リンク先」→[■](OK)→「はい」/「いいえ」を選択します。

注意

- **「Referer送出」を「送出しない」に設定していると、情報画面を表示できない場合があります（➔P.5-18）。**

URLを入力してアクセスする

1 **[■]→「Yahoo!ケータイ」→「URL入力」**

- URL欄には、あらかじめ「http://」が入力されています。

2 **URLを入力**

使いこなしチェック！

便利 ☞P.5-15

- 情報画面で次の情報画面に移動したい
- 情報画面のテキストをコピーしたい
- 情報画面を最新の情報に更新したい
- 情報画面でURLを入力して他の情報画面にアクセスしたい
- URLを簡単に入力したい
- 履歴を使ってURLを入力したい
- 情報画面に表示されている画像／背景画像を保存したい
- 情報画面を表示中にバックグラウンドで再生されるサウンドを保存したい
- アクセス履歴を削除したい
- 情報画面からメインメニューに移動したい
- 複数の情報画面の表示を操作したい

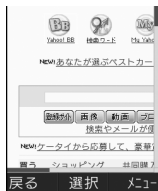
設定

- 情報画面のキャッシュ／Cookie／認証情報を消去する（☞P.13-6）
- 製造番号を自動的に通知するかどうか設定する（☞P.13-7）
- リファラーを送信するかどうか設定する（☞P.13-7）
- Cookieの有効／無効を設定する（☞P.13-7）
- スクリプトの有効／無効を設定する（☞P.13-7）
- ルート証明書を確認する（☞P.13-7）
- 認証情報の保存期間を設定する（☞P.13-7）
- ブラウザを初期化する（☞P.13-7）
- 設定をリセットする（☞P.13-7）

PCサイトブラウザを利用する

PCサイトブラウザのメインメニューからアクセスする

PCサイトブラウザのメインメニューから項目を選択し、パソコン向けサイトの情報画面にアクセスできます。

1 ■→「Yahoo!ケータイ」→「PCサイトブラウザ」→「ホームページ」

- 警告メッセージが表示されたときは、■（OK）を押し、「はい」／「いいえ」を選択します。

2 項目を選択

- PCサイトブラウザを起動すると、ディスプレイ最上段に が表示されます。
- PCサイトブラウザでは、ドキュメントファイル以外のデータをダウンロードまたはストリーミングすることはできません。
- サイトによっては正しく表示されない場合があります。
- Yahoo!ケータイの情報画面に切り替えるには、PCサイトブラウザの情報画面でY!→「便利機能」→「ブラウザ切替」→「このページ」／「リンク先」→警告メッセージが表示されたときは、■（OK）→「はい」／「いいえ」を選択します。

注意

- 「Referer送出」を「送出しない」に設定していると、情報画面を表示できない場合があります（➲P.5-24）。
- データ量の多い情報画面を表示するときはパケット通信料が高額になりますので、ご注意ください。

URLを入力してアクセスする

1 ■→「Yahoo!ケータイ」→「PCサイトブラウザ」→「URL入力」

- URL欄には、あらかじめ「http://」が入力されています。

2 URLを入力

- 警告メッセージが表示されたときは、■(OK)を押し、「はい」/「いいえ」を選択します。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.5-22

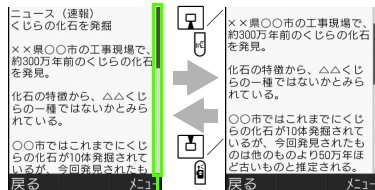
- 情報画面で次の情報画面に移動したい
- 情報画面のテキストをコピーしたい
- 情報画面を最新の情報に更新したい
- 情報画面でURLを入力して他の情報画面にアクセスしたい
- URLを簡単に入力したい
- 履歴を使ってURLを入力したい
- アクセス履歴を削除したい
- 情報画面からメインメニューに移動したい
- 複数の情報画面の表示を操作したい
- 情報画面の表示幅を変更したい

設定

- 情報画面のキャッシュ/Cookie/認証情報を消去する(☞P.13-7)
- 製造番号を自動的に通知するかどうか設定する(☞P.13-8)
- リファラーを送信するかどうか設定する(☞P.13-8)
- Cookieの有効/無効を設定する(☞P.13-8)
- スクリプトの有効/無効を設定する(☞P.13-8)
- ルート証明書を確認する(☞P.13-8)
- 認証情報の保存期間を設定する(☞P.13-8)
- 警告メッセージを表示するかどうか設定する(☞P.13-8)
- ブラウザを初期化する(☞P.13-8)
- 設定をリセットする(☞P.13-8)

情報画面の操作のしかた

情報画面のスクロール

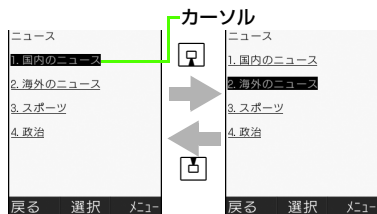
情報画面にスクロールバーが表示されているときは、画面をスクロールさせてコンテンツを閲覧します。

スクロールバー

□:下方向に1行分スクロールする
□:上方向に1行分スクロールする

- 情報画面の下部に横方向のスクロールバーが表示されている場合は、□を押すと右方向に、□を押すと左方向にスクロールします。

サイドキー□:情報画面を下方向に複数行分スクロールする
サイドキー□:情報画面を上方向に複数行分スクロールする

カーソルの移動

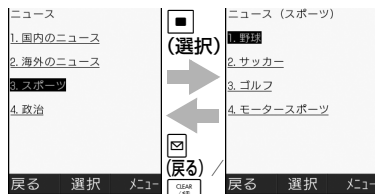
リンクなどの項目を選択するときは、項目にカーソルを移動します。

[↓]：縦に項目が並んでいる場合に、カーソルを下の項目へ移動する

- 情報画面が一番下へスクロールされている状態で[ ]を押すと、下の項目へカーソルを移動できます。

[↑]：縦に項目が並んでいる場合に、カーソルを上の項目へ移動する

- 情報画面が一番上へスクロールされている状態で[ ]を押すと、上の項目へカーソルを移動できます。

- 同じ行に項目が並んでいるときは、[←→]を押してカーソルを左右に移動できます。
- カーソルを移動すると、リンクなどの項目が反転表示されたり、点線の枠で囲まれたりします。

前の情報画面／次の情報画面への切り替え

リンクなどを反転表示して[■]（選択）

：次の情報画面へ切り替える

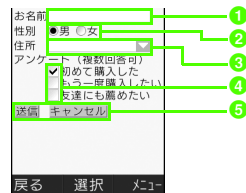
- [Y!]を押して「進む」を選択しても切り替えられます。

[✉]（戻る）／[CLEAR/メモ]

：前の情報画面へ切り替える

- 前の情報画面がない状態で[✉]（戻る）／[CLEAR/メモ]を押すと、インターネット接続終了の確認メッセージが表示され、「はい」を選択するとインターネット接続を終了します。

情報画面の文字入力／項目選択

情報画面には次のような欄や項目が表示される場合があります。

❶ 文字入力欄

登録内容や認証のパスワードなどを入力します。文字入力欄を反転表示して[■]（選択）を押し、文字を入力します。

❷ ラジオボタン

選択項目から1つの項目を選択します。◯の項目を反転表示して[■]（選択）を押すと、◉に変わり選択された状態になります。

❸ メニュー欄

メニューを表示して項目を選択します。メニュー欄を反転表示して[■]（選択）を押すと、メニューが表示されます。[↕]で項目を反転表示して[■]（選択）を押すと、項目が選択されます。複数の項目を選択できるメニュー欄では、[CLEAR/メモ]を押すと選択モードが解除されます。

❹ チェックボックス

選択項目から複数の項目を選択します。□の項目を反転表示して■（選択）を押すと、☑に変わり選択された状態になります。選択を解除する場合は☑を反転表示して■（選択）を押します。

❺ 実行ボタン

「送信」や「リセット」など、ボタンに表示されている操作を実行します。実行ボタンを反転表示して■（選択）を押すと、操作が実行されます。

注意

- **文字入力や項目選択の表示は、表示する情報画面によって異なる場合があります。**

使いこなしチェック！

便利 ☞P.5-26

設定

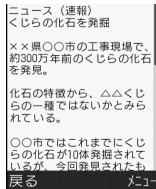
- 情報画面に表示されるテキスト情報の文字サイズを設定する（☞P.13-6、P.13-7）
- 情報画面でのスクロール単位を設定する（☞P.13-6、P.13-7）
- 情報画面で画像を表示するかどうか設定する（☞P.13-6、P.13-7）
- 情報画面でサウンドを再生するかどうか設定する（☞P.13-6、P.13-7）

ブックマークを利用する

ブックマークには情報画面のURLが登録され、インターネットに接続することで情報を確認できます。

ブックマークに登録する

ブックマークは、最大30件まで保存できます。

1 情報画面を表示

2 Y!→「ブックマーク」→「登録」

3 タイトルを入力

ブックマークから接続する

1 ■→「Yahoo!ケータイ」→「ブックマーク」

2 ブックマークを選択

注意

- **情報画面への接続時にパケット通信料がかかります。**

使いこなしチェック！

便利 ☞P.5-26

- ブックマークのURLをメールで送信したい
- ブックマークのURLをBluetooth®で送信したい
- ブックマークのURLを赤外線通信で送信したい
- ブックマークを並び替えたい
- Yahoo!ケータイのブックマークを削除したい

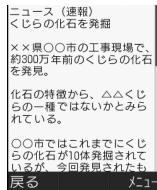
- PCサイトブラウザのブックマークを削除したい
- ブックマークをデータフォルダに保存したい

お気に入りを利用する

お気に入りには情報画面そのものが登録され、インターネットに接続せずに情報を確認できます。

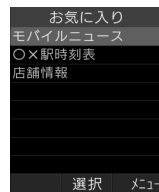
お気に入りに登録する

お気に入りは、最大50件まで登録できます。

1 情報画面を表示

2 Y!→「お気に入り」→「登録」

3 タイトルを入力

お気に入りを表示する

1 ■→「Yahoo!ケータイ」→「お気に入り」

2 お気に入りを選択

注意

- **お気に入りを保存したときに取り付けていたUSIMカードを差し替えると、お気に入りは表示できません。**

使いこなしチェック！

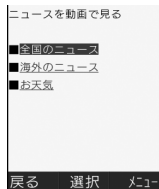
便利 ☞P.5-29

- お気に入りのタイトルを編集したい
- お気に入りを並び替えたい
- Yahoo!ケータイのお気に入りを削除したい
- PCサイトブラウザのお気に入りを削除したい

ストリーミングを利用する

音楽や動画などのデータをダウンロードしながら順次再生します。情報画面に表示されているリンクなどからアクセスして、ストリーミングができます。

情報画面のリンクからストリーミングする

1 リンクが表示されている情報画面を表示

2 リンクを選択

URLを直接入力する

1 ■→「メディアプレイヤー」→「ストリーミング」→「URL入力」

- URL欄には、あらかじめ「rtsp://」が入力されています。

2 URLを入力

- ストリーミング中の操作は、メディアプレイヤー再生中の操作と同様です（➔P.8-4、P.8-7）。

注意

- **ストリーミング中は、一時停止した場合でも通信は継続されるため、パケット通信料が発生します。**

ブックマークから接続する

アクセスしたストリーミング画面のブックマークを最大20件まで保存できます。

1 ■→「メディアプレイヤー」→「ストリーミング」→「ブックマーク」

2 ブックマークを選択

アクセス履歴から接続する

アクセスしたストリーミング画面のURLを最大20件まで保存できます。

1 ■→「メディアプレイヤー」→「ストリーミング」→「履歴」

2 履歴を選択

使いこなしチェック！

便利 ☞P.5-31

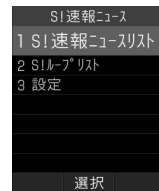
- ストリーミング中に動画の表示サイズを変更したい
- 指定した位置から再生したい
- ストリーミング中にブックマークに登録したい
- ストリーミング画面でブックマークに登録したストリーミングにアクセスしたい
- ストリーミング画面で以前に利用したストリーミングにアクセスしたい
- ブックマークに登録したストリーミングのURLを編集したい
- ストリーミングのブックマークを直接入力して登録したい
- ブックマークに登録したストリーミングを削除したい
- ストリーミングのアクセス履歴を編集したい
- ストリーミングのアクセス履歴を削除したい

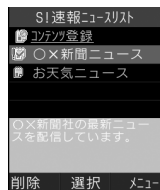
S!速報ニュースを利用する

S! 速報ニュースでは、登録したYahoo!ケータイのコンテンツの更新情報を見ることができます。

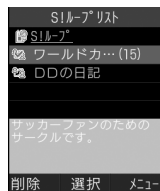
- S!速報ニュースには、S!速報ニュースリストとS!ループリストの2種類あります。
- 待受画面でS!速報ニュースリストに登録したコンテンツの最新情報を確認することができます（➔P.1-22、P.1-24）。

リスト画面を表示する

1 ■→「エンタテイメント」→「S!速報ニュース」

2 「S!速報ニュースリスト」／「S!ループリスト」

S!速報ニュースリスト画面の見かた

S!速報ニュースリスト画面

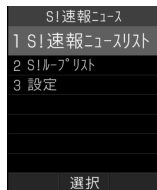
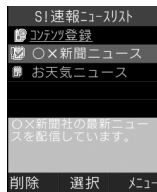
- ：速報未読
- ：一般未読
- ：速報既読
- ：一般既読
- ：速報／一般自動更新停止中

S!ループリスト画面の見かた

S!ループリスト画面

- ：S!ループ未読
- ：S!ループ既読
- ：S! ループ自動更新停止中

更新情報を確認する

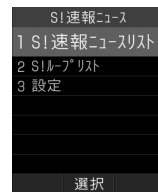
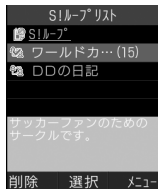
S!速報ニュースリストの更新情報を確認する

1 [■]→「エンタテイメント」→「S!速報ニュース」

2 「S!速報ニュースリスト」

3 コンテンツを選択→情報を選択

- S!速報ニュースリスト画面／内容一覧画面に戻るときは、[✉]（リスト／一覧）を押します。
- インターネットに接続して更新情報を確認するには、項目を反転表示して[■]（ジャンプ）を押し、「はい」を選択します。
- 次の情報があるときは、[Y!]（次）を押すと次の情報画面を表示します。

S!ループリストの更新情報を確認する

1 [■]→「エンタテイメント」→「S!速報ニュース」

2 「S!ループリスト」

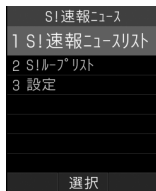
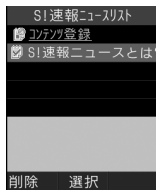
3 項目を選択→情報を選択

- S! ループリスト画面／内容一覧画面に戻るときは、✉（リスト／一覧）を押します。
- インターネットに接続して更新情報を確認するには、項目を反転表示して■（ジャンプ）を押し、「はい」を選択します。
- 次の情報があるときは、Y!（次）を押すと次の情報画面を表示します。

S!速報ニュースリスト／S!ループリストに登録する

S!速報ニュースリストに登録する

S!速報ニュースリストには速報が1件、一般が最大4件まで登録できます。

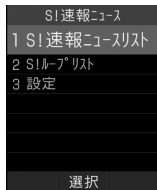
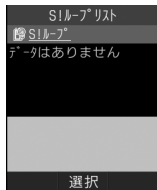
1 ■→「エンタテイメント」→「S!速報ニュース」

2 「S!速報ニュースリスト」

3 「コンテンツ登録」→「はい」

4 コンテンツを選択→画面の指示に従って操作

S!ループリストに登録する

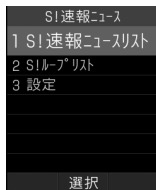
S!ループリストには最大5件まで登録できます。

1. ■→「エンタテイメント」→「S!速報ニュース」

2. 「S!ループリスト」

3. 「S!ループ」→「はい」

- S! ループリストの登録方法について詳しくは、S!ループのヘルプを参照してください。

S!速報ニュースリスト／S!ループリストを手動で更新する

1. ■→「エンタテイメント」→「S!速報ニュース」

2. 「S!速報ニュースリスト」／「S!ループリスト」

3. コンテンツの更新操作

■ 1件更新するとき
更新したいコンテンツ／S!ループの項目を反転表示→[Y!]→「更新」→「1件」

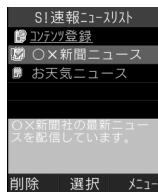
■ 複数更新するとき
[Y!]→「更新」→「複数」→更新したいコンテンツ／S!ループの項目をチェック→[✉]（更新）

■ すべて更新するとき
[Y!]→「更新」→「全件」

- 更新中に中止したいときは[Y!]（キャンセル）を押します。

S!速報ニュースリスト／S!ループリストを削除する

1. ■→「エンタテイメント」→「S!速報ニュース」

❷「S!速報ニュースリスト」／「S!ループリスト」

❸ コンテンツの削除操作

■ **1件削除するとき**

削除したいコンテンツ／S!ループの項目を反転表示→[✉]（削除）→「はい」

■ **複数削除するとき**

[Y!]→「削除」→「複数」→削除したいコンテンツ／S!ループの項目をチェック→[✉]（削除）→「はい」

■ **すべて削除するとき**

[Y!]→「削除」→「全件」→操作用暗証番号を入力→[■]（OK）→「はい」

使いこなしチェック！

便利 ☞P.5-32

- コンテンツの詳細を確認したい
- S!速報ニュースリストの内容一覧画面で情報を更新したい
- S!速報ニュースリストの内容一覧画面から更新情報を確認したい
- S!ループの項目の詳細を確認したい
- S!ループリストの内容一覧画面で情報を更新したい
- S!ループリストの内容一覧画面から更新情報を確認したい

S!タウンについて

S! タウンは、オンライン・コミュニケーション・アプリです。お客様の分身となるキャラクターを選択して操作できます。3D空間の街を歩きながら、街中で起こるさまざまなイベントを楽しんだり、他の気の合う仲間とコミュニケーションが行えます。

- S!タウンの利用には、S!タウン専用のS!アプリが必要です。820SCには、あらかじめS!アプリ「S!タウン」が登録されています。
- あらかじめ登録されているS!アプリ「S!タウン」は削除できません。
- S! タウンの利用には、パケット通信料が発生します。パケット通信料が高額となることがありますのでご注意ください。
- ウェブ利用制限を申し込まれたときは、S!タウンを利用できません。

S!タウンを利用する

S!タウンを初めて利用するときは、必ず利用規約に同意いただいたうえで、ユーザ登録（無料）およびプロフィール登録が必要です。

- S!タウンの利用方法について詳しくは、S!アプリ「S!タウン」のヘルプを参照してください。

1 ■→「コミュニケーション」→「S!タウン」→「タイトルへ進む（通信開始）」

- S!タウンの登録状態確認や登録解除はYahoo!ケータイから行えます。詳しくは、S!アプリ「S!タウン」のヘルプを参照してください。
- S!タウン起動時にバージョンアップ通知が表示されることがあります。このときは画面の指示に従ってバージョンアップしたあと、引き続きS!タウンを利用してください。

使いこなしチェック！

便利 ☞P.5-33

S!ループについて

S!ループはコミュニケーションサービスです。

S!ループを利用する

1 ■→「コミュニケーション」→「S!ループ」

- インターネットに接続し、S!ループのトップメニュー画面を表示します。

- S!ループの利用方法について詳しくは、「S!ループ」のヘルプを参照してください。

便利

Yahoo!ケータイに関する便利な機能

情報画面で次の情報画面に移動したい [進む]

情報画面でY!→「進む」

情報画面のテキストをコピーしたい [テキストコピー]

情報画面でY!→「テキストコピー」

■ **文字を選択してコピーするとき**
コピーしたい最初の文字に✣でカーソルを合わせる→■（始点）→✣で範囲を指定→■（終点）

■ **文字入力画面上のすべての文字をコピーするとき**
Y!（全て）

情報画面を最新の情報に更新したい [更新]

情報画面でY!→「更新」

情報画面でURLを入力して他の情報画面にアクセスしたい [URL入力]

情報画面でY!→「URL入力」→URLを入力

URLを簡単に入力したい [簡単アドレス入力]

URL入力画面でY!→「簡単アドレス入力」→「.co.jp」／「.ne.jp」／「.ac.jp」／「.or.jp」／「http://」／「www.」／「.com」／「rtsp://」

履歴を使ってURLを入力したい [URL入力履歴]

■ **Yahoo!ケータイから操作するとき**
[■]→「Yahoo!ケータイ」→「URL入力」→[Y!]→「URL入力履歴」→URLを選択

■ **情報画面から操作するとき**
情報画面で[Y!]→「URL入力」→[Y!]→「URL入力履歴」→URLを選択

- URL入力画面で履歴を使ってURLを入力することができます。URL入力履歴は、新しいものから順に最大10件まで表示されます。最大件数を超えたときは、古い履歴から順に消去されます。

ドキュメントファイルを保存したい

リンクが表示されている情報画面で保存したいドキュメントファイルのリンクを反転表示→[■]（選択）→「保存」

■ **保存ファイルを再生するとき**
「再生」

■ **保存ファイルの詳細情報を表示するとき**
「詳細」

■ **情報画面へ戻るとき**
「ブラウザへ戻る」

- ファイル名が重複する旨の確認メッセージが表示されたときは「はい」を選択すると別名で保存します。「いいえ」を選択するとファイル名を編集できます。

情報画面に表示されている画像／背景画像を保存したい [保存]

画像が表示されている情報画面で[Y!]→「保存」→「ファイル保存」を選択して保存したい画像を選択／「背景画像を保存」→「保存」

■ **保存画像の確認画面を表示するとき**
「表示」

■ **保存画像を各種の画面に設定するとき**
「設定」(➔P.2-51 画像ファイルを各種の画面に設定したい)

■ **保存画像の詳細情報を表示するとき**
「詳細」

■ **情報画面へ戻るとき**
「ブラウザへ戻る」

- SVG-T/SWF 形式のファイルを保存したときは、保存画像の確認画面で[Y!]を押して各種操作ができます（➔P.2-48）。
- ファイル名が重複する旨の確認メッセージが表示されたときは「はい」を選択すると別名で保存します。「いいえ」を選択するとファイル名を編集できます。

情報画面を表示中にバックグラウンドで再生されるサウンドを保存したい [保存]

バックグラウンドでサウンドが再生される情報画面で[Y!]→「保存」→「ファイル保存」→[■]（保存）

■ **保存サウンドを再生するとき**
「再生」

■ **保存サウンドを着信音に設定するとき**
「設定」(➔P.2-51 サウンドファイルを通常モードの着信音に設定したい)

■ **保存サウンドの詳細情報を表示するとき**
「詳細」

■ **情報画面へ戻るとき**
「ブラウザへ戻る」

- ファイル名が重複する旨の確認メッセージが表示されたときは「はい」を選択すると別名で保存します。「いいえ」を選択するとファイル名を編集できます。

ブラウザを切り替えたい [PCサイトブラウザ切替]

情報画面で[Y!]→「便利機能」→「PCサイトブラウザ切替」→「このページ」／「リンク先」

- 警告メッセージが表示されたときは、[■]（OK）を押して「はい」／「いいえ」を選択します。
- 「リンク先」は、情報画面中のリンクを選択しているときのみ選択できます。

情報画面のテキストを検索したい
［ページ内検索］

情報画面で[Y!]→「便利機能」→「ページ内検索」→テキスト入力欄を選択→検索語を入力→検索したい方向を選択→[✉]（検索）

表示しているページの文頭／文末へ移動したい
［文頭へ移動］／［文末へ移動］

情報画面で[Y!]→「便利機能」→「文頭へ移動」／「文末へ移動」

情報画面のURLをメールで送信したい
［URL送信］

情報画面で[Y!]→「便利機能」→「URL送信」→「S!メール」／「SMS」→（➔P.4-3 S!メールを送信する❷、P.4-8 SMSを送信する❷）

以前に表示した情報画面を表示したい
［アクセス履歴一覧］

■ **Yahoo!ケータイから操作するとき**
[■]→「Yahoo!ケータイ」→「アクセス履歴一覧」→表示したいURLを選択

■ **情報画面から操作するとき**
情報画面で[Y!]→「便利機能」→「アクセス履歴一覧」→表示したいURLを選択

- 新しいタブで表示するときは、表示したいURLを反転表示して[Y!]を押し、「新しいタブで開く」を選択します。
- 履歴にはアクセスした情報画面のURLが最大50件まで記録されます。

アクセス履歴を削除したい　**［削除］**

[■]→「Yahoo!ケータイ」→「アクセス履歴一覧」

■ **1件削除するとき**
削除したいURLを反転表示→[Y!]→「削除」→「1件」→「はい」

■ **複数削除するとき**
[Y!]→「削除」→「複数」→削除したい履歴をチェック→[✉]（削除）→「はい」

■ **すべて削除するとき**
[Y!]→「削除」→「全件」→操作用暗証番号を入力→[■]（OK）→「はい」

- 情報画面で[Y!]→「便利機能」→「アクセス履歴一覧」→削除したいURLを反転表示→[Y!]→「削除」を選択しても同じ操作を行うことができます。

情報画面を拡大／縮小したい
［拡大縮小表示］

情報画面で[Y!]→「便利機能」→「拡大縮小表示」→[◇]で数値を選択→[■]（保存）

情報画面からFlash®を操作したい
［Flash®メニュー］

情報画面のFlash®を表示し[Y!]→「便利機能」→「Flash®メニュー」

■ **一時停止／再生するとき**
「一時停止」／「再生」

■ **始めから再生するとき**
「始めから再生」

表示中の情報画面のプロパティを確認したい　**［プロパティ表示］**

情報画面で[Y!]→「便利機能」→「プロパティ表示」

■ **ページ情報を確認するとき**
「ページ情報」

■ **サーバー証明を確認するとき**
「サーバー証明」

情報画面からメインメニューに移動したい　**［Yahoo!ケータイ］**

情報画面で[Y!]→「Yahoo!ケータイ」

情報画面の文字サイズを変更したい
［文字サイズ］

情報画面で[Y!]→「設定」→「文字サイズ」→「小」／「標準」／「大」

文字コードを変更したい [エンコード]

情報画面でY!→「設定」→「エンコード」→「自動」／「ISO-2022-JP」／「ISO-8859-1」／「Shift_JIS」／「EUC-JP」／「UTF-8」

- 情報画面のテキスト情報が正しく表示されない場合、文字コードを変更すると正しく表示されることがあります。

情報画面のスクロール幅を変更したい [スクロール単位]

情報画面でY!→「設定」→「スクロール単位」→「1行」／「1/2画面」／「全画面」

情報画面で画像やサウンドを表示／再生するかどうか設定したい [テキストブラウズ設定]

情報画面でY!→「設定」→「テキストブラウズ設定」

■ **画像の設定をするとき**

「イメージ」→「表示する」／「表示しない」

■ **サウンドの設定をするとき**

「サウンド」→「再生する」／「再生しない」

キャッシュに保存された情報を消去したい [キャッシュ消去]

情報画面でY!→「設定」→「メモリ操作」→「キャッシュ消去」→「はい」

Cookieを消去したい [Cookie消去]

情報画面でY!→「設定」→「メモリ操作」→「Cookie消去」→「はい」

認証情報を消去したい [認証情報消去]

情報画面でY!→「設定」→「メモリ操作」→「認証情報消去」→「はい」

製造番号を通知するかどうか設定したい [製造番号通知]

情報画面でY!→「設定」→「セキュリティ設定」→「製造番号通知」→「On」／「Off」

リファラー情報の転送を設定したい [Referer送出]

情報画面でY!→「設定」→「セキュリティ設定」→「Referer送出」→「送出する」／「送出しない」

- リファラーとは、情報画面にアクセスする際にウェブサーバへ送信するリンク元のURL情報のことです。

Cookieの設定をしたい [Cookie設定]

情報画面でY!→「設定」→「セキュリティ設定」→「Cookie設定」→「許可する」／「許可しない」／「毎回確認」

- 「毎回確認」を選択するとCookieの記録を行うごとに受け入れるかどうかの確認メッセージが表示されます。
- Cookieとは、情報の提供者が訪問者を識別するためのデータを、自動的に820SCに記録する仕組みです。Cookieには、ユーザ情報やアクセス日時などが記録されます。

スクリプト設定をしたい [スクリプト設定]

情報画面でY!→「設定」→「セキュリティ設定」→「スクリプト設定」→「On」／「ネットワークアクセス時確認」／「毎回確認」／「Off」

ルート証明書を確認したい [ルート証明書表示]

情報画面でY!→「設定」→「セキュリティ設定」→「ルート証明書表示」→証明書を選択

- 820SCにあらかじめ登録されている認証機関から発行されたルート証明書を確認できます。

認証情報の設定をしたい [認証情報保持設定]

情報画面でY!→「設定」→「セキュリティ設定」→「認証情報保持設定」→「ブラウズ中保持」／「On」／「Off」

保存された情報を初期化したい [ブラウザ初期化]

情報画面でY!→「設定」→「ブラウザ初期化」→操作用暗証番号を入力→■（OK）→「はい」

- ブラウザの設定やブックマーク、お気に入りなどの保存された情報を初期化できます。

Yahoo!ケータイの設定をリセットしたい [設定リセット]

情報画面でY!→「設定」→「設定リセット」→操作用暗証番号を入力→■（OK）→「はい」

複数の情報画面を表示したい [新しいタブで開く]

情報画面で表示したいリンクを反転表示→Y!→「タブメニュー」→「新しいタブで開く」

- 画面上部に表示されるタブを利用して、最大3つの情報画面を表示できます。
- Yahoo!ケータイの情報画面とPCブラウザの情報画面は同時に表示できません。
- 情報画面によっては、自動的にタブが追加されることがあります。
- 複数の情報画面を表示しているときは、情報画面が一部表示できないことがあります。不要となった情報画面は閉じて閲覧することをおすすめします。

複数の情報画面の表示を操作したい [タブメニュー]

複数の情報画面を表示中にY!→「タブメニュー」

■ **表示している情報画面を切り替えるとき**
「タブ切替」→◀▶で表示したい情報画面を切り替え→■（選択）

■ **選択中の情報画面を閉じるとき**
「選択中のタブを閉じる」

■ **表示している情報画面を選択して閉じるとき**
「他のタブを閉じる」→◀▶で閉じたい情報画面を切り替え→■（選択）

メニュー操作からブラウザを終了したい [ブラウザ終了]

情報画面でY!→「ブラウザ終了」

自動保存形式の画像を保存したい

リンクが表示されている情報画面で保存したい画像のリンクを反転表示→■（選択）→■（OK）

■ **保存画像の確認画面を表示するとき**
「表示」

■ **保存画像を壁紙に設定するとき**
「設定」（➲P.2-51 画像ファイルを各種の画面に設定したい）

■ **保存画像の詳細情報を表示するとき**
「詳細」

■ **情報画面へ戻るとき**
「ブラウザへ戻る」

- ファイル名が重複する旨の確認メッセージが表示されたときは「はい」を選択すると別名で保存します。「いいえ」を選択するとファイル名を編集できます。
- SVG-T/SWF 形式のファイルを保存したときは、保存画像の確認画面でY!を押して各種操作ができます（➲P.2-48）。

保存画像の確認画面で画像を拡大／縮小したい

保存画像の確認画面で■（全画面）→■（ズーム）

保存画像の確認画面で詳細情報を確認したい

保存画像の確認画面でY!（詳細）

保存画像を各種の画面に設定したい

保存画像の確認画面で✉（設定）→（➲P.2-51 画像ファイルを各種の画面に設定したい）

手動保存形式の画像を保存したい

リンクが表示されている情報画面で保存したい画像のリンクを反転表示→■（選択）→「保存」

■ **保存画像の詳細情報を表示するとき**
「詳細」

■ **情報画面へ戻るとき**
「ブラウザへ戻る」

- ファイル名が重複する旨の確認メッセージが表示されたときは「はい」を選択すると別名で保存します。「いいえ」を選択するとファイル名を編集できます。
- SVG-T/SWF 形式のファイルを保存したときは、保存画像の確認画面でY!を押して各種操作ができます（➲P.2-48）。

自動保存形式のサウンドを保存したい

リンクが表示されている情報画面で保存したいサウンドのリンクを反転表示→■（選択）→■（OK）

■ **保存サウンドを再生するとき**
「再生」

■ **保存サウンドを着信音に設定するとき**
「設定」（➲P.2-51 サウンドファイルを通常モードの着信音に設定したい）

■ **保存サウンドの詳細情報を表示するとき**
「詳細」

■ **情報画面へ戻るとき**
「ブラウザへ戻る」

- ファイル名が重複する旨の確認メッセージが表示されたときは「はい」を選択すると別名で保存します。「いいえ」を選択するとファイル名を編集できます。

手動保存形式のサウンドを保存したい

リンクが表示されている情報画面で保存したいサウンドのリンクを反転表示→■（選択）→「保存」

■ **保存サウンドを再生するとき**
「再生」

■ **保存サウンドを着信音に設定するとき**
「設定」（➲P.2-51 サウンドファイルを通常モードの着信音に設定したい）

■ **保存サウンドの詳細情報を表示するとき**
「詳細」

■ **情報画面へ戻るとき**
「ブラウザへ戻る」

- ファイル名が重複する旨の確認メッセージが表示されたときは「はい」を選択すると別名で保存します。「いいえ」を選択するとファイル名を編集できます。

保存サウンドを着信音に設定したい

保存サウンドの再生画面で✉（停止）→✉（設定）→（➲P.2-51 サウンドファイルを通常モードの着信音に設定したい）

自動保存形式の動画を保存したい

リンクが表示されている情報画面で保存したい動画のリンクを反転表示→■（選択）→■（OK）

■ **保存動画を再生するとき**
「再生」

■ **保存動画を着信音に設定するとき**
「設定」（➔P.2-52 動画ファイルを通常モードの着信音に設定したい）

■ **保存動画の詳細情報を表示するとき**
「詳細」

■ **情報画面へ戻るとき**
「ブラウザへ戻る」

- ファイル名が重複する旨の確認メッセージが表示されたときは「はい」を選択すると別名で保存します。「いいえ」を選択するとファイル名を編集できます。

手動保存形式の動画を保存したい

リンクが表示されている情報画面で保存したい動画のリンクを反転表示→■（選択）→「保存」

■ **保存動画を再生するとき**
「再生」

■ **保存動画を着信音に設定するとき**
「設定」（➔P.2-52 動画ファイルを通常モードの着信音に設定したい）

■ **保存動画の詳細情報を表示するとき**
「詳細」

■ **情報画面へ戻るとき**
「ブラウザへ戻る」

- ファイル名が重複する旨の確認メッセージが表示されたときは「はい」を選択すると別名で保存します。「いいえ」を選択するとファイル名を編集できます。

保存動画を着信音に設定したい

保存動画の再生画面で✉（停止）→✉（設定）→（➔P.2-52 動画ファイルを通常モードの着信音に設定したい）

自動保存形式のFlash®を保存したい

リンクが表示されている情報画面で保存したいFlash®のリンクを反転表示→■（選択）→■（OK）

■ **保存Flash®を表示するとき**
「表示」

■ **保存Flash®を壁紙に設定するとき**
「設定」→「壁紙（メインディスプレイ）」→■（設定）

■ **保存Flash®の詳細情報を表示するとき**
「詳細」

■ **情報画面へ戻るとき**
「ブラウザへ戻る」

- ファイル名が重複する旨の確認メッセージが表示されたときは「はい」を選択すると別名で保存します。「いいえ」を選択するとファイル名を編集できます。

保存したFlash®の確認画面で各種操作をしたい

保存Flash®の確認画面で[Y!]

■ **全画面表示／標準表示に切り替えるとき**
「全画面表示」／「標準表示」

■ **画面を拡大／縮小するとき**
「ズームイン／アウト」→[✉]（🔍）、[Y!]（🔍）を押して拡大／縮小→スクロールするときは[✣]→もとの画面に戻るときは[■]

■ **Flash®画像を一時停止／再開するとき**
「一時停止」／「再開」

■ **画質を切り替えるとき**
「画質」→「高」／「中」／「低」

■ **画面を左右に90度回転するとき**
「回転」→「右90度」／「左90度」

■ **詳細を確認するとき**
「詳細」

保存したFlash®の確認画面で壁紙に設定したい

保存Flash®の確認画面で[✉]（設定）→「壁紙（メインディスプレイ）」

手動保存形式のFlash®を保存したい

リンクが表示されている情報画面で保存したいFlash®のリンクを反転表示→[■]（選択）→「保存」

■ **保存Flash®の詳細情報を表示するとき**
「詳細」

■ **情報画面へ戻るとき**
「ブラウザへ戻る」

- ファイル名が重複する旨の確認メッセージが表示されたときは「はい」を選択すると別名で保存します。「いいえ」を選択するとファイル名を編集できます。

便利

PCサイトブラウザに関する便利な機能

情報画面で次の情報画面に移動したい [進む]

情報画面で[Y!]→「進む」

情報画面のテキストをコピーしたい [テキストコピー]

情報画面で[Y!]→「テキストコピー」

■ **文字を選択してコピーするとき**
コピーしたい最初の文字に[✣]でカーソルを合わす→[■]（始点）→[✣]で範囲を指定→[■]（終点）

■ **文字入力画面上のすべての文字をコピーするとき**
[Y!]（全て）

情報画面を最新の情報に更新したい [更新]

情報画面で[Y!]→「更新」

情報画面でURLを入力して他の情報画面にアクセスしたい [URL入力]

情報画面で[Y!]→「URL入力」→URLを入力

URLを簡単に入力したい [簡単アドレス入力]

URL入力画面で[Y!]→「簡単アドレス入力」→「.co.jp」／「.ne.jp」／「.ac.jp」／「.or.jp」／「http://」／「www.」／「.com」／「rtsp://」

履歴を使ってURLを入力したい [URL入力履歴]

■ **PCサイトブラウザから操作するとき**
■→「Yahoo!ケータイ」→「PCサイトブラウザ」→「URL入力」→Y!→「URL入力履歴」→URLを選択

■ **情報画面から操作するとき**
情報画面でY!→「URL入力」→URL欄を選択→Y!→「URL入力履歴」→URLを選択

- URL入力画面で履歴を使ってURLを入力することができます。URL入力履歴は、新しいものから順に最大10件まで表示されます。最大件数を超えたときは、古い履歴から順に消去されます。

ドキュメントファイルを保存したい

リンクが表示されている情報画面で保存したいドキュメントファイルのリンクを反転表示→■（選択）→「保存」

■ **保存ファイルを再生するとき**
「再生」

■ **保存ファイルの詳細情報を表示するとき**
「詳細」

■ **情報画面へ戻るとき**
「ブラウザへ戻る」

- ファイル名が重複する旨の確認メッセージが表示されたときは「はい」を選択すると別名で保存します。「いいえ」を選択するとファイル名を編集できます。

ブラウザを切り替えたい [ブラウザ切替]

情報画面でY!→「便利機能」→「ブラウザ切替」→「このページ」／「リンク先」

- 警告メッセージが表示されたときは、■（OK）を押して「はい」／「いいえ」を選択します。
- 「リンク先」は、情報画面中のリンクを選択しているときのみ選択できます。

情報画面のテキストを検索したい [ページ内検索]

情報画面でY!→「便利機能」→「ページ内検索」→テキスト入力欄を選択→検索語を入力→検索したい方向を選択→✉（検索）

表示しているページの文頭／文末へ移動したい [文頭へ移動]／[文末へ移動]

情報画面でY!→「便利機能」→「文頭へ移動」／「文末へ移動」

情報画面のURLをメールで送信したい [URL送信]

情報画面でY!→「便利機能」→「URL送信」→「S!メール」／「SMS」→（➔P.4-3 S!メールを送信する❷、P.4-8 SMSを送信する❷）

以前に表示した情報画面を表示したい [アクセス履歴一覧]

■ **Yahoo!ケータイから操作するとき**
■→「Yahoo!ケータイ」→「PCサイトブラウザ」→「アクセス履歴一覧」→表示したいURLを選択

■ **情報画面から操作するとき**
情報画面でY!→「便利機能」→「アクセス履歴一覧」→表示したいURLを選択

- 新しいタブで表示するときは、表示したいURLを反転表示してY!を押し、「新しいタブで開く」を選択します。
- 履歴にはアクセスした情報画面のURLが最大50件まで記録されます。

アクセス履歴を削除したい [削除]

■→「Yahoo!ケータイ」→「PCサイトブラウザ」→「アクセス履歴一覧」

■ **1件削除するとき**
削除したいURLを反転表示→Y!→「削除」→「1件」→「はい」

■ **複数削除するとき**
Y!→「削除」→「複数」→削除したい履歴をチェック→✉（削除）→「はい」

■ **すべて削除するとき**
Y!→「削除」→「全件」→操作用暗証番号を入力→■（OK）→「はい」

- 情報画面でY!→「便利機能」→「アクセス履歴一覧」→削除したいURLを反転表示してY!→「削除」を選択しても同じ操作を行うことができます。

5

インターネット

情報画面を拡大／縮小したい [拡大縮小表示]

情報画面で[Y!]→「便利機能」→「拡大縮小表示」→[◎]で数値を選択→[■]（保存）

情報画面からFlash®を操作したい [Flash®メニュー]

情報画面のFlash®を表示し[Y!]→「便利機能」→「Flash®メニュー」

■ 一時停止／再生するとき
「一時停止」／「再生」

■ 始めから再生するとき
「始めから再生」

表示中の情報画面のプロパティを確認したい [プロパティ表示]

情報画面で[Y!]→「便利機能」→「プロパティ表示」

■ ページ情報を確認するとき
「ページ情報」

■ サーバー証明を確認するとき
「サーバー証明」

情報画面からメインメニューに移動したい [ホームページ]

情報画面で[Y!]→「ホームページ」

情報画面の文字サイズを変更したい [文字サイズ]

情報画面で[Y!]→「設定」→「文字サイズ」→「小」／「標準」／「大」

文字コードを変更したい [エンコード]

情報画面で[Y!]→「設定」→「エンコード」→「自動」／「ISO-2022-JP」／「ISO-8859-1」／「Shift_JIS」／「EUC-JP」／「UTF-8」

- 情報画面のテキスト情報が正しく表示されない場合、文字コードを変更すると正しく表示されることがあります。

情報画面のスクロール幅を変更したい [スクロール単位]

情報画面で[Y!]→「設定」→「スクロール単位」→「1行」／「1/2画面」／「全画面」

情報画面で画像やサウンドを表示／再生するかどうか設定したい [テキストブラウズ設定]

情報画面で[Y!]→「設定」→「テキストブラウズ設定」

■ 画像の設定をするとき
「イメージ」→「表示する」／「表示しない」

■ サウンドの設定をするとき
「サウンド」→「再生する」／「再生しない」

キャッシュに保存された情報を消去したい [キャッシュ消去]

情報画面で[Y!]→「設定」→「メモリ操作」→「キャッシュ消去」→「はい」

Cookieを消去したい [Cookie消去]

情報画面で[Y!]→「設定」→「メモリ操作」→「Cookie消去」→「はい」

認証情報を消去したい [認証情報消去]

情報画面で[Y!]→「設定」→「メモリ操作」→「認証情報消去」→「はい」

製造番号の通知／非通知を設定したい [製造番号通知]

情報画面で[Y!]→「設定」→「セキュリティ設定」→「製造番号通知」→「On」／「Off」

リファラー情報の転送を設定したい [Referer送出]

情報画面で[Y!]→「設定」→「セキュリティ設定」→「Referer送出」→「送出する」／「送出しない」

- リファラーとは、情報画面にアクセスする際にウェブサーバへ送信するリンク元のURL情報のことです。

Cookieの設定をしたい [Cookie設定]

情報画面で[Y!]→「設定」→「セキュリティ設定」→「Cookie設定」→「許可する」／「許可しない」／「毎回確認」

- 「毎回確認」を選択すると、Cookieの記録を行うごとに受け入れるかどうかの確認メッセージが表示されます。
- Cookieとは、情報の提供者が訪問者を識別するためのデータを、自動的に820SCに記録する仕組みです。Cookieには、ユーザ情報やアクセス日時などが記録されます。

スクリプト設定をしたい
［スクリプト設定］

情報画面で[Y!]→「設定」→「セキュリティ設定」→「スクリプト設定」→「On」／「ネットワークアクセス時確認」／「毎回確認」／「Off」

ルート証明書を確認したい
［ルート証明書表示］

情報画面で[Y!]→「設定」→「セキュリティ設定」→「ルート証明書表示」→証明書を選択

- 820SCにあらかじめ登録されている認証機関から発行されたルート証明書を確認できます。

認証情報の設定をしたい
［認証情報保持設定］

情報画面で[Y!]→「設定」→「セキュリティ設定」→「認証情報保持設定」→「ブラウズ中保持」／「On」／「Off」

警告メッセージの表示を設定したい
［警告画面表示設定］

情報画面で[Y!]→「設定」→「警告画面表示設定」→「PCサイトブラウザ起動・切替時」／「Yahoo!ケータイ切替時」→「On」／「Off」

- Yahoo!ケータイとPCサイトブラウザを切り替えたとき、またはPCサイトブラウザを起動したときに警告メッセージを表示するかどうか設定できます。

保存された情報を初期化したい
［ブラウザ初期化］

情報画面で[Y!]→「設定」→「ブラウザ初期化」→操作用暗証番号を入力→[■]（OK）→「はい」

- ブラウザの設定やブックマーク、お気に入りなどの保存された情報を初期化できます。

PCサイトブラウザの設定をリセットしたい
［設定リセット］

情報画面で[Y!]→「設定」→「設定リセット」→操作用暗証番号を入力→[■]（OK）→「はい」

複数の情報画面を表示したい
［新しいタブで開く］

情報画面で表示したいリンクを反転表示→[Y!]→「タブメニュー」→「新しいタブで開く」

- 画面上部に表示されるタブを利用して、最大3つの情報画面を表示できます。
- Yahoo!ケータイの情報画面とPCブラウザの情報画面は同時に表示できません。
- 情報画面によっては、自動的にタブが追加されることがあります。
- 複数の情報画面を表示しているときは、情報画面が一部表示できないことがあります。不要となった情報画面は閉じて閲覧することをおすすめします。

複数の情報画面の表示を操作したい
［タブメニュー］

複数の情報画面を表示中に[Y!]→「タブメニュー」

■ **表示している情報画面を切り替えるとき**
「タブ切替」→[◀▶]で表示したい情報画面を選択→[■]（選択）

■ **選択中の情報画面を閉じるとき**
「選択中のタブを閉じる」

■ **表示している情報画面を選択して閉じるとき**
「他のタブを閉じる」→[◀▶]で閉じたい情報画面を選択→[■]（選択）

情報画面の表示幅を変更したい
［スモールスクリーン］／［PCスクリーン］

情報画面で[Y!]→「スモールスクリーン」／「PCスクリーン」

便利

情報画面操作に関する便利な機能

情報画面内の電話番号／Eメールアドレスを電話帳に登録したい

■ **新しい電話帳に登録するとき**

電話番号／Eメールアドレスが表示されている情報画面で電話番号／Eメールアドレスを選択→「電話帳登録」→「本体」／「USIM」→「新規」→各項目を登録（➲P.2-19 電話帳に登録する❷）

■ **既存の電話帳に追加登録するとき**

電話番号／Eメールアドレスが表示されている情報画面で電話番号／Eメールアドレスを選択→「電話帳登録」→「本体」／「USIM」→「追加」→電話帳を検索し、選択（➲P.2-22）→各項目を登録（➲P.2-19 電話帳に登録する❷）

情報画面内の電話番号／Eメールアドレスを利用してメールを送信したい

電話番号／Eメールアドレスが表示されている情報画面で電話番号／Eメールアドレスを選択→「メール作成」→「S!メール」／「SMS」（➲P.4-3 S!メールを送信する❺、P.4-8 SMSを送信する❺）

- 利用できる電話番号／Eメールアドレスには、アンダーラインが表示されます。

情報画面内の電話番号を利用して電話をかけたい

電話番号が表示されている情報画面で電話番号を選択→「音声通話」／「TVコール」

- 利用できる電話番号には、アンダーラインが表示されます。

情報画面内のURLを利用して他の情報画面にアクセスしたい

URLが表示されている情報画面でURLを選択

- 利用できるURLには、アンダーラインが表示されます。

便利

ブックマークに関する便利な機能

情報画面を表示中にブックマークから接続したい　[一覧表示]

情報画面で[Y!]→「ブックマーク」→「一覧表示」→表示したいブックマークを選択

- ブックマークを新しいタブで表示したいときは、表示したいブックマークを反転表示→[Y!]→「新しいタブで開く」を選択します。

ブックマークのタイトルやURLを編集したい

■ **Yahoo!ケータイから操作するとき**

[■]→「Yahoo!ケータイ」→「ブックマーク」→編集したいブックマークを反転表示→[✉]（編集）→タイトル欄を選択→タイトルを編集→URL欄を選択→URLを編集→[✉]（保存）

■ **PCサイトブラウザから操作するとき**

[■]→「Yahoo!ケータイ」→「PCサイトブラウザ」→「ブックマーク」→編集したいブックマークを反転表示→[✉]（編集）→タイトル欄を選択→タイトルを編集→URL欄を選択→URLを編集→[✉]（保存）

■ 情報画面から操作するとき
情報画面でY!→「ブックマーク」→「一覧表示」→編集したいブックマークを反転表示→✉（編集）→タイトル欄を選択→タイトルを編集→URL欄を選択→URLを編集→✉（保存）

ブックマークを直接入力して登録したい

■ Yahoo!ケータイから操作するとき
■→「Yahoo!ケータイ」→「ブックマーク」→Y!→「新規登録」→タイトル欄を選択→タイトルを入力→URL欄を選択→URLを入力→✉（保存）

■ PCサイトブラウザから操作するとき
■→「Yahoo!ケータイ」→「PCサイトブラウザ」→「ブックマーク」→Y!→「新規登録」→タイトル欄を選択→タイトルを入力→URL欄を選択→URLを入力→✉（保存）

■ 情報画面から操作するとき
情報画面でY!→「ブックマーク」→「登録」→タイトルを入力

ブックマークのURLをメールで送信したい [送信]

■ Yahoo!ケータイから操作するとき
■→「Yahoo!ケータイ」→「ブックマーク」→メールで送信したいブックマークを反転表示→Y!→「送信」→「メール」→「添付して送信」／「SMS本文に挿入」→（➲P.4-3 S!メールを送信する❷、P.4-8 SMSを送信する❷）

■ PCサイトブラウザから操作するとき
■→「Yahoo!ケータイ」→「PCサイトブラウザ」→「ブックマーク」→メールで送信したいブックマークを反転表示→Y!→「送信」→「メール」→「添付して送信」／「SMS本文に挿入」→（➲P.4-3 S!メールを送信する❷、P.4-8 SMSを送信する❷）

■ 情報画面から操作するとき
情報画面でY!→「ブックマーク」→「一覧表示」→メールで送信したいブックマークを反転表示→Y!→「送信」→「メール」→「添付して送信」／「SMS本文に挿入」→（➲P.4-3 S!メールを送信する❷、P.4-8 SMSを送信する❷）

ブックマークのURLをBluetooth®で送信したい [送信]

■ Yahoo!ケータイから操作するとき
■→「Yahoo!ケータイ」→「ブックマーク」→Bluetooth®で送信したいブックマークを反転表示→Y!→「送信」→「Bluetooth」→送信したいブックマークをチェック→✉（送信）→「はい」→（➲P.12-9 データを送信する❷）

■ PCサイトブラウザから操作するとき
■→「Yahoo!ケータイ」→「PCサイトブラウザ」→「ブックマーク」→Bluetooth®で送信したいブックマークを反転表示→Y!→「送信」→「Bluetooth」→送信したいブックマークをチェック→✉（送信）→「はい」→（➲P.12-9 データを送信する❷）

■ 情報画面から操作するとき
情報画面でY!→「ブックマーク」→「一覧表示」→Bluetooth®で送信したいブックマークを反転表示→Y!→「送信」→「Bluetooth」→送信したいブックマークをチェック→✉（送信）→「はい」→（➲P.12-9 データを送信する❷）

ブックマークのURLを赤外線通信で送信したい　[送信]

■ Yahoo!ケータイから操作するとき

■→「Yahoo!ケータイ」→「ブックマーク」→赤外線通信で送信したいブックマークを反転表示→Y!→「送信」→「赤外線通信」（➔P.12-3）

■ PCサイトブラウザから操作するとき

■→「Yahoo!ケータイ」→「PCサイトブラウザ」→「ブックマーク」→赤外線通信で送信したいブックマークを反転表示→Y!→「送信」→「赤外線通信」（➔P.12-3）

■ 情報画面から操作するとき

情報画面でY!→「ブックマーク」→「一覧表示」→赤外線通信で送信したいブックマークを反転表示→Y!→「送信」→「赤外線通信」（➔P.12-3）

ブックマークを並び替えたい　[並び替え]

■ Yahoo!ケータイから操作するとき

■→「Yahoo!ケータイ」→「ブックマーク」→移動したいブックマークを反転表示→Y!→「並び替え」→移動させる位置に◆でカーソルを移動→■（選択）

■ PCサイトブラウザから操作するとき

■→「Yahoo!ケータイ」→「PCサイトブラウザ」→「ブックマーク」→移動したいブックマークを反転表示→Y!→「並び替え」→移動させる位置に◆でカーソルを移動→■（選択）

■ 情報画面から操作するとき

情報画面でY!→「ブックマーク」→「一覧表示」→移動したいブックマークを反転表示→Y!→「並び替え」→移動させる位置に◆でカーソルを移動→■（選択）

Yahoo!ケータイのブックマークを削除したい　[削除]

■→「Yahoo!ケータイ」→「ブックマーク」

■ 1件削除するとき

削除したいブックマークを反転表示→Y!→「削除」→「1件」→「はい」

■ 複数削除するとき

Y!→「削除」→「複数」→削除したいブックマークをチェック→✉（削除）→「はい」

■ すべて削除するとき

Y!→「削除」→「全件」→操作用暗証番号を入力→■（OK）→「はい」

● 情報画面でY!→「ブックマーク」→「一覧表示」→削除したいブックマークを反転表示→Y!→「削除」を選択しても同じ操作を行うことができます。

PCサイトブラウザのブックマークを削除したい [削除]

■→「Yahoo!ケータイ」→「PCサイトブラウザ」→「ブックマーク」

■ **1件削除するとき**
削除したいブックマークを反転表示→Y!→「削除」→「1件」→「はい」

■ **複数削除するとき**
Y!→「削除」→「複数」→削除したいブックマークをチェック→✉(削除)→「はい」

■ **すべて削除するとき**
Y!→「削除」→「全件」→操作用暗証番号を入力→■（OK）→「はい」

- 情報画面でY!→「ブックマーク」→「一覧表示」→削除したいブックマークを反転表示→Y!→「削除」を選択しても同じ操作を行うことができます。

ブックマークをデータフォルダに保存したい [データフォルダに保存]

■ **Yahoo!ケータイから操作するとき**
■→「Yahoo!ケータイ」→「ブックマーク」→Y!→「データフォルダに保存」→「本体」／「メモリカード」→「はい」

■ **PCサイトブラウザから操作するとき**
■→「Yahoo!ケータイ」→「PCサイトブラウザ」→「ブックマーク」→Y!→「データフォルダに保存」→「本体」／「メモリカード」→「はい」

■ **情報画面から操作するとき**
情報画面でY!→「ブックマーク」→「一覧表示」→Y!→「データフォルダに保存」→「本体」／「メモリカード」→「はい」

- メモリカードを取り付けているときは、「メモリカード」を選択できます。

便利

お気に入りに関する便利な機能

情報画面を表示中にお気に入りを表示したい [一覧表示]

情報画面でY!→「お気に入り」→「一覧表示」→表示したいお気に入りを選択

- お気に入りを新しいタブで表示したいときは、表示したいお気に入りを反転表示→Y!→「新しいタブで開く」を選択します。

お気に入りのタイトルを編集したい [ページ名変更]

■ **Yahoo!ケータイから操作するとき**
■→「Yahoo!ケータイ」→「お気に入り」→編集したいお気に入りを反転表示→Y!→「ページ名変更」→名前を入力

■ **PCサイトブラウザから操作するとき**
■→「Yahoo!ケータイ」→「PCサイトブラウザ」→「お気に入り」→編集したいお気に入りを反転表示→Y!→「ページ名変更」→名前を入力

■ **情報画面から操作するとき**
情報画面でY!→「お気に入り」→「一覧表示」→編集したいお気に入りを反転表示→Y!→「ページ名変更」→名前を入力

お気に入りを並び替えたい［並び替え］

■ **Yahoo!ケータイから操作するとき**

■→「Yahoo!ケータイ」→「お気に入り」→移動したいお気に入りを反転表示→Y!→「並び替え」→移動させる位置に◇でカーソルを移動→■（選択）

■ **PCサイトブラウザから操作するとき**

■→「Yahoo!ケータイ」→「PCサイトブラウザ」→「お気に入り」→移動したいお気に入りを反転表示→Y!→「並び替え」→移動させる位置に◇でカーソルを移動→■（選択）

■ **情報画面から操作するとき**

情報画面でY!→「お気に入り」→「一覧表示」→移動したいお気に入りを反転表示→Y!→「並び替え」→移動させる位置に◇でカーソルを移動→■（選択）

Yahoo!ケータイのお気に入りを削除したい［削除］

■→「Yahoo!ケータイ」→「お気に入り」

■ **1件削除するとき**

削除したいお気に入りを反転表示→Y!→「削除」→「1件」→「はい」

■ **複数削除するとき**

Y!→「削除」→「複数」→削除したいお気に入りをチェック→✉(削除)→「はい」

■ **すべて削除するとき**

Y!→「削除」→「全件」→操作用暗証番号を入力→■（OK）→「はい」

- 情報画面でY!→「お気に入り」→「一覧表示」→削除したいURLを反転表示→Y!→「削除」を選択しても同じ操作を行うことができます。

PCサイトブラウザのお気に入りを削除したい［削除］

■→「Yahoo!ケータイ」→「PCサイトブラウザ」→「お気に入り」

■ **1件削除するとき**

削除したいお気に入りを反転表示→Y!→「削除」→「1件」→「はい」

■ **複数削除するとき**

Y!→「削除」→「複数」→削除したいお気に入りをチェック→✉(削除)→「はい」

■ **すべて削除するとき**

Y!→「削除」→「全件」→操作用暗証番号を入力→■（OK）→「はい」

- 情報画面でY!→「お気に入り」→「一覧表示」→削除したいURLを反転表示→Y!→「削除」を選択しても同じ操作を行うことができます。

便利

ストリーミングに関する便利な機能

ストリーミング中に動画の表示サイズを変更したい [画面表示サイズ]

ストリーミング中に[Y!]→「画面表示サイズ」→「240×180」/「176×144」/「128×96」

- 一時停止中でも同じ操作を行うことができます。

指定した位置から再生したい [タイムサーチ]

ストリーミング中に[Y!]→「タイムサーチ」→時間を入力→[■](再生)

ストリーミング中にブックマークに登録したい [ブックマーク登録]

ストリーミング中に[Y!]→「ブックマーク登録」→タイトル欄を選択→タイトルを入力→URL欄を選択→URLを入力→[✉](保存)

ストリーミング画面でブックマークに登録したストリーミングにアクセスしたい [ブックマーク一覧]

ストリーミング画面で[Y!]→「ブックマーク一覧」→ブックマークを選択

ストリーミング画面で以前に利用したストリーミングにアクセスしたい [履歴一覧]

ストリーミング画面で[Y!]→「履歴一覧」→履歴を選択

ブックマークに登録したストリーミングのURLを編集したい [編集]

■ **メインメニューから操作するとき**

[■]→「メディアプレイヤー」→「ストリーミング」→「ブックマーク」→編集したいブックマークを反転表示→[Y!]→「編集」→タイトル欄を選択→タイトルを編集→URL欄を選択→URLを編集→[✉](保存)

■ **ストリーミング画面から操作するとき**

ストリーミング画面で[Y!]→「ブックマーク一覧」→編集したいブックマークを反転表示→[Y!]→「編集」→タイトル欄を選択→タイトルを編集→URL欄を選択→URLを編集→[✉](保存)

ストリーミングのブックマークを直接入力して登録したい [新規登録]

■ **メインメニューから操作するとき**

[■]→「メディアプレイヤー」→「ストリーミング」→「ブックマーク」→[Y!]→「新規登録」→タイトル欄を選択→タイトルを入力→URL欄を選択→URLを入力→[✉](保存)

■ **ストリーミング画面から操作するとき**

ストリーミング画面で[Y!]→「ブックマーク一覧」→[Y!]→「新規登録」→タイトル欄を選択→タイトルを入力→URL欄を選択→URLを入力→[✉](保存)

ブックマークに登録したストリーミングを削除したい [削除]

[■]→「メディアプレイヤー」→「ストリーミング」→「ブックマーク」

■ **1件削除するとき**

削除したいブックマークを反転表示→[Y!]→「削除」→「1件」→「はい」

■ **複数削除するとき**

[Y!]→「削除」→「複数」→削除したいブックマークをチェック→[✉](削除)→「はい」

■ **すべて削除するとき**

[Y!]→「削除」→「全件」→「はい」

- ストリーミング画面で[Y!]→「ブックマーク一覧」→削除したいURLを反転表示→[Y!]→「削除」を選択しても同じ操作を行うことができます。

ストリーミングのアクセス履歴を編集したい [編集履歴]

■→「メディアプレイヤー」→「ストリーミング」→「履歴」→編集したい履歴を反転表示→Y!→「編集履歴」→タイトル欄を選択→タイトルを入力→URL欄を選択→URLを入力→✉（保存）

ストリーミングのアクセス履歴を削除したい [削除]

■→「メディアプレイヤー」→「ストリーミング」→「履歴」

■ 1件削除するとき

削除したいURLを反転表示→Y!→「削除」→「1件」→「はい」

■ 複数削除するとき

Y!→「削除」→「複数」→削除したいURLをチェック→✉（削除）→「はい」

■ すべて削除するとき

Y!→「削除」→「全件」→「はい」

- ストリーミング画面でY!→「履歴一覧」→削除したいURLを反転表示→Y!→「削除」を選択しても同じ操作を行うことができます。

便利

S!速報ニュースに関する便利な機能

コンテンツの詳細を確認したい [詳細]

S!速報ニュースリスト画面で確認したいコンテンツを反転表示→Y!→「詳細」

S!速報ニュースリストの内容一覧画面で情報を更新したい [更新]

S!速報ニュースリスト画面でコンテンツを選択→更新したい情報を反転表示→Y!→「更新」

- 更新中に中止するときはY!（キャンセル）を押します。

S!速報ニュースリストの内容一覧画面から更新情報を確認したい [サイトに接続]

S!速報ニュースリスト画面でコンテンツを選択→更新したい情報を反転表示→Y!→「サイトに接続」→「はい」

- 接続中に中止するときはY!（キャンセル）を押します。

S!ループの項目の詳細を確認したい [詳細]

S!ループリスト画面で確認したいS!ループの項目を反転表示→Y!→「詳細」

S!ループリストの内容一覧画面で情報を更新したい [更新]

S!ループリスト画面で項目を選択→更新したい情報を反転表示→Y!→「更新」

- 更新中に中止するときはY!（キャンセル）を押します。

S!ループリストの内容一覧画面から更新情報を確認したい [サイトに接続]

S!ループリスト画面で項目を選択→更新したい情報を反転表示→Y!→「サイトに接続」→「はい」

- 接続中に中止するときはY!（キャンセル）を押します。

S!速報ニュースリストを自動更新したい

■→「エンタテイメント」→「S!速報ニュース」→「設定」→「自動更新設定」→「S!速報ニュース」

■「速報」を自動更新するとき

「速報」→■（OK）→「1時間毎」／「2時間毎」／「4時間毎」／「8時間毎」／「自動更新しない」

■「一般」を自動更新するとき

「一般」→■（OK）→「自動更新する」／「自動更新しない」

- 自動更新に設定した時刻を基準に自動更新が行われます。次回の自動更新の時刻は、S!速報ニュースリスト画面で確認したいコンテンツを反転表示してY!を押し、「詳細」を選択すると確認できます。
- 「一般」を「自動更新する」に設定すると1日に1回自動更新されます。
- 「速報」は、夜間から早朝の間は自動更新が行われません。「一般」の場合は、この時間帯にも自動更新が行われます。
- ローミング中は自動更新は行われません。ただし、手動で更新できます（➔P.5-13）。
- 圏外や電波の悪い場所では、自動更新されないことがあります。
- 何らかの事情で自動更新が停止したときは、手動で更新できます（➔P.5-13）。
- USIMカードを交換したときは、「自動更新しない」に設定されます。

S!ループリストを自動更新したい

■→「エンタテイメント」→「S!速報ニュース」→「設定」→「自動更新設定」→「S!ループ」→■（OK）→「自動更新する」／「自動更新しない」

- 4時間に1回自動更新されます。夜間から早朝の間は、S!ループリストの自動更新は行われません。
- 自動更新を設定した時刻を基準に自動更新が行われます。次回の自動更新の時刻は、S!速報ニュースリスト画面で確認したいコンテンツを反転表示してY!を押し、「詳細」を選択すると確認できます。
- ローミング中は自動更新は行われません。ただし、手動で更新できます（➔P.5-13）。
- 圏外や電波の悪い場所では、自動更新されないことがあります。
- 何らかの事情で自動更新が停止したときは、手動で更新できます（➔P.5-13）。
- USIMカードを交換したときは、「自動更新しない」に設定されます。

S!速報ニュースリストを削除したい

■→「エンタテイメント」→「S!速報ニュース」→「設定」→「S!速報ニュースリスト削除」→操作用暗証番号を入力→■（OK）→「はい」

便利

S!タウンに関する便利な機能

ライブラリを利用したい

■→「コミュニケーション」→「S!タウン」を反転表示→✉（ライブラリ）

- ライブラリに保存されたS!アプリを直接起動できます。このとき、S!アプリの種類によっては、S!アプリ「S!タウン」が起動することがあります。
- S!タウンに対応するS!アプリをダウンロードしたときは、自動的にライブラリに保存されます。
- S!タウン専用のライブラリに、S!タウンの機能などを拡張するS!アプリを保存できます。

テレビ

テレビについて

地上デジタルテレビ放送の携帯･移動体向けサービス「ワンセグ」が視聴できます。

- お使いの場所に合わせて簡単にチャンネル設定が行えます。また、番組表が利用できます。
- 番組に関連した情報を入手したり、投票などで番組に参加したりできる「データ放送」も利用できます。

- **テレビを見る**
  待受画面で(TV)（1秒以上）を押すだけで、テレビが起動します。視聴するエリアに応じたチャンネルの設定も簡単に行えますので、すぐにテレビを視聴できます（➔P.6-5）。
- **番組表を利用する**
  テレビの番組表をダウンロードして見ることができます（➔P.6-6）。
- **データ放送を見る**
  映像や音声だけでなく、番組に関連した情報などが入手できるデータ放送を見ることができます（➔P.6-7）。
- 本章内での操作は、オープンポジション（➔P.1-6）の状態をもとに説明をしております。

テレビをご利用になる前に

テレビ利用時のご注意

テレビをご利用になる前に、次のことをご確認ください。

- 820SCのテレビは日本国内の地上波デジタルテレビ放送の携帯・移動体通信向けサービス「ワンセグ」を利用できます。海外では放送方式や放送の周波数が異なるため利用できません。
- 自転車やバイク、自動車などの運転中はテレビを利用しないでください。周囲の音が聞こえにくく、映像や音声に気をとられるため、交通事故の原因となります。
  [道路交通法により、運転中の携帯電話の使用は罰則の対象となります（2004年11月1日改正施行）]。
  また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。踏切や横断歩道などでは特にご注意ください。
- テレビ視聴中に音声電話での通話やメールを受信すると、テレビの映像や音声に影響を与えることがあります。また、テレビ視聴中にほかの携帯電話を近づけると、テレビの映像や音声に影響を与えることがあります。
- 静かな場所や音を出せない場所では、ステレオイヤホンマイクの使用をおすすめします。

電波について

電波の受信状況が悪い次のような場所では、テレビが正しく利用できないことがあります。

- 放送局から遠い地域または放送局から極端に近い地域
- 山間部やビルの陰
- 移動中の電車や自動車の中
- 高圧線、ネオン、無線局の近くなど
- 線路や高速道路の近くなど
- 地下街、トンネルの中など
- その他、妨害電波が多かったり、電波が遮断されたりする場所

電池残量について

電池レベル表示が(空)のときは、テレビは起動できません。

- 視聴中に電池残量が不足すると、テレビは自動的に終了します。

充電について

テレビは充電しながらでも視聴できます。

- 充電中に視聴するときは、ソフトバンクが指定した充電器を使用してください。

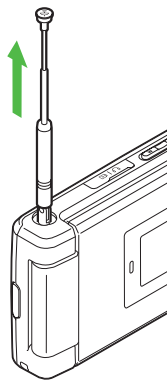
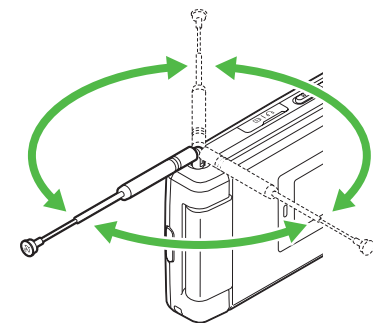
- 充電中に急速充電器のコードをアンテナに近づけると、映像に影響を与えることがあります。
- テレビを利用しながら充電すると、充電が完了するまでに時間がかかります。

地上デジタル放送とワンセグについて

ワンセグは地上デジタル放送の携帯･移動体向けサービスです。
ワンセグとは､地上デジタル放送の電波の一部を使用して､携帯電話などの小型機器でもご家庭と同じようにテレビやデータ放送の視聴を可能にした、携帯･移動体向けの地上デジタルテレビサービスです。
地上デジタル放送の6MHzの帯域を13分割して送る日本独自の放送方式によって実現したサービスで、13分割された1つの部分（セグメント）だけで放送されるため「ワンセグ」と呼ばれるようになりました。
ワンセグは2006年4月1日から三大広域圏（都市圏）と13の県の放送局で開始されているサービスです｡受信料などについて詳しくは､下記のホームページなどを参照してください。

- 社団法人 デジタル放送推進協会
  http://www.dpa.or.jp/（パソコン用）
  http://www.dpa.or.jp/1seg/k/（携帯電話用）

アンテナについて

- アンテナは３段式になっています。固定されるまで十分に引き出してください。

- 収納するときは、アンテナの下の方を持ってください。上の方を持って無理に押し込むと、破損の原因となります。先端が収納されるまで、完全に収納してください。
- アンテナをご使用になるときは、十分引き出してください。ただし、放送局が極端に近いときは、アンテナを縮めた方がテレビがきれいに映ることがあります。
- アンテナは折り曲げると360°回転します。受信感度に合わせて調整してください。

テレビ利用中の着信について

テレビ利用中に電話の着信があると

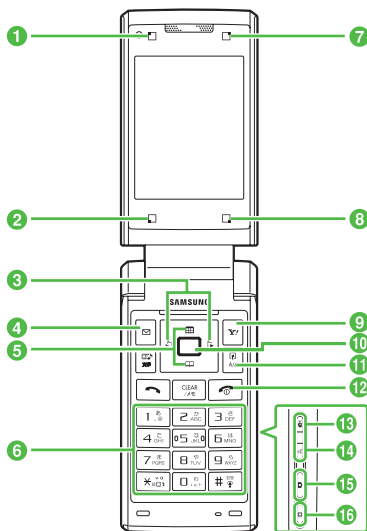
着信画面が表示されます。[通話キー]を押すと電話を受けられます。

通話中は相手の電話番号が表示されます。通話を終了するとテレビ画面に戻ります。

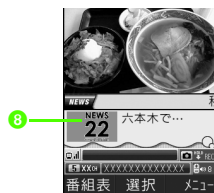
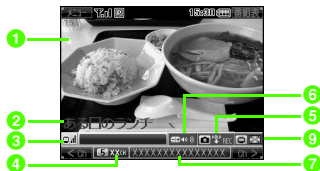
テレビ利用中にメールを受信すると

ディスプレイ最上段に相手のメールアドレスが表示されます。
[A/a]でメールを選択するとメールを見られます。[終話]を押すとテレビ画面に戻ります。

- 待受画面に戻ると、受信の通知画面に新着メールと未読メールの合計が表示されます。
- テレビ視聴中に音声電話で通話をしたりメールを受信すると、テレビの映像や音声に影響を与えることがあります。また、テレビ利用中に他の携帯電話を近づけると、テレビの映像や音声に影響を与えることがあります。

テレビで使用するボタン

番　号	オープンポジション	ビューアポジション
❶	－	番組表の表示
❷	－	メニューの表示
❸	チャンネルの切替	－
❹	番組表の表示	－
❺	データ放送の項目選択	－
❻	チャンネルの選局	－
❼❽	－	チャンネルの切替、メニュー項目の選択
❾	メニューの表示	－
❿	データ放送の項目決定	－
⓫	スイッチバーの表示	－
⓬	テレビの終了	－
⓭⓮	音量調節	音量調節、メニュー項目の選択
⓭（2秒以上）	－	消音
⓮（2秒以上）	消音	－
⓯（1秒以上）	録画	録画
⓰	－	画面幅の切替

テレビ画面について

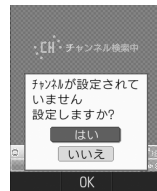
オープンポジション／字幕あり

オープンポジション／字幕なし

ビューアポジション／字幕あり

ビューアポジション／字幕なし

❶テレビ映像
❷字幕
❸テレビ受信状態
❹チャンネル
❺録画
❻音量
❼放送局名／番組名
❽データ放送
❾画面幅の切替

初めてテレビをお使いになるとき（エリア設定）

820SCには、あらかじめ各地域のチャンネル情報が登録されています。初めてお使いになるときは、地域を指定してエリアの設定をしてください。

1 （TV）（1秒以上）

2 確認画面が表示されたら「はい」

3 地域を選択

❹ 都道府県を選択

❺ ローカルエリアを選択

- チャンネルの検索を開始します。
- 開始されたチャンネルの検索を中止する場合は、[Y!]（キャンセル）を押します。

❻ [■]（次）→名前を入力→エリアを選択

使いこなしチェック！

便利 ☞P.6-12

テレビを見る

❶ [TV]（1秒以上）

❷ ダイヤルボタンでチャンネルを選択

- 1つずつ選択して変更する場合は、[◁]／[▷]を押します。

❸ テレビを終了する場合は [終話]→「はい」を選択

- 「自動起動設定」（➔P.13-25）を「TV視聴」にしている場合は、ビューアポジションにするだけでテレビが起動します。
- テレビ視聴中に音量を調節するには、[▲]／[▼]を押します。[▼]を2秒以上押すと消音に設定できます。

番組表（Gガイドモバイル）を利用する

番組表（Gガイドモバイル）は、地上波アナログ、地上波デジタルの番組表とAVリモコン機能がひとつになった便利なアプリです。いつでもどこでも知りたいテレビ番組の番組情報をジャンルやキーワードから検索し、簡単に取得して録画や視聴の予約ができます。

❶ [TV]→「番組表」

- テレビ画面で[✉]（番組表）を押しても番組表を表示できます。
- 番組表を初めて起動したときは、「Gガイドモバイル」の初期設定画面が表示されます。初期設定を行うと、番組表が表示されます。

- 番組表で視聴したい番組を反転表示し、[✉]（TV起動）を押すとテレビ画面が表示されます。

データ放送を利用する

テレビでは、映像／音声に加えてデータ放送を利用できます。データ放送では、画面に表示される説明に従って操作することで、番組に関連した情報を入手したり、投票などで番組に参加するなど、さまざまな情報を利用できます。

データ放送の基本的な操作

データ放送の利用方法は、番組によって異なります。

1 テレビ視聴中に[キー]で表示したい項目を反転表示→[■]（選択）

- データ放送、放送局サーバによっては、インターネットに接続するかどうかの確認画面が表示されます。データ放送を見る（放送で情報を受信する）ときは、通信料はかかりませんが、データ放送サイトなどでインターネットを利用したサービスを利用するときは、通信料がかかります。

注意

- **データ放送の視聴には通信料はかかりません。ただし、データ放送で提供される双方向サービスを利用するときや、インターネットを利用したサービスを利用するときなどには、通信料がかかります。**
- **データ放送の項目が横に並んでいても、[キー]で反転表示して項目を選択します。[キー]を押すとチャンネルが切り替わります。**

TVリンクを利用する

TVリンクの登録操作は番組によって異なります。詳しくはデータ放送内の情報を確認してください。

TVリンクを登録する

1 データ放送を行っている番組で、「テレビリンク登録」などの項目を選択

TVリンクを表示する

1 [キー]→「TVリンク」→TVリンクを選択

使いこなしチェック！

便利 ☞P.6-13

- 視聴しているチャンネルの番組情報を確認したい
- 放送中の番組をサムネイル表示してチャンネルを選択したい
- 字幕の表示を設定したい
- コントロールパネルの表示を設定したい
- データ放送を全画面で見たい
- データ放送のトップページに戻りたい
- TVリンクを表示したい
- テレビの視聴中にBluetooth®対応のステレオヘッドフォンに切り替えたい
- チャンネルの選択方法を設定したい
- 視聴中の番組を録画したい
- 録画した番組を再生したい
- テレビを終了したい
- 操作方法を確認したい
- TVリンクを削除したい
- TVリンクの詳細を確認したい

設定

- 通信接続確認を設定する（☞P.13-13）
- 製造番号を自動的に通知するかどうか設定する（☞P.13-13）
- 放送局データを削除する（☞P.13-13）

- 画面の明るさを設定する（☞P.13-13）
- 番組に合わせた音質に設定する（☞P.13-13）
- 音声切り替えを設定する（☞P.13-13）
- 音声出力を設定する（☞P.13-13）

番組の録画／再生

番組を録画する前に

- あらかじめ、本機でフォーマット（初期化）したメモリカードを取り付けておいてください（➔P.2-38）。
- 録画中は、絶対にメモリカードを取り外さないでください。録画したデータが消えたり、メモリカードが破損する原因となります。
- メモリカードの空き容量が少ないときは、録画できません。
- 録画中に電池残量が不足すると、録画は終了します。充電しながら録画することをおすすめします。
- 録画した番組は、コピー／転送、メール添付送信などを行うことはできません。
- データが何も保存されていない256Mバイトのメモリカードに録画できる時間の目安は、約90分です。

著作権保護について（番組録画時）

本機には、著作権保護のための暗号化技術が組み込まれており、データを記録する際に、メモリカードとの間でデータの暗号化／認証処理を行っています。
SD-Video規格「ISDB-T mobile Video profile」に対応した機器以外では、この暗号化されたデータは再生できません。
本機で分割したファイルもこの規格に準拠しています。

注意

- **お客様が録画したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。**
- **録画した内容は、事故や故障によって、消失または変化してしまうことがあります。なお、データが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。**
- **録画したデータを、別のメモリカードなど他のメディアにデジタル録画（コピー）することはできません。**

放送中の番組を録画する

放送中の番組を録画できます。録画した番組はメモリカードのSD_VIDEOフォルダに保存されます。

1 テレビ画面で [カメラ]（1 秒以上）

2 [カメラ]（1秒以上）／[メール]（保存）

- データ放送があるときは、映像とデータ放送の両方が録画されます。映像だけ録画するように設定しておくこともできます（➡P.13-13）。
- 録画中に音量、画面サイズ、サウンド設定を変更しても、録画内容には反映されません。

注意

- 録画中にメモリカード残量や電池残量が不足したりすると、録画は終了します。このとき、終了するまでに録画していた番組は保存されます。
- S!一斉トークや音声電話の着信があったときは、録画は継続されます。TVコールの着信があったときは、録画を継続するかどうかの確認メッセージが表示されます。
- 動画を着信音に設定しているとき、テレビ録画中に着信があると、お買い上げ時の着信音が鳴ることがあります。

録画した番組を再生する

1 [TV]→「TVプレイヤー」

2 ファイルを選択

- 前回の再生時に途中で停止していたときは、続きから再生されます。

- TVプレイヤー画面に表示されるアイコン
  - [アイコン]：正常に録画されたファイル
  - [アイコン]：録画に失敗したファイル

使いこなしチェック！

設定

- データ放送の録画内容を設定する（☞P.13-13）
- データ放送を保存するときの保存先を設定する（☞P.13-13）

録画／視聴の予約

録画／視聴予約する前に

最大5件まで、録画／視聴予約を登録できます。

1件あたりに設定可能な録画時間は、最大4時間です。ただし、メモリカードの容量によっては、録画可能時間が少なくなることがあります（4時間の録画を行うには、約680Mバイト以上のメモリカードが必要です）。

録画予約時のご注意

録画が開始される前に次のことを確認しておいてください。

- 他の機能が終了していること
- アンテナを調整し、テレビが良好に受信できていること
- 電池残量が不足していないこと（充電しながら録画することをおすすめします）。
- メモリカード残量が不足していないこと

録画開始時刻について

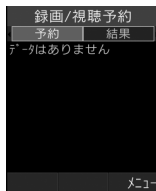
デジタルTVでは、実際の番組開始時刻よりも、少し遅れて番組が受信されます。そのため、予約した番組が始まる少し前から録画が始まることがあります。

録画終了時刻は、番組の最後が切れないよう、設定した時刻よりも数秒間遅くなります。

番組表から予約したときについて

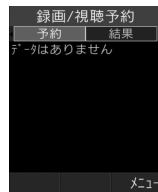
番組表を利用して、選択した番組を録画／視聴予約することができます（➔P.6-6）。

番組表から予約する

1 📺→「録画／視聴予約」

2 Y! →「新規予約」→「番組表から」→番組を選択

- 番組の選択など詳しくは番組表のヘルプを参照してください。

日付やチャンネルを指定して予約する

1 📺→「録画／視聴予約」

2 Y! →「新規予約」→「手動予約」

❸ 録画欄を選択→「On」／「Off」

- 録画する場合は「On」、視聴のみの場合は「Off」を選択します。

❹ 開始日欄を選択→開始日を入力

❺ 開始時刻欄を選択→開始時刻を入力

❻ 終了時刻欄を選択→終了時刻を入力

❼ チャンネル欄を選択→チャンネルを選択

❽ （保存）

予約時刻になると

録画／視聴予約の時刻が近づく（アラーム通知時間になる）と、予約時刻が近づいていることを、画面表示とアラームでお知らせします。

テレビ視聴以外の機能が起動しているときは、使用中の機能を終了してください。待受画面に戻ると予約内容が実行されます。

予約内容を確認する

1 📺→「録画／視聴予約」

2 「予約」／「結果」→予約内容を選択

- 予約時刻前の予約は「予約」、予約時刻を過ぎた予約は「結果」に表示されます。
- 録画予約には🎥、視聴予約には📺が表示されます。アラームを設定した場合は🔔が表示され、正常に録画、視聴できなかった場合は🎥、📺が表示されます。

使いこなしチェック！

便利 ☞P.6-16

- 予約内容を編集したい
- 予約内容を削除したい

設定

- 予約通知のアラーム音を設定する（☞P.13-12）
- 予約通知の音量を設定する（☞P.13-12）
- 予約時間にバイブレータでお知らせする（☞P.13-12）
- 予約時間にライトでお知らせする（☞P.13-12）
- アラームの通知時間を設定する（☞P.13-12）
- アラームの鳴動時間を設定する（☞P.13-13）

便利

テレビに関する便利な機能

テレビを視聴中に電話を受けたい

テレビ視聴中に[通話]

- 通話が終了するとテレビ画面に戻ります。

テレビを視聴中に着信を拒否して電話を切りたい

テレビ視聴中に[Y!]（拒否）

便利

テレビ視聴中の便利な機能

視聴しているチャンネルの番組情報を確認したい　[番組情報]

TV（1秒以上）→Y!→「番組情報」→確認したい情報を選択

- テレビ画面に戻るには、■（OK）を押し、CLEARを押します。

放送中の番組をサムネイル表示してチャンネルを選択したい　[番組プレビュー]

TV（1秒以上）→Y!→「番組プレビュー」→チャンネルを選択

エリアを変更したい　[エリア切替]

TV（1秒以上）→Y!→「チャンネル設定」→「エリア切替」→エリアを選択

エリアを設定したい　[エリア情報設定]

TV（1秒以上）→Y!→「チャンネル設定」→「エリア切替」→「未保存」を反転表示→Y!→「エリア情報設定」→地域を選択→都道府県を選択→エリアを選択→■（次）→名前を入力

- エリアは10件まで登録できます。

エリア内の全チャンネル情報を更新したい　[チャンネル更新]

TV（1秒以上）→Y!→「チャンネル設定」

■ **エリア選択中に更新するとき**

「エリア切替」→エリアを反転表示→Y!→「チャンネル更新」→「全更新」→「はい」

■ **チャンネル選択中に更新するとき**

「チャンネル切替」→Y!→「チャンネル更新」→「全更新」→「はい」

- 登録されているチャンネルを消去して更新します。

エリア内のチャンネル情報を更新したい　[チャンネル更新]

TV（1秒以上）→Y!→「チャンネル設定」

■ **エリア選択中に更新するとき**

「エリア切替」→エリアを反転表示→Y!→「チャンネル更新」→「追加更新」

■ **チャンネル選択中に更新するとき**

「チャンネル切替」→Y!→「チャンネル更新」→「追加更新」

- 登録されているチャンネルは変更されずに、受信したチャンネルを追加します。チャンネル番号が重複しているときは、登録済みのチャンネルに上書きされます。

エリア名を変更したい　[エリア名変更]

TV（1秒以上）→Y!→「チャンネル設定」→「エリア切替」→エリアを反転表示→Y!→「エリア名変更」→名前を入力

エリアを削除したい　[削除]

TV（1秒以上）→Y!→「チャンネル設定」→「エリア切替」→削除したいエリアを反転表示→Y!→「削除」→「はい」

チャンネル情報をリセットしたい　[設定リセット]

TV（1秒以上）→Y!→「チャンネル設定」→「エリア切替」→エリアを反転表示→Y!→「設定リセット」→「はい」

エリアの詳細を確認したい　[詳細]

TV（1秒以上）→Y!→「チャンネル設定」→「エリア切替」→エリアを反転表示→Y!→「詳細」

チャンネルを一覧から選択したい　[チャンネル切替]

TV（1秒以上）→Y!→「チャンネル設定」→「チャンネル切替」→チャンネルを選択

チャンネル番号を変更したい　[移動]

TV（1秒以上）→Y!→「チャンネル設定」→「チャンネル切替」→移動したいチャンネルを反転表示→Y!→「移動」→↕で移動→■（OK）

チャンネル情報を削除したい　[削除]

📺（1秒以上）→Y!→「チャンネル設定」→「チャンネル切替」→削除したいチャンネルを反転表示→Y!→「削除」

■ **1件削除するとき**
「1件」→「はい」

■ **複数削除するとき**
「複数」→削除したいチャンネルをチェック→✉（削除）→「はい」

■ **すべて削除するとき**
「全件」→操作用暗証番号を入力→■（OK）→「はい」

チャンネル情報の詳細を確認したい　[詳細]

📺（1秒以上）→Y!→「チャンネル設定」→「チャンネル切替」→チャンネルを反転表示→Y!→「詳細」

チャンネル情報を保存したい　[チャンネル保存]

📺（1秒以上）→Y!→「チャンネル設定」→「チャンネル保存」→保存先を選択

チャンネルの選択方法を設定したい　[チャンネル選択設定]

📺（1秒以上）→Y!→「チャンネル設定」→「チャンネル選択設定」→「チャンネル切替」／「マニュアル選局」

字幕の表示を設定したい　[字幕表示]／[字幕非表示]

📺（1秒以上）→Y!→「字幕表示」／「字幕非表示」

- 字幕なしの番組のときは字幕表示の設定にかかわらず、字幕は表示されません。
- 字幕付きの番組でも、字幕が表示されていないときは、字幕エリアだけが表示されます。

コントロールパネルの表示を設定したい　[パネル表示]／[パネル非表示]

📺（1秒以上）→Y!→「パネル表示」／「パネル非表示」

データ放送を全画面で見たい　[データ放送全画面表示]

📺（1秒以上）→Y!→「データ放送全画面表示」

- テレビ映像を選択するには、Y!（TV）を押します。

データ放送のトップページに戻りたい　[データ放送トップに戻る]

📺（1秒以上）→Y!→「データ放送トップに戻る」

TVリンクを表示したい　[TVリンク]

📺（1秒以上）→Y!→「TVリンク」

テレビの視聴中にBluetooth®対応のステレオヘッドフォンに切り替えたい　[ヘッドフォンに接続]／[本体で聴く]

📺（1秒以上）→Y!→「ヘッドフォンに接続」／「本体で聴く」→接続先を選択

- 「ヘッドフォンに接続」に設定すると、820SCでの音量調節はできません。AVヘッドフォン側で調節してください。
- モノラルヘッドフォンでは再生できません。

予約時間お知らせを設定したい [予約時間お知らせ]

TV（1秒以上）→Y!→「設定」→「予約時間お知らせ」

■ **アラーム音を設定するとき**
「アラーム音」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを反転表示→✉（再生）→Y!（選択）

■ **音量を設定するとき**
「音量」→◆で音量を調節→✉（再生）→■（選択）

■ **バイブレータを設定するとき**
「バイブ」→「Off」／「パターン1」～「パターン5」→✉（再生）→■（選択）

■ **ライトを設定するとき**
「ライト」→「On」／「Off」

■ **通知時間を設定するとき**
「アラーム通知時間」→「1分前」／「3分前」／「5分前」

■ **鳴動時間を設定するとき**
「アラーム鳴動時間」→「10秒」／「20秒」／「30秒」

データ放送を設定したい [データ放送]

TV（1秒以上）→Y!→「設定」→「データ放送」

■ **録画内容を設定するとき**
「録画設定」→「映像＋データ放送」／「映像のみ」

■ **保存先を設定するとき**
「画像保存先設定」→「本体メモリ」／「メモリカード」

■ **通信接続確認を設定するとき**
「通信接続確認」→「On」／「Off」／「毎回確認」

■ **製造番号通知を設定するとき**
「製造番号通知」→「On」／「Off」

■ **放送局メモリを削除するとき**
「放送局メモリ削除」→放送局を選択→削除したい項目を反転表示→Y!→「削除」／「全削除」

- 「全削除」を選択したときは、操作用暗証番号の入力が必要です。

画面の明るさを設定したい [画面明るさ設定]

TV（1秒以上）→Y!→「設定」→「画面明るさ設定」→◆で明るさを調節→■（選択）

音声を設定したい [サウンド設定]

TV（1秒以上）→Y!→「設定」→「サウンド設定」

■ **音質を設定するとき**
「サウンドモード設定」→「通常」／「音楽」／「ニュース」／「映画」／「スポーツ」

■ **言語を設定するとき**
「音声言語設定」→「主音声」／「副音声」／「主＋副音声」

■ **出力先を設定するとき**
「音声出力設定」→「イヤホン優先」／「スピーカー」

タッチキーを設定したい [タッチキーロック設定]

TV（1秒以上）→Y!→「設定」→「タッチキーロック設定」

■ **キーロックの時間を設定するとき**
「キーロック秒数」→「Off」／「15秒後」／「30秒後」／「1分後」

■ **キーロック解除表示を設定するとき**
「キーロック解除表示」→「On」／「Off」

テレビ視聴中の優先動作を設定したい [着信時優先動作]

TV(1秒以上)→Y!→「設定」→「着信時優先動作」

■ **音声着信を優先するとき**
「音声着信」→「着信優先動作」/「着信通知動作」

■ **TVコール着信を優先するとき**
「TVコール着信」→「着信優先動作」/「着信通知動作」

■ **S!一斉トーク着信を優先するとき**
「S!一斉トーク着信」→「着信優先動作」/「着信通知動作」

■ **アラームを優先するとき**
「アラーム」→「アラーム優先」/「アラーム通知」

自動でテレビを終了するようにしたい [オートオフ設定]

TV(1秒以上)→Y!→「設定」→「オートオフ設定」

■ **設定時間で終了するように設定するとき**
「オートオフ時間設定」→「Off」/「10分」/「30分」/「60分」/「120分」

■ **クローズポジションにすると終了するように設定するとき**
「本体クローズ終了」→「On」/「Off」

視聴中の番組を録画したい [録画開始]

TV(1秒以上)→Y!→「録画開始」→✉(保存)

録画した番組を再生したい [TVプレイヤー]

TV(1秒以上)→Y!→「TVプレイヤー」→再生したいファイルを選択

テレビを終了したい [TV終了]

TV(1秒以上)→Y!→「TV終了」

操作方法を確認したい [ヘルプ]

TV(1秒以上)→Y!→「ヘルプ」

TVリンクを削除したい [削除]

TV→「TVリンク」→Y!→「削除」

■ **1件削除するとき**
「1件」→「はい」

■ **複数削除するとき**
「複数」→削除したいTVリストをチェック→✉(削除)→「はい」

■ **すべて削除するとき**
「全件」→操作用暗証番号を入力→■(OK)→「はい」

TVリンクの詳細を確認したい [詳細]

TV→「TVリンク」→Y!→「詳細」

便利

録画/視聴の予約に関する便利な機能

予約する番組の番組名を入力したい

TV→「録画/視聴予約」→Y!→「新規予約」→「手動予約」→番組欄を選択→番組名を入力

予約した時間にアラームを鳴らしたい

TV→「録画/視聴予約」→Y!→「新規予約」→「手動予約」→アラーム欄をチェック

予約内容を編集したい [編集]

TV→「録画/視聴予約」→予約を反転表示→Y!→「編集」→(➔P.6-10)

予約内容を削除したい [削除]

TV→「録画/視聴予約」→Y!→予約を反転表示→「削除」

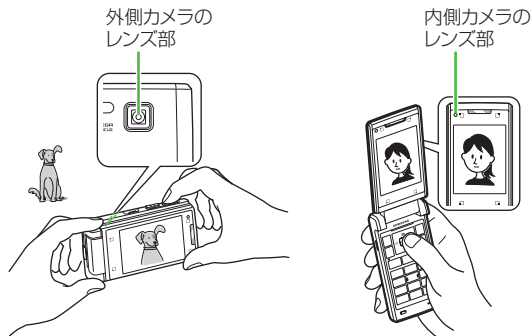
■ **1件削除するとき**
「1件」→「はい」

■ **複数削除するとき**
「複数」→削除したい予約をチェック→✉(削除)→「はい」

■ **すべて削除するとき**
「全件」→操作用暗証番号を入力→■(OK)→「はい」

カメラ／静止画編集

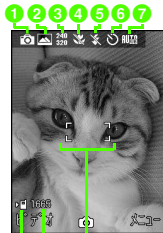
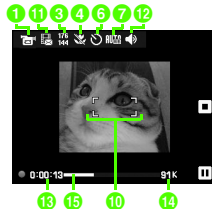
カメラについて

写真（静止画）や動画を撮影できます。静止画はJPEG形式で、動画は3GP形式で保存されます。カメラは、外側カメラと内側カメラを切り替えて撮影することができます。

カメラ利用時のご注意

- カメラのレンズ部に指紋や油脂が付くと、ピントが合わなくなります。柔らかい布でレンズ部をきれいにしてください。
- 手振れにご注意ください。画像がぶれる原因となります。820SCが動かないようにしっかり持って撮影するか、安定した場所に置いてセルフタイマーで撮影してください。
- カメラ利用時に、820SCを静電気が発生する装置に近づけないでください。
- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常に明るく見える画素や暗く見える画素もありますのでご了承ください。
- 820SC を暖かい場所に長時間置いたあとで撮影したり画像を保存したりした場合は、画質が劣化することがあります。
- カメラ部分に直射日光が長時間当たると、画像が変色することがあります。
- 「パノラマ」で撮影した画像は、他の撮影モードで撮影した画像に比べて画質が低くなる場合があります。
- 電池の残量が少ないと、カメラが起動しないことがあります。

ビューファインダー（撮影画面）の見かた

820SCのカメラは、ビューアポジションで起動した場合とオープンポジションで起動した場合とでビューファインダーの向きが変わります。ビューアポジションで起動すると横向き、オープンポジションで起動すると縦向きで表示されます。また、カメラ利用中にポジションを変更した場合も、ビューファインダーの向きが変わります。

- 本書では、静止画は外側カメラを使ったオープンポジションでの縦向き撮影、動画は外側カメラを使ったオープンポジションでの横向き撮影で説明を記載しています。

静止画のビューファインダー

動画のビューファインダー

❶ モード
- ：静止画撮影モード（標準）
- ：静止画撮影モード（シーン）
- ：動画撮影モード

❷ 撮影シーン／撮影モード
- ：オート　：ポートレイト　：風景
- ：スポーツ　：夜景　：通常撮影
- ：連写（6枚）　：連写（9枚）　：フォトコンビ
- ：フレーム　：パノラマ

❸ 撮影サイズ

静止画撮影時
- ：2M（1600×1200）　：2M（1200×1600）
- ：1.3M（1280×960）　：1.3M（960×1280）
- ：VGA（640×480）　：VGA（480×640）
- ：壁紙（320×240）　：壁紙（240×320）

動画撮影時
- ：320×240　：176×144
- ：128×96

❹ マクロ機能
- ：On　：Off

❺ フラッシュ
- ：オート　：On　：Off

❻ セルフタイマー
- ：Off　：3秒　：5秒　：10秒

❼ ホワイトバランス
- ：オート　：晴天　：白熱灯　：蛍光灯　：曇り

❽ 保存先設定
- ：本体　：メモリカード、デジタルカメラ、毎回確認

❾ 撮影可能残数

❿ フォーカスフレーム

⓫ 撮影時間
- ：S!メール添付　：標準

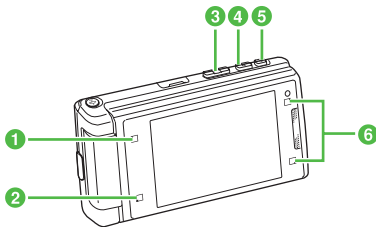
⓬ 音声録音
- ：映像＋音　：映像のみ

⑬ 撮影経過時間

⑭ 撮影データの容量（「S!メール添付」時）／総撮影時間（「標準」時）

⑮ プログレスバー

ビューアポジションで使うボタン

ビューアポジションではタッチキーとサイドキーを使って撮影します。

番号	撮影中	撮影後
1	メニューの表示、メニューの項目選択	メニューの表示、メニューの項目選択
2	カメラ・ビデオ変更	撮影画像の送信
3	メニューの項目選択	撮影画像の拡大縮小
4	シャッター、メニューの項目決定	メニューの項目決定、撮影画像の保存
5	カメラの終了、メニューを閉じる	メニューを閉じる、撮影のやり直し
6	メニューの項目選択	メニューの項目選択

静止画撮影モードについて

静止画撮影は、カメラモードと撮影モードで用途に合わせて設定します。
カメラモードは、撮影した静止画を820SCで利用するときは「標準」、シーンモードを設定して撮影するときは「シーン」に設定します。
撮影モードは、１枚ずつ撮影するときは「通常撮影」、連写するときは「連写」または「フォトコンビ」、パノラマ形式で撮影するときは「パノラマ」、フレーム付きの静止画を撮影するときは「フレーム」に設定します。
撮影した静止画は「ピクチャー」フォルダに保存されます。メモリカードを取り付けているときは、「デジタルカメラ」フォルダにも保存できます。
各カメラモードで可能な撮影方法は、次のとおりです。

カメラ	外側カメラ		内側カメラ
カメラモード	標準	シーン	-
静止画の向き	縦／横※	縦／横※	縦
連写	○	×	○
フォトコンビ	○	×	×
フレーム	○	×	×
パノラマ	○	×	×
オートフォーカス	○	○	×
マクロ機能	○	○	×

※ オープンポジションでは縦、ビューアポジションでは横になります。ただし、フォトコンビ、フレーム、パノラマ撮影は、オープンポジションでも横向きになります。

- シーンモードでは、エフェクト、フラッシュの設定はできません。

7 カメラ／静止画編集

撮影サイズについて

各カメラモードの撮影サイズは次のとおりです。

カメラ／カメラモード		撮影サイズ
外側カメラ		
	横	2M（1600×1200） 1.3M（1280×960） VGA（640×480） 壁紙（320×240）
	縦	2M（1200×1600） 1.3M（960×1280） VGA（480×640） 壁紙（240×320）
内側カメラ		壁紙（240×320）

※ パノラマ撮影の場合、撮影後の画像サイズは、縦長撮影時は最大550×2000、横長撮影時は最大2400×400になります。

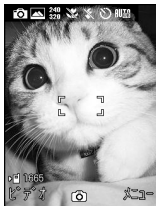
- メモリカードを取り付けて「デジタルカメラ」フォルダを保存先に設定しているとき、320×240サイズまたは240×320サイズの画像は自動的に「メモリカード」フォルダに保存されます。
- 横向きで撮影された静止画は、画像を全画面で確認すると横向きに表示されます。

撮影モードについて

各撮影モードの特長は次のとおりです。

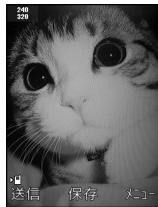
撮影モード	特　長
通常撮影	メールに添付したり待受画面の背景にしたり、携帯電話で利用するのに適したサイズの静止画を撮影できます。
連写	6、9枚の静止画を自動で連続撮影できます。
フォトコンビ	手動で連続撮影できます。フレームを選んで撮影すると、連続撮影したすべての静止画が縮小されて1枚の静止画内に配置されます。
フレーム	フレーム付きの静止画を撮影できます。
パノラマ	風景などをパノラマ形式で撮影できます。パノラマ撮影時に最大6枚まで撮影された画像を、自動的に1枚のパノラマ画像に生成します。

静止画を撮影する

 （2秒以上）

- 動画撮影モードが起動した場合は、（カメラ）を押して、撮影モードを切り替えます。
- 必要に応じて撮影前に設定を行います。

2 撮影したい被写体をビューファインダーに表示

- ／または／を押すと拡大／縮小できます。
- ／を押すと明るさを変更できます。

3 （半押し）→

- を半押しするとピントが合います。そのあとでを全押しすると撮影されます。
- （）でも撮影できます。
- 撮影をやり直す場合は、CLEAR/メモを押します。

4 （保存）

- を軽く押すことを「半押し」といいます。静止画の撮影時にの半押しでオートフォーカスによるピント合わせを行うことができます。オートフォーカスでピントが合ったときは緑色、合わなかったときは茶色の枠が表示されます。半押しは、「オートフォーカス」が「On」に設定されている場合のみ操作できます。

ショートカット（ボタン操作）を使った撮影前の設定変更について

ショートカットが割り当てられたボタンを押すことにより、簡単に設定を変更できます。選択できる項目は、モードや各種設定の状況によって異なります。

ボタン	項　目	内　容
1	モード	標準、シーン
2	撮影モード	通常撮影、連写6枚、連写9枚、フォトコンビ、フレーム、パノラマ
3	セルフタイマー	Off、3秒、5秒、10秒
4	カメラ切替	アウトカメラ、インカメラ
5	マクロ	On、Off
＊	フラッシュ	オート、On、Off
0	クイックプレイ	本体、メモリカード、デジタルカメラ
（メール）	カメラ・ビデオ変更	－
／／	ズーム	－

ボタン	項　目	内　容
[icon]	明るさ調整	－
[icon]	フラッシュ	[icon]を押すごとにモードを切り替え
	セルフタイマー	[icon]を押すごとにモードを切り替え
	マクロ機能	[icon]を押すごとにモードを切り替え
	ファインダー表示	[icon]を押すごとにモードを切り替え

使いこなしチェック！

便利 ☞P.7-17

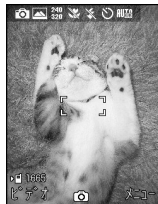
- 内側カメラ／外側カメラに切り替えたい
- カメラモードを切り替えたい
- 撮影モードを切り替えたい
- 撮影サイズを設定したい
- マクロ機能を設定したい
- フラッシュの設定をしたい
- 顔リンクの設定をしたい
- セルフタイマーの設定をしたい
- ホワイトバランスの設定をしたい
- エフェクト（色調）の設定をしたい
- 撮影した写真を確認したい
- 静止画撮影のボタンに割り当てられた機能を確認したい
- 撮影した静止画の保存時にファイル名を入力したい
- 撮影した静止画を拡大して確認したい
- クイックプレイで表示した静止画を削除したい
- クイックプレイをスライドショーで再生したい
- クイックプレイで静止画の詳細を確認したい

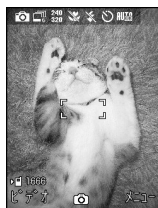
設定

- ビューファインダーのアイコン表示を設定する（☞P.13-10）
- オートフォーカスを設定する（☞P.13-10）
- 自動保存を設定する（☞P.13-10）
- 画質を設定する（☞P.13-11）
- ISOを設定する（☞P.13-11）
- 測光モードを設定する（☞P.13-11）
- 保存先を設定する（☞P.13-11）
- グリッド線の表示を設定する（☞P.13-11）
- シャッター音を設定する（☞P.13-11）
- 820SCをビューアポジションにしたときに起動する機能を設定する（☞P.13-25）

いろいろな撮影をする

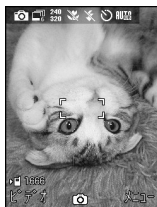
連続写真を撮影する

1 （2秒以上）

- 動画撮影モードが起動した場合は、（カメラ）を押して、撮影モードを切り替えます。

2 →を反転表示→「連写」→撮影枚数を選択

- 必要に応じて撮影前に設定を行います。

3 撮影したい被写体をビューファインダーに表示

- ／または／を押すと拡大／縮小できます。
- ／を押すと明るさを変更できます。

4 ／（）

- 撮影をやり直す場合は、を押します。

5 保存する写真をチェック→（保存）

- 連続撮影ではオートフォーカスは使用できません。

分割撮影（フォトコンビ）をする

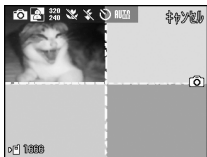
1 （2秒以上）

- 動画撮影モードが起動した場合は、（カメラ）を押して、撮影モードを切り替えます。

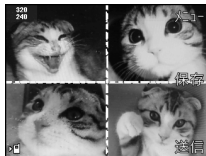
2 →を反転表示→「フォトコンビ」→（リスト）

❸ フレームを選択→■（OK）

- フォトコンビでは画面が横向きになります。
- 必要に応じて撮影前に設定を行います。

❹ 撮影したい被写体をビューファインダーに表示→選んだフレームに合わせて（カメラ）／■（カメラ）

- ／ または ／ を押すと拡大／縮小できます。
- ／ を押すと明るさを変更できます。

❺ 操作❹を繰り返して撮影したい被写体を撮影→（カメラ）／■（カメラ）

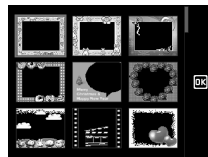
- 撮影をやり直す場合は、CLEAR/メモを押します。

❻ ■（保存）

- フォトコンビではオートフォーカスは使用できません。

フレーム付きの静止画を撮影する

❶ （カメラ）（2秒以上）

- 動画撮影モードが起動した場合は、（カメラ）を押して、撮影モードを切り替えます。

❷ Y!→ を反転表示→「フレーム」→（リスト）

3 フレームを選択→■（OK）

- フレーム付き撮影では画面が横向きになります。
- 必要に応じて撮影前に設定を行います。

4 撮影したい被写体をビューファインダーに表示

- 凸／亞または◙／◙を押すと拡大／縮小できます。
- ◻◂／▸◻を押すと明るさを変更できます。

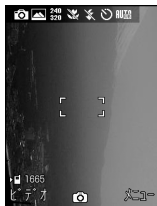
5 (◙)／■（◙）

- 撮影をやり直す場合は、CLEARを押します。

6 ■（保存）

- フレーム付き撮影ではオートフォーカスは使用できません。

パノラマ撮影をする

1 (◙)（2秒以上）

- 動画撮影モードが起動した場合は、✉（カメラ）を押して、撮影モードを切り替えます。

2 Y!→▲を反転表示→「パノラマ」

- パノラマ撮影では画面が横向きになります。
- 必要に応じて撮影前に設定を行います。

3 撮影したい被写体をビューファインダーに表示

- 凸／亞または◙／◙を押すと拡大／縮小できます。
- ◻◂／▸◻を押すと明るさを変更できます。

4

- 撮影をやり直す場合は、CLEAR/メモを押します。

5 撮りたい方向（縦方向または横方向）に820SCを動かす→小さい黒枠を大きい黒枠の中に合わせると自動的に撮影

6 操作 5 を繰り返して撮影したい範囲を撮影→（カメラ）／■（停止）

- 撮影が終了します。また、6枚まで撮影すると、自動的に撮影が終了します。
- 撮影をやり直す場合は、CLEAR/メモを押します。

7 自動的にパノラマ画像を生成→■（保存）

- パノラマ撮影時の撮影枚数により、生成に時間がかかることがあります。

- パノラマ撮影ではオートフォーカスは使用できません。
- パノラマ撮影中は、820SCをゆっくり動かして撮影してください。
- パノラマ撮影は、室外の風景を撮影するのに適した形式です。被写体との撮影距離を10m以上とられることをおすすめします。被写体との距離が近すぎると、パノラマ画像が生成できないことがあります。
- 暗い場所や、濃淡のない背景を撮影すると、パノラマ画像が生成できないことがあります。

動画撮影モードについて

手軽に動画を撮影できます。撮影した動画は、3GP形式でデータフォルダの「ムービー」フォルダに保存されます。メールに添付／挿入する動画を撮影する場合は撮影時間を「S!メール添付」（➔P.7-19）に設定してください。

動画を撮影する

1 ■→「カメラ」→「ビデオカメラ」

- 必要に応じて撮影前に設定を行います。

2 撮影したい被写体をビューファインダーに表示

- □／□または□／□を押すと拡大／縮小できます。
- □／□を押すと明るさを変更できます。

3

4

- 撮影が終了します。撮影時間が経過した場合は、自動的に撮影が終了します。

5 □（保存）

ショートカット（ボタン操作）を使った撮影前の設定変更について

ショートカットが割り当てられたボタンを押すことにより、簡単に設定を変更できます。選択できる項目は、モードや各種設定の状況によって異なります。

ボタン	項　目	内　容
2	撮影モード	S!メール添付、標準
3	セルフタイマー	Off、3秒、5秒、10秒
4	カメラ切替	アウトカメラ、インカメラ
5	音声録音	映像＋音、映像のみ
□	カメラ・ビデオ変更	–
□／□／□	ズーム	–
□	明るさ調整	–
□	フラッシュ	□を押すごとにモードを切り替え
	セルフタイマー	□を押すごとにモードを切り替え
	マクロ機能	□を押すごとにモードを切り替え
	ファインダー表示	□を押すごとにモードを切り替え

使いこなしチェック！

便利 ☞P.7-19

- 内側カメラ／外側カメラに切り替えたい
- 撮影時間を設定したい
- 撮影サイズを設定したい
- マクロ機能を設定したい
- フラッシュの設定をしたい
- セルフタイマーの設定をしたい
- ホワイトバランスの設定をしたい
- エフェクト（色調）の設定をしたい
- 音声録音の設定をしたい
- 撮影した動画を確認したい
- 動画撮影のボタンに割り当てられた機能を確認したい
- 撮影した動画を保存前に確認したい
- 撮影した動画の保存時にファイル名を入力したい

設定

- ビューファインダーのアイコン表示を設定する（☞P.13-10）
- オートフォーカスを設定する（☞P.13-10）
- 自動保存を設定する（☞P.13-10）
- 画質を設定する（☞P.13-11）
- 保存先を設定する（☞P.13-11）

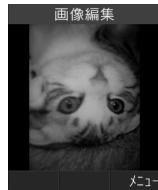
画像を加工する

静止画を編集する

データフォルダに保存された静止画を編集します。

1 ■→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択

2 ファイルを反転表示→■（表示）

3 Y!→「編集」→「画像編集」

4 画像の編集操作

■ 画像にエフェクトを設定するとき

Y!→「撮影効果」→「フィルター」／「スタイル」／「ワープ」→エフェクトを選択→✉（完了）

■ 部分的にぼかしたり赤目補正をするとき

Y!→「部分撮影効果」→「部分ぼかし」／「赤目補正」→Y!→メニューを使って部分ぼかしや赤目補正の操作→Y!→「完了」→✉（完了）

■ **画像を調整するとき**

[Y!]→「画像調整」→「自動レベル」／「明るさ」／「コントラスト」／「色」→画像を調整→[✉]（完了）

■ **画像のサイズを変更するとき**

[Y!]→「変換」→「サイズ変更」→設定を選択→「幅」／「高さ」を入力（数値指定のみ）→[✉]（完了）

■ **画像を回転するとき**

[Y!]→「変換」→「回転」→「右90度回転」／「左90度回転」→[✉]（完了）

■ **画像を反転するとき**

[Y!]→「変換」→「反転」→「上下反転」／「左右反転」→[✉]（完了）

5 [■]（保存）→画像名を入力

静止画を合成する

データフォルダに保存されている静止画を使って、画像を合成します。静止画の上に線画に加工したもう１枚の静止画を重ねることにより、スタンプを押した写真のような画像を作成できます。

1 [■]→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択

2 ファイルを反転表示→[Y!]→「編集」→「画像合成」

3 [■]（追加）

4 重ねる静止画の選択操作

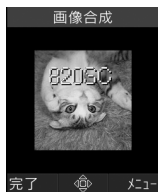
■ **データフォルダから選択するとき**

「画像選択」→ファイルを選択

- メモリカードを取り付けているときは、「ピクチャー」フォルダと「デジタルカメラ」フォルダからファイルを選択できます。

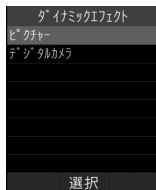
■ **新規に撮影するとき**

「カメラ起動」→[■]（[カメラ]）→[■]（[保存]）

5 ■（合成）→合成の結果を確認

6 ✉（保存）→ファイル名を入力

Flash®を作成する

データフォルダに保存されている静止画を利用して、Flash®画像を作成します。作成したFlash®画像は、データフォルダの「Flash®」フォルダに保存されます。

1 ■→「カメラ」→「ダイナミックエフェクト」

- メモリカードを取り付けているときは、「ピクチャー」フォルダと「デジタルカメラ」フォルダからファイルを選択できます。

2 Flash®にしたいファイルを選択→Flash®の作成操作

■ 画像にフレームを付けるとき

（フレーム）→フレームを選択

■ 画像に時計を付けるとき

（ウォッチ）→時計を選択→✉（完了）

■ 編集中の画像をもとに戻すとき

（リセット）→「はい」

3 ✉（保存）→画像名を入力

- 画像に追加したフレーム／時計を削除するには、ファイルを選択したあと、（フレーム）／（ウォッチ）を選択し、✉（削除）を押します。
- 画像に追加したアイコン／バルーンを削除するには、ファイルを選択したあと、（アイコン）／（バルーン）を選択し、✉（削除）を押します。複数追加されている場合は で削除するアイコンまたはバルーンを反転表示→✉（削除）→■（完了）を押します。
- アイコンは5件、バルーンは3件まで追加できます。
- データフォルダの画像からFlash®を作成するには、データフォルダの画像を反転表示→Y!→「編集」→「ダイナミックエフェクト」を選択し、同じ操作を行います。

使いこなしチェック！

便利 ☞P.7-20

静止画をプリントする

820SCに保存されている静止画をBluetooth®やUSBを使用してプリンタに接続し、プリントすることができます。
プリンタ側の操作や用紙のセット方法については、プリンタに付属の取扱説明書を参照してください。

Bluetooth®経由でプリントする

- Bluetooth®に対応したプリンタでプリントできます。
- あらかじめ、プリンタをBluetooth®受信できる状態にしておいてください。

1. [■]→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択
2. プリントしたいデータを反転表示→[Y!]→「印刷」
3. 「Bluetooth」→プリントするファイルをチェック→[✉](印刷)
4. 送信先デバイスを選択
   - 送信先が登録されていないときは、周辺デバイスを検索し、登録します。
5. 必要に応じて設定操作

■ 用紙サイズを設定するとき
「用紙サイズ」→設定を選択

■ 印刷枚数を設定するとき
「印刷部数」→枚数(1〜99)を入力→[■](OK)

■ 1枚の用紙に何面印刷するかを設定するとき
「ページ形式」→設定を選択
- 「控え」を選択したときは「割り付けページ数」を選択し、設定(1〜16up)を選択します。

■ 日付を印刷するかどうか設定するとき
「印刷日」→設定を選択

■ フチのあり/なしを設定するとき
「フレーム」→設定を選択

■ 印刷品質を設定するとき
「印刷品質」→設定を選択

6. [■](プレビュー)→[■](印刷)

USB接続でプリントする

1. [■]→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択
2. プリントしたいデータを反転表示→[Y!]→「印刷」
3. 「USB」→プリントするファイルをチェック→[✉](印刷)
4. 820SCとプリンタをUSBケーブルで接続
5. 必要に応じて設定操作

■ 用紙サイズを設定するとき
「用紙サイズ」→設定を選択

■ 印刷枚数を設定するとき
「印刷部数」→枚数(1〜99)を入力→[■](OK)

■ 1枚の用紙に何面印刷するかを設定するとき
「ページ形式」→設定を選択
- 「控え」を選択したときは「割り付けページ数」を選択し、設定(1〜16up)を選択します。

■ 日付を印刷するかどうか設定するとき

「印刷日」→設定を選択

■ フチのあり／なしを設定するとき

「フレーム」→設定を選択

■ 印刷品質を設定するとき

「印刷品質」→設定を選択

6 ■（プレビュー）→■（印刷）

便利

静止画撮影に関する便利な機能

内側カメラ／外側カメラに切り替えたい

（2秒以上）→ → を反転表示→「アウトカメラ」／「インカメラ」

カメラモードを切り替えたい

（2秒以上）→ → を反転表示→「標準」／「シーン」

撮影モードを切り替えたい

（2秒以上）→ → を反転表示→「通常撮影」／「連写」／「フォトコンビ」／「フレーム」／「パノラマ」

撮影サイズを設定したい

（2秒以上）→ → 240 320 を反転表示→項目を選択

- 選択できる項目は、「撮影サイズについて」（➲P.7-5）を参照してください。

マクロ機能を設定したい

（2秒以上）→ → を反転表示→「On」／「Off」

フラッシュの設定をしたい

（2秒以上）→ → を反転表示→「オート」／「On」／「Off」

顔リンクの設定をしたい

（2秒以上）→ → を反転表示→「On」／「Off」

セルフタイマーの設定をしたい

（2秒以上）→ → を反転表示→「Off」／「3秒」／「5秒」／「10秒」

ホワイトバランスの設定をしたい

（2秒以上）→ → を反転表示→「オート」／「晴天」／「白熱灯」／「蛍光灯」／「曇り」

エフェクト（色調）の設定をしたい

（2秒以上）→ → を反転表示→「なし」／「セピア」／「ネガポジ反転」／「モノクロ」／「アクア」／「グリーン」

撮影した写真を確認したい

（2秒以上）→ → を反転表示→「ピクチャー」／「デジタルカメラ」→ファイルを選択

- メモリカードを取り付けているときに、「デジタルカメラ」を選択できます。

静止画撮影のボタンに割り当てられた機能を確認したい

📷（2秒以上）→Y!→HELP を反転表示

撮影した静止画の保存時にファイル名を入力したい　［名前を付けて保存］

📷（2秒以上）→被写体をビューファインダーに表示→撮影の操作→Y!→「名前を付けて保存」→ファイル名を入力

撮影した静止画を壁紙に設定したい　［壁紙］

📷（2秒以上）→被写体をビューファインダーに表示→撮影の操作→Y!→「設定」→「壁紙」→必要に応じて✉（回転）で向きを調節→必要に応じて🔼／🔽でサイズを調整→■（設定）

撮影した静止画を電話帳に設定したい　［個別着信画像］

📷（2秒以上）→被写体をビューファインダーに表示→撮影の操作→Y!→「設定」→「個別着信画像」→電話帳を検索し、選択（➲P.2-22）→■（設定）

撮影した静止画を拡大して確認したい　［ズーム］

📷（2秒以上）→被写体をビューファインダーに表示→撮影の操作→Y!→「ズーム」

- 🔼／🔽を押すと拡大／縮小できます。
- ✥を押すと表示位置を変更できます。

撮影した静止画を送信したい

📷（2秒以上）→被写体をビューファインダーに表示→撮影の操作→✉（送信）

■ **メールで送信するとき**

「メール添付」→（➲P.4-3 S!メールを送信する❷）

- 撮影した静止画が300Kバイトを超えている場合は、データフォルダに保存されます。サイズを変更してから添付してください（➲P.4-5 ファイルを添付する）。

■ **Bluetooth®で送信するとき**

「Bluetooth」→（➲P.12-9 データを送信する❷）

■ **赤外線で送信するとき**

「赤外線通信」（➲P.12-3）

クイックプレイで静止画を確認したい

📷（2秒以上）→▢→◀▶で画像を確認

- 🔼／🔽を押しても、前後の静止画を確認できます。
- ■（ズーム）を押すと、静止画を拡大できます。
- メモリカードを取り付けているときは、▢を押したあと「本体」／「メモリカード」／「デジタルカメラ」を選択してから画像を確認します。

クイックプレイで表示した静止画を送信したい

📷（2秒以上）→▢→◀▶で画像を確認→✉（送信）

■ **メールで送信するとき**

「メール添付」→（➲P.4-3 S!メールを送信する❷）

■ **Bluetooth®で送信するとき**

「Bluetooth」→（➲P.12-9 データを送信する❷）

■ **赤外線で送信するとき**

「赤外線通信」（➲P.12-3）

- メモリカードを取り付けているときは、▢を押したあと「本体」／「メモリカード」／「デジタルカメラ」を選択してから画像を確認します。

クイックプレイで表示した静止画を削除したい　［削除］

📷（2秒以上）→▢→◀▶で画像を確認→Y!→「削除」→「はい」

- メモリカードを取り付けているときは、▢を押したあと「本体」／「メモリカード」／「デジタルカメラ」を選択してから画像を確認します。

クイックプレイで表示した静止画を壁紙に設定したい 【壁紙】

(カメラ)（2秒以上）→(メニュー)→(方向キー)で画像を確認→(Y!)→「設定」→「壁紙」→必要に応じて(メール)（回転）で向きを調節→必要に応じて(サイドキー上)／(サイドキー下)でサイズを調整→(■)（設定）

- メモリカードを取り付けているときは、(メニュー)を押したあと「本体」／「メモリカード」／「デジタルカメラ」を選択してから画像を確認します。

クイックプレイで表示した静止画を電話帳に設定したい 【個別着信画像】

(カメラ)（2秒以上）→(メニュー)→(方向キー)で画像を確認→(Y!)→「設定」→「個別着信画像」→電話帳を検索し、選択（➔P.2-22）→(■)（設定）

- メモリカードを取り付けているときは、(メニュー)を押したあと「本体」／「メモリカード」／「デジタルカメラ」を選択してから画像を確認します。

クイックプレイをスライドショーで再生したい 【スライドショー】

(カメラ)（2秒以上）→(メニュー)→(Y!)→「スライドショー」

- 再生中に(メール)(停止)を押すと、スライドショーを停止します。
- メモリカードを取り付けているときは、(メニュー)を押したあと「本体」／「メモリカード」／「デジタルカメラ」を選択します。

クイックプレイで表示した静止画を拡大して確認したい

(カメラ)（2秒以上）→(メニュー)→(方向キー)で画像を確認→(■)（ズーム）

- (サイドキー上)／(サイドキー下)を押すと拡大・縮小できます。
- (方向キー)を押すと表示位置を変更できます。
- メモリカードを取り付けているときは、(メニュー)を押したあと「本体」／「メモリカード」／「デジタルカメラ」を選択してから画像を確認します。

クイックプレイで静止画の詳細を確認したい 【詳細】

(カメラ)（2秒以上）→(メニュー)→(方向キー)で画像を確認→(Y!)→「詳細」

- メモリカードを取り付けているときは、(メニュー)を押したあと「本体」／「メモリカード」／「デジタルカメラ」を選択してから画像を確認します。

便利

動画撮影に関する便利な機能

内側カメラ／外側カメラに切り替えたい

(■)→「カメラ」→「ビデオカメラ」→(Y!)→(カメラ切替アイコン)を反転表示→「アウトカメラ」／「インカメラ」

撮影時間を設定したい

(■)→「カメラ」→「ビデオカメラ」→(Y!)→(撮影時間アイコン)を反転表示→「S!メール添付」／「標準」

- 「標準」に設定したときは、通常撮影で最大約1時間の撮影ができます。
- 「S!メール添付」に設定すると、撮影サイズを「320×240」に設定できません。「画質設定」は自動的に「エコノミー」に設定され、変更できません。

撮影サイズを設定したい

(■)→「カメラ」→「ビデオカメラ」→(Y!)→(176/144)を反転表示→「320×240」／「176×144」／「128×96」

- 撮影時間を「S!メール添付」に設定すると、撮影サイズを「320×240」に設定できません。

マクロ機能を設定したい

(■)→「カメラ」→「ビデオカメラ」→(Y!)→(マクロアイコン)を反転表示→「On」／「Off」

フラッシュの設定をしたい
■→「カメラ」→「ビデオカメラ」→Y!→ を反転表示→「オート」／「On」／「Off」

セルフタイマーの設定をしたい
■→「カメラ」→「ビデオカメラ」→Y!→ を反転表示→「Off」／「3秒」／「5秒」／「10秒」

ホワイトバランスの設定をしたい
■→「カメラ」→「ビデオカメラ」→Y!→ を反転表示→「オート」／「晴天」／「白熱灯」／「蛍光灯」／「曇り」

エフェクト（色調）の設定をしたい
■→「カメラ」→「ビデオカメラ」→Y!→ を反転表示→「なし」／「セピア」／「ネガポジ反転」／「モノクロ」／「アクア」／「グリーン」

音声録音の設定をしたい
■→「カメラ」→「ビデオカメラ」→Y!→ を反転表示→「映像＋音」／「映像のみ」

撮影した動画を確認したい
■→「カメラ」→「ビデオカメラ」→Y!→ →ファイルを選択
- 「ムービー」フォルダを呼び出します。

動画撮影のボタンに割り当てられた機能を確認したい
■→「カメラ」→「ビデオカメラ」→Y!→ を反転表示

撮影した動画を保存前に確認したい　[再生]
■→「カメラ」→「ビデオカメラ」→動画の撮影→Y!→「再生」

撮影した動画の保存時にファイル名を入力したい　[名前を付けて保存]
■→「カメラ」→「ビデオカメラ」→動画の撮影→Y!→「名前を付けて保存」→ファイル名を入力

撮影した動画を送信したい
■→「カメラ」→「ビデオカメラ」→被写体をビューファインダーに表示→📷／■（●）→📷／■（■）→✉（✉）

■ **メールで送信するとき**
「メール添付」→（➲P.4-3 S!メールを送信する❷）

■ **Bluetooth®で送信するとき**
「Bluetooth」→（➲P.12-9 データを送信する❷）

■ **赤外線で送信するとき**
「赤外線通信」（➲P.12-3）

動画を撮影してすぐに編集したい
■→「カメラ」→「ムービー編集」→撮影したい被写体をビューファインダーに表示→📷／■（●）→📷／■（■）→編集の操作→（➲P.8-10 動画を加工する❸）

便利

静止画の加工に関する便利な機能

静止画を切り取って加工したい
■→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを反転表示→■（表示）→Y!→「編集」→「画像編集」→Y!→「切り取り」

■ **位置を調節するとき**
で切り取る位置を調節→Y!→「完了」→✉（完了）→■（保存）→ファイル名を入力

■ **サイズを調節するとき**
Y!→「サイズ」→で切り取るサイズを調節→Y!→「完了」→✉（完了）→■（保存）→ファイル名を入力

■ **形状を変えるとき**
Y!→「形状」→で切り取る形状を切り替え→Y!→「完了」→✉（完了）→■（保存）→ファイル名を入力

- サイズや形状を変更したあとに位置を調節するときは、Y!を押して「移動」を選択して位置を調節します。

静止画にフレームを付けたい

■→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを反転表示→■（表示）→Y!→「編集」→「画像編集」→Y!→「挿入」→「フレーム」→◀▭▶でフレームを反転表示→✉（完了）→■（保存）→ファイル名を入力

静止画に画像を挿入したい　**[画像]**

■→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを反転表示→■（表示）→Y!→「編集」→「画像編集」→Y!→「挿入」→「画像」→ファイルを選択

■ 位置を移動するとき

✚で挿入した画像を移動→✉（完了）→■（保存）→ファイル名を入力

■ サイズを調節するとき

Y!→「サイズ」→▲▼で挿入した画像のサイズを調節→✉（完了）→■（保存）→ファイル名を入力

■ 挿入した画像を回転させるとき

Y!→「回転」→◀▭▶で挿入した画像を回転→✉（完了）→■（保存）→ファイル名を入力

- サイズなどを変更したあとに位置を移動するときは、Y!を押して「移動」を選択し、位置を変更します。

- メモリカードを取り付けているときは、「画像」を選択したあとに「ピクチャー」フォルダと「デジタルカメラ」フォルダからファイルを選択できます。

静止画にスタンプを付けたい

■→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを反転表示→■（表示）→Y!→「編集」→「画像編集」→Y!→「挿入」→「スタンプ」→スタンプを選択→■（選択）

■ 位置を移動するとき

✚でスタンプを移動→✉（完了）→■（保存）→ファイル名を入力

■ サイズを調節するとき

Y!→「サイズ」→▲▼でスタンプのサイズを調節→✉（完了）→■（保存）→ファイル名を入力

■ スタンプを回転させるとき

Y!→「回転」→◀▭▶でスタンプを回転→✉（完了）→■（保存）→ファイル名を入力

- サイズなどを変更したあとに位置を移動するときは、Y!を押して「移動」を選択し、位置を変更します。

静止画に感情のスタンプを付けたい

■→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを反転表示→■（表示）→Y!→「編集」→「画像編集」→Y!→「挿入」→「感情」→感情のスタンプを選択→■（選択）

■ 位置を移動するとき

✚でスタンプを移動→✉（完了）→■（保存）→ファイル名を入力

■ サイズを調節するとき

Y!→「サイズ」→▲▼でスタンプのサイズを調節→✉（完了）→■（保存）→ファイル名を入力

■ スタンプを回転させるとき

Y!→「回転」→◀▭▶でスタンプを回転→✉（完了）→■（保存）→ファイル名を入力

- サイズなどを変更したあとに位置を移動するときは、Y!を押して「移動」を選択し、位置を変更します。

静止画にテキストを追加したい

[■]→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを反転表示→[■]（表示）→[Y!]→「編集」→「画像編集」→[Y!]→「挿入」→「テキスト」→テキストを入力

■ 位置を移動するとき

[✥]でテキストを移動→[✉]（完了）→[■]（保存）→ファイル名を入力

■ サイズを調節するとき

[Y!]→「サイズ」→[↕]でテキストのサイズを調節→[✉]（完了）→[■]（保存）→ファイル名を入力

■ テキストを回転させるとき

[Y!]→「回転」→[↔]でテキストを回転→[✉]（完了）→[■]（保存）→ファイル名を入力

■ 文字サイズを調節するとき

[Y!]→「文字サイズ」→「大」／「中」／「小」→[✉]（完了）→[■]（保存）→ファイル名を入力

■ 色を調節するとき

[Y!]→「色」→[✥]でテキストの色を調節→[✉]（完了）→[■]（保存）→ファイル名を入力

- テキストを追加できるのは、320×240サイズ以上の静止画です。
- サイズなどを変更したあとに位置を移動するときは、[Y!]を押して「移動」を選択し、位置を変更します。

画像を合成する前に選択した画像を変更したい　［画像変更］

[■]→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを反転表示→[Y!]→「編集」→「画像合成」→[■]（追加）→重ねる静止画を用意して追加→変更したい画像を反転表示→[Y!]→「画像変更」→（➲P.7-14 静止画を合成する❹）

画像合成時にベースの画像と上に線画にする画像を入れ替えたい　［画像交換］

[■]→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを反転表示→[Y!]→「編集」→「画像合成」→[■]（追加）→重ねる静止画を用意して追加→[Y!]→「画像交換」→（➲P.7-14 静止画を合成する❺）

画像合成した静止画を編集したい

[■]→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを反転表示→[Y!]→「編集」→「画像合成」→[■]（追加）→重ねる静止画を用意→[■]（合成）→[Y!]（編集）

■ 線画の位置を調整するとき

[Y!]→「移動」→[✥]で移動→[✉]（完了）→[✉]（保存）→ファイル名を入力

■ 線画のサイズを変更するとき

[Y!]→「サイズ」→[↕]でサイズを調整→[✉]（完了）→[✉]（保存）→ファイル名を入力

■ 線画を回転させるとき

[Y!]→「回転」→[↔]で回転→[✉]（完了）→[✉]（保存）→ファイル名を入力

■ 線画の色を変更するとき

[Y!]→「色変更」→[↔]で色を選択→[✉]（完了）→[✉]（保存）→ファイル名を入力

■ 影の有無で線画のタッチを変えるとき

[Y!]→「シャドウOn」／「シャドウOff」→[✉]（完了）→[✉]（保存）→ファイル名を入力

画像合成した静止画を保存して送信したい

■→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを反転表示→Y!→「編集」→「画像合成」→■（追加）→重ねる静止画を用意→■（合成）→■（送信）

■ **メールで送信するとき**
「メール添付」→ファイル名を入力→（➔P.4-3 S!メールを送信する❷）

■ **Bluetooth®で送信するとき**
「Bluetooth」→ファイル名を入力→（➔P.12-9 データを送信する❷）

■ **赤外線で送信するとき**
「赤外線通信」→ファイル名を入力→（➔P.12-3）

画像にアイコンを付けたい

■→「カメラ」→「ダイナミックエフェクト」→ファイルを選択→（アイコン）→アイコンを選択

■ **サイズを調節するとき**
Y!→「サイズ」→でサイズを調節→✉（完了）→で位置を調節→✉（完了）→✉（保存）→ファイル名を入力

■ **アイコンを回転するとき**
Y!→「回転」→で回転の角度を調節→✉（完了）→で位置を調節→✉（完了）→✉（保存）→ファイル名を入力

■ **アイコンを反転するとき**
Y!→「反転」→で向きを調節→✉（完了）→で位置を調節→✉（完了）→✉（保存）→ファイル名を入力

■ **アイコンを透過するとき**
Y!→「透過」→で透過度を調節→✉（完了）→で位置を調節→✉（完了）→✉（保存）→ファイル名を入力

- メモリカードを取り付けているときは、「ピクチャー」フォルダと「デジタルカメラ」フォルダからファイルを選択できます。
- アイコンを追加するときは、✉（保存）を押す前に（アイコン）を選択して、同じ操作を繰り返してください。
- アイコンは5件まで追加できます。
- 編集中に追加したアイコンを削除するには、（アイコン）を選択し、✉（削除）を押します。追加したアイコンが1つのときは、追加したアイコンが反転表示され、✉（削除）を押すと削除できます。複数追加されているときは、で削除するアイコンを反転表示→✉（削除）→■（完了）を押します。

画像に自作のバルーンを付けたい

■→「カメラ」→「ダイナミックエフェクト」→ファイルを選択→（バルーン）→「ノーマル」→バルーンを選択→テキストを入力

■ **文字サイズを調節するとき**
Y!→「文字サイズ」→でサイズを調節→✉（完了）→で位置を調節→✉（完了）→✉（保存）→ファイル名を入力

■ **文字色を調節するとき**
Y!→「文字色」→でテキストの色を調節→✉（完了）→で位置を調節→✉（完了）→✉（保存）→ファイル名を入力

■ **テキストにアクションを追加するとき**
Y!→「アクションテキスト」→でテキストのアクションを選択→✉（完了）→で位置を調節→✉（完了）→✉（保存）→ファイル名を入力

■ **テキストを反転するとき**
Y!→「反転」→でテキストの向きを調節→✉（完了）→で位置を調節→✉（完了）→✉（保存）→ファイル名を入力

■ **テキストを編集するとき**
Y!→「テキスト編集」→テキストを入力→で位置を調節→✉（完了）→✉（保存）→ファイル名を入力

- メモリカードを取り付けているときは、「ピクチャー」フォルダと「デジタルカメラ」フォルダからファイルを選択できます。

- 自作のバルーンを追加するときは、（保存）を押す前に(バルーン）を選択して（挿入）を押します。
- バルーンは3件まで追加できます。
- 編集中に追加したバルーンを削除するには、(バルーン）を選択し、（削除）を押します。バルーンが1つのときは、バルーンが反転表示され、（削除）を押すと削除できます。複数追加されているときは、で削除したいバルーンを反転表示→（削除）→（完了）を押します。

画像にプリインストールのバルーンを付けたい

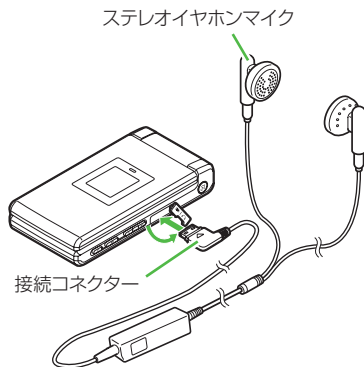
→「カメラ」→「ダイナミックエフェクト」→ファイルを選択→(バルーン）→「既製」→バルーンを選択→で位置を調節→(完了)→(保存)→ファイル名を入力

- メモリカードを取り付けているときは、「ピクチャー」フォルダと「デジタルカメラ」フォルダからファイルを選択できます。
- プリインストールのバルーンを追加するときは、（保存）を押す前に(バルーン）を選択して（挿入）を押します。
- バルーンは3件まで追加できます。
- 編集中に追加したバルーンを削除するには、(バルーン）を選択し、（削除）を押します。バルーンが1つのときは、バルーンが反転表示され、（削除）を押すと削除できます。複数追加されているときは、で削除したいバルーンを反転表示→（削除）→（完了）を押します。

メディアプレイヤー／S!アプリ

メディアプレイヤーについて

メディアプレイヤーでは、データフォルダに保存されている音楽や動画ファイルを再生できます。動画コンテンツなどのデータを読み込みながら、リアルタイムで再生できるストリーミングも楽しめます。

- 再生音はスピーカーからだけでなく、ステレオイヤホンマイクを利用して聴くことができます。下の図を参考に差し込んでください。また、スピーカー再生するときは、ステレオイヤホンマイクを本体から外します（マナーモード中にステレオイヤホンマイクを接続した状態で音楽や動画ファイルを再生すると、ステレオイヤホンマイクを本体から外したときにスピーカーから音声は出ません）。

- ステレオイヤホンマイクは音楽再生だけでなく、通話にもお使いいただけます。ステレオイヤホンマイクを取り付けて再生している場合に、電話をかけてきた相手と通話するときは、ステレオイヤホンマイクのスイッチを1秒以上押すと通話できます。
- ミュージックのメニュー「ミュージックダウンロード」やムービーのメニュー「ムービーダウンロード」からは、Yahoo!ケータイへ直接アクセスし、音楽や動画をダウンロードできます。

音楽／動画を入手する

音楽／動画をダウンロードする

Yahoo!ケータイへ直接アクセスし、音楽や動画をダウンロードできます。

1. ■→「メディアプレイヤー」
2. 音楽／動画のダウンロード操作

■ **音楽をダウンロードするとき**

「ミュージック」→「全曲一覧」→「ミュージックダウンロード」／「ミュージックサーチ」

- 「ミュージックサーチ」を選択すると、音楽検索サイト「Music Search」へアクセスし、楽曲種別やアーティスト名などで音楽を検索できます。

■ **動画をダウンロードするとき**

「ムービー」→「全ムービー一覧」→「ムービーダウンロード」

パソコンの音楽／動画をメモリカードに保存する

1 **820SC本体にメモリカードを取り付ける**

- ■→「データフォルダ」→✉（メモリカード）を押してフォルダが生成されていることを確認してください。

2 **メモリカードを820SC本体から取り外しパソコンと接続する**

3 **パソコン内の音楽／動画をメモリカード内の指定のフォルダに保存する**

- 保存するファイルの種類別に、メモリカード内の次のフォルダに保存してください。

  音楽ファイル：PRIVATE/MYFOLDER/My Items/Music
  PRIVATE/MYFOLDER/My Items/Sounds & Ringtones

  動画ファイル：PRIVATE/MYFOLDER/My Items/Videos

- ファイルの保存後、メモリカードを再度820SC本体に取り付けてファイルの読み込みが完了すると、ファイルの再生が可能となります。

メディアプレイヤーで再生できるファイル

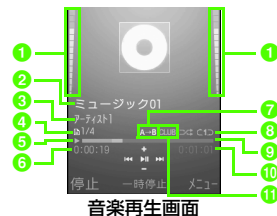
プレイヤー	ファイル（拡張子）
ミュージック	MPEG4 Audio（mp4、m4a、aac、3gp（音声のみ））Softbank Music Contents（smc）
ムービー	MPEG4、H.263、H.264（mp4、3gp）

- 上記以外の、メディアプレイヤーに対応していない音楽ファイルを再生したい場合は、データフォルダの「着うた・メロディ」フォルダからファイルを選択します。この場合、対応しているファイルでも、「着うた・メロディ」フォルダ以外の場所に保存したときは再生できません。

注意

- **動画ファイルの場合は、解像度が320×240を超えるファイルは再生できません。**

音楽再生画面の見かた

音楽再生画面

1. 再生音量
2. 曲名（曲名情報がない場合はファイル名）
3. アーティスト名
4. ファイル番号／総ファイル数
5. 状態：再生／一時停止／停止
6. 再生経過時間
7. 部分的にリピート
8. 再生パターン設定
   - ：全てリピート
   - ：Off
   - ：1曲リピート
   - ：シャッフル
9. プログレスバー
10. 総再生時間
11. サウンドエフェクト設定

動画再生画面の見かた

動画再生画面

❶ 再生音量

❷ アーティスト名とビデオタイトル（ビデオタイトルがない場合はファイル名）

❸ 状態：再生／一時停止／停止

❹ 再生経過時間

❺ ファイル番号／総ファイル数

❻ プログレスバー

❼ 総再生時間

❽ 再生パターン設定／部分的にリピート／再生スピード

音楽を再生する

1 ■→「メディアプレイヤー」→「ミュージック」

2 ファイルの選択操作

■ **最後に再生したファイルを再生するとき**

「続き再生」

- 再生中は「再生中のミュージック」と表示され、音楽再生画面が表示されます。

■ **すべてのファイルの一覧からファイルを選択するとき**

「全曲一覧」→ファイルを反転表示→■（再生）

■ **プレイリストを再生するとき**

「プレイリスト」→プレイリストを反転表示→✉（再生）

■ **最近再生したファイルの一覧からファイルを選択するとき**

「最近聴いた曲」→ファイルを反転表示→■（再生）

■ **よく再生するファイルの一覧からファイルを選択するとき**

「よく聴く曲」→ファイルを反転表示→■（再生）

■ **アーティスト別の一覧からファイルを選択するとき**

「アーティスト」→アーティストを選択→ファイルを反転表示→■（再生）

■ **アルバム別の一覧からファイルを選択するとき**

「アルバム」→アルバムを選択→ファイルを反転表示→■（再生）

■ **ジャンル別の一覧からファイルを選択するとき**

「ジャンル」→ジャンルを選択→ファイルを反転表示→■（再生）

- 音楽ファイルを着信音に設定するには、一覧画面でファイルを反転表示するか、再生を停止した状態で☒（設定）を押し、設定操作をします（➔P.2-51）。ただし、着信音に設定できないファイルの場合は操作できません。
- 再生を終了して一覧画面に戻るには、☒（停止）を押し、CLEARを押します。ただし、メニュー表示中またはメニュー操作中にCLEARを押した場合は、メニューを閉じるか1つ前の画面に戻ります。
- 再生中に前後の曲に移動するには、☐を押すと次の曲に移動します。☐を押すと曲の先頭に移動します。曲の先頭で☐を押すと前の曲に移動します。
- 指定した区間を繰り返し再生するには再生中に始点で☐を押し、終点で☐を押します。解除するときは再度☐を押します。
- メモリカードを取り付けているときは、「全曲一覧」の一覧画面にメモリカードに保存されているファイルも表示されます。該当するファイルには☐が表示されます。

- ☐やメインメニューからメディアプレイヤーを起動して音楽を再生している場合は、CLEARや☐を押すと再生を継続したまま音楽再生画面を終了します。再生中の音楽を操作するときは、☐を押すと音楽再生画面に戻ります。
再生を終了するには待受画面で☐を押します。再生を終了するかどうかの確認メッセージが表示されたら、「はい」を選択します。
スイッチバーからメディアプレイヤーを起動した場合は、再生を継続できないことがあります。
- 再生中に電話がかかってきたときは、再生が一時停止され、着信音が鳴ります。通話が終了すると音楽再生は一時停止のまま音楽再生画面に戻ります。
BGMとして再生中は、通話が終了すると再生を再開します。
- 再生中にアラームの設定時刻になったときは、再生が一時停止され、アラーム音と表示でお知らせします。いずれかのボタンを押すとアラーム音が止まり、もう一度押すと表示が消えます。BGMとして再生中のときはアラーム音を止めた時点で、再生を再開します。

ミュージックのフォルダ構成について

ミュージックのフォルダ構成は次のとおりです。

フォルダ	概　要
続き再生／再生中のミュージック	最後に再生したファイルを表示／現在再生中のファイルを表示
全曲一覧	「ミュージック」で再生できるすべてのファイルを最大9999件表示
プレイリスト	「ミュージック」で再生できるファイルから任意で作成するフォルダを表示
最近聴いた曲	最近再生したファイルの履歴を最大100件表示（最後に再生したファイルを一番上に表示）
よく聴く曲	再生回数の多いファイルの履歴を最大100件表示（最も再生回数が多いファイルを一番上に表示）
アーティスト	「ミュージック」で再生できるすべてのファイルをアーティスト別に表示

フォルダ	概　要
アルバム	「ミュージック」で再生できるすべてのファイルをアルバム別に表示
ジャンル	「ミュージック」で再生できるすべてのファイルをジャンル別に表示

- 再生できるファイルが保存されたメモリカードを取り付けているときに、ファイルを一覧表示するまで時間がかかることがあります。
- フォルダの表示・非表示は「ミュージックメニュー」(➔P.13-9)から設定できます。

注意

- **「全曲一覧」フォルダ内のファイルを削除したり設定を変更したりすると、その内容はデータフォルダ内の「ミュージック」フォルダや「着うた・メロディ」フォルダにも反映されます。**

ショートカット(ボタン操作)について

ショートカットが割り当てられたボタンを押すことにより、簡単に操作できます。再生している状態やファイルの種類によっては、操作できない場合があります。

ボタン	内　容
■	再生/一時停止
(次)	次の曲へ
(前)	前の曲へ
(上)	音量アップ
(下)	音量ダウン
(メール)	停止
Y!	メニュー
(文字)	部分的にリピート
1	再生パターン設定
2	サウンドエフェクト設定
3	タイムサーチ

使いこなしチェック!

便利 ☞P.8-13
- ファイルをプレイリストに追加したい
- ファイルを送信したい
- ファイルの順序を変更したい
- 著作権保護ファイルのコンテンツ・キーを購入または取得したい
- ファイルを削除したい
- ファイル名を編集したい
- 保護してファイル名の編集や削除などを制限したい
- ファイルの詳細情報を確認したい
- プレイリスト内のファイルの順序を変更したい
- プレイリスト名を編集したい
- プレイリストを削除したい
- 指定した位置から再生したい
- 音楽の停止中に本体スピーカー、ヘッドフォンを選択して再生したい
- 音楽の再生中に本体スピーカーに切り替えたい
- 音楽の再生中にBluetooth®対応のステレオヘッドフォンに切り替えたい
- ウェブリンクに接続したい
- ボタンに割り当てられた機能を確認したい
- 歌詞を表示したい

設定
- 再生パターンを設定する(☞P.13-9)
- サウンドエフェクトを設定する(☞P.13-9)
- 再生中の音量を設定する(☞P.13-9)
- 表示するフォルダを設定する(☞P.13-9)

動画を再生する

1 **■→「メディアプレイヤー」→「ムービー」**

2 **ファイルの選択操作**

■ 最後に再生したファイルを再生するとき
「続き再生」

■ すべてのファイルの一覧からファイルを選択するとき
「全ムービー一覧」→ファイルを反転表示→■（再生）

■ プレイリストを再生するとき
「プレイリスト」→プレイリストを反転表示→✉（再生）

■ 最近再生したファイルの一覧からファイルを選択するとき
「最近見たムービー」→ファイルを反転表示→■（再生）

■ よく再生するファイルの一覧からファイルを選択するとき
「よく見るムービー」→ファイルを反転表示→■（再生）

- 動画ファイルを着信音に設定するには、一覧画面でファイルを反転表示するか、再生を停止した状態で✉（設定）を押し、設定操作をします（➔P.2-52）。ただし、着信音に設定できないファイルの場合は操作できません。
- メモリカードを取り付けているときは、「全ムービー一覧」の一覧画面にメモリカードに保存されているファイルも表示されます。該当するファイルにはSDが表示されます。

ムービーのフォルダ構成について

ムービーのフォルダ構成は、次のとおりです。

フォルダ	概　要
続き再生	最後に再生したファイルを表示
全ムービー一覧	「ムービー」で再生できるすべてのファイルを最大9999件表示
プレイリスト	「ムービー」で再生できるファイルから任意で作成するフォルダを表示
最近見たムービー	最近再生したファイルの履歴を最大100件表示（最後に再生したファイルを一番上に表示）
よく見るムービー	再生回数の多いファイルの履歴を最大100件表示（最も再生回数が多いファイルを一番上に表示）

- フォルダの表示・非表示は「ムービーメニュー」（➔P.13-10）から設定できます。

注意

- **「全ムービー一覧」フォルダ内のファイルを削除したり設定を変更したりすると、その内容はデータフォルダ内の「ムービー」フォルダにも反映されます。**

ショートカット（ボタン操作）について

ショートカットが割り当てられたボタンを押すことにより、簡単に操作できます。再生している状態やファイルの種類によっては、操作できない場合があります。

標準画面表示時

ボタン	内　容
■	再生／一時停止
▶	次のムービーへ
◀	前のムービーへ
▲	音量アップ
▼	音量ダウン
✉	停止
Y!	メニュー
文字	部分的にリピート
1	再生パターン設定
2	全画面表示
3	タイムサーチ
4	画面表示サイズ
5	画面キャプチャ
6	再生速度アップ
7	再生速度ダウン

全画面表示時

ボタン	内　容
■	再生／一時停止
▶	音量ダウン
◀	音量アップ
▲	次のムービーへ
▼	前のムービーへ
文字	部分的にリピート
1	再生パターン設定
2	標準画面表示
5	画面キャプチャ
6	再生速度アップ
7	再生速度ダウン

使いこなしチェック！

便利 ☞P.8-15

- タイトルやアーティスト名でファイルを探したい
- ファイルをプレイリストに追加したい
- ファイルを送信したい
- ファイルの順序を変更したい
- 著作権保護ファイルのコンテンツ・キーを購入または取得したい
- ファイルを削除したい
- ファイル名を編集したい
- 保護してファイル名の編集や削除などを制限したい
- ファイルの詳細情報を確認したい
- プレイリスト内のファイルの順序を変更したい
- プレイリスト名を編集したい
- プレイリストを削除したい
- 画面全体に動画を表示したい
- 動画を編集したい
- 表示サイズを変更したい
- 指定した位置から再生したい
- 動画の停止中に本体スピーカー、ヘッドフォンを選択して再生したい
- 動画の再生中に本体スピーカーに切り替えたい
- 動画の再生中にBluetooth®対応のヘッドフォンに切り替えたい
- 動画から静止画を切り取って「ピクチャー」フォルダに保存したい
- ウェブリンクに接続したい
- 再生速度を変更したい
- ボタンに割り当てられた機能を確認したい

設定

- 再生パターンを設定する（☞P.13-9）
- 再生中の音量を設定する（☞P.13-9）
- バックライトを設定する（☞P.13-10）
- 表示するフォルダを設定する（☞P.13-10）
- サムネイル表示を設定する（☞P.13-10）
- リンク情報を持つファイルの再生後にリンク先に接続するかどうか設定する（☞P.13-10）

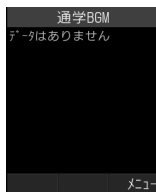
プレイリストを利用する

プレイリストを作成する

プレイリストは最大20件作成でき、1件のプレイリストには最大100件のファイルを登録できます。

1 ■→「メディアプレイヤー」→「ミュージック」／「ムービー」→「プレイリスト」→ Y!→「プレイリスト作成」

2 プレイリスト名を入力

3 作成したプレイリストを選択

4 Y!→「追加」→「ファイル」

5 登録するファイルをチェック→✉（保存）

プレイリストを再生する

1 ■→「メディアプレイヤー」→「ミュージック」／「ムービー」→「プレイリスト」

2 プレイリストを反転表示→✉（再生）

- プレイリストに登録したファイルを削除した場合や、メモリカードのファイルを登録しメモリカードを取り外した場合は再生できません。メモリカードを再度取り付けてファイルの読み込みが完了すると、再生できるようになります。

使いこなしチェック！

便利 ☞P.8-18
● 既存のプレイリストのファイルをすべて選択してプレイリストを作成したい

動画を加工する

データフォルダに保存された動画を編集します。著作権保護されていないMPEG（3gp）ファイルのみ編集できます。

1 ■→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択

2 ファイルを反転表示→Y!→「ムービー編集」

3 動画の編集操作

■ **動画を切り取るとき**

Y!→「切り取り」→必要に応じて■（再生）→切り取り開始位置で✉（始点）→切り取り終了位置で✉（終点）→切り取りをやり直す場合はY!（リセット）を押して切り取り開始位置・終了位置を選び直し→✉（完了）

- 動画の始めから切り取るときは、「切り取り」を選択したあとに✉（始点）を押すと、始めから切り取りが開始されます。

■ **複数の動画を合成するとき**

Y!→「ムービー結合」→必要に応じてY!（メモリカード／本体）→合成したいファイルをチェック→✉（完了）→■（ムービー結合）

■ **音声を他の動画の音声／サウンドに置き替えるとき**

Y!→「サウンド上書き」→「他のムービー」／「他のサウンド」→ファイルを選択→✉（完了）

■ **動画の音声のみを削除するとき**

Y!→「サウンド消去」→■（消去）

■ **動画の映像のみを削除するとき**

Y!→「映像消去」→■（消去）

■ **動画の再生速度を遅くするとき**

Y!→「スローモーション」→「1/2倍」／「1/3倍」／「1/4倍」→■（実行）

■ **動画の再生速度を速くするとき**

Y!→「ファーストモーション」→「2倍」／「3倍」／「4倍」→■（実行）

4 ■（保存）→ファイル名を入力

- 動画の合成は、最大9ファイルまで選択できます。
- 編集前または編集後に✉（プレビュー）を押し、■（再生）を押すと、動画を確認できます。編集画面に戻るにはCLEARを押します。
- 解像度が320×240を超える動画ファイルは加工できません。

使いこなしチェック！

便利 ☞P.8-18

- 合成するファイルを追加したい
- 合成するファイルを削除したい
- 合成するファイルの順番を変更したい

S!アプリについて

S!アプリを提供しているインターネットの情報画面からダウンロードして、ゲームや3D画像などのいろいろなS!アプリを利用できます。

- ソフトバンク携帯電話専用のS!アプリのみご利用になれます。
- S!アプリのダウンロードには、別途ご契約が必要です。また、通信料がかかります。
- 通信料などの詳細については、『サービスガイド（3G）』を参照してください。

ネットワーク接続型S!アプリについて

S!アプリには、利用時にネットワーク（インターネット）への接続を行うネットワーク接続型S!アプリがあります。オンライン通信機能を利用して対戦ゲームを楽しんだり、リアルタイムに株価などの情報を入手したりできます。

- ダウンロードやネットワーク接続型S!アプリの利用には、別途ご契約が必要です。
- ネットワーク接続型S!アプリの通信には通信料がかかります。

S!アプリを起動する

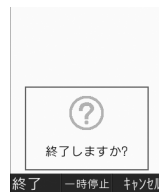
1. ■→「S!アプリ」→「S!アプリライブラリ」

2. 起動したいS!アプリを反転表示→■（起動）

- S!アプリを起動すると、ディスプレイ最上段に🎮が表示されます。

S!アプリを終了／一時停止／再開する

S!アプリを終了／一時停止する

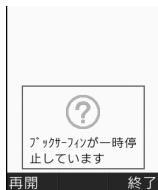
1. S!アプリの起動中に☎

2. 終了／一時停止の設定操作

■ S!アプリを終了するとき
✉（終了）

■ S!アプリを一時停止するとき
■（一時停止）

- S!アプリを一時停止すると、一時停止したときの状態が保存され、待受画面に戻ります。ディスプレイ最上段に🎮が表示されます。

一時停止中のS!アプリを再開する

1 S!アプリの一時停止中に待受画面で[■]→「S!アプリ」

2 [✉]（再開）

使いこなしチェック！

便利 ☞P.8-18

- メモリカードに保存されているS!アプリを確認したい
- 820SC本体のS!アプリをメモリカードへ移動したい
- S!アプリを保護／保護解除したい
- S!アプリの詳細情報を確認したい
- S!アプリを削除したい

設定

- S!アプリのサウンドや効果音などの音量を設定する（☞P.13-12）
- ディスプレイのバックライトを設定する（☞P.13-12）
- S!アプリ利用中のバイブレータの有効／無効を設定する（☞P.13-12）
- S!アプリを並べ替える（☞P.13-12）
- S!アプリの設定をお買い上げ時の状態に戻す（☞P.13-12）
- Javaルート証明書の詳細を確認する（☞P.13-12）

S!アプリをダウンロードする

1 [■]→「S!アプリ」→「S!アプリライブラリ」

2 「S!アプリダウンロード」

3 目的のS!アプリを提供する情報画面を表示→S!アプリを選択

- S!アプリの詳細情報画面が表示されたときは、[■]（ダウンロード）を押します。

4 確認メッセージが表示されたら[■]（OK）

5 「終了」

- S!アプリを起動するときは、「起動」を選択します。

便利

音楽再生に関する便利な機能

曲名やアーティスト名でファイルを探したい　[文字で検索]

[■]→「メディアプレイヤー」→「ミュージック」→「全曲一覧」→[Y!]→「検索」→「文字で検索」→「タイトル」または「アーティスト」をチェック→検索欄を選択→曲名またはアーティスト名を入力→[✉]（検索）

曲名を発声してファイルを探したい　[声で検索]

[■]→「メディアプレイヤー」→「ミュージック」→「全曲一覧」→[Y!]→「検索」→「声で検索」→曲名を発声

ファイルをプレイリストに追加したい　[プレイリストに追加]

[■]→「メディアプレイヤー」→「ミュージック」→フォルダを選択

■ **1件追加するとき**

追加したいファイルを反転表示→[Y!]→「プレイリストに追加」→「1件」→プレイリストを選択

■ **複数追加するとき**

[Y!]→「プレイリストに追加」→「複数」→追加したいファイルをチェック→[✉]（保存）→プレイリストを選択

ファイルを送信したい　[送信]

[■]→「メディアプレイヤー」→「ミュージック」→フォルダを選択→ファイルを反転表示→[Y!]→「送信」

■ **メールで送信するとき**

「メール添付」→（➲P.4-3 S!メールを送信する❷）

■ **Bluetooth®で送信するとき**

「Bluetooth」→（➲P.12-9 データを送信する❷）

■ **赤外線で送信するとき**

「赤外線通信」（➲P.12-3）

ファイルの順序を変更したい　[ソート]

[■]→「メディアプレイヤー」→「ミュージック」→「全曲一覧」→[Y!]→「ソート」→「曲名順」／「日付順」／「アーティスト順」

著作権保護ファイルのコンテンツ・キーを購入または取得したい　[コンテンツ・キー再取得]

[■]→「メディアプレイヤー」→「ミュージック」→フォルダを選択→ファイルを反転表示→[Y!]→「コンテンツ・キー再取得」

ファイルを削除したい　[削除]

[■]→「メディアプレイヤー」→「ミュージック」→フォルダを選択

■ **1件削除するとき**

削除したいファイルを反転表示→[Y!]→「削除」→「1件」→「はい」

■ **複数削除するとき**

[Y!]→「削除」→「複数」→削除したいファイルをチェック→[✉]（削除）→「はい」

■ **すべて削除するとき**

[Y!]→「削除」→「全件」→「はい」

- 「全曲一覧」フォルダ内のファイルをすべて削除するときは、操作用暗証番号の入力が必要になります。

ファイル名を編集したい　[ファイル名変更]

[■]→「メディアプレイヤー」→「ミュージック」→フォルダを選択→ファイルを反転表示→[Y!]→「ファイル名変更」→ファイル名を入力

保護してファイル名の編集や削除などを制限したい　[保護]／[保護解除]

[■]→「メディアプレイヤー」→「ミュージック」→フォルダを選択→ファイルを反転表示→[Y!]→「保護」／「保護解除」

ファイルの詳細情報を確認したい［詳細］

■→「メディアプレイヤー」→「ミュージック」→フォルダを選択→ファイルを反転表示→Y!→「詳細」

- ファイルを再生中にY!を押して「詳細」を選択しても同じ操作を行うことができます。

プレイリスト内のファイルの順序を変更したい［順序変更］

■→「メディアプレイヤー」→「ミュージック」→「プレイリスト」→プレイリストを選択→移動したいファイルを反転表示→Y!→「順序変更」→◎で移動先を反転表示→■（OK）

プレイリスト名を編集したい［プレイリスト名変更］

■→「メディアプレイヤー」→「ミュージック」→「プレイリスト」→プレイリストを反転表示→Y!→「プレイリスト名変更」→プレイリスト名を入力

プレイリストを削除したい［削除］

■→「メディアプレイヤー」→「ミュージック」→「プレイリスト」

■ **1件削除するとき**

削除したいプレイリストを反転表示→Y!→「削除」→「1件」→「はい」

■ **すべて削除するとき**

Y!→「削除」→「全件」→操作用暗証番号を入力→■（OK）→「はい」

指定した位置から再生したい［タイムサーチ］

■→「メディアプレイヤー」→「ミュージック」→フォルダを選択→ファイルを反転表示→■（再生）→Y!→「タイムサーチ」→時間を入力→■（再生）

- 一部の著作権保護されているデータは、時間を指定して再生できません。

音楽の停止中に本体スピーカー、ヘッドフォンを選択して再生したい［再生］

■→「メディアプレイヤー」→「ミュージック」→フォルダを選択→ファイルを反転表示→■（再生）→✉（停止）→Y!→「再生」→「本体」／「AVヘッドフォン」

- 「AVヘッドフォン」を選択したときは、接続先のデバイスを選択します。接続先が登録されていないときは、周辺デバイスを検索し、登録します。

音楽の再生中に本体スピーカーに切り替えたい［本体で聴く］

■→「メディアプレイヤー」→「ミュージック」→フォルダを選択→ファイルを反転表示→■（再生）→Y!→「本体で聴く」

音楽の再生中にBluetooth® 対応のステレオヘッドフォンに切り替えたい［ヘッドフォンに接続］

■→「メディアプレイヤー」→「ミュージック」→フォルダを選択→ファイルを反転表示→■（再生）→Y!→「ヘッドフォンに接続」→接続先のデバイスを選択

- 接続先が登録されていないときは、周辺デバイスを検索し、登録します。
- 「ヘッドフォンに接続」に設定すると、820SCでの音量調節はできません。ヘッドフォン側で調節してください。
- モノラルヘッドフォンでは再生できません。
- ファイル形式によってはご利用になれない場合があります。

ウェブリンクに接続したい［ウェブリンクに接続］

■→「メディアプレイヤー」→「ミュージック」→フォルダを選択→ファイルを反転表示→■（再生）→Y!→「ウェブリンクに接続」→「はい」

- ウェブリンクに接続できるファイルは、音楽再生画面にが表示されます。

ボタンに割り当てられた機能を確認したい [ヘルプ]

■→「メディアプレイヤー」→「ミュージック」→フォルダを選択→ファイルを反転表示→■（再生）→Y!→「ヘルプ」

歌詞を表示したい [歌詞表示]

■→「メディアプレイヤー」→「ミュージック」→フォルダを選択→ファイルを反転表示→■（再生）→Y!→「歌詞表示」

- 歌詞を表示できるファイルは、音楽再生画面に が表示されます。

ショートカットキーから再生したい

文字

- 最後に再生したファイルが続きから再生されます。

便利
動画再生に関する便利な機能

タイトルやアーティスト名でファイルを探したい [文字で検索]

■→「メディアプレイヤー」→「ムービー」→「全ムービー一覧」→Y!→「検索」→「文字で検索」→「タイトル」または「アーティスト」をチェック→検索欄を選択→タイトルまたはアーティスト名を入力→✉（検索）

タイトルを発声してファイルを探したい [声で検索]

■→「メディアプレイヤー」→「ムービー」→「全ムービー一覧」→Y!→「検索」→「声で検索」→タイトル名を発声

ファイルをプレイリストに追加したい [プレイリストに追加]

■→「メディアプレイヤー」→「ムービー」→フォルダを選択

■ **選択したファイルを追加するとき**
ファイルを反転表示→Y!→「プレイリストに追加」→「1件」→プレイリストを選択

■ **複数のファイルを追加するとき**
Y!→「プレイリストに追加」→「複数」→追加したいファイルをチェック→✉（保存）→プレイリストを選択

ファイルを送信したい [送信]

■→「メディアプレイヤー」→「ムービー」→フォルダを選択→ファイルを反転表示→Y!→「送信」

■ **メールで送信するとき**
「メール添付」→（➲P.4-3 S!メールを送信する❷）

■ **Bluetooth®で送信するとき**
「Bluetooth」→（➲P.12-9 データを送信する❷）

■ **赤外線で送信するとき**
「赤外線通信」（➲P.12-3）

ファイルの順序を変更したい [ソート]

■→「メディアプレイヤー」→「ムービー」→「全ムービー一覧」→Y!→「ソート」→「曲名順」／「日付順」／「制作者順」

著作権保護ファイルのコンテンツ・キーを購入または取得したい [コンテンツ・キー再取得]

■→「メディアプレイヤー」→「ムービー」→フォルダを選択→ファイルを反転表示→Y!→「コンテンツ・キー再取得」

ファイルを削除したい　[削除]

[■]→「メディアプレイヤー」→「ムービー」→フォルダを選択

■ **1件削除するとき**
削除したいファイルを反転表示→[Y!]→「削除」→「1件」→「はい」

■ **複数削除するとき**
[Y!]→「削除」→「複数」→削除したいファイルをチェック→[✉]（削除）→「はい」

■ **すべて削除するとき**
[Y!]→「削除」→「全件」→「はい」

- 「全ムービー一覧」フォルダ内のファイルをすべて削除するときは、操作用暗証番号の入力が必要になります。

ファイル名を編集したい　[ファイル名変更]

[■]→「メディアプレイヤー」→「ムービー」→フォルダを選択→ファイルを反転表示→[Y!]→「ファイル名変更」→ファイル名を入力

保護してファイル名の編集や削除などを制限したい　[保護]／[保護解除]

[■]→「メディアプレイヤー」→「ムービー」→フォルダを選択→ファイルを反転表示→[Y!]→「保護」／「保護解除」

ファイルの詳細情報を確認したい　[詳細]

[■]→「メディアプレイヤー」→「ムービー」→フォルダを選択→ファイルを反転表示→[Y!]→「詳細」

- ファイルを再生中に[Y!]を押して「詳細」を選択しても同じ操作を行うことができます。

プレイリスト内のファイルの順序を変更したい　[順序変更]

[■]→「メディアプレイヤー」→「ムービー」→「プレイリスト」→プレイリストを選択→移動したいファイルを反転表示→[Y!]→「順序変更」→[◆]で移動先を反転表示→[■]（OK）

プレイリスト名を編集したい　[プレイリスト名変更]

[■]→「メディアプレイヤー」→「ムービー」→「プレイリスト」→プレイリストを反転表示→[Y!]→「プレイリスト名変更」→プレイリスト名を入力

プレイリストを削除したい　[削除]

[■]→「メディアプレイヤー」→「ムービー」→「プレイリスト」

■ **1件削除するとき**
削除したいプレイリストを反転表示→[Y!]→「削除」→「1件」→「はい」

■ **すべて削除するとき**
[Y!]→「削除」→「全件」→操作用暗証番号を入力→[■]（OK）→「はい」

画面全体に動画を表示したい　[全画面表示]

[■]→「メディアプレイヤー」→「ムービー」→フォルダを選択→ファイルを反転表示→[■]（再生）→[Y!]→「全画面表示」

動画を編集したい　[ムービー編集]

[■]→「メディアプレイヤー」→「ムービー」→フォルダを選択→ファイルを反転表示→[Y!]→「ムービー編集」→（➔P.8-10 動画を加工する❸）

表示サイズを変更したい　[画面表示サイズ]

[■]→「メディアプレイヤー」→「ムービー」→「全ムービー一覧」→ファイルを反転表示→[■]（再生）→[Y!]→「画面表示サイズ」→「240×180」／「176×144」／「128×96」

指定した位置から再生したい ［タイムサーチ］

■→「メディアプレイヤー」→「ムービー」→フォルダを選択→ファイルを反転表示→■（再生）→Y!→「タイムサーチ」→時間を入力→■（再生）

- 一部の著作権保護されているデータは、時間を指定して再生できません。

動画の停止中に本体スピーカー、ヘッドフォンを選択して再生したい ［再生］

■→「メディアプレイヤー」→「ムービー」→フォルダを選択→ファイルを反転表示→■（再生）→✉（停止）→Y!→「再生」→「本体」／「AVヘッドフォン」

- 「AV ヘッドフォン」を選択したときは、接続先のデバイスを選択します。接続先が登録されていないときは、周辺デバイスを検索し、登録します。

動画の再生中に本体スピーカーに切り替えたい ［本体で聴く］

■→「メディアプレイヤー」→「ムービー」→フォルダを選択→ファイルを反転表示→■（再生）→Y!→「本体で聴く」

動画の再生中にBluetooth®対応のヘッドフォンに切り替えたい ［ヘッドフォンに接続］

■→「メディアプレイヤー」→「ムービー」→フォルダを選択→ファイルを反転表示→■（再生）→Y!→「ヘッドフォンに接続」→接続先のデバイスを選択

- 接続先が登録されていないときは、周辺デバイスを検索し、登録します。
- 「ヘッドフォンに接続」に設定すると、820SCでの音量調節はできません。ヘッドフォン側で調節してください。
- モノラルヘッドフォンでは再生できません。
- ファイル形式によってはご利用になれない場合があります。

動画から静止画を切り取って「ピクチャー」フォルダに保存したい ［画面キャプチャ］

■→「メディアプレイヤー」→「ムービー」→フォルダを選択→ファイルを反転表示→■（再生）→Y!→「画面キャプチャ」→■（保存）

- 著作権保護されている動画からは、静止画を切り取れません。

ウェブリンクに接続したい ［ウェブリンクに接続］

■→「メディアプレイヤー」→「ムービー」→フォルダを選択→ファイルを反転表示→■（再生）→Y!→「ウェブリンクに接続」

- ウェブリンクに接続できるファイルは、動画再生画面に🌐が表示されます。

再生速度を変更したい ［再生スピード］

■→「メディアプレイヤー」→「ムービー」→フォルダを選択→ファイルを反転表示→■（再生）→Y!→「再生スピード」→「とても遅い」／「遅い」／「標準」／「速い」／「とても速い」

- 速度変更中は音声が再生されません。

ボタンに割り当てられた機能を確認したい ［ヘルプ］

■→「メディアプレイヤー」→「ムービー」→フォルダを選択→ファイルを反転表示→■（再生）→Y!→「ヘルプ」

便利
プレイリストに関する便利な機能

既存のプレイリストのファイルをすべて選択してプレイリストを作成したい [追加]

■ **ミュージックのプレイリストを作成するとき**
■→「メディアプレイヤー」→「ミュージック」→「プレイリスト」→プレイリストを選択→Y!→「追加」→「プレイリスト」→全ファイル追加するプレイリストを選択

■ **ムービーのプレイリストを作成するとき**
■→「メディアプレイヤー」→「ムービー」→「プレイリスト」→プレイリストを選択→Y!→「追加」→「プレイリスト」→全ファイル追加するプレイリストを選択

便利
動画の加工に関する便利な機能

合成するファイルを追加したい [追加]
動画の合成画面でY!→「追加」→追加したいファイルをチェック→✉（完了）

合成するファイルを削除したい [削除]
動画の合成画面で◀□▶で削除したいファイルを反転表示→Y!→「削除」→「はい」

合成するファイルの順番を変更したい [順序変更]
動画の合成画面でY!→「順序変更」→◀□▶で移動先のファイルを反転表示→■（OK）

便利
S!アプリに関する便利な機能

メモリカードに保存されているS!アプリを確認したい [メモリカードに切替]
■→「S!アプリ」→「S!アプリライブラリ」→Y!→「メモリカードに切替」
- 820SC本体に戻るときはY!（本体）を押します。

820SC本体のS!アプリをメモリカードへ移動したい [移動]
■→「S!アプリ」→「S!アプリライブラリ」→Y!→「移動」

■ **1件移動するとき**
「1件」→「はい」

■ **複数移動するとき**
「複数」→移動したいS!アプリをチェック→✉（移動）→「はい」

■ **すべて移動するとき**
「全件」→「はい」

- 設定や保護しているS!アプリを移動するときは、確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると移動が実行されます。「いいえ」を選択すると設定や保護されていないS!アプリのみが移動されます。

S!アプリを保護／保護解除したい　【保護】／【保護解除】

■→「S!アプリ」→「S!アプリライブラリ」→S!アプリを反転表示→Y!→「保護」／「保護解除」

- 保護したS!アプリには、🔒が表示されます。
- S!アプリを保護すると、削除操作を行ったときに確認メッセージが表示され、誤って削除することを防ぐことができます。

S!アプリの詳細情報を確認したい　【詳細】

■→「S!アプリ」→「S!アプリライブラリ」→確認したいS!アプリを反転表示→Y!→「詳細」

- 詳細情報の画面では、名前、説明、プロファイル、認証、サイズ、保存サイズ、バージョン、ベンダー名などを確認できます。

S!アプリ利用時のインターネットへのアクセス機能について設定したい　【ネットワーク接続】

■→「S!アプリ」→「S!アプリライブラリ」→設定したいS!アプリを反転表示→Y!→「セキュリティレベル設定」→「ネットワーク接続」→「全て許可」／「初回要求確認」／「毎回確認」／「許可しない」

- 「毎回確認」を選択すると、機能を利用するごとに、許可するかどうかの確認メッセージが表示されます。

S!アプリの自動起動の機能について設定したい　【アプリ自動起動】

■→「S!アプリ」→「S!アプリライブラリ」→S!アプリを反転表示→Y!→「セキュリティレベル設定」→「アプリ自動起動」→「全て許可」／「初回要求確認」／「毎回確認」／「許可しない」

- 「毎回確認」を選択すると、機能を利用するごとに、許可するかどうかの確認メッセージが表示されます。

S!アプリ利用時の外部機器との接続機能について設定したい　【外部接続】

■→「S!アプリ」→「S!アプリライブラリ」→S!アプリを反転表示→Y!→「セキュリティレベル設定」→「外部接続」→「全て許可」／「初回要求確認」／「毎回確認」／「許可しない」

- 「毎回確認」を選択すると、機能を利用するごとに、許可するかどうかの確認メッセージが表示されます。

S!アプリ利用時の動画撮影や録音について設定したい　【動画／録音】

■→「S!アプリ」→「S!アプリライブラリ」→S!アプリを反転表示→Y!→「セキュリティレベル設定」→「動画／録音」→「全て許可」／「初回要求確認」／「許可しない」

電話帳などの登録内容読み込みについて設定したい　【ユーザデータ読込】

■→「S!アプリ」→「S!アプリライブラリ」→S!アプリを反転表示→Y!→「セキュリティレベル設定」→「ユーザデータ読込」→「全て許可」／「初回要求確認」／「毎回確認」／「許可しない」

- 「毎回確認」を選択すると、機能を利用するごとに、許可するかどうかの確認メッセージが表示されます。

電話帳などの登録内容書き込みについて設定したい　【ユーザデータ書込／削除】

■→「S!アプリ」→「S!アプリライブラリ」→S!アプリを反転表示→Y!→「セキュリティレベル設定」→「ユーザデータ書込／削除」→「全て許可」／「初回要求確認」／「毎回確認」／「許可しない」

- 「毎回確認」を選択すると、機能を利用するごとに、許可するかどうかの確認メッセージが表示されます。

Bluetooth®接続について設定したい　【Bluetooth接続】

■→「S!アプリ」→「S!アプリライブラリ」→S!アプリを反転表示→Y!→「セキュリティレベル設定」→「Bluetooth接続」→「全て許可」／「初回要求確認」／「許可しない」

S!アプリのセキュリティ設定をお買い上げ時の状態に戻したい [セキュリティ設定初期化]

■→「S!アプリ」→「S!アプリライブラリ」→S!アプリを反転表示→Y!→「セキュリティレベル設定」→「セキュリティ設定初期化」→「はい」

S!アプリを削除したい [削除]

■→「S!アプリ」→「S!アプリライブラリ」

■ 1件削除するとき

削除したいS!アプリを反転表示→Y!→「削除」→「1件」→「はい」

■ 複数削除するとき

Y!→「削除」→「複数」→削除したいS!アプリをチェック→✉(削除)→「はい」

■ すべて削除するとき

Y!→「削除」→「全件」→操作用暗証番号を入力→■(OK)→「はい」

- 設定や保護しているS!アプリを削除するときは、確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると削除が実行されます。「いいえ」を選択すると設定や保護されていないS!アプリのみが削除されます。

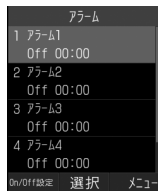
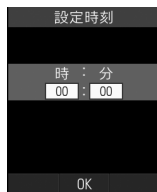
ツール

アラームを利用する

アラームを5件登録できます。時刻などを登録しておけば、「On」または「Off」に切り替えるだけでセットや解除ができます。1回限りの起動だけでなく、特定の曜日や毎日の起動を登録することもできます。

アラームを設定する

ここでは例として、アラーム時刻のみ設定します。

1. ■→「ツール」→「アラーム」

2. 「アラーム 1」～「アラーム 5」のいずれかを選択

3. アラーム時刻を入力

4. ✉（保存）

- 通話中または発信中だったときは、通話中または接続中（「呼び出し中…」と表示）は短い通知音と表示でお知らせします。発信中（「ダイヤル中…」と表示）だったときは、表示のみでお知らせします。ただし、「効果音」の「通話中イベント通知」がチェックなしに設定されている場合は、通話中や接続中も表示のみでお知らせします。表示は、いずれかのボタンを2回押すと消えます。スヌーズを「Off」以外に設定しているときは、Y!（終了）を押して■（OK）を押すと消えます。
- アラームを設定すると、ディスプレイに🔔が表示されます。
- 複数のアラームに同じ起動時刻が登録されている場合は、最初に設定した内容が優先されます。ただし、スケジュールや予定リストのアラームと「ツール」のアラームが同じ起動時刻に設定されているとき、設定した順番にかかわらず「ツール」のアラームが優先されます。
- アラームの設定時刻になると、アラーム音と表示でお知らせします。バイブレータを「Off」以外に設定しているときはバイブレータでもお知らせします。いずれかのボタンを押すとアラーム音とバイブレータが止まります。もう一度押すと表示が消えます。

・マナーモード設定時は、アラーム音とバイブレータは「マナーモード時設定」（➔P.9-18）の設定に従います。
・動画撮影中または音声録音中だったときは、撮影または録音の終了と同時に、アラーム音と表示でお知らせします。

使いこなしチェック！

便利 ☞P.9-18
● マナーモード時の音量／バイブレータを設定したい

カレンダーにスケジュールを登録する

カレンダーを表示する

1 ■→「ツール」→「カレンダー」

カレンダーの見かた

3通りの表示モードがあります。1ヶ月表示画面または1週間表示画面で日付を選択すると、その日の1日表示画面になります。

1ヶ月表示画面

□：反転表示位置
水色の日付：今日※
青色の日付：土曜日
赤色の日付：日曜日、祝日
※ 平日のみ水色になります。土曜日や日曜日、祝日のときは、青色や赤色になります。

1週間表示画面

」（青色）：スケジュール登録あり

1日表示画面

：スケジュール
：スケジュール（カテゴリなし）
：スケジュール（約束）
：スケジュール（会議）
：スケジュール（仕事）
：スケジュール（祝日）
：スケジュール（記念日）
：スケジュール（誕生日）
：スケジュール（電話）
：スケジュール（デート）
：スケジュール（旅行）
：スケジュール（その他）
：祝日
：アラームの設定あり
：繰り返しの設定あり

・1ヶ月表示画面を前後の月に切り替えるには、[*]／[#]または年月欄を反転表示して[●]を押します。
・1週間表示画面を前後の週に切り替えるには、[*]／[#]または年月欄を反転表示して[●]を押します。

スケジュールを登録する

予定リストと合わせて最大200件登録できます。
ここでは例として、件名、開始日、開始時間を登録します。

1 ■→「ツール」→「カレンダー」

2 ✉（新規）

3 件名を入力

4 開始日時欄を反転表示→開始日時を入力

5 ✉（保存）

- 開始日や終了日は、操作❷の前に、カレンダー画面で目的の日付にカーソルを合わせておけば、開始日や終了日にその日付が表示されます。

スケジュールを確認する

1 ■→「ツール」→「カレンダー」

2 確認したい日の数字をダイヤルボタンで入力→年月を入力

3 スケジュールを選択

●カレンダーの登録状況を確認するには、カレンダー画面またはスケジュールの一覧画面で、[Y!]を押して「メモリ容量確認」を選択すると、スケジュールと予定リストの登録件数を確認できます。

使いこなしチェック！

便利 ☞P.9-19
- 表示モードを切り替えたい
- 日付を指定して表示を切り替えたい
- カテゴリごとにスケジュールを確認したい
- スケジュールを送信したい
- スケジュールを削除したい
- シークレット設定したスケジュールを確認したい
- アラーム通知時に停止操作をしなかったスケジュールを確認したい
- カレンダーの登録状況を確認したい
- スケジュールをvファイルに変換して送信したい
- スケジュールをvファイルに変換して保存したい
- スケジュールをBluetooth®対応のプリンタで印刷したい

電卓を利用する

13桁までの四則演算ができます。

1 [■]→「ツール」→「電卓」

2 ダイヤルボタンと[✛]、[■]で計算

●「+」/「−」/「×」/「÷」を入力するには、[◁]/[▷]/[△]/[▽]を押します。
●計算結果を表示させるには、[■]を押します。
●小数点、「(」「)」を入力するには、[✉]（.( )）を繰り返し押します。
●カーソルを左／右に移動するには、[*]または[#]を押します。
●数式を1文字消すには、消す文字の後ろにカーソルを移動して[CLEAR/メモ]を押します。
●数式と計算結果をまとめて消すには、[Y!]（C）を押すか、または[CLEAR/メモ]を1秒以上押します。

通貨や単位の換算をする

金額を各国の通貨に換算できます。長さや重さなどを他の単位に換算することもできます。

通貨換算する

1 [■]→「ツール」→「通貨・単位換算」→「通貨」

2 換算元の通貨欄を選択→通貨を選択

3 金額欄を反転表示→金額を入力

- 小数点を入力するには、[＊]を押します。

4 換算する通貨欄を選択→通貨を選択

5 表示された金額を確認

- 換算元の通貨と換算する通貨を入れ替えるには、[Y!]（切替）を押します。

他の単位に換算する

1 [■]→「ツール」→「通貨・単位換算」→「長さ」／「重さ」／「体積」／「面積」／「温度」

2 換算元の単位欄を選択→単位を選択

3 換算元の単位の数値欄を反転表示→数値を入力

- 小数点を入力するには、[＊]を押します。

4 換算する単位欄を選択→単位を選択

5 表示された数値を確認

- 換算元の単位と換算する単位を入れ替えるには、[Y!]（切替）を押します。
- 温度を換算するときに「－」を入力／削除するには、[#]を押します。
- 数値を消去するには、[✉]（消去）を押します。

使いこなしチェック！

便利 ☞P.9-22
● 通貨単位を追加したい

世界時計を利用する

世界各国の都市の現在時刻を確認できます。

世界時計を見る

1
[■]→「ツール」→「世界時計」

地域を登録する

よく確認する地域を登録しておくと、世界時計を呼び出すだけで簡単に表示できます。

1 [■]→「ツール」→「世界時計」

2 地域1欄／地域2欄を反転表示→[◀▶]で目的の都市名を選択

3 [■]（保存）

使いこなしチェック！

便利 ☞P.9-22

メモを登録／確認する

最大20件のメモを登録できます。メモは通話中にも登録できます（➲P.3-25、P.3-28）。

メモを登録する

1 ■→「ツール」→「メモ帳」

2 「<新規作成>」→内容を入力

メモを確認する

1 ■→「ツール」→「メモ帳」→■（表示）

使いこなしチェック！

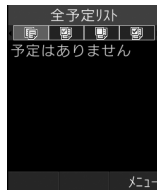
便利 ☞P.9-22
- メモを削除したい
- メモをメールで送信したい
- メモの登録状況を確認したい

予定リストを利用する

予定リストをスケジュールと合わせて最大200件登録して、リストで管理できます。

予定リストを登録する

ここでは例として、件名、期限日、開始時間を登録します。

1 ■→「ツール」→「予定リスト」

2 Y!→「新規登録」

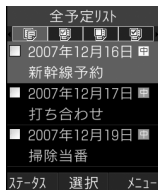
3 件名を入力

4 期限日時欄を反転表示→期限日時を入力

5 ✉（保存）

9 ツール

予定リストを確認する

1 ■→「ツール」→「予定リスト」

●予定リスト一覧画面で ◀□▶ を押すと、「全予定リスト」、「処理済」、「未処理」、「期限切」を切り替えることができます。

予定リストに処理済みのマークを付ける

1 ■→「ツール」→「予定リスト」

2 処理済みにしたい予定リストを反転表示→✉（ステータス）→「処理済」

●処理済みのマークを消す場合は「未処理」を選択します。

使いこなしチェック！

便利 ☞P.9-23

- 予定リストの内容を登録したい
- 予定リストをvファイルに変換して送信したい
- 予定リストを並べ替えたい
- 指定した日付の予定リストを表示したい
- 予定リストを削除したい
- 予定リストをvファイルに変換して保存したい
- シークレット設定した予定リストを確認したい
- アラーム通知時に停止操作をしなかった予定リストを確認したい
- 予定リストをBluetooth®対応のプリンタで印刷したい
- 予定リストの登録状況を確認したい

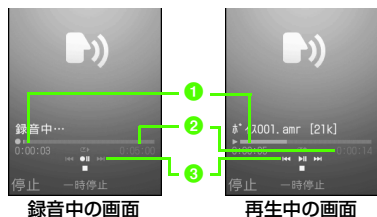
音声を録音する

音声を最長60分間録音できます。ボイスレコーダーは、ツールメニューのほか、通話中やデータフォルダ、メール作成画面のメニューからも起動できます。

ボイスレコーダーの表示画面の見かた

ソフトキーの表示や、マルチファンクションボタンのガイド表示に従って操作します。

録音中の画面　**再生中の画面**

❶ 経過時間

❷ 録音可能時間（録音中）／再生時間（再生中）

❸ マルチファンクションボタンのガイド表示

音声を録音する

録音した音声は、データフォルダの「着うた・メロディ」フォルダに保存されます。

1 ■→「ツール」→「ボイスレコーダー」

2 ■（録音）

3 （停止）／

- 録音が終了します。録音時間が経過した場合は、自動的に録音が終了します。
- ■（一時停止）を押すと、一時停止できます。

- 録音後、すぐに録音内容を確認したい場合は■（再生）で確認できます。もう一度■（一時停止）を押すと、一時停止できます。
- 録音後、すぐに次の録音をしたい場合はを押し、■（録音）を押します。

音声を再生する

データフォルダに保存されている音声ファイルを再生します。

1 ■→「ツール」→「ボイスレコーダー」

2 [Y!]→「データフォルダ」

3 ファイルを反転表示→[■]（再生）

使いこなしチェック！

便利 ☞P.9-24
- 録音後、続けて録音したい
- 録音した音声ファイルを送信したい
- 録音した音声ファイルを削除したい
- 録音した音声ファイル名を編集したい
- 録音した音声ファイルを保護して変更や削除などを制限したい
- 録音した音声ファイルの詳細情報を確認したい

音声で操作する

音声で820SCを操作できます。

- マナーモードを設定しているときは、音声認識を起動すると、マナーモードを解除して音声認識を起動するかどうかの確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると音声認識が起動します。
- 音声が認識できなかった場合は、「もう一度発声してください」とアナウンスが流れます。3回認識できないと、音声認識が終了します。

メインメニューの機能を呼び出す

メインメニューの機能を音声で呼び出します。

1 [■]→「ツール」→「音声認識」

- 発声をうながすアナウンスが流れます。アナウンスの途中で[Y!]（ボリューム調節）を押すと、[◀▶]で音量を調節できます。

2 「メニュー」→機能名を発声

- メニューがリスト表示されます。続けて、目的の機能名を発声してください。

名前で電話をかける

電話帳に登録した名前を音声で呼び出して電話をかけます。

1 [■]→「ツール」→「音声認識」

- 発声をうながすアナウンスが流れます。アナウンスの途中で[Y!]（ボリューム調節）を押すと、[◀▶]で音量を調節できます。

2 「電話帳」→名前を発声

- 電話帳に登録したヨミガナを発声してください。16音まで認識されます。
- 1つの電話帳に複数の電話番号が登録されている場合は、かけたい電話番号を選択します。
- 複数の電話帳が認識された場合は、かけたい電話帳を選択します。

3 「はい」と発声

電話番号で電話をかける

1 ■→「ツール」→「音声認識」

- 発声をうながすアナウンスが流れます。アナウンスの途中で[Y!](ボリューム調節)を押すと、[◆]で音量を調節できます。

2 「電話番号」→電話番号を発声

- 10桁か11桁の電話番号を連続で発声してください。
- 複数の電話番号が認識された場合は、正しい番号を選択してください。

3 「はい」と発声

バーコードリーダーを利用する

印刷されたバーコードをカメラで撮影して読み取ったり、インターネットなどで入手したバーコードの画像ファイルを直接読み取れます。

バーコード／QRコードを読み取る

バーコード（JANコード）またはQRコードを自動的に判別し、読み取ることができます。読み取った結果を利用して電話をかけるなど、さまざまな操作ができます。

QRコード

1 ■→「ツール」→「バーコードリーダー」→「バーコード読み取り」

❷ 読み取るバーコードを画面中央に表示→■（認識）

- 読み取りがうまくいかないときに■を押すと、自動的にフォーカスが調整され、もう一度読み取りを行います。読み取り時のフォーカスの調整は、読み取りが終了するか読み取りを中断するまで自動的に行われます。

- バーコードによっては、読み取れないことがあります。
- バーコードが汚れていたり、かすれていたり、薄いときなどは読み取れないことがあります。
- 室内などでバーコードを読み取る場合に、体の一部や本体の影がバーコードにかかっていると読み取れないことがあります。
- 画面内に複数のバーコードを表示すると、読み取れないことがあります。
- JANコードとは幅の異なるバーとスペースを組み合わせた一次元コードの種類です。JANコード以外の一次元コード（ITFコード、Code39、Codabar/NW-7など）は読み取ることができません。
- QRコードとは縦横に情報を持った二次元コードの種類です。

- 被写体とは約10cm離してください。読み取りにくいときは、820SCをゆっくりと動かして被写体との距離を調整し、■を押してフォーカスを合わせてください。
- 明るさを調整するには◀▶を押します。
- 読み取り中に中止するときは、Y!（キャンセル）を押します。
- 読み取り結果を保存するには、✉（保存）を押します。保存した結果は「読み取りデータ確認」（➔P.9-15）で確認できます。
- 分割されているバーコードを読み取るには、読み取り終了後「はい」を選択し読み取り操作を繰り返します。
- 分割されているバーコードはすべて読み込まないと内容を表示したり、保存したりできません。
- 読み取り結果に「MEMORY:」や「MAILTO:」が含まれるときは、電話帳用やメール用の項目と内容が表示されます。■（選択）を押すと、表示されている内容を電話帳登録画面やメール作成画面にまとめて入力できます。まとめて入力できるものにはテキストにグレーの背景が付きます（ただし、文字列の中に規定以外の文字があったときは、その文字以降はテキストにグレーの背景は付きません）。

- QRコードの情報で読み取れるのは、テキストデータのみです。画像や音楽ファイルのQRコードは、ファイルとして読み取ることができません。

バーコードファイルを読み取る

データフォルダに保存されたバーコードファイルを直接読み取ります。

❶ ■→「ツール」→「バーコードリーダー」→「データフォルダ」

- メモリカードを取り付けているときは、「ピクチャー」フォルダと「デジタルカメラ」フォルダからファイルを選択できます。

❷ ファイルを選択

9 ツール

- 分割されているバーコードは、分割されたうちの一つを読み取ると、残りのバーコードを自動的に認識して読み取ります。分割されたバーコードのファイル名や保存場所が変更されているときは、自動で認識できなかったファイルを選択すると読み取ることができます。
- サイズを変更したバーコードは、読み取れないことがあります。
- バーコードの種類によっては、読み取れない旨のメッセージが表示され、確認できないことがあります。

QRコードを作成する

電話帳や入力したテキストを利用して、QRコードを作成できます。

- 1つのQRコードに登録できる文字数の目安は、英数字を入力したときは211文字、漢字だけを入力したときは105文字です。
- 情報量が多いときは、自動的に分割QRコードが表示されます（16分割まで）。
- 作成したQRコードは、データフォルダの「ピクチャー」フォルダに保存されます。保存後は、データフォルダの操作で確認できます（➔P.9-13）。

電話帳のQRコードを作成する

登録済みの電話帳を利用してQRコードを作成します。

1 ■→「ツール」→「バーコードリーダー」→「QRコード作成」

2 「電話帳」→電話帳を検索し、選択（➔P.2-22）

3 電話番号を選択

QRコード確認画面

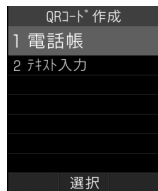
4 ■（保存）

- QRコードには姓、ヨミガナ、電話番号、Eメールアドレス、住所、メモが含まれます。その他の項目は含まれません。
- QRコード確認画面で ✉（送信）を押すと、作成したQRコードを添付したS!メールを作成できます。

テキストのQRコードを作成する

テキストを入力してQRコードを作成します。

9 ツール

❶ ■→「ツール」→「バーコードリーダー」→「QRコード作成」

❷ 「テキスト入力」→テキストを入力

QRコード確認画面

❸ ■（保存）

●QR コード確認画面で ✉（送信）を押すと、作成したQRコードを添付したS!メールを作成できます。

読み取ったバーコードを確認する

保存した読み取り結果を確認します。

❶ ■→「ツール」→「バーコードリーダー」→「読み取りデータ確認」

❷ 読み取り結果を選択

●表示サイズが大きすぎると表示されません。また、ファイルによっては表示できないことがあります。

使いこなしチェック！

便利 ☞P.9-25

● 読み取ったバーコードのデータを確認したい
● バーコードリーダーのヘルプを確認したい
● 作成したQRコードの保存先を指定したい

時間を計測する

820SCをストップウォッチとして使えます。最大10回のラップタイムと合計タイムも計れます。

❶ ■→「ツール」→「ストップウォッチ」

❷ ■（スタート）

❸ ✉（停止）

●ラップタイムを計るときは、計測中に■（ラップタイム）を押します。

9 ツール

辞典を利用する

日本語の単語の英語訳や、英単語の日本語訳を調べることができます。

1 ■→「ツール」→「辞典」

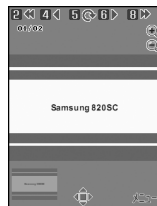
2 「英和辞典」／「和英辞典」→調べる単語を入力

3 目的の見出し語を選択

パソコンのファイルを閲覧する

ファイルビューアでドキュメントファイルを確認する

ドキュメントファイルは、標準表示または全画面表示で確認できます。どちらの表示でも、メニューやショートカット（ボタン操作）を使って画面を操作できます。

標準表示

全画面表示

1 ■→「データフォルダ」

2 「その他ファイル」→ファイルを選択

3 メニューやショートカットを使って画面を確認

- データフォルダ内のドキュメントファイル（PDF、XLS、DOC、PPT、TXT）を確認できます。データフォルダの一覧画面でこれらのファイルを選択すると、自動的にファイルビューアが起動します。
- 画面をスクロールするには、◈を押します。
- ファイルビューアが起動中は、スイッチバー（➔P.2-3）を表示できません。
- 約10Mバイトまでのファイルを閲覧することができます。ファイルの内容によってはサイズが10Mバイト内であっても表示できないことがあります。

注意

- ページ数の多いドキュメントや複雑なデザインを含むドキュメントなどでは、ファイルをすべて表示できない場合があります。
- 日本語や英語以外の言語がファイルに含まれている場合は、正しく表示できないことがあります。

ショートカット（ボタン操作）について

ショートカットが割り当てられたボタンを押すことにより、簡単に操作できます。

ボタン	内　容
(サイドキー上)	ズームイン
(サイドキー下)	ズームアウト
2	最初のページに移動
4	前のページに移動
5	時計回りに90度回転／もとに戻す
6	次のページに移動
8	最後のページに移動
*	全画面表示／標準表示に切り替え

使いこなしチェック！

便利 ☞P.9-27

- 全画面表示／標準表示を切り替えたい
- ファイルを拡大／縮小したい
- ファイルの幅や高さに合わせた表示に切り替えたい
- ページを移動したい
- 画面をキャプチャしたい
- ファイルを時計まわりに90度回転したい
- ページ内の文字列を検索したい
- ファイルを送信したい
- ファイル名を編集したい
- ファイルを保護して変更や削除などを制限したい
- ファイルの詳細情報を確認したい
- ファイルを削除したい
- ボタンに割り当てられたショートカットを確認したい

ブックサーフィン®を利用する

ブックサーフィン®は、データフォルダの「ブック」フォルダに保存されている電子コミックや電子写真集など（CCFファイル）を閲覧するためのビューアです。画像を拡大／縮小したり、簡単な操作で画面をスクロールしたり、サウンドやバイブレーションなどの効果により臨場感ある演出も可能です。
CCFファイルを閲覧するには、コンテンツ・キーを取得してください。ただし、あらかじめ820SCに保存されているサンプルでは、コンテンツ・キーは不要です。

電子コミックを読む

1. ■ →「エンタテイメント」→「ブックサーフィン®」
   - 起動後の操作については、ブックサーフィン®のヘルプを参照してください。

- 機種変更などをした場合は、メモリカードを経由してCCFファイルを移動することができます。このときは、コンテンツ・キーを再ダウンロードすれば、閲覧できるようになります。ただし、コンテンツによってはCCFファイルの再ダウンロードが必要になることもあります。

便利

アラームに関する便利な機能

アラームの内容を登録したい

■→「ツール」→「アラーム」→「アラーム1」～「アラーム5」→設定時刻を入力

■ **アラーム名を編集するとき**
アラーム名欄を選択→アラーム名を入力→✉（保存）

■ **毎日または1回のみ起動に設定するとき**
繰り返し欄を選択→「1回のみ」／「毎日」→✉（保存）

■ **通知する曜日を設定するとき**
繰り返し欄を選択→「曜日指定」→設定する項目をチェック→✉（完了）→✉（保存）

■ **アラーム音やムービーを設定するとき**
アラーム音／ムービー欄を選択→ファイルの保存場所を選択→ファイルを反転表示→✉（再生）→Y!（選択）→✉（保存）

- メモリカードに保存されているファイルをアラーム音に設定すると、ファイルを820SC本体にコピーしてから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。著作権保護ファイルの場合は、移動してから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると設定が完了します。

■ **アラーム音量を調節するとき**
音量欄を選択→✜で音量を調節→✉（再生）→■（OK）→✉（保存）

■ **バイブレータを設定するとき**
バイブ欄を選択→「Off」／「パターン1」～「パターン5」→✉（保存）

■ **スヌーズを設定するとき**
スヌーズ欄を選択→「Off」／「1分毎」／「3分毎」／「5分毎」／「10分毎」／「その他」→✉（保存）

- スヌーズを「Off」以外に設定しているときは、スヌーズを解除するまで、設定した時間の間隔でアラーム通知を行います。通知は設定した回数で繰り返されます。アラーム通知中にボタン操作を行わなかったとき、または☎、Y!（終了）以外のいずれかのボタンを押したときは、アラーム音が止まり、設定した時間が経過するとアラーム通知を行うようにセットされます。
スヌーズを解除するには、☎またはY!（終了）を押します。
- 「その他」を選択したときは、時間を入力します。

■ **スヌーズの繰り返し回数を設定するとき**
スヌーズ繰り返し回数欄を選択→「1回のみ」／「2回」／「3回」／「5回」／「10回」→✉（保存）

■ **アラーム音の鳴動時間を設定するとき**
鳴動時間欄を選択→「10秒」／「20秒」／「30秒」／「60秒」／「その他」→✉（保存）

- 「その他」を選択したときは、時間を入力します。

アラームを設定／解除したい

■→「ツール」→「アラーム」→切り替えたいアラームを反転表示→✉（On/Off設定）

アラームをリセットしたい

■→「ツール」→「アラーム」

■ **1件リセットしたいとき**
リセットしたいアラームを反転表示→Y!→「1件リセット」

■ **全件リセットしたいとき**
Y!→「全件リセット」

マナーモード時の音量／バイブレータを設定したい　［マナーモード時設定］

■→「ツール」→「アラーム」→設定したいアラームを反転表示→Y!→「マナーモード時設定」

■ **アラーム音量を設定するとき**
「アラーム音量」→✜で音量を調節→✉（再生）→■（OK）

■ **バイブレータを設定するとき**
「バイブ」→「On」／「Off」

9

ツール

便利

カレンダーに関する便利な機能

スケジュールの内容を登録したい

■→「ツール」→「カレンダー」→✉（新規）→件名を入力→開始日時欄を反転表示→開始日時を入力

■ 終了日と終了時間を設定するとき
終了日時欄を選択→終了日時欄を反転表示→終了日時を入力→✉（保存）

■ スケジュールを終日に設定するとき
開始日時欄または終了日時欄を選択→✉（チェック）→■（OK）→✉（保存）

■ カテゴリを設定するとき
カテゴリ欄を選択→カテゴリを選択→✉（保存）

■ アラームを設定するとき
アラーム欄を選択→設定時刻欄を選択→設定時刻を選択→鳴動時間欄を選択→鳴動時間を選択→アラーム音／ムービー欄を選択→ファイルの保存場所を選択→ファイルを反転表示→✉（再生）→Y!（選択）→音量欄を選択→✥で音量を調節→■（OK）→バイブ欄を選択→「Off」／「パターン1」～「パターン5」→✉（完了）→✉（保存）

- メモリカードに保存されているファイルをアラーム音に設定すると、ファイルを820SC本体にコピーしてから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。著作権保護ファイルの場合は、移動してから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると設定が完了します。

■ 設定したスケジュールを繰り返すとき
繰り返し欄を選択→「一回のみ」／「毎日」／「毎週」／「毎月」／「毎年」→繰り返す回数を入力→✉（保存）

■ 場所を設定するとき
場所欄を選択→内容を入力→✉（保存）

■ スケジュールを自動で削除するとき
有効期限欄を選択→「1ヶ月後」／「1年後」／「2年後」／「3年後」→✉（保存）

- 有効期限を過ぎると、カレンダーから自動的に削除されます。たとえば表示期限が「1年後」の場合、繰り返しを設定していないときは、終了日から1年経過すると削除されます。繰り返しを設定しているときは、繰り返しの最終日から1年で削除されます。自動的に削除されないようにするには、「設定しない」を選択します。

■ 詳細を設定するとき
詳細欄を選択→内容を入力→✉（保存）

■ シークレット設定をするとき
シークレット設定欄を選択→「On」／「Off」→✉（保存）

スケジュールを編集したい

■→「ツール」→「カレンダー」→日付を選択→編集したいスケジュールを選択→■（編集）→登録時と同様に編集→✉（保存）

表示モードを切り替えたい ［表示切替］

■→「ツール」→「カレンダー」→Y!→「表示切替」→「1ヶ月表示」／「1日表示」／「1週間表示」

日付を指定して表示を切り替えたい ［表示日指定］

■→「ツール」→「カレンダー」→Y!→「表示日指定」

■ 今日の日付を表示するとき
「今日」

■ 確認したい日付に表示を切り替えたいとき
「日付指定」→年月日を入力

カテゴリごとにスケジュールを確認したい ［カテゴリ別表示］

■→「ツール」→「カレンダー」→Y!→「カテゴリ別表示」→カテゴリを選択

スケジュールを送信したい ［イベント送信］

■→「ツール」→「カレンダー」→Y!→「イベント送信」

■ Bluetooth®で送信するとき
「Bluetooth」→送信したいスケジュールをチェック→✉（送信）→「はい」→（➲P.12-9 データを送信する❷）

9 ツール

■ 赤外線で送信するとき
「赤外線通信」→送信したいスケジュールをチェック→✉（送信）→「はい」
（➔P.12-3）

スケジュールを削除したい　［削除］

■→「ツール」→「カレンダー」

■ 1件削除するとき
日付を選択→削除したいスケジュールを反転表示→Y!→「削除」→「1件」→「はい」

■ 選択した日のスケジュールを削除するとき
削除したい日付を反転表示→Y!→「削除」→「1日」→「はい」

■ 特定の期間のスケジュールを削除するとき
Y!→「削除」→「期間指定」→開始と終了の年月日を入力→■（削除）→「はい」

■ 表示中の月／週のスケジュールを削除するとき
Y!→「削除」→「今月」／「今週」→「はい」

■ 反転表示中の日付より前の全スケジュールを削除するとき
Y!→「削除」→「選択日より前」→操作用暗証番号を入力→■（OK）→「はい」

■ すべてのスケジュールを削除するとき
Y!→「削除」→「全件」→操作用暗証番号を入力→■（OK）→「はい」

■ カテゴリごとに複数のスケジュールをまとめて削除するとき
Y!→「カテゴリ別表示」→カテゴリを選択→Y!→「削除」→「複数」→削除したいスケジュールをチェック→✉（削除）→「はい」

■ カテゴリ内のすべてのスケジュールを削除するとき
Y!→「カテゴリ別表示」→カテゴリを選択→Y!→「削除」→「このカテゴリ全て」→「はい」

祝日を追加したい　［祝日設定］

■→「ツール」→「カレンダー」→Y!→「設定」→「祝日設定」→登録したい欄を選択→タイトルを入力→日付を入力→頻度を選択→✉（保存）

祝日の表示を変更したい　［祝日設定］

■→「ツール」→「カレンダー」→Y!→「設定」→「祝日設定」→変更したい項目をチェック→✉（保存）

追加した祝日を編集したい

■→「ツール」→「カレンダー」→Y!→「設定」→「祝日設定」→編集したい項目を反転表示→Y!→「編集」→項目を編集→✉（保存）

追加した祝日を削除したい

■→「ツール」→「カレンダー」→Y!→「設定」→「祝日設定」→削除したい項目を反転表示→Y!→「削除」

週の始まりを設定したい［週の始まり］

■→「ツール」→「カレンダー」→Y!→「設定」→「週の始まり」→「日曜日」／「月曜日」

カレンダー起動時の表示画面を設定したい　［基本表示モード］

■→「ツール」→「カレンダー」→Y!→「設定」→「基本表示モード」→「1ヶ月表示」／「1週間表示」／「1日表示」

リマインダーを設定したい　［リマインダー］

■→「ツール」→「カレンダー」→Y!→「設定」→「リマインダー」→On/Off 設定欄を選択→「On」

■ 通知する時間を設定するとき
時間欄を選択→時間を入力→✉（保存）

■ アラーム音の鳴動時間を設定するとき
鳴動時間欄を選択→「10秒」／「20秒」／「30秒」／「60秒」／「その他」→✉（保存）
- 「その他」を選択したときは、時間を入力します。

■ **アラーム音やムービーを設定するとき**
アラーム音／ムービー欄を選択→ファイルの保存場所を選択→ファイルを反転表示→[メール]（再生）→[Y!]（選択）→[メール]（保存）
- メモリカードに保存されているファイルをアラーム音に設定すると、ファイルを820SC本体にコピーしてから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。著作権保護ファイルの場合は、移動してから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると設定が完了します。

■ **アラーム音量を調節するとき**
音量欄を選択→[十字キー]で音量を調節→[メール]（再生）→[■]（OK）→[メール]（保存）

■ **バイブレータを設定するとき**
バイブ欄を選択→「Off」／「パターン1」～「パターン5」→[メール]（保存）

シークレット設定したスケジュールを確認したい　[シークレット一時解除]

[■]→「ツール」→「カレンダー」→[Y!]→「シークレット一時解除」→操作用暗証番号を入力→[■]（OK）

アラーム通知時に停止操作をしなかったスケジュールを確認したい [未確認イベントアラーム]

[■]→「ツール」→「カレンダー」→[Y!]→「未確認イベントアラーム」→確認したいスケジュールを選択

カレンダーの登録状況を確認したい [メモリ容量確認]

[■]→「ツール」→「カレンダー」→[Y!]→「メモリ容量確認」

スケジュールをvファイルに変換して送信したい [送信]

[■]→「ツール」→「カレンダー」→日付を選択→スケジュールを反転表示→[Y!]→「送信」

■ **メールで送信するとき**
「メール添付」→（➔P.4-3 S!メールを送信する❷）

■ **Bluetooth®で送信するとき**
「Bluetooth」→（➔P.12-9 データを送信する❷）

■ **赤外線で送信するとき**
「赤外線通信」（➔P.12-3）

スケジュールをvファイルに変換して保存したい　[データフォルダに保存]

[■]→「ツール」→「カレンダー」→日付を選択→スケジュールを反転表示→[Y!]→「データフォルダに保存」→「本体」／「メモリカード」→「はい」
- メモリカードを取り付けているときは、「メモリカード」を選択できます。

スケジュールをBluetooth®対応のプリンタで印刷したい [Bluetoothで印刷]

[■]→「ツール」→「カレンダー」→日付を選択→スケジュールを反転表示→[Y!]→「Bluetoothで印刷」→（➔P.7-16 Bluetooth®経由でプリントする❺）

便利

通貨・単位換算に関する便利な機能

為替レートを確認したい

■→「ツール」→「通貨・単位換算」→「通貨」→基準にする通貨欄を反転表示→✉（レート表示）

為替レートを変更したい

■→「ツール」→「通貨・単位換算」→「通貨」→基準にする通貨欄を反転表示→✉（レート表示）→レートを変更したい通貨を反転表示→■（編集）→レートを入力

通貨単位を追加したい ［レート追加］

■→「ツール」→「通貨・単位換算」→「通貨」→✉（レート表示）→✉（追加）→通貨単位名とレートを入力

- 追加した通貨単位を削除するときは、削除するレートを反転表示してY!を押し、「削除」を選択します。

便利

世界時計に関する便利な機能

サマータイムを設定したい

■→「ツール」→「世界時計」→Y!（サマータイム）→サマータイムを設定したい地域をチェック→✉（完了）→■（保存）

便利

メモに関する便利な機能

メモを削除したい ［削除］

■→「ツール」→「メモ帳」

■ 1件削除するとき

削除したいメモを反転表示→Y!→「削除」→「1件」→「はい」

■ 複数削除するとき

メモを反転表示→Y!→「削除」→「複数」→削除したいメモをチェック→✉（削除）→「はい」

■ すべて削除するとき

メモを反転表示→Y!→「削除」→「全件」→操作用暗証番号を入力→■（OK）→「はい」

メモをメールで送信したい ［送信］

■→「ツール」→「メモ帳」→メモを選択→Y!→「送信」→（➲P.4-3 S!メールを送信する❷）

メモの登録状況を確認したい ［メモリ容量確認］

■→「ツール」→「メモ帳」→Y!→「メモリ容量確認」

メモを編集したい

■→「ツール」→「メモ帳」→編集したいメモを反転表示→✉（編集）→メモを編集

9 ツール

便利

予定リストに関する便利な機能

予定リストの内容を登録したい [新規登録]

■→「ツール」→「予定リスト」→Y!→「新規登録」→件名を入力→期限日時欄を反転表示→期限日時を入力

■ **アラームを設定するとき**
アラーム欄を選択→設定時刻欄を選択→設定時刻を選択→鳴動時間欄を選択→鳴動時間を選択→アラーム音／ムービー欄を選択→ファイルの保存場所を選択→ファイルを反転表示→✉（再生）→Y!（選択）→音量欄を選択→✣で音量を調節→■（OK）→バイブ欄を選択→「Off」／「パターン1」～「パターン5」→✉（完了）→✉（保存）

- メモリカードに保存されているファイルをアラーム音に設定すると、ファイルを820SC本体にコピーしてから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。著作権保護ファイルの場合は、移動してから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると設定が完了します。
- アラームの設定時刻になると、アラーム音と表示でお知らせします。いずれかのボタンを押すとアラーム音が止まります。■（OK）を押すと表示が消えます。アラームを停止しなかったときは、未確認のアラームがある旨をお知らせするメッセージが表示されます。■（表示）を押すと、内容を確認できます。
- 発信中や通話中だったときは、通話中または接続中（「呼び出し中…」と表示）は短い通知音と表示でお知らせします。発信中（「ダイヤル中…」と表示）だったときは表示のみでお知らせします。ただし、「効果音」の「通話中イベント通知」がチェックなしに設定されている場合は、通話中や接続中も表示のみでお知らせします。表示は、■（OK）を押すと消えます。

■ **重要度を設定するとき**
重要度欄を選択→「低」／「中」／「高」→✉（保存）

■ **予定リストの詳細を設定するとき**
詳細欄を選択→内容を入力→✉（保存）

■ **シークレット設定をするとき**
シークレット設定欄を選択→「On」／「Off」→✉（保存）

予定リストをvファイルに変換して送信したい [送信]

■→「ツール」→「予定リスト」→送信したい予定リストを選択→Y!→「送信」

■ **メールで送信するとき**
「メール添付」→（➲P.4-3 S!メールを送信する❷）

■ **Bluetooth®で送信するとき**
「Bluetooth」→（➲P.12-9 データを送信する❷）

■ **赤外線で送信するとき**
「赤外線通信」（➲P.12-3）

予定リストを並べ替えたい [ソート]

■→「ツール」→「予定リスト」→Y!→「ソート」→「期限順」／「重要度順」

指定した日付の予定リストを表示したい [表示日指定]

■→「ツール」→「予定リスト」→Y!→「表示日指定」

■ **今日の予定リストを表示するとき**
「今日」

■ **確認したい日付を入力するとき**
「日付指定」→年月日を入力

予定リストを削除したい [削除]

■→「ツール」→「予定リスト」

■ **1件削除するとき**

削除したい予定リストを反転表示→Y!→「削除」→「1件」→「はい」

■ **複数削除するとき**

Y!→「削除」→「複数」→削除したい予定リストをチェック→✉(削除)→「はい」

■ **すべて削除するとき**

Y!→「削除」→「全件」→操作用暗証番号を入力→■（OK）→「はい」

予定リストをvファイルに変換して保存したい [データフォルダに保存]

■→「ツール」→「予定リスト」→予定リストを選択→Y!→「データフォルダに保存」→「本体」／「メモリカード」→「はい」

- メモリカードを取り付けているときは、「メモリカード」を選択できます。

シークレット設定した予定リストを確認したい [シークレット一時解除]

■→「ツール」→「予定リスト」→Y!→「シークレット一時解除」→操作用暗証番号を入力→■（OK）

アラーム通知時に停止操作をしなかった予定リストを確認したい [未確認イベントアラーム]

■→「ツール」→「予定リスト」→Y!→「未確認イベントアラーム」→確認したいスケジュールを選択

予定リストをBluetooth®対応のプリンタで印刷したい [Bluetoothで印刷]

■→「ツール」→「予定リスト」→予定リストを反転表示→Y!→「Bluetoothで印刷」→（➲P.7-16 Bluetooth®経由でプリントする❺）

予定リストの登録状況を確認したい [メモリ容量確認]

■→「ツール」→「予定リスト」→Y!→「メモリ容量確認」

予定リストを編集したい

■→「ツール」→「予定リスト」→編集したい予定リストを選択→■（編集）→編集する登録内容を選択→登録時と同様に編集→✉（保存）

便利

ボイスレコーダーに関する便利な機能

録音した音声ファイルを着信音などに設定したい

■→「ツール」→「ボイスレコーダー」→■（録音）→✉（停止）→✉（設定）→着信音を選択

録音後、続けて録音したい [録音]

■→「ツール」→「ボイスレコーダー」→■（録音）→✉（停止）→Y!→「録音」

録音した音声ファイルを送信したい [送信]

■→「ツール」→「ボイスレコーダー」→■（録音）→✉（停止）→Y!→「送信」

■ **メールで送信するとき**

「メール添付」→（➲P.4-3 S!メールを送信する❷）

■ **Bluetooth®で送信するとき**

「Bluetooth」→（➲P.12-9 データを送信する❷）

■ **赤外線で送信するとき**

「赤外線通信」（➲P.12-3）

録音した音声ファイルを削除したい [削除]

■→「ツール」→「ボイスレコーダー」→■（録音）→✉（停止）→Y!→「削除」→「はい」

録音した音声ファイル名を編集したい

[ファイル名変更]

■→「ツール」→「ボイスレコーダー」→■（録音）→✉（停止）→Y!→「ファイル名変更」→ファイル名を入力

録音した音声ファイルを保護して変更や削除などを制限したい

[保護]／[保護解除]

■→「ツール」→「ボイスレコーダー」→■（録音）→✉（停止）→Y!→「保護」／「保護解除」

録音した音声ファイルの詳細情報を確認したい

[詳細]

■→「ツール」→「ボイスレコーダー」→■（録音）→✉（停止）→Y!→「詳細」

保存時に付けられるファイル名を変更したい

[保存ファイル名設定]

■→「ツール」→「ボイスレコーダー」→Y!→「録音設定」→「保存ファイル名設定」→ファイル名を入力

録音時間を変更したい

[録音時間]

■→「ツール」→「ボイスレコーダー」→Y!→「録音設定」→「録音時間」→「1分」／「2分」／「3分」／「4分」／「5分」／「60分」

ファイルの保存先を変更したい

[保存先設定]

■→「ツール」→「ボイスレコーダー」→Y!→「録音設定」→「保存先設定」→「本体」／「メモリカード」

- メモリカードを取り付けていないときは、自動的に820SC本体に保存されます。

便利

バーコードリーダーに関する便利な機能

読み取ったデータから操作したい

■→「ツール」→「バーコードリーダー」→「バーコード 読み取り」→バーコードを読み取り

■ 読み取った電話番号に電話をかけるとき

「TEL:」の付いている番号または0から始まる10桁以上32桁以下の番号を選択→「音声通話」／「TVコール」／「S!一斉トーク」

■ 読み取った電話番号にS!メールを送信するとき

「TEL:」の付いている番号または0から始まる10桁以上32桁以下の番号を選択→「メッセージ作成」→（➔P.4-3 S!メールを送信する5）

■ 読み取ったEメールアドレスにS!メールを送信するとき

「@」の含まれるEメールアドレスを選択→（➔P.4-3 S!メールを送信する5）

■ 読み取ったURLにアクセスするとき

「http://」／「rtsp://」から始まるURLを選択

■ 読み取った電話帳を登録するとき

電話帳データを選択→（➔P.2-19 電話帳に登録する）

■ **読み取った電話番号などを新しい電話帳に登録するとき**
電話番号などを反転表示→Y!→「電話帳に保存」→「新規」→（➲P.2-19 電話帳に登録する）

■ **読み取った電話番号などを既存の電話帳に追加登録するとき**
電話番号などを反転表示→Y!→「電話帳に保存」→「追加」→電話帳を検索し、選択（➲P.2-22）→電話帳を編集→✉（保存）

■ **読み取ったURLをブックマークに登録するとき**
URLを反転表示→Y!→「ブックマーク追加」

■ **読み取ったEメールアドレスや電話番号などをコピーするとき**
コピーしたいEメールアドレスや電話番号などを反転表示→Y!→「アドレスコピー」／「電話番号コピー」／「URLコピー」

■ **読み取った電話番号やEメールアドレスなどをすべてメール本文に貼り付けるとき**
Y!→「メッセージ送信」→■（OK）→「S!メール」／「SMS」→（➲P.4-3 S!メールを送信する❷、P.4-8 SMSを送信する❷）

■ **読み取った電話番号やEメールアドレスなどの範囲を指定してメール本文に貼り付けるとき**
Y!→「メッセージ送信」→✉（カット）→貼り付ける最初の文字を反転表示→■（始点）→範囲を指定→■（終点）→■（OK）→「S!メール」／「SMS」→（➲P.4-3 S!メールを送信する❷、P.4-8 SMSを送信する❷）

■ **読み取った文字をコピーするとき**
Y!→「コピー」→コピーする最初の文字を反転表示→■（始点）→範囲を指定→■（終点）

読み取ったバーコードのデータを確認したい　［読み取りデータ確認］

■→「ツール」→「バーコードリーダー」→「バーコード 読み取り」→Y!→「読み取りデータ確認」→ファイルを選択

バーコードリーダーのヘルプを確認したい　［ヘルプ］

■→「ツール」→「バーコードリーダー」→「バーコード 読み取り」→Y!→「ヘルプ」

作成したQRコードの保存先を指定したい　［本体に保存］／［メモリカードに保存］

■→「ツール」→「バーコードリーダー」→「QRコード作成」→「電話帳」／「テキスト入力」→（➲P.9-14 電話帳のQRコードを作成する❷、P.9-14 テキストのQRコードを作成する❷）→Y!→「本体に保存」／「メモリカードに保存」→■（保存）

9
ツール

便利

ファイルビューアに関する便利な機能

全画面表示／標準表示を切り替えたい [全画面表示]／[標準表示]

■→「データフォルダ」→「その他ファイル」→ファイルを選択→Y!→「全画面表示」／「標準表示」

ファイルを拡大／縮小したい [ズームイン／アウト]

■→「データフォルダ」→「その他ファイル」→ファイルを選択→Y!→「ズームイン／アウト」→「ズームイン」／「ズームアウト」

ファイルの幅や高さに合わせた表示に切り替えたい [フィット表示]

■→「データフォルダ」→「その他ファイル」→ファイルを選択→Y!→「フィット表示」→「ページ全体」／「幅に合わせる」／「高さに合わせる」

ページを移動したい [移動]

■→「データフォルダ」→「その他ファイル」→ファイルを選択→Y!→「移動」→「前ページへ」／「次ページへ」／「最初のページへ」／「最後のページへ」／「ページ全体」

- 「ページ全体」を選択したときは、移動したいページ数を入力して指定します。

画面をキャプチャしたい [画面撮影]

■→「データフォルダ」→「その他ファイル」→ファイルを選択→Y!→「画面撮影」

- キャプチャした画像は820SC本体のデータフォルダの「ピクチャー」フォルダにJPEG形式で保存されます。

ファイルを時計まわりに90度回転したい [回転]

■→「データフォルダ」→「その他ファイル」→ファイルを選択→Y!→「回転」

ページ内の文字列を検索したい [検索]

■→「データフォルダ」→「その他ファイル」→ファイルを選択→Y!→「検索」→検索語を入力

- 検索結果が表示されたあと、同じ検索語で文末に向かって検索するときは3、文頭に向かって検索するときは1を押します。

ファイルを送信したい [送信]

■→「データフォルダ」→「その他ファイル」→ファイルを選択→Y!→「送信」

■ **メールで送信するとき**

「メール添付」→（➲P.4-3 S!メールを送信する❷）

■ **Bluetooth®で送信するとき**

「Bluetooth」→（➲P.12-9 データを送信する❷）

■ **赤外線で送信するとき**

「赤外線通信」（➲P.12-3）

ファイル名を編集したい [ファイル名変更]

■→「データフォルダ」→「その他ファイル」→ファイルを選択→Y!→「ファイル名変更」→ファイル名を入力

ファイルを保護して変更や削除などを制限したい [保護]／[保護解除]

■→「データフォルダ」→「その他ファイル」→ファイルを選択→Y!→「保護」／「保護解除」

ファイルの詳細情報を確認したい　[詳細]

■→「データフォルダ」→「その他ファイル」→ファイルを選択→Y!→「詳細」

ファイルを削除したい　[削除]

■→「データフォルダ」→「その他ファイル」→ファイルを選択→Y!→「削除」→「はい」

スクロール範囲を設定したい　[スクロール]

■→「データフォルダ」→「その他ファイル」→ファイルを選択→Y!→「設定」→「スクロール」→「10ピクセルごと」／「20ピクセルごと」／「40ピクセルごと」／「画面」

- ✥を1回押したときのスクロール範囲を設定します。

文字情報のファイル（docやtxtなど）の表示を画面幅に合わせるかどうか設定したい　[画面幅に合わせて表示]

■→「データフォルダ」→「その他ファイル」→ファイルを選択→Y!→「設定」→「画面幅に合わせて表示」→「Off」／「On」

- 「On」に設定すると、画面を上下にスクロールするだけで内容を確認できます。

マップの表示を設定したい　[マップ表示]

■→「データフォルダ」→「その他ファイル」→ファイルを選択→Y!→「設定」→「マップ表示」→「Off」／「On」

- マップ上では、表示中のエリアが赤色で示されます。

全画面表示のショートカットガイドを表示／非表示にしたい　[コントローラ表示]

■→「データフォルダ」→「その他ファイル」→ファイルを選択→Y!→「設定」→「コントローラ表示」→「On」／「Off」

画面撮影時に付けられるファイル名を編集したい　[画面撮影ファイル名]

■→「データフォルダ」→「その他ファイル」→ファイルを選択→Y!→「設定」→「画面撮影ファイル名」→ファイル名を入力

ボタンに割り当てられたショートカットを確認したい　[ショートカット表示]

■→「データフォルダ」→「その他ファイル」→ファイルを選択→Y!→「ショートカット表示」→✥でショートカットを確認

コミュニケーションサービス

S!ともだち状況を利用する

S!ともだち状況とは、現在の状況(気分・応答可能かなど)をS!ともだち状況に登録したメンバーどうしで確認し合える機能です。

- S!ともだち状況の利用には、別途お申し込みが必要です。
- S!ともだち状況の対応機種どうしだけでご利用いただけます。

お客様の状態

ごきげん　応答可能

S!ともだち状況情報　S!ともだち状況情報

登録した相手の状態

あそぼー　応答可能

登録した相手の状態

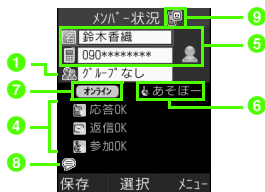
ねむーい　応答不可

- S!ともだち状況メンバーリストに相手を登録すると、S!ともだち状況の情報をお互いに確認し合えるようになります。以降は、お互いのS!ともだち状況情報の変更も自動的に更新されます。

注意

- **ご利用の際には「IPサービス設定」(➔P.13-27)が「On」であることを確認してください。**

S!ともだち状況画面の見かた

S!ともだち状況メンバーリスト画面

S!ともだち状況メンバー状況画面

1. S!ともだち状況のグループ名
2. お客様の情報(わたしの状況:➔P.10-5)
3. 登録した相手の情報
4. 応答ステータス
   電話やメール、S!一斉トークの応答状況が表示されます。
5. 画像、名前、電話番号
   わたしの状況ではオーナー情報に登録している画像が表示されます。メンバー状況では電話帳に登録している画像や名前、電話番号、グループが表示されます。
6. 状態アイコン、状態ラベル
   絵文字(状態アイコン)や短い文章(状態ラベル)で、お客様や登録したS!ともだち状況メンバーの状態が表示されます。
7. ネットワーク接続状況
   お客様や登録したS!ともだち状況メンバーのS!ともだち状況への接続状況が表示されます。
8. コメント
9. 待受ウィンドウ設定状況
   待受ウィンドウのS!ともだち状況メンバーのアイコン登録状況が表示されます。

S!ともだち状況通知について

S!ともだち状況通知とは、S!ともだち状況メンバーリストに登録するときの登録要求などをお知らせする情報通知です。

- S!ともだち状況通知は、相手をS!ともだち状況メンバーリストに登録したり、登録を解除するときなどに送信されます。また、相手がお客様をS!ともだち状況メンバーリストに登録するときなどに受信します。

S!ともだち状況通知の種類は次のとおりです。

種　類	内　容
登録要求通知	相手がお客様をS!ともだち状況メンバーリストに登録したときに受信します。
登録許可通知	S!ともだち状況メンバーリストへの登録が相手に許可されたときに受信します。
登録不可通知	S!ともだち状況メンバーリストへの登録が相手に拒否されたときや、相手が2時間以内に応答を返さなかったときに受信します。
登録解除通知	相手がS!ともだち状況メンバーリストの登録を解除したときに受信します。
オフライン通知	ネットワーク障害などで、S!ともだち状況が利用できなくなったときに受信します。

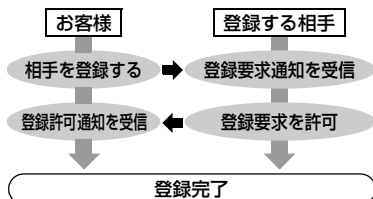
S!ともだち状況メンバーリストに登録する

お客様のS!ともだち状況の情報を知らせたり、S!ともだち状況の情報を知りたい相手を、S!ともだち状況メンバーリストに登録します。

- S!ともだち状況メンバーは、最大30件まで登録できます。

登録の流れ

お客様		登録する相手
相手を登録する	➡	登録要求通知を受信
登録許可通知を受信	⬅	登録要求を許可

登録完了

- 登録が完了すると、お客様のS!ともだち状況情報（わたしの状況）が登録相手に送信され、お互いの情報を確認できるようになります。

注意

- **わたしの状況のネットワーク接続状況（➲P.10-13）が「オフライン」のときには、S!ともだち状況メンバーリストに登録できません。登録するときには、ネットワーク接続状況を「オンライン」にしてください。**

電話帳または電話番号から登録する

1 ■→「コミュニケーション」→「S!ともだち状況」

- メンバー未登録のときは「はい」を選択します。

2 メンバーの登録操作

■ **電話帳から登録するとき**

Y!→「メンバー追加登録」→「電話帳から登録」→電話帳を検索し、選択（➲P.2-22）→電話番号を選択

■ 電話番号を入力して登録するとき

Y!→「メンバー追加登録」→「新規登録」→■（選択）→電話番号を入力→✉（保存）

3 登録要求の送信確認メッセージが表示されたら「はい」

- 登録要求が相手に許可され、登録許可通知を受信すると登録完了です。
- 登録許可通知を受信するまで、登録する相手のS!ともだち状況情報は、応答ステータスは「待機中」、状態は「不明」と表示されます。

- 登録するときに、お買い上げ時のわたしの状況情報を相手に送信したくない場合は、先にわたしの状況を変更してから登録してください。

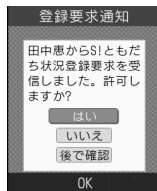
注意

- S!ともだち状況メンバーリストにS!ともだち状況メンバーを30件登録しているときは、追加登録できません。追加登録を行いたいときは、登録しているS!ともだち状況メンバーを削除してください。
- S! ともだち状況に対応していない機種を登録したときは、登録不可通知が返信されます。

受信した登録要求通知から登録する

受信した登録要求通知を利用して、登録要求通知を送信してきた相手をS!ともだち状況メンバーリストに登録します。

- 登録要求通知を受信すると、送信してきた相手の情報と、相手をS!ともだち状況メンバーリストに登録するかどうかの確認メッセージが表示されます。次の操作を行うと、相手をS!ともだち状況メンバーリストに登録できます。

1 （表示）

2 登録要求通知が表示されたら「はい」

- 登録許可通知が返信され、相手が S!ともだち状況メンバーリストに登録されます。
- 登録しないときは「いいえ」を選択します。登録不可通知が返信されます（相手はS!ともだち状況メンバーリストに登録されません）。
- あとで確認するときは「後で確認」を選択します。

- 次の状態のときに登録要求通知を受信すると、登録不可通知が自動的に送信されます。
  - 2時間以上応答できないとき
  - S!ともだち状況メンバーを30件登録しているとき

注意

- 「いいえ」を選択し、登録不可通知を送信すると、送信後24時間は、送信した相手をS!ともだち状況メンバーリストに登録できません。
- 相手が24時間以上登録不可通知を受信できなかったときは、再度同じ相手から登録要求通知が送信されます。

わたしの状況を設定する

お客様のS!ともだち状況の情報（わたしの状況）を設定できます。

わたしの状況詳細画面を表示する

 （1秒以上）

わたしの状況詳細画面

❶ 待受ウィンドウ設定状況
待受ウィンドウのわたしの状況のアイコン登録状況が表示されます。

❷ ネットワーク接続状況（➔P.10-13）

❸ 画像
オーナー情報に登録している画像が表示されます。

❹ 状態アイコン、状態ラベル
絵文字（状態アイコン）と短い文章（状態ラベル）を変更できます。状態アイコンと状態ラベルの組み合わせや内容は、状態設定で変更することもできます（➔P.10-14）。

❺ 応答ステータス一括変更
電話やメール、S!一斉トークの応答ステータスをまとめて変更できます。

❻ 応答ステータス
電話やメール、S!一斉トークの応答ステータスを個別に変更できます。

❼ コメント
最大15文字までの短いメッセージを編集することができます。

わたしの状況の情報を変更する

1 わたしの状況詳細画面を表示→ネットワーク接続状況以外の項目を選択→変更する項目を選択→設定内容を選択→✉（更新）

- 変更したわたしの状況が、登録しているS!ともだち状況メンバーに送信されます。

変更できる項目と設定内容は次のとおりです。

項　目		設定内容
状態		状態アイコンと状態ラベルの16の組み合わせ
一括設定		
	すべてOK	電話：応答OK メール：返信OK S!一斉トーク：参加OK
	メールのみOK	電話：応答NG メール：返信OK S!一斉トーク：参加NG
	すべてNG	電話：応答NG メール：後で確認 S!一斉トーク：参加NG
	ユーザー設定	ー[1]
電話		応答OK、急用のみ、応答NG
メール		返信OK、後で確認
S!一斉トーク		参加OK、自動参加[2]、参加NG[3]
コメント		最大15文字

1 「応答状況一括設定」で組み合わせを変更できます（➔P.10-14）。

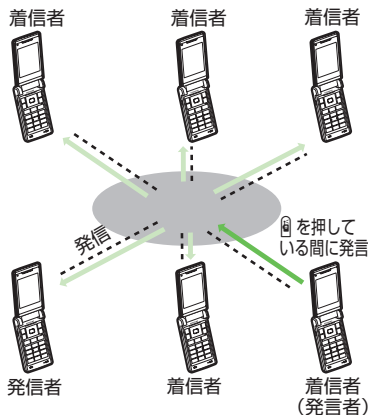
2 S!一斉トーク着信時、自動的にS!一斉トークを開始します。
3 S! 一斉トーク着信時、自動的に着信を拒否します。

使いこなしチェック！

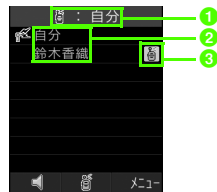
便利 ☞P.10-13
- S!ともだち状況メンバーを登録したい
- S!ともだち状況メンバーを待受ウィンドウに登録したい
- S!ともだち状況通知リストを確認したい
- S!ともだち状況メンバーに電話／TVコール／メールを送信したい
- S!一斉トークを発信したい
- S!ともだち状況メンバーを電話帳に登録したい
- S!ともだち状況メンバーの電話帳を編集したい
- S!ともだち状況グループ名を編集したい
- S!ともだち状況メンバーのグループを変更したい
- S!ともだち状況メンバーの登録を解除したい

S!一斉トークを利用する

S!一斉トークは、簡単な操作で複数の人（お客様も含めて最大11人）と通話できるサービスです。
グループ内での連絡や、短い用件を伝えるときなどに便利にご利用いただけます。

- S!一斉トーク中は、発言権を得たときに を押している間だけ発言できます。このとき、発言者以外のメンバーは聞くだけになります（発言できるのは常に1人です）。
- S!一斉トークの利用には、S!ともだち状況のお申し込みが必要です。
- S!一斉トーク中は、通信料がかかります。

注意

- **ご利用前に「IPサービス設定」（➲P.13-27）を「On」に設定してください。また、わたしの状況のネットワーク接続状況（➲P.10-13）を「オンライン」にしてください。「オフライン」のときには、S!一斉トークは利用できません。**
- **音声／TVコール通話中、または他のS!一斉トーク中は、S!一斉トークを発信できません。**
- **S! 一斉トークの対応機種どうしだけでご利用いただけます。**

S!一斉トーク画面の見かた

1 発信状況／発言状況欄
2 S!一斉トーク参加メンバーの名前
電話帳に登録している名前が表示されます。また電話帳に登録していないときは、電話番号が表示されます。
3 S!一斉トーク参加メンバー接続状況

S!一斉トークを発信する

S!一斉トークを初めて利用するときは、S!一斉トークメンバーリストの登録確認メッセージが表示されます。メンバーやグループを登録し、S!一斉トークメンバーリストを作成すると、S!一斉トークを簡単に利用できます。

1

S!一斉トーク メンバーリスト画面

- S!一斉トークメンバーリストへの登録の確認メッセージが表示されたときは、必要に応じて「今すぐ登録」／「後で登録」を選択します。「今すぐ登録」を選択するとすぐにメンバー登録を行えます（➲P.10-9）。

2 **S!一斉トークメンバーリストからメンバー／グループの選択操作**

■ 1件選択するとき

発信したいメンバー／グループを選択

■ 複数選択するとき

[✉]（複数選択）→発信したいメンバー／グループをチェック→[✉]（発信）

3 **[■]（発信）／[⌒]**

- S!一斉トーク参加メンバーの誰か1人が接続すると、S!一斉トークが開始されます。

4 **[■]（発言）／[S!]を押している間は発言**

- 画面に発言アイコンが表示されているときは発言できます。
- 発言内容は、発言者以外のメンバー全員に伝わります。
- 1回あたり最大30秒間発言できます。発言時間を過ぎると警告音が鳴り、自動的に発言が終了します。
- 発言時間が残り5秒になると、警告メッセージが表示されます。

5 もう一度発言するときは、画面に「キー長押しで話せます」と表示されているときに ■（）／

- 他のメンバーが発言中のときなど、発言できない場合は、相手がお話し中である旨のメッセージが表示され、発言できません。

6 S!一斉トークを終了するときは

- お客様を含めた参加メンバーが残り1人になると、S!一斉トークは終了します。

- S!一斉トーク中に（／）を押すごとに、「スピーカーホン」の「On」／「Off」の設定を変更することができます。

注意

- S!一斉トーク中に音声通話／TVコール着信があると、「着信時優先動作」の設定に従って動作します（➡P.10-16）。
- S!一斉トーク中にアラームの設定時刻になると、通知音と表示でお知らせします。■（OK）を押すと表示が消えます。

S!一斉トーク着信を受ける

1 S!一斉トーク着信中に■（通話）／

- 着信を拒否するときは（拒否）を押します。

2 S!一斉トークを終了するときは

注意

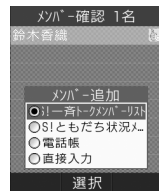
- わたしの状況の応答ステータス（S!一斉トーク）が「自動参加」のときは、自動的にS!一斉トークが開始されます。また、応答ステータス（S!一斉トーク）が「参加 NG」のときは、自動的にS!一斉トークの着信を拒否します。

S!一斉トーク参加メンバーを追加／削除する

S!一斉トーク参加メンバーを追加する

S!一斉トーク発信前、S!一斉トーク参加メンバーを追加できます。

1 →メンバーを追加したいリストを選択→（追加）

コミュニケーションサービス 10

❷ メンバーの追加操作

■ **S!一斉トークメンバーリストから追加するとき**
「S!一斉トークメンバーリスト」→メンバーを選択→[✉]（発信）

■ **S!ともだち状況メンバーリストから追加するとき**
「S!ともだち状況メンバーリスト」→メンバーを選択→[■]（発信）

■ **電話帳から追加するとき**
「電話帳」→追加する電話帳を検索し、選択（➔P.2-22）→電話番号を選択→[■]（発信）

■ **電話番号を入力して追加するとき**
「直接入力」→電話番号を入力→[■]（発信）

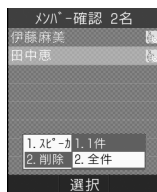
- 複数のメンバーやグループを追加するときは、操作❶～❷を繰り返します。

S!一斉トーク参加メンバーを削除する

S!一斉トーク発信前に、S!一斉トーク参加メンバーを発信するリストから削除できます。

- S! 一斉トーク中は S! 一斉トーク参加メンバーを削除できません。

❶ **→削除したいリストを選択**

❷ **削除したい参加メンバーを反転表示→[Y!]→「削除」**

❸ メンバーの削除操作

■ **1件削除するとき**
「1件」→「はい」

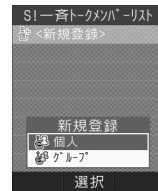
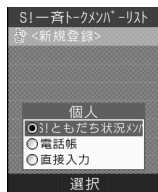
■ **すべて削除するとき**
「全件」→「はい」

S!一斉トークメンバーリストを作成する

S!ともだち状況メンバーリストや電話帳から、S!一斉トークメンバーリストに電話番号を登録しておくと、S!一斉トークを簡単に利用できます。

- S!一斉トークメンバーリストには、個人とグループが登録できます。同じ複数の相手によくS!一斉トーク発信するときは、グループに登録すると便利です。
- S!一斉トークメンバーリストには、メンバーとグループ合わせて最大30件まで登録できます。また、1つのグループには、最大10件までメンバーを登録することができます。

個人をメンバーリストに登録する

❶ **→「<新規登録>」**

2 「個人」

3 メンバーの登録操作

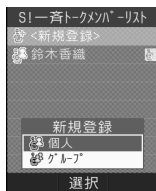
■ **S!ともだち状況メンバーリストから追加するとき**
「S!ともだち状況メンバーリスト」→メンバーを選択

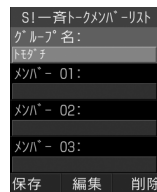
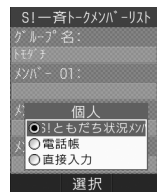
■ **電話帳から追加するとき**
「電話帳」→追加する電話帳を検索し、選択（➲P.2-22）→電話番号を選択

■ **電話番号を入力して追加するとき**
「直接入力」→電話番号を入力

グループをメンバーリストに登録する

ここでは例として、「グループ」を「新規作成」します。

1 🔑→「＜新規登録＞」

2 「グループ」→「新規作成」

3 「グループ名：」→グループ名を入力

4 「メンバー01：」～「メンバー10：」

5 メンバーの登録操作

■ **S!ともだち状況メンバーリストから追加するとき**
「S!ともだち状況メンバーリスト」→メンバーを選択

■ **電話帳から追加するとき**

「電話帳」→追加する電話帳を検索し、選択（➔P.2-22）→電話番号を選択

■ **電話番号を入力して追加するとき**

「直接入力」→電話番号を入力

6 ✉（保存）

- グループ名やグループに登録したメンバーは、登録後に変更することもできます。

使いこなしチェック！

便利☞P.10-16

- S!一斉トーク中のスピーカーホンを設定したい
- S!一斉トークメンバーリストのグループを設定したい
- S!一斉トーク中の着信許可／拒否を設定したい
- S!一斉トークメンバーを削除したい
- S!一斉トーク中に参加メンバーを追加したい
- 直前に退出したS!一斉トークに再参加したい

ちかチャットを利用する

- 本アプリには、18歳未満のお子様による本アプリの利用を保護者の方が制限することができる「利用制限機能」を搭載しております。「操作用暗証番号」を用いて「S!アプリ設定リセット」（➔P.13-12）を行うと、利用制限機能で設定している暗証番号もリセットされ、利用制限機能が解除されますので、「操作用暗証番号」の管理はくれぐれもご注意ください。
- 利用制限機能について詳しくは、S!アプリ「ちかチャット」の「使い方」を参照してください。
- 本アプリは、Bluetooth®の特性上、意図しない相手から接続を要求されることがありますが、拒否することもできます。

ちかチャットについて

近く（半径10m程度の範囲）にあるちかチャット対応端末どうしで、リアルタイムに文字メッセージをやりとりできます。

- ちかチャットはBluetooth®を利用します。このため、通信料はかかりません。
- ちかチャットの利用には、ちかチャット専用S!アプリが必要です。820SCには、あらかじめS!アプリ「ちかチャット」が登録されています。

注意

- **通信可能範囲は、周囲の環境により変動することがあります。**
- **あらかじめ登録されているS!アプリ「ちかチャット」は削除できません。**

ちかチャットを利用する

ちかチャットの準備をする

ちかチャットを利用するには、あらかじめ次の各機能を有効にしておく必要があります。

- Bluetooth On/Off設定
- マイデバイス設定の公開設定
- S!アプリ要求

- ちかチャットを起動すると、Bluetooth®の「Bluetooth On/Off設定」は「On」になります。ちかチャットを終了しても、設定は「On」のままです。

注意

- **Bluetooth®の「Bluetooth On/Off設定」を「Off」にすると、S!アプリ「ちかチャット」は利用できません。**

- Bluetooth®の「Bluetooth On/Off設定」を「On」、「公開設定」を「公開する」にすると、周りのBluetooth®対応機器に820SCのデバイス名称を公開します。他の機器から接続要求されることがありますので、ご注意ください。
- Bluetooth®デバイスの「公開設定」を「非公開にする」、および「S!アプリ要求」を「Off」にすると、相手からの開始要求でちかチャットを開始することはできません。

S!アプリの起動を設定する

1. ■→「設定」→「外部接続」→「Bluetooth」→「S!アプリ要求」

2. 「On」／「Off」

820SCの操作でちかチャットを開始する

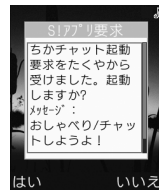
1. ■→「コミュニケーション」→「ちかチャット」→✉（はい）

- Bluetooth®の「Bluetooth On/Off設定」が「Off」のときは✉（はい）を押します。

2. S!アプリの操作でちかチャット開始
3. ちかチャットを終了するときは、S!アプリを終了させる（➔P.8-11）

相手からの開始要求でちかチャットを開始する

ちかチャットの操作方法について詳しくは、S!アプリ「ちかチャット」の「使い方」を参照してください。

1. ちかチャット起動要求が表示されたら✉（はい）

2. 確認メッセージが表示されたら✉（はい）
3. ちかチャットを終了するときは、S!アプリを終了させる（➔P.8-11）

- 開始要求後、約30秒間何も操作しないでおくと、起動要求の通知画面が表示されます。

便利

S!ともだち状況に関する便利な機能

S!ともだち状況の接続を設定したい

わたしの状況詳細画面を表示→ネットワーク接続状況欄を選択→「オンライン」／「オフライン」

- 「オフライン」に設定すると、わたしの状況のほかの項目の編集や更新、S!一斉トークは利用できません。

S!ともだち状況メンバーを登録したい [メンバー追加登録]

S!ともだち状況メンバーリスト画面で[Y!]→「メンバー追加登録」

■ **電話帳から選択するとき**

「電話帳から登録」→電話帳を検索し、選択(➔P.2-22)→電話番号を選択→「はい」

■ **電話番号を直接入力するとき**

「新規登録」→[■]（選択）→電話番号を入力→[✉]（保存）→「はい」

わたしの状況を待受ウィンドウに表示するかどうかを設定したい

S!ともだち状況メンバーリスト画面で、わたしの状況を反転表示→[Y!]→「待受ウィンドウ設定」→「はい」／「いいえ」

- 待受ウィンドウに表示する場合は「はい」、非表示にする場合は「いいえ」を選択します。
- わたしの状況詳細画面で[Y!]を押し、「待受ウィンドウ設定」を選択しても同じ操作を行うことができます。

S!ともだち状況メンバーを待受ウィンドウに登録したい [待受ウィンドウ設定]

S!ともだち状況メンバーリスト画面で[Y!]→「待受ウィンドウ設定」→「はい」→S!ともだち状況メンバーを登録したい場所を選択

- メンバー状況詳細画面で[Y!]を押し、「待受ウィンドウ設定」を選択しても同じ操作を行うことができます。

S!ともだち状況メンバーを待受ウィンドウから登録解除したい

S!ともだち状況メンバーリスト画面で[Y!]→「待受ウィンドウ設定」→「はい」

■ **1件登録解除するとき**

登録解除したいメンバーを反転表示→[Y!]→「削除」

■ **すべて登録解除するとき**

[Y!]→「全削除」

- メンバー状況詳細画面で[Y!]を押し、「待受ウィンドウ設定」を選択しても同じ操作を行うことができます。

S!ともだち状況通知リストを確認したい [S!ともだち状況通知リスト]

S!ともだち状況メンバーリスト画面で[Y!]→「S!ともだち状況通知リスト」→確認したい通知リストを選択

- S!ともだち状況通知の詳細を確認するときは、[■]（表示）を押します。
- 登録要求通知も選択できます（➔P.10-4）。

S!ともだち状況通知リストを削除したい

S!ともだち状況メンバーリスト画面で[Y!]→「S!ともだち状況通知リスト」→削除したい通知リストをチェック→[✉]（削除）

S!ともだち状況メンバーに電話／TVコール／メールを送信したい [音声発信] ／ [TVコール発信] ／ [メール作成]

■ **電話をかけるとき**
S!ともだち状況メンバーリスト画面で電話をかけたいメンバーを反転表示→Y!→「音声発信」／「TVコール発信」

■ **メールを送信するとき**
S!ともだち状況メンバーリスト画面でメールを送りたいメンバーを反転表示→Y!→「メール作成」→「S!メール」／「SMS」（➲P.4-3 S!メールを送信する、➲P.4-8 SMSを送信する）

S!一斉トークを発信したい [S!一斉トーク発信]

S!ともだち状況メンバーリスト画面でY!→「S!一斉トーク発信」→「個人」／「グループ」→（➲P.10-7 S!一斉トークを発信する❷）

S!ともだち状況メンバーを電話帳に登録したい [電話帳登録]

S!ともだち状況メンバーリスト画面で、S!ともだち状況メンバーを反転表示→Y!→「電話帳登録」→（➲P.2-46 電話番号を入力してから登録したい）

- S!ともだち状況メンバー状況画面でY!を押し、「電話帳登録」を選択しても同じ操作を行うことができます。

S!ともだち状況メンバーの電話帳を編集したい [電話帳編集]

S!ともだち状況メンバーリスト画面で、S!ともだち状況メンバーを反転表示→Y!→「電話帳編集」→電話帳の編集操作（➲P.2-19）

- S!ともだち状況メンバー状況画面でY!を押し、「電話帳編集」を選択しても同じ操作を行うことができます。

登録要求時の登録の動作を設定したい [メンバー登録応答]

S!ともだち状況メンバーリスト画面でY!→「S!ともだち状況設定」→「メンバー登録応答」→「常に確認」／「電話帳未登録のみ無視」／「常に無視」

- 「常に無視」を選択したときは、登録要求受信時には必ず登録不可通知を返信します。

応答ステータスの組み合わせを設定したい [応答状況一括設定]

S!ともだち状況メンバーリスト画面でY!→「S!ともだち状況設定」→「応答状況一括設定」→「ユーザー設定」→応答ステータスを選択→応答ステータスアイコンを選択→✉（保存）

状態アイコンや状態ラベルを変更したい [状態設定]

S!ともだち状況メンバーリスト画面でY!→「S!ともだち状況設定」→「状態設定」→変更したいアイコンを選択→「S!ともだち状況アイコン」→アイコンを選択→「S!ともだち状況ラベル」→文字を入力→✉（保存）→「はい」

- 状態アイコンで選択できるアイコンは、絵文字と同じです。
- 状態ラベルは最大4文字まで入力できます。

リスト更新をしたい [リスト更新]

S!ともだち状況メンバーリスト画面でY!→「S!ともだち状況設定」→「リスト更新」

- 基本的にS!ともだち状況の情報は自動で更新されます。

S!ともだち状況グループ名を編集したい [グループ名変更]

S!ともだち状況メンバーリスト画面で、◆でグループ名を変更したいグループに切り替え→Y!→「グループ名変更」→グループ名を入力

S!ともだち状況メンバーのグループを変更したい　［グループ移動］

■ **S!ともだち状況メンバーリスト画面で移動するとき**

S!ともだち状況メンバーリスト画面で、[左右キー]でグループを切り替え→グループを移動したいS!ともだち状況メンバーを反転表示→[Y!]→「グループ移動」→移動先のグループを選択

■ **S!ともだち状況メンバー状況画面で移動するとき**

S!ともだち状況メンバー状況画面で、グループを変更したいS!ともだち状況メンバーを選択→[決定キー]で「グループ」欄を選択→移動先のグループを選択

S!ともだち状況メンバーの登録を解除したい　［登録解除］

S!ともだち状況メンバーリスト画面で、登録解除したいS!ともだち状況メンバーを反転表示→[Y!]→「登録解除」→「はい」

- 解除してから24時間は、解除した相手をS!ともだち状況メンバーリストに登録できません。
- 相手が24時間以上登録解除通知を受信できなかったときは、相手から登録要求通知が送信されます。
- S!ともだち状況メンバー状況画面で[Y!]を押し、「登録解除」を選択しても同じ操作を行うことができます。

S!ともだち状況メンバーの名前を編集したい

S!ともだち状況メンバーリスト画面で、名前を編集したいS!ともだち状況メンバーを選択→[決定キー]で名前欄を選択→名前／姓欄を選択→名字を編集→名前／名欄を選択→名前を編集→[メール]（OK）→[メール]（保存）→[メール]（保存）

- 電話帳の氏名も変更されます。

S!ともだち状況メンバーの画像を設定したい

S!ともだち状況メンバーリスト画面で、着信画像を変更したいS!ともだち状況メンバーを選択→[決定キー]で画像アイコンを選択

■ **保存された静止画を設定するとき**

「ピクチャー」→ファイルを選択→[メール]（保存）→[メール]（保存）

- メモリカードを取り付けているときは、「ピクチャー」を選択したあとに「ピクチャー」フォルダと「デジタルカメラ」フォルダからファイルを選択できます。

■ **静止画を撮影して設定するとき**

「カメラ起動」→静止画を撮影（➔P.7-6 静止画を撮影する❷～❹）→[メール]（保存）→[メール]（保存）

■ **設定した着信画像を取り消すとき**

「Off」→[メール]（保存）→[メール]（保存）

- 電話帳の着信画像も変更されます。

S!ともだち状況メンバーに電話／メール／S!一斉トークをしたい

S!ともだち状況メンバーリスト画面で、S!ともだち状況メンバーを選択

■ **電話をかけるとき**

応答ステータスの電話欄を選択→「音声通話」／「TVコール発信」

■ **メールを送信するとき**

応答ステータスのメール欄を選択→「S!メール」／「SMS」（➔P.4-3 S!メールを送信する❺、P.4-8 SMSを送信する❺）

■ **S!一斉トークを発信するとき**

応答ステータスのS!一斉トーク欄を選択→[■]（発信）（➔P.10-6 S!一斉トークを利用する）

- S!ともだち状況メンバーの応答ステータス欄に[アイコン]が表示されているときは、発信できません。

コミュニケーションサービス

10

便利

S!一斉トークに関する便利な機能

S!ともだち状況や電話帳のグループからメンバーリストを登録したい

→「<新規登録>」→「グループ」→「S!ともだち状況グループ」/「電話帳グループ」→登録したいグループを選択

S!一斉トーク中のスピーカーホンを設定したい [スピーカーホン]

S!一斉トークメンバーリスト画面で→「スピーカーホン」→「Off」/「On」

- S!一斉トーク中に（/）を押しても設定することができます。

S!一斉トークメンバーリストのグループを設定したい [グループ設定]

S!一斉トークメンバーリスト画面で、グループを反転表示→→「グループ設定」（➔P.10-10 グループをメンバーリストに登録する❸）

S!一斉トーク中の着信許可/拒否を設定したい [着信時優先動作]

S!一斉トークメンバーリスト画面で→「着信時優先動作」→「音声通話」/「TVコール」→「拒否」/「通話」

- 「通話」を設定している場合にS!一斉トーク中に着信があったときは、S!一斉トークは自動的に終了します。

S!一斉トークメンバーを削除したい [削除]

■ **1件削除するとき**

S!一斉トークメンバーリスト画面で削除したいメンバーを反転表示→→「削除」→「1件」→「はい」

■ **すべて削除するとき**

S!一斉トークメンバーリスト画面で→「削除」→「全件」→操作用暗証番号を入力→■（OK）→「はい」

S!一斉トーク中に参加メンバーを追加したい [メンバー追加]

S!一斉トーク中に→「メンバー追加」→（➔P.10-8 S!一斉トーク参加メンバーを追加する❷）

電話番号を入力してS!一斉トークを発信したい

電話番号を入力→→（➔P.10-7 S!一斉トークを発信する❸）

直前に退出したS!一斉トークに再参加したい [S!一斉トーク再参加]

（着信履歴）/（発信履歴）→再参加したい履歴を反転表示→→「S!一斉トーク再参加」

セキュリティ

操作用暗証番号を変更する

お買い上げ時は、「9999」に設定されています。

1. ■→「設定」→「セキュリティ設定」→「暗証番号変更」

2. 現在の操作用暗証番号を入力→■（OK）

3. 新しい操作用暗証番号（4桁）を入力→■（OK）

4. もう一度新しい操作用暗証番号を入力→■（OK）

使いこなしチェック！

設定

● 操作用暗証番号を変更する（☞P.13-27）

PINコードを設定する

PINコードはUSIMカードの暗証番号です。詳しくは「USIMカードのお取り扱い」（➔P.14-5）を参照してください。

PIN認証

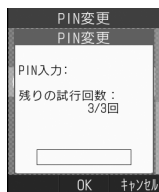
電源を入れるたびにPINコードによる認証をするようにしたい場合は、「On」に設定してください。

1. ■→「設定」→「セキュリティ設定」→「PIN認証」

❷ 「On」／「Off」

❸ PINコードを入力→■(OK)

PINコード／PIN2コードを変更する

❶ ■→「設定」→「セキュリティ設定」→「PIN変更」／「PIN2変更」

- 「PIN認証」（➲P.11-2）が「Off」に設定されていると、PINコードは変更できません。

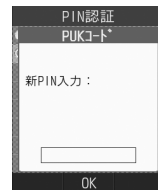
❷ 現在の PIN コード／ PIN2 コードを入力→■（OK）

❸ 新しい PIN コード／ PIN2 コード（4～8桁）を入力→■（OK）

❹ もう一度新しいPINコード／PIN2コード（4～8桁）を入力→■（OK）

PINロックを解除する

PINコードまたはPIN2コードの入力を3回続けて間違えると、PINロックまたはPIN2ロックが設定され、820SCの使用が制限されます。PINロックまたはPIN2ロックを解除するときは、次の操作を行います。

❶ PINロック解除コード(PUKコード)の入力画面が表示されている状態でPUKコードを入力→■（OK）

2 新しい PIN コード／ PIN2 コード（4～8桁）を入力→ ■ （OK）

3 もう一度新しいPINコード／PIN2コード（4～8桁）を入力→ ■ （OK）

注意

- PIN ロック解除コードまたは PIN2 ロック解除コード（PUK/PUK2コード）については、お問い合わせ先（➲P.14-31）までご連絡ください。
- PINロック解除コードを10回続けて間違えると、USIMカードがロックされます（途中で電源を切っても連続として数えます）。
- USIMカードがロックされた場合、ロックを解除する方法はありません。お問い合わせ先（➲P.14-31）までご連絡ください。

使いこなしチェック！

設定

- PIN認証を設定する（☞P.13-27）
- PINコードを変更する（☞P.13-27）
- PIN2コードを変更する（☞P.13-27）

USIM照合を設定する

お客様の820SCに他のUSIMカードが取り付けられたとき、USIMパスワードを入力しないと使用できないように設定できます。

1 ■→「設定」→「セキュリティ設定」→「USIM照合」

2 「On」／「Off」

セキュリティ 11

❸ USIMパスワード（4～8桁の任意の番号）を入力→■（OK）

- 「On」に設定する場合は、もう一度USIMパスワード（4～8桁の任意の番号）を入力し、■（OK）を押します。

- USIMパスワードとは、USIMカードの認証に使用する専用のパスワードです。USIMパスワードが一致すれば、他のUSIMカードでも820SCを使用できます。
  USIMパスワードは、「USIM照合」を「On」に設定するたびに変更できます。
- USIMパスワードを忘れたときは、「USIM照合」を「On」に設定したUSIMカードを820SCに取り付けて、オールリセット（➔P.11-14）を行ってください。

使いこなしチェック！

設定

● USIM照合を設定する（☞P.13-26）

ケータイの操作を禁止／制限する

電源On時ロック

「On」に設定すると、電源を入れるごとに操作用暗証番号の入力が必要になります。

❶ ■→「設定」→「セキュリティ設定」→「電源On時ロック」

❷ 「On」／「Off」

❸ 操作用暗証番号を入力→■（OK）

キー操作ロック

「On」に設定すると、待受画面でいずれかのボタンを押したときに操作用暗証番号の入力画面が表示されます。操作用暗証番号を入力するとキー操作ロックが解除されて820SCを操作できます。

❶ ■→「設定」→「セキュリティ設定」→「キー操作ロック」

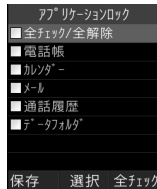
2 「On」／「Off」

3 操作用暗証番号を入力→■（OK）

- 設定後に操作用暗証番号の入力画面が表示されてキー操作ロックを解除すると、「キー操作ロック」の設定は自動的に「Off」になります。

アプリケーションロック

アプリケーションロックを設定すると、電話帳、カレンダー、メール、通話履歴、データフォルダの各機能を呼び出すごとに操作用暗証番号の入力が必要になります。

1 ■→「設定」→「セキュリティ設定」→「アプリケーションロック」

2 ロックする機能をチェック→✉（保存）

3 操作用暗証番号を入力→■（OK）

シークレットモード

「表示しない」に設定すると、電話帳の一覧画面やメールのフォルダ、カレンダーのスケジュール、予定リストを表示したときに、各機能でシークレットを設定している登録内容が表示されなくなります。

1 ■→「設定」→「セキュリティ設定」→「シークレットモード」

2 操作用暗証番号を入力→■（OK）

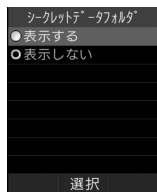
3 「表示する」／「表示しない」

- 「シークレットモード」を「表示する」に設定しても、820SCの電源を入れ直すと「表示しない」に設定されます。

シークレットデータフォルダ

「表示しない」に設定すると、データフォルダを表示したときに、シークレットモードを設定したフォルダが表示されなくなります。

1 ■ →「設定」→「セキュリティ設定」→「シークレットデータフォルダ」

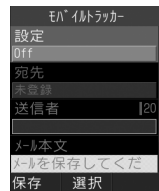
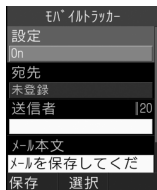
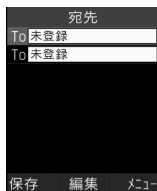
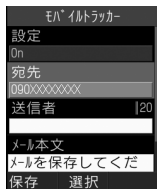
2 操作用暗証番号を入力→■（OK）

3 「表示する」／「表示しない」

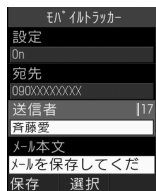
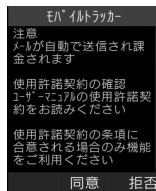
- 「シークレットデータフォルダ」を「表示する」に設定しても、820SCの電源を入れ直すと「表示しない」に設定されます。

モバイルトラッカー

「On」に設定すると、設定したときと異なるUSIMカードが取り付けられたとき、指定した宛先にSMSを送信してお知らせします。宛先は2件まで指定できます。

1 ■→「設定」→「セキュリティ設定」→「モバイルトラッカー」

2 操作用暗証番号を入力→■（OK）

❸ 設定欄を選択→「On」

❹ 宛先欄を選択

❺ To 欄を選択→宛先を入力→ ✉（保存）

- 電話帳から宛先を登録する場合は、To欄を反転表示→Y!→「電話帳」→電話帳を検索し、選択（➲P.2-22）→電話番号を選択します。

❻ 送信者欄を選択→送信者名を入力

❼ ✉（保存）→表示内容を確認

❽ ■（同意）

- 表示内容の承諾を拒否するときは、Y!（拒否）を押します。

- 異なるUSIMカードが取り付けられると、起動中に指定した宛先にSMSが送信されます。USIMカードを差し替えた相手には気づかれません。モバイルトラッカーを設定するときに、操作用暗証番号を3回続けて間違えた場合もSMSが送信されます。
- 宛先を削除するときは、操作❺でY!を押して「削除」を選択します。

使いこなしチェック！

設定

- 電源On時ロックを設定する（☞P.13-26）
- キー操作ロックを設定する（☞P.13-26）
- アプリケーションロックを設定する（☞P.13-26）
- シークレットモードを設定する（☞P.13-26）
- モバイルトラッカーを設定する（☞P.13-27）

顔認証について

820SCの電源を入れたときに、あらかじめ登録しておいたお客様の顔画像との照合を行い、認証に成功しないと820SCを使用できないようにします。

- 一部の機能の利用中などは、すぐに顔認証が行われないことがあります。このときは、利用中の機能を終了すると顔認証が行われます。
- 顔認証は、あらかじめ登録した顔画像と認証時のお客様の画像を照合し、認証を行います。顔画像の撮影時や認証時には、次のことにご注意ください。
  - 目、口、鼻、眉などの顔の特徴がはっきりと見えるようにしてください。目などに髪がかかっていたり、レンズに色の付いているメガネやマスク、帽子などの装着物があるときは、正しく登録／認証できないことがあります。
  - 顔が均一に明るく見える場所で操作してください。暗い場所や逆光の場合や、強い光が当たる場所では正しく登録／認証できない場合があります。

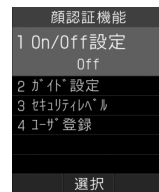
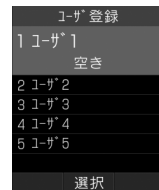
注意

- **顔認証は完全に本人認証を保証するものではありません。当社では本製品を第三者に使用されたこと、または顔認証の誤動作により使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関しても、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。**
- **顔認証の設定操作や誤認証時の解除方法などには、操作用暗証番号を使用します。よりセキュリティを向上させるため、操作用暗証番号も合わせて変更することをおすすめします（➲P.11-2）。**

顔認証機能を利用する

ユーザ登録を行う

お客様の顔画像や名前、顔認証に失敗したときに本人確認を行うための質問と答えを登録します。
ユーザ数は5件まで登録できます。1件のユーザには5つの顔画像を登録できます。顔認証を行う場所（自宅／会社／自動車内／駅など）や状態（顔の方向／メガネなどの装着物の有無／明るさなど）を変えて複数の顔を登録することをおすすめします。

1 ■→「設定」→「セキュリティ設定」→「顔認証機能」

2 「ユーザ登録」

3 「ユーザ1」〜「ユーザ5」のいずれかを選択

4 「顔画像」

5 「画像1」～「画像5」のいずれかを選択→[メール]（キャプチャ）

6 顔を画面に表示→[■]（キャプチャ）→[■]（保存）→[■]（OK）

- 「顔認証機能」の「On/Off設定」が「Off」に設定されている場合は、顔画像保存後に「On」にするかどうかの確認メッセージが表示されます。「On」にするときは、「はい」を選択します。

7 [CLEAR/メモ]→「ユーザ名」→ユーザ名を入力

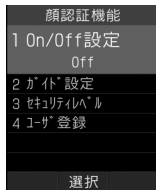
8 「質問」→質問を入力

9 「答え」→答えを入力

- 顔画像の撮影には若干時間がかかります。そのままでお待ちください。
- 登録できないときはメッセージが表示されます。撮影条件を変えるなどしてやり直してください。
- 本人認証のための質問と答えを登録しなかったときは、操作用暗証番号を入力して認証を行います。
- 複数の顔画像を登録すると認証率は高くなりますが、セキュリティレベルは低くなります。
- 複数のユーザに、同じ人の顔画像を登録することもできます。画像数が増えれば認証率が高くなる可能性があります。
- 正面を向き、無表情で顔全体が画面に入るようにしてください。顔が小さいと顔認証画像が登録できないことがあります。また、顔を動かさないようにしてください。

顔認証機能を設定／解除する

顔認証機能を設定します。あらかじめユーザ登録を行ってください。

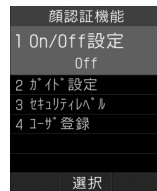
1 **■→「設定」→「セキュリティ設定」→「顔認証機能」**

2 **「On/Off設定」**

3 **「On」／「Off」→操作用暗証番号を入力→■（OK）**

- 「On」に設定すると、820SCの電源を入れたときにお客様の顔画像との照合を行います。認証に成功しないと820SCを使用できません。

認証時の表示を設定する

顔認証時の表示を設定します。「Off」に設定したときは、撮影中の画像は表示されずに認証中のメッセージが表示されます。「プレビュー」に設定したときは、撮影中の画像が表示されます。

1 **■→「設定」→「セキュリティ設定」→「顔認証機能」**

2 「ガイド設定」

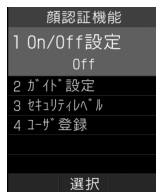
3 「Off」／「プレビュー」

セキュリティレベルを設定する

顔認証機能の認証精度を設定します。

●認証精度の目安は次のとおりです。

設定項目	内　容
高	他人を誤って認証する可能性の低い設定です。ただし、お客様も認証されにくくなる可能性があります。
標準	「高」と「低」の中間の設定です。
低	お客様が最も認証されやすい設定です。ただし、他人を誤って認証する可能性も高くなります。

1 ■→「設定」→「セキュリティ設定」→「顔認証機能」

2 「セキュリティレベル」

3 「高」／「標準」／「低」

顔認証を行う

電源を入れたときに顔認証が行われます。顔が正しく認証されると、820SCを使用できるようになります。

1 顔を画面に向ける

●「ガイド設定」（➲P.11-11）を「プレビュー」に設定しているときは、ディスプレイに撮影中の画像が表示されます。顔が認証されると、認証された顔の位置にフォーカスが移動します。認証結果は「マッチング」（緑色の枠）／「類似」（黄色の枠）／「不明」（赤色の枠）で表示されます。

●顔認証機能では内側カメラの画像が使用されます。カメラが汚れていると誤認証の原因となります。柔らかい布で汚れを拭き取ってからご使用ください。

●一部の機能の利用中などは、すぐに顔認証が行われないことがあります。このときは、利用中の機能を終了すると顔認証が行われます。

顔が正しく認証されないときは

再度顔認証を行うには、✉（認証）を押します。

顔が正しく認証されないときは、判断結果に応じて次の操作を行ってください。

- 顔が似ていると判断される場合
  - 質問とその答えで認証を行います。質問が表示され、■（答え）を押して答えを入力すると認証されます。
  - 質問と答えが設定されていない場合は、操作用暗証番号で認証を行います。操作用暗証番号を入力して■（OK）を押すと認証されます。
- マッチングしている顔が見つからないと判断される場合
  - 操作用暗証番号で認証を行います。■（コード）を押し、操作用暗証番号を入力して■（OK）を押すと認証されます。

使いこなしチェック！

便利 ☞P.11-14

設定

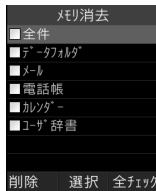
- 顔認証機能を設定する（☞P.13-26）
- 顔認証時の表示を設定する（☞P.13-26）
- 顔認証機能のセキュリティレベルを設定する（☞P.13-26）
- 顔認証機能のユーザ登録をする（☞P.13-26）

お買い上げ時の状態に戻す

メモリ消去

データフォルダ、メール、820SC本体の電話帳、カレンダー、ユーザ辞書の登録内容を消去できます。すべてまとめて消去することもできます。

1 ■→「設定」→「メモリ設定」→「本体」→「メモリ消去」

2 消去したい項目をチェック→✉（削除）

3 操作用暗証番号を入力→■（OK）→「はい」

設定リセット

設定メニューの登録・設定内容、ツールメニューの「アラーム」の登録・設定内容、および「TVリンク」と「録画／視聴予約」を除く「TV」の登録・設定内容がお買い上げ時の状態に戻ります。

ただし、次の内容はリセットされません。

設定メニュー	リセットされない内容
通話設定	「着信拒否」→「電話番号指定」→「拒否リスト編集」の登録内容 「通話サービス」→「留守番・転送電話」→「転送電話設定」の登録・設定内容 「通話サービス」→「割込通話」の設定内容 「通話サービス」→「発着信規制」の設定内容 「通話サービス」→「留守番・転送電話」→「留守番電話設定」の設定内容
電話帳設定	「オーナー情報」、「グループ設定」の登録・設定内容

設定メニュー	リセットされない内容
セキュリティ設定	「USIM照合」「PIN認証」「PIN変更」「PIN2変更」

1 ■→「設定」→「セキュリティ設定」→「リセット」→「設定リセット」

2 操作用暗証番号を入力→■（OK）→「はい」

オールリセット

820SC本体の電話帳、メール、データフォルダの登録内容および各機能の設定を消去し、お買い上げ時の状態に戻します。ただし、お買い上げ時にあらかじめ保存されているデータフォルダ内のファイルやS!アプリは、消去されません。

1 ■→「設定」→「セキュリティ設定」→「リセット」→「オールリセット」

2 操作用暗証番号を入力→■（OK）→「はい」

使いこなしチェック！

設定

- 電話帳やメールなどを消去する（☞P.13-27）
- 設定をリセットする（☞P.13-27）

便利

顔認証に関する便利な機能

ユーザ情報を編集したい

■→「設定」→「セキュリティ設定」→「顔認証機能」→「ユーザ登録」→編集したいユーザを選択→（➲P.11-9 ユーザ登録を行う4）

ユーザ情報を削除したい

■→「設定」→「セキュリティ設定」→「顔認証機能」→「ユーザ登録」→削除したいユーザを反転表示→Y!（削除）→「はい」

顔画像を確認したい

■→「設定」→「セキュリティ設定」→「顔認証機能」→「ユーザ登録」→ユーザを選択→「顔画像」→確認したい画像を反転表示→■（表示）

- 複数顔画像を登録している場合は◀▶を押すと別の画像を確認できます。

顔画像を削除したい

■→「設定」→「セキュリティ設定」→「顔認証機能」→「ユーザ登録」→ユーザを選択→「顔画像」→削除したい画像を反転表示→Y!（削除）→「はい」

通信／バックアップ

外部接続について

赤外線通信対応機器やBluetooth®対応機器との間でケーブル不要の送受信ができます。820SCとパソコンをUSB ケーブルで接続してデータを送受信したり、プリンタと接続して静止画を印刷したりすることもできます。

データの送受信方法

赤外線通信とBluetooth®の送受信方法は次のとおりです。

送受信方法	説明
個別データ送受信	送信側からデータを1件ずつ、または複数件送信します。 受信側では自動的に該当する機能のデータとして追加します。
一括データ送受信	機能ごとのデータを一括で送受信します。

- 受信したファイルは、それぞれのファイル形式に応じた保存先に保存されます。ただし、ファイルによってはデータフォルダの「その他ファイル」フォルダに保存されます。

赤外線通信を利用する

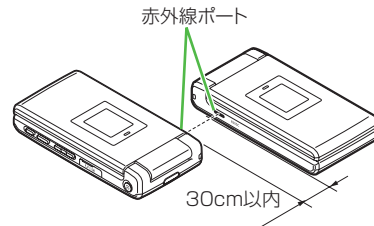
820SCなど赤外線対応の携帯電話や、他の赤外線通信対応機器（パソコンなど）と無線で接続し、データの送受信ができます。

赤外線通信をご利用になる前に

- 820SCの赤外線通信機能は、IrMC1.1に準拠しています。ただし、相手側の機器がIrMC1.1に準拠していても、機能によっては送受信できないデータがあります。
- 通信中やメールの送受信中、インターネットの利用中に赤外線通信は行えません。
- 赤外線通信中は、通話やメッセージの受信などができません。
- 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、これらの影響によって正常に通信できないことがあります。

- 認証コードは、赤外線通信機器どうしが接続するためのパスワード（4桁）です。データの一括送受信では、受信側／送信側とも同じ認証コードを入力する必要があります。

赤外線通信利用時のご注意

- 受信側、送信側のソフトバンク携帯電話（または赤外線通信対応機器）を、30cm以内に近づけます。このとき、両方の赤外線ポートがまっすぐに向き合うようにします。また、間に物を置かないようにしてください。

- データの送受信が終わるまで、お互いの赤外線ポートが向き合ったままの状態にして動かさないでください。
- 赤外線ポートが汚れていると通信しにくくなります。汚れているときは、傷つかないように柔らかい布で拭き取ってください。
- 正常に通信できないときは、再接続の確認メッセージが表示されます。「赤外線通信利用時のご注意」を確認したあと、「はい」を選択して再接続してください。

赤外線通信を利用してデータを送受信する

電話帳、オーナー情報、カレンダー、スケジュール、予定リスト、静止画、動画、音声ファイル、vファイルなどを送受信できます。
また、電話帳、スケジュール、予定リスト、ブックマークを一括で送受信できます。

注意

- **インターネットやメディアプレイヤーの利用中、メールやデータの編集中などは、赤外線通信でのデータ送信は行えません。**
- **受信したデータの内容によっては、820SCに正しく登録できなかったり、一部登録できないことがあります。**

データを送信する

事前に送信先を受信待機の状態にしておきます。

1 データの送信操作

■ データフォルダからデータを送信するとき

一覧画面で[Y!]→「送信」→「赤外線通信」→送信したいデータをチェック→[✉]（送信）

■ カレンダーのスケジュール、予定リスト、ブックマーク、電話帳からデータを送信するとき

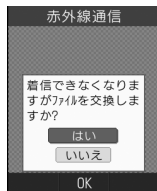
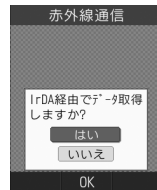
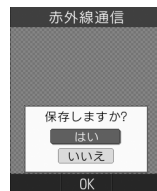
一覧画面で送信したいデータを反転表示→[Y!]→「送信」→「赤外線通信」

- 機能によっては詳細画面や再生画面のメニューからも送信できます。

データを1件ずつ受信する

1 [■]→「設定」→「外部接続」→「赤外線通信」→「赤外線On/Off設定」→「On（3分間）」

- Bluetooth® を「On」に設定しているときは、解除の確認メッセージが表示されます。赤外線通信を起動するには「はい」を選択します。
- データ受信の待機状態になります。

2 相手側機器から3分以内にデータを送信

3 着信ができなくなる旨の確認メッセージが表示されたら「はい」

4 データ受信の確認メッセージが表示されたら「はい」

5 保存の確認メッセージが表示されたら「はい」

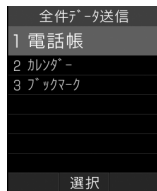
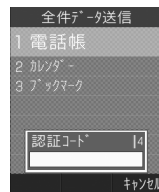
- 絵文字ファイルを受信するときは、保存先を「ピクチャー」／「マイ絵文字」から選択します。
- 受信を中止するときは [Y!]（キャンセル）を押します。
- 受信を強制終了するときは [終話] を押します。

注意

- **データの受信は、待受画面以外からは行えません。また、キー操作ロック設定中や誤動作防止、ソフトウェア更新中にデータ受信は行えません。**

データを一括送信する

1 [■]→「設定」→「外部接続」→「赤外線通信」→「全件データ送信」

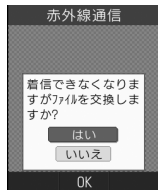
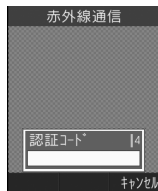
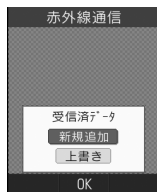
2 操作用暗証番号を入力→[■]（OK）

3 「電話帳」／「カレンダー」／「ブックマーク」

- 電話帳を選択した場合に、画像データを転送するときは、「はい」を選択します。

4 認証コード（4桁）を入力→[■]（OK）

データを一括受信する

1 ■→「設定」→「外部接続」→「赤外線通信」→「赤外線On/Off設定」→「On（3分間）」

●データ受信の待機状態になります。

2 相手側機器から3分以内にデータを送信

3 着信ができなくなる旨の確認メッセージが表示されたら「はい」

4 認証コード（4桁）を入力→■（OK）

●送信側と同じ認証コードを入力してください。

5 登録方法の選択操作

■ 追加登録するとき

「新規追加」

■ すべてのデータを削除して登録するとき

「上書き」→「はい」→操作用暗証番号を入力→■（OK）

●電話帳を受信した場合は、お客様のオーナー情報以外の電話帳は消去されます。オーナー情報が送信されてきたときは、電話番号以外の情報はすべて上書きされます。

●受信を中止するときは Y!（キャンセル）を押します。

●受信を強制終了するときは [終話] を押します。

使いこなしチェック！

設定

● 赤外線通信を設定／解除する（☞P.13-35）

● データを一括送信する（☞P.13-35）

Bluetooth®を利用する

820SCなどBluetooth®対応の携帯電話や、他のBluetooth®対応機器と無線で接続し、データの送受信ができます。ハンズフリー機器と接続すれば、820SCを手もとで操作することなく通話できます。ダイヤルアップ接続機器と接続して、インターネットなどにアクセスすることもできます。

Bluetooth®通信をご利用になる前に

Bluetooth®通信を利用するには、相手機器もBluetooth®対応機器であり、同じプロファイルに対応している必要があります。

820SCのBluetooth®の仕様は次のとおりです。

項　目	仕　様
通信方式	Bluetooth®標準規格 Ver.2.0
対応プロファイル	Headset Profile Hands-Free Profile Serial Port Profile Dialup Networking Profile File Transfer Profile Object Push Profile Advanced Audio Distribute Profile Audio/Video Remote Control Profile Basic Imaging Profile[1] Basic Printing Profile
出力	Bluetooth® Power Class2
見通し通信距離[2]	約10 m以内
使用周波数帯	2.4 GHz
Bluetooth® QD ID	B013533

1　820SCではプリント関連機能のみ対応しています。

2　相手機器との間の障害物や電波状況などによって変化します。

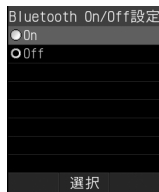
Bluetooth®利用時のご注意

- 820SCはすべてのBluetooth®機器との無線接続を保証するものではありません。
- 相手機器がBluetooth®標準規格に適合していても、相手機器の特性や仕様によっては接続できなかったり、操作方法や表示、動作などが異なったり、データの送受信ができなかったりすることがあります。
- Bluetooth®対応機器が使用する電波帯（2.4GHz）は、いろいろな機器が共有して使用する電波帯です。このため、他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下したり、通信が切断されることがあります。
- ワイヤレス通話やハンズフリー通話をするときに、接続機器や通信環境により、雑音が入ることがあります。
- Bluetooth®対応のステレオヘッドフォンに接続して音楽を聴いている場合は、他の機器に接続することはできません。
- USB機能とBluetooth®機能は同時に利用できません。
- 820SCにUSBケーブルを接続するときは、Bluetooth®機能を「Off」にする必要があります。

Bluetooth®機能を利用してデータを送受信する

電話帳、オーナー情報、カレンダー、スケジュール、予定リスト、静止画、動画、音声ファイル、vファイルなどを送受信できます。また、電話帳、スケジュール、予定リスト、ブックマークを一括で送受信できます。

Bluetooth®機能を設定／解除する

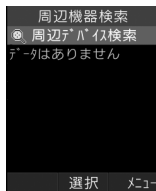
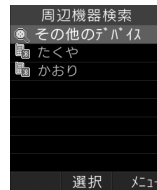
1 ■→「設定」→「外部接続」→「Bluetooth」→「Bluetooth On/Off設定」

2 「On」／「Off」

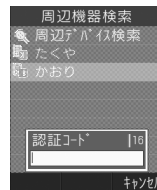
- 赤外線通信を「On（3分間）」に設定しているときは、解除の確認メッセージが表示されます。Bluetooth®を起動するには「はい」を選択します。

- 「On」に設定すると、ディスプレイ最上段に が表示され、Bluetooth®対応機器と接続できるようになります。

Bluetooth®対応機器を検索して登録する

接続したいBluetooth®対応機器を登録済みデバイスリストに登録します。最大10件登録できます。登録時には、820SCと相手機器とで同じ認証コードを入力する必要があります。
あらかじめ、相手機器のBluetooth®機能を有効にしてから操作してください。

1 ■→「設定」→「外部接続」→「Bluetooth」→「周辺機器検索」

2 「周辺デバイス検索」

- Bluetooth®機能が「Off」のときは「はい」を選択します。

3 検索に応答した機器が表示されたら、登録する機器を選択

❹ **認証コード（4～16桁）を入力→■（OK）**

❺ **相手機器側で30秒以内に同じ認証コードを入力**

- 認証コードは、Bluetooth®対応機器どうしが接続するためのパスワード（4～16桁）です。相手がハンズフリー機器などの場合は、ハンズフリー機器側で決められている認証コードを入力します。一度登録した機器は次回からは認証コードの入力が不要になります。
- 相手機器との認証が正常に行われなかったときは、もう一度認証を行うかどうかの確認メッセージが表示されます。行うときは「はい」を選択して操作❹からやり直してください。

- 登録済みデバイスがすでに10件登録されているときは、一番古いデバイスが削除され、新たに登録できます。すべてが認証済みの場合は、登録済みのデバイスがいっぱいである旨のメッセージが表示されます。
- 登録済みデバイスリストに表示されるアイコン
  - ：パソコン
  - ：携帯電話
  - ：PDA
  - ：プリンタ
  - ：その他
  - ：ハンズフリー機器／ヘッドセット
- 他のBluetooth®対応機器から接続要求がある旨の確認メッセージが表示されたときは、「はい」を選択し、30秒以内に相手側と同じ認証コードを入力します。すでに登録済みのハンズフリー機器などから接続要求があったときは、「はい」を選択すると認証コードの入力操作なしで接続できます。

接続したデバイスのデータを参照する

相手デバイスの共有フォルダや共有ファイルを参照できます。参照している側からの操作で、データやフォルダを受信したり、削除したりすることもできます。

❶ **■→「設定」→「外部接続」→「Bluetooth」→「登録済みデバイス」**

❷ **デバイスを選択**

❸ **参照される側で接続の承認操作**

データを送信する

1 データの送信操作

■ **データフォルダ、電話帳、ブックマーク、予定リストからデータを送信するとき**

一覧画面で [Y!] →「送信」→「Bluetooth」→送信したいデータをチェック→[✉]（送信）→確認メッセージが表示されたときは「はい」

■ **カレンダーのスケジュールからデータを送信するとき**

一覧画面で送信したいデータを反転表示→[Y!]→「送信」→「Bluetooth」

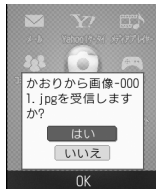
2 送信先のデバイスを選択

- 受信側が通信を承認すると、送信が始まります。
- 送信先が登録されていないときは、周辺デバイスを検索し、登録します。

- 機能によっては、詳細画面や再生画面のメニューからも送信できます。

データを1件ずつ受信する

送信側からの接続を承認すると受信が開始され、データが保存されます。

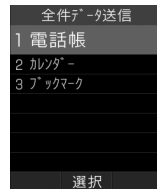
1 データ交換の確認メッセージが表示されたら「はい」

2 データ受信の確認メッセージが表示されたら「はい」

- 絵文字ファイルを受信するときは、保存先を「ピクチャー」／「マイ絵文字」から選択します。

- フォルダを受信したときは、すべてデータフォルダの「その他ファイル」フォルダに保存されます。

データを一括送信する

1 [■]→「設定」→「外部接続」→「Bluetooth」→「全件データ送信」

2 送信先のデバイスを選択→操作用暗証番号を入力→[■]（OK）

- 送信先が登録されていないときは、周辺デバイスを検索し、登録します。

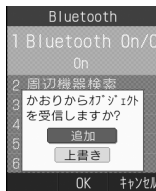
❸ 「電話帳」／「カレンダー」／「ブックマーク」

- 電話帳を選択した場合に、画像データを転送するときは、「はい」を選択します。

データを一括受信する

❶ ■→「設定」→「外部接続」→「Bluetooth」→「Bluetooth On/Off設定」→「On」

- データ受信の待機状態になります。送信側からデータを送信してください。

❷ データ交換の確認メッセージが表示されたら「はい」

❸ 登録方法の選択操作

■ 追加登録するとき

「追加」

■ すべてのデータを削除して登録するとき

「上書き」→「はい」→操作用暗証番号を入力→■（OK）

- 電話帳を受信した場合は、お客様のオーナー情報のみ消去されません。オーナー情報が送信されてきたときは、電話番号以外の情報はすべて上書きされます。
- 受信を中止するときは Y!（キャンセル）を押します。
- 受信を強制終了するときは ☎ を押します。

ステレオヘッドフォンなどで音楽を聴く

メディアプレイヤーの再生音をBluetooth® 対応のステレオヘッドフォンやヘッドセットに接続して聴くことができます。

❶ メディアプレイヤーでミュージックまたはムービーを再生

❷ Y!→「ヘッドフォンに接続」

❸ 接続先のデバイスを選択

- 接続先が登録されていないときは、周辺デバイスを検索し、登録します。

- ミュージック再生中に音声出力をヘッドフォンから820SCに切り替えるには、Y!→「本体で聴く」を選択します。

使いこなしチェック！

便利 ☞P.12-19
- 接続中のデバイスを解除したい
- 接続したデバイスを参照したい
- 接続したデバイスの登録名を編集したい
- 接続したデバイスの認証を設定したい
- 接続したデバイスを削除したい
- 接続したデバイスの内容を確認したい
- 個別に周辺デバイスを検索したい

設定
- Bluetooth®機能を設定／解除する（☞P.13-34）
- Bluetooth®対応機器を検索して登録する（☞P.13-34）
- 接続したデバイスのデータを参照する（☞P.13-34）
- 他のBluetooth®機器から検索／登録する（☞P.13-34）
- ハンズフリー機器接続時の通話の開始方法を設定する（☞P.13-34）
- データ転送時の認証を設定する（☞P.13-35）
- 着信時の応答方法を設定する（☞P.13-35）
- 820SCの機器アドレスを確認する（☞P.13-35）
- 820SCの表示名を編集する（☞P.13-35）
- 利用できるBluetooth®の機能を確認する（☞P.13-35）
- S!アプリの通信を設定／解除する（☞P.13-35）
- 電話帳、カレンダー、ブックマークをそれぞれ一括送信する（☞P.13-35）

USB接続について

820SCをUSBケーブルでパソコンと接続し、データを送受信することができます。プリンタと接続して静止画を印刷することもできます。
820SCはUSB2.0に対応しています。

USB接続をご利用になる前に

820SCをUSBケーブルでパソコンと接続する前に、USBドライバとSamsung PC Studioをインストールする必要があります。インストール手順やご利用いただけるパソコンの動作環境などについては付属のCD-ROMのユーザーズガイドを参照してください。

パソコンに接続する

次のような操作ができます。
- パソコン側からの操作で820SCのデータフォルダのファイルを転送する
- パソコン側から送信されたファイルを受信し、データフォルダに保存する
- パケット通信をする

注意

- **携帯電話とパソコンやPDAを接続してインターネットをご利用いただく場合（モバイルデータ通信）は、短期間で大量のパケット通信が行われることが多く、パケット通信料が高額となる可能性がございます。ご利用される場合は、通信料をご確認いただきながらご利用いただくことをおすすめします。**

メモリカードバックアップについて

820SCでは、電話帳などのデータをメモリカードへバックアップ（一括保存）できます。バックアップしたデータはあとで読み込み（一括復元）できます。

- あらかじめバックアップしておけば、大事なデータを誤って消してしまったときでも、あとで復元できます。
- データの種類ごとに1つのバックアップファイルとして保存されます（転送日のファイル名が付きます）。
- バックアップできるデータの種類は次のとおりです。
  - 電話帳
  - カレンダー
  - 予定リスト
  - コンテンツ・キー
  - ブックマーク

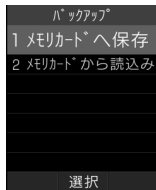
- バックアップは、個人データの保存や同機種間（microSD™メモリカード対応機）での情報共有、または機種交換時の個人データの移動などの目的で行うことをおすすめします。

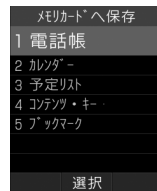
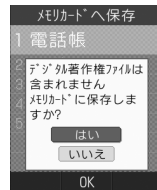
メモリカードバックアップ時のご注意

- 電池残量が少ないときは、利用できません。
- バックアップやデータ読み込み中は、電話やメールは利用できません（着信もできません）。
- データの内容によっては、バックアップできないことがあります。また、バックアップしたデータの内容によっては、他のソフトバンク携帯電話やパソコンなどで利用できないことがあります。
- 820SCまたはメモリカードの空き容量が少ないときは、バックアップが正常に行えないことがあります。
- 820SCに保存できる予定／用件は、カレンダーと予定リストを合わせて最大200件です。メモリカードからの読み込み中、200件に達すると、確認メッセージが表示され、超過分は登録されません。
- バックアップ時、ブックマークのデータは、Yahoo!ケータイ、PCサイトブラウザのブックマークのデータをバックアップします。
- バックアップしたブックマークのサイズが大きいとき、データ形式によっては正しく読み込めないことがあります。

- 電話帳のバックアップ時、電話帳に設定した画像のサイズによっては、バックアップデータに含まれないことがあります。
- メモリカードにバックアップファイルとして保存されたあとは、メモリカードから読み込むまでは、820SCでデータの内容を確認できません。
- コンテンツ・キーをバックアップするときは、次の点にご注意ください。
  - コンテンツ・キーのバックアップファイルは1つしか保存できないため、再度別のコンテンツ・キーをバックアップすると、前回のバックアップファイルは確認メッセージが表示されて上書きされます（前回バックアップしたファイルを残したいときは、メモリカードからコンテンツ・キーのバックアップファイルを820SCへ読み込んだあと、あらためてバックアップの操作を行ってください）。
  - メモリカードへバックアップ時、コンテンツ・キーは820SCからメモリカードへ移動するため、コンテンツ・キーを移動したファイルは使用できなくなります。
  - 820SCへ読み込み時、コンテンツ・キーは、820SC内のコンテンツ・キーを上書きせず、追加します。

メモリカードにバックアップする

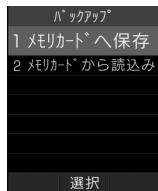
1 ■→「設定」→「メモリ設定」→「メモリカード」→「バックアップ」

2 「メモリカードへ保存」→「はい」

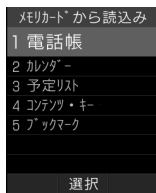
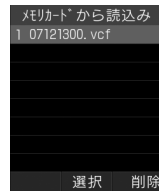
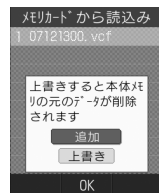
3 操作用暗証番号を入力→■（OK）

4 「電話帳」／「カレンダー」／「予定リスト」／「コンテンツ・キー」／「ブックマーク」

5 確認メッセージが表示されたら「はい」

- バックアップを中止するときは[Y!]（キャンセル）を押します。

- 「コンテンツ・キー」を選択した場合に、メモリカードに以前バックアップした「コンテンツ・キー」のバックアップファイルがあるときは、上書きをするかどうかの確認メッセージが表示されます。上書きをするには☒（はい）を押します。

メモリカードから読み込む

1 ■→「設定」→「メモリ設定」→「メモリカード」→「バックアップ」

2 「メモリカードから読込み」→「はい」

3 操作用暗証番号を入力→■（OK）

4 「電話帳」／「カレンダー」／「予定リスト」／「コンテンツ・キー」／「ブックマーク」

5 ファイルを選択

- バックアップファイルを削除するときは、Y!（削除）を押して「はい」を選択します。

6 「追加」／「上書き」

- 復元を中止するときはY!（キャンセル）を押します。

通信／バックアップ

12

使いこなしチェック！

設定
- メモリのバックアップをとる（☞P.13-36）
- バックアップしたデータから復元する（☞P.13-36）

カードリーダーモードを利用する

メモリカードを取り付けた状態で820SCとパソコンをUSBケーブルで接続することで、パソコンからメモリカードにアクセスしてデータの読み書きができます。

パソコンに接続する

1 ■→「設定」→「外部接続」→「カードリーダーモード」

2 操作用暗証番号を入力→■（OK）

3 820SCとパソコンをUSBケーブルで接続

4 パソコンからデータを読み書き

- S!メールの受信中やSamsung PC Studioの利用中、S!ともだち状況で「わたしの状況」が「オンライン」になっている場合は、カードリーダーモードはご利用になれません。
- カードリーダーモードでの利用中は、通話やメッセージの受信などができません。

パソコンから取り外す

1. **パソコンでハードウェアデバイスの取り外し操作**
2. **接続中に[Y!]（終了）**

3. **USBケーブルの取り外し**

注意

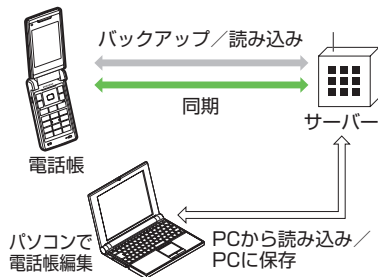
- **ハードウェアデバイスの取り外し操作を行うまでは、絶対にUSBケーブルを抜かないでください。**

使いこなしチェック！

設定

- カードリーダーモードを起動する
（☞P.13-35）

S! 電話帳バックアップを利用する

S!電話帳バックアップとは、820SC本体の電話帳をサーバーにバックアップしたり、820SC本体の電話帳とサーバー内の電話帳の同期をとる（同じ状態にする）ことができるサービスです。820SCの破損時や紛失時の備えとして、便利にお使いいただけます。

- S! 電話帳バックアップの利用には、別途お申し込みが必要です（有料）。
- 機種変更をしても、他のS!電話帳バックアップ対応機で電話帳を引き継ぐことができます。

注意

- **S!電話帳バックアップのご利用時（バックアップ／読み込み、同期）には、パケット通信料がかかります。**

S!電話帳バックアップ利用時のご注意

- 次の項目はS!電話帳バックアップで同期できません。「サーバから読み込み」を行うと、820SC本体の電話帳の設定が失われますので、ご注意ください。
  - フォト
  - 着信音設定、バイブ設定
    （音声着信／TVコール着信／メール着信／S!ともだち状況／S!一斉トーク着信）
  - 血液型
  - 趣味
- バックアップ／読み込みのタイミングや同期の方向にご注意ください。
  - 820SC本体の電話帳をすべて削除したあと「通常同期」、「本体変更データ送信」、「サーバへバックアップ」を行うと、サーバー内の電話帳もすべて削除されます。
  - サーバー内の電話帳をすべて削除したあと「通常同期」、「サーバ変更データ受信」、「サーバから読み込み」を行うと、820SC本体の電話帳もすべて削除されます。
- 電話番号など、複数登録できる項目の登録可能件数が、820SC本体（または機種変更後の機種）とサーバーとで異なる場合に、同期を行うと、両方とも少ない方の件数に統一されます。

●機種変更時のサービスの継続については、次のとおりです。

内　容		説　明
3Gシリーズ		
	S!電話帳バックアップ対応	サーバー内の電話帳は保持され、そのままお使いいただけます。
	S!電話帳バックアップ非対応	S!電話帳バックアップの契約は継続され、サーバー内の電話帳は保持されます。ただし、携帯電話からの操作はできません（パソコンからの操作だけになります）。
V3、V4、V5、V6、V8シリーズ		
	S!電話帳バックアップは自動的に解約され、サーバー内の電話帳は削除されます。	

●S!電話帳バックアップを解約すると、サーバー内の電話帳は削除されます。

同期モードについて

同期モードの種類は次のとおりです。

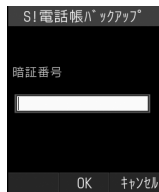
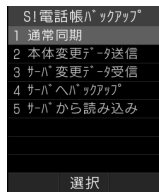
同期モード	説　明
通常同期	820SCの電話帳更新情報のバックアップ、サーバー上の電話帳の更新情報読み込みを同時に行います。[1]
本体変更データ送信	820SCの電話帳更新情報をバックアップします。[2]
サーバ変更データ受信	サーバー上の電話帳更新情報を読み込みます。[3]
サーバへバックアップ	既存のサーバー上の電話帳をすべて消去し、新たに820SCの電話帳をすべてバックアップします。[4]
サーバから読み込み	既存の820SCの電話帳をすべて消去し、新たにサーバー上の電話帳をすべて読み込みます。ただし、820SCの電話帳が保存できる件数以上は読み込めません。サーバー上の電話帳で編集を行った日付が新しい順に820SCの電話帳に読み込まれます。[5]

1 820SC本体の電話帳とサーバー上の電話帳で同じフィールドを更新していた場合は、基本的にサーバー上の電話帳更新情報を優先します。
2 サーバー上の電話帳更新情報は820SC本体へは反映されません。
3 820SC本体の電話帳更新情報はサーバー上の電話帳へは反映されません。
4 サーバー上の電話帳はすべて消去されますので、ご注意ください。
5 820SC本体の電話帳はすべて消去されますので、ご注意ください。

●初めて利用する場合や、前回の同期が途中でキャンセルされるなど正常に終了しなかったあとに同期を行った場合は、設定にかかわらず「全部同期」が行われます。「全部同期」の動作は「通常同期」と同じです。「全部同期」が行われたかどうかは、同期ログの同期タイプ欄で確認できます。

電話帳の同期を行う

サーバーで管理している電話帳に接続して、820SC本体の電話帳との違いを補い合うことができます。

1. ■→「電話帳」→「S!電話帳バックアップ」→「同期開始」

2. 操作用暗証番号を入力→■（OK）

3. 「通常同期」／「本体変更データ送信」／「サーバ変更データ受信」／「サーバへバックアップ」／「サーバから読み込み」→「はい」→■（OK）→■（OK）

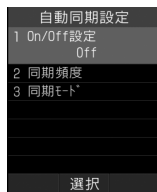
注意

- 同期を開始すると、ネットワークに接続します。ネットワークの接続中は通信料が発生します。同期が終了すると、自動的にネットワークの接続を解除します。

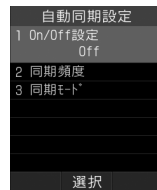
電話帳の自動同期設定を行う

「自動同期設定」を「On」に設定すると、同期条件と同期モードを設定する必要があります。

自動同期を設定／解除する

1. ■→「電話帳」→「S!電話帳バックアップ」→「自動同期設定」→操作用暗証番号を入力→■（OK）

2. 「On/Off設定」→「On」／「Off」
   - 「On」を選択したときは■（OK）を押します。

同期条件を設定する

1. ■→「電話帳」→「S!電話帳バックアップ」→「自動同期設定」→操作用暗証番号を入力→■（OK）

2. 「同期頻度」

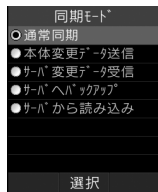
3. 設定の選択操作

■ 月に1回バックアップするとき
「毎月」→日付を入力→時刻を入力

■ 週に1回バックアップするとき
「毎週」→曜日を選択→時刻を入力

■ 1日に1回バックアップするとき
「毎日」→時刻を入力

■ アドレス帳編集10分後にバックアップするとき
「変更10分後」

4 「同期モード」

5 「通常同期」／「本体変更データ送信」／「サーバ変更データ受信」／「サーバへバックアップ」／「サーバから読み込み」→■（OK）

使いこなしチェック！

便利 ☞P.12-20

便利

Bluetooth® に関する便利な機能

接続中のデバイスを解除したい [回線切断]

■→「設定」→「外部接続」→「Bluetooth」→「登録済みデバイス」→接続中のデバイスを反転表示→Y!→「回線切断」

接続したデバイスを参照したい [ブラウザデバイス]

■→「設定」→「外部接続」→「Bluetooth」→「登録済みデバイス」→参照したいデバイスを反転表示→Y!→「ブラウザデバイス」→参照される側で接続の承認操作

接続したデバイスの登録名を編集したい [デバイス名変更]

■→「設定」→「外部接続」→「Bluetooth」→「登録済みデバイス」→デバイス名を変更したいデバイスを反転表示→Y!→「デバイス名変更」→デバイス名を編集

接続したデバイスの認証を設定したい [デバイス認証] ／ [デバイス認証拒否]

■→「設定」→「外部接続」→「Bluetooth」→「登録済みデバイス」→認証設定したいデバイスを反転表示→Y!→「デバイス認証」／「デバイス認証拒否」

- 「デバイス認証」時に操作すると、「デバイス認証拒否」になります。

接続したデバイスを削除したい [削除]

■→「設定」→「外部接続」→「Bluetooth」→「登録済みデバイス」

■ 1件削除するとき
削除したいデバイス名を反転表示→Y!→「削除」→「1件」→「はい」

■ すべて削除するとき
Y!→「削除」→「全件」→操作用暗証番号を入力→■（OK）→「はい」

接続したデバイスの内容を確認したい [デバイス情報]

■→「設定」→「外部接続」→「Bluetooth」→「登録済みデバイス」→確認したいデバイスを反転表示→Y!→「デバイス情報」

個別に周辺デバイスを検索したい［デバイス別検索］

■→「設定」→「外部接続」→「Bluetooth」→「周辺機器検索」→「周辺デバイス検索」を反転表示→Y!→「デバイス別検索」→検索方法を選択

- 選択できる項目は、「全てのデバイス」／「ヘッドセット」／「携帯電話」／「PC/PDA」／「プリンター」／「Bluetoothアドレス」です。「Bluetoothアドレス」を選択したときは、アドレスを入力します。

接続したデバイスのデータを取得したい

■→「設定」→「外部接続」→「Bluetooth」→「登録済みデバイス」→参照したいデバイスを反転表示→Y!→「ブラウザデバイス」→参照される側で接続の承認操作

■ **ファイルを1件取得するとき**
Y!→「開く」→取得したいファイルを反転表示→■（取得）

■ **ファイルを複数取得するとき**
Y!→「開く」→Y!→「取得」→「複数」→取得したいファイルをチェック→✉（取得）

■ **ファイルをすべて取得するとき**
Y!→「開く」→Y!→「取得」→「全件」

■ **フォルダを取得するとき**
Y!→「取得」

接続したデバイスのデータを削除したい

■→「設定」→「外部接続」→「Bluetooth」→「登録済みデバイス」→参照したいデバイスを反転表示→Y!→「ブラウザデバイス」→参照される側で接続の承認操作→Y!→「開く」

■ **ファイルを1件削除するとき**
削除したいファイルを反転表示→Y!→「削除」→「1件」→「はい」

■ **ファイルを複数削除するとき**
削除したいファイルを反転表示→Y!→「削除」→「複数」→「はい」→削除したいファイルをチェック→✉（削除）

■ **ファイルをすべて削除するとき**
削除したいファイルを反転表示→Y!→「削除」→「全件」→「はい」

便利

S!電話帳バックアップに関する便利な機能

S!電話帳バックアップの履歴を確認したい

■→「電話帳」→「S! 電話帳バックアップ」→「同期ログ」

S!電話帳バックアップの履歴を削除したい

■→「電話帳」→「S!電話帳バックアップ」→「同期ログ」

■ **1件削除するとき**
削除したい履歴を反転表示→✉（削除）→「はい」

■ **すべて削除するとき**
Y!（全削除）→「はい」

カスタマイズ

13

設定

メールの設定

Eメールアドレスに関する設定

Eメールアドレスを変更する	✉→「設定」→「メール・アドレス設定」→画面の指示に従って操作 ●パソコンなどからEメールを受信するときに使用するEメールアドレスのアカウント名（@より前の部分）を変更できます。ご契約時のアカウント名は、ランダムな英数字に設定されています。

S!メール、SMSに関する共通の設定

共通操作 ✉→「設定」→「一般設定」

文字サイズを設定する お買い上げ時 標準	「文字サイズ」→項目を選択 ●選択できる項目は、「大」／「標準」／「小」／「最小」です。
メッセージ画面で本文をスクロールする単位を設定する お買い上げ時 1行	「スクロール単位」→「1行」／「1/2画面」／「全画面」
配信レポートの送信を設定する お買い上げ時 Off	「配信確認」→「On」／「Off」 ●「On」に設定すると、メールサーバーからメールが相手に送信されたときに、配信レポートがお客様の820SCに送信されます。
署名を設定する お買い上げ時 挿入しない	「署名設定」→「自動挿入」→「常に挿入」／「新規メール作成時のみ」／「挿入しない」
署名を編集する	「署名設定」→「編集」→署名を入力
送信中の進行状況表示を設定する お買い上げ時 表示する	「メール送信中画面」→「メール送信中」→「表示する」／「表示しない」
送信の進行状況を表示しない場合の送信の結果表示を設定する	「メール送信中画面」→「送信結果通知」→「通知する」／「通知しない」／「送信毎に選択する」 ●「メール送信中」を「表示しない」に設定している場合に設定できます。

受信の通知を設定する **お買い上げ時** 送信者	「メール受信通知」→「表示内容」→項目を選択 ●選択できる項目は、「送信者」／「件名」／「送信者と件名」／「Off」です。 ●待受画面以外を表示中にメールを受信したときに、ディスプレイ最上段にスクロール表示される通知の内容が設定できます。
「シークレット設定」を設定したフォルダの受信通知を設定する **お買い上げ時** 通知する	「メール受信通知」→「シークレットフォルダ着信」→操作用暗証番号を入力→■（OK）→「通知する」／「通知しない」 ●「通知しない」に設定すると、受信ボックス内の「シークレット設定」を設定したフォルダにメールを受信したとき、新着メール受信の通知画面や「メール受信通知」は表示されません。
メール一覧画面の表示方法を設定する **お買い上げ時** 2行	「メールリスト表示切替」→「2行」／「1行（件名）」／「1行（送信者）」
受信ボックスのメールの表示方法を設定する **お買い上げ時** フォルダ表示	「受信ボックス表示設定」→「フォルダ表示」／「一覧表示」
送信済みボックスのメールの表示方法を設定する **お買い上げ時** フォルダ表示	「送信済みボックス表示設定」→「フォルダ表示」／「一覧表示」
メッセージのデルモジ表示を設定する **お買い上げ時** 常に表示	「デルモジ表示設定」→「自動再生」→「常に表示」／「未読のみ表示」／「表示しない」 ●設定内容は次のとおりです。 「常に表示」：メッセージを確認するときに常にデルモジ表示する 「未読のみ表示」：未読メールのメッセージを確認するときのみデルモジ表示する 「表示しない」：デルモジ表示しない ●初めて受信メールを確認したときは確認メッセージが表示され、「自動再生」の動作を設定することができます。
デルモジ表示の文字色と背景色のパターンを設定する **お買い上げ時** パターン1	「デルモジ表示設定」→「文字色・背景色」→◀□▶を押して目的のパターンを表示→■（選択） ●設定画面で✉（プレビュー）を押すと現在の設定が確認できます。
デルモジ表示の表示速度を設定する **お買い上げ時** 標準	「デルモジ表示設定」→「表示速度」→「標準」／「速い」／「遅い」 ●設定画面で✉（プレビュー）を押すと現在の設定が確認できます。

S!メールに関する設定

共通操作 ✉→「設定」→「S!メール設定」

送信メールの優先度を設定する お買い上げ時 標準	「送信オプション」→「優先度」→「高」／「標準」／「低」
送信メールのメールサーバーへの保存期間を設定する お買い上げ時 最大	「送信オプション」→「有効期限」→項目を選択 ●選択できる項目は、「最大」／「1時間」／「3時間」／「6時間」／「12時間」／「1日」／「3日」／「1週間」です。 ●設定した保存期間が経過すると、メールサーバーからS!メールが自動的に削除されます。
送信メールをメールサーバーから相手に配信する時間を設定する お買い上げ時 指定なし	「送信オプション」→「配信時間指定」→項目を選択 ●選択できる項目は、「指定なし」／「1時間後」／「3時間後」／「6時間後」／「12時間後」／「1日後」／「3日後」／「1週間後」です。 ●設定した期間が経過すると、メールサーバーからS!メールが送信されます。
S!メールの受信方法を設定する お買い上げ時 自動受信	「受信設定」→「国内での自動受信」→「自動受信」／「電話番号のみ自動」／「手動取得」 ●設定内容は次のとおりです。 「自動受信」：自動的に受信する 「電話番号のみ自動」：電話番号を使って送られたS!メールのみ受信する 「手動取得」：受信通知のみを受信する
ローミング中に受信するS!メールの受信方法を設定する お買い上げ時 手動取得	「受信設定」→「ローミング自動受信」→「自動受信」／「手動取得」 ●設定内容は次のとおりです。 「自動受信」：自動的に受信する 「手動取得」：受信通知のみを受信する
返信先を設定する お買い上げ時 Off	「返信先指定」→「On」／「Off」 ●設定内容は次のとおりです。 「On」：「返信先アドレス設定」で設定したアドレスに返信されます。 「Off」：820SCのアドレスに返信されます。 ●820SCからEメールアドレス宛のメールを送り、受信した相手が返信する際の宛先を設定できます。

返信先アドレスを設定する	「返信先アドレス設定」→「電話帳」／「直接入力」→必要に応じて設定選択 ●電話帳に登録しているアドレスを選択する場合は、「電話帳」→電話帳を検索し、選択（➔P.2-22）→Eメールアドレスを反転表示→■（選択）を押します。 ●宛先を直接入力する場合は、「直接入力」を選択し、Eメールアドレスを入力します。
フィーリングメールを受信したときの通知画面に感情の情報を表示するかどうかを設定する お買い上げ時 On	「フィーリングメール連動設定」→「インフォメーション表示」→「On」／「Off」
フィーリングメールを受信したときのバイブレータを設定する お買い上げ時 On	「フィーリングメール連動設定」→「バイブ」→「On」／「Off」
フィーリングメールを受信したときの着信音の有無を設定する お買い上げ時 On	「フィーリングメール連動設定」→「着信音」→「On/Off設定」→「On」／「Off」
フィーリングメールの着信音を設定する	「フィーリングメール連動設定」→「着信音」→「着信音選択」→感情を選択→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択 ●選択できる項目は、「Happy／うれしい」／「OK/Good」／「悲しい／ごめんね」／「NG/Bad」／「重要／注目」です。
フィーリングメール着信音の鳴動時間を設定する お買い上げ時 5秒	「フィーリングメール連動設定」→「着信音」→「鳴動時間」→鳴動時間を入力
添付画像の表示方法を設定する お買い上げ時 通常サイズ表示	「画像表示設定」→「通常サイズ表示」／「全画面表示」
添付画像の自動再生を設定する お買い上げ時 On	「添付ファイル自動表示」→「画像」→「On」／「Off」
添付サウンドの自動再生を設定する お買い上げ時 Off	「添付ファイル自動表示」→「サウンド」→「On」／「Off」

SMSに関する設定

共通操作 [メール]→「設定」→「SMS設定」

メールサーバーへの保存期間を設定する お買い上げ時 なし	「有効期限」→項目を選択 ●選択できる項目は、「なし」／「1時間」／「6時間」／「12時間」／「1日」／「3日」です。 ●設定した保存期間が経過すると、メールサーバーからSMSが自動的に削除されます。
SMSセンター番号を設定する お買い上げ時 設定1　+819066519300	「SMSセンター番号」→設定する項目を選択
SMSセンター番号を編集する お買い上げ時 +819066519300	「SMSセンター番号」→編集したい項目を反転表示→[メール]（編集）→センター番号を編集
文字コードを変更する お買い上げ時 英語以外	「文字コード」→「英語以外」／「英語」

設定

インターネットの設定

Yahoo!ケータイに関する設定

共通操作 [■]→「Yahoo!ケータイ」→「設定」

情報画面に表示されるテキスト情報の文字サイズを設定する お買い上げ時 標準	「文字サイズ」→「小」／「標準」／「大」
情報画面でのスクロール単位を設定する お買い上げ時 1行	「スクロール単位」→「1行」／「1/2画面」／「全画面」
情報画面で画像を表示するかどうか設定する お買い上げ時 表示する	「テキストブラウズ設定」→「イメージ」→「表示する」／「表示しない」 ●「表示しない」に設定すると、情報画面の受信時間が短くなる場合があります。
情報画面でサウンドを再生するかどうか設定する お買い上げ時 再生する	「テキストブラウズ設定」→「サウンド」→「再生する」／「再生しない」 ●「再生しない」に設定すると、情報画面の受信時間が短くなる場合があります。
情報画面のキャッシュ／Cookie／認証情報を消去する	「メモリ操作」→「キャッシュ消去」／「Cookie消去」／「認証情報消去」→「はい」

製造番号を自動的に通知するかどうか設定する **お買い上げ時** Off	「セキュリティ設定」→「製造番号通知」→「On」／「Off」 ●アクセスした情報画面から携帯電話のユーザを識別するために製造番号の通知要求があったとき、自動的に製造番号を通知するかどうか設定します。
リファラーを送信するかどうか設定する **お買い上げ時** 送出する	「セキュリティ設定」→「Referer送出」→「送出する」／「送出しない」
Cookieの有効／無効を設定する **お買い上げ時** 許可する	「セキュリティ設定」→「Cookie設定」→「許可する」／「許可しない」／「毎回確認」
スクリプトの有効／無効を設定する **お買い上げ時** ネットワークアクセス時確認	「セキュリティ設定」→「スクリプト設定」→項目を選択 ●選択できる項目は、「On」／「ネットワークアクセス時確認」／「毎回確認」／「Off」です。
ルート証明書を確認する	「セキュリティ設定」→「ルート証明書表示」→ルート証明書を選択
認証情報の保存期間を設定する **お買い上げ時** ブラウズ中保持	「セキュリティ設定」→「認証情報保持設定」→「ブラウズ中保持」／「On」／「Off」
ブラウザを初期化する	「ブラウザ初期化」→操作用暗証番号を入力→■（OK）→「はい」
設定をリセットする	「設定リセット」→操作用暗証番号を入力→■（OK）→「はい」

PCサイトブラウザに関する設定 **共通操作** ■→「Yahoo!ケータイ」→「PCサイトブラウザ」→「PCサイトブラウザ設定」

情報画面に表示されるテキスト情報の文字サイズを設定する **お買い上げ時** 標準	「文字サイズ」→「小」／「標準」／「大」
情報画面でのスクロール単位を設定する **お買い上げ時** 1行	「スクロール単位」→「1行」／「1/2画面」／「全画面」
情報画面で画像を表示するかどうか設定する **お買い上げ時** 表示する	「テキストブラウズ設定」→「イメージ」→「表示する」／「表示しない」 ●「表示しない」に設定すると、情報画面の受信時間が短くなる場合があります。
情報画面でサウンドを再生するかどうか設定する **お買い上げ時** 再生する	「テキストブラウズ設定」→「サウンド」→「再生する」／「再生しない」 ●「再生しない」に設定すると、情報画面の受信時間が短くなる場合があります。
情報画面のキャッシュ／Cookie／認証情報を消去する	「メモリ操作」→「キャッシュ消去」／「Cookie消去」／「認証情報消去」→「はい」

製造番号を自動的に通知するかどうか設定する お買い上げ時 Off	「セキュリティ設定」→「製造番号通知」→「On」／「Off」 ●アクセスした情報画面から携帯電話のユーザを識別するために製造番号の通知要求があったとき、自動的に製造番号を通知するかどうか設定します。
リファラーを送信するかどうか設定する お買い上げ時 送出する	「セキュリティ設定」→「Referer送出」→「送出する」／「送出しない」
Cookieの有効／無効を設定する お買い上げ時 許可する	「セキュリティ設定」→「Cookie設定」→「許可する」／「許可しない」／「毎回確認」
スクリプトの有効／無効を設定する お買い上げ時 On	「セキュリティ設定」→「スクリプト設定」→項目を選択 ●選択できる項目は、「On」／「ネットワークアクセス時確認」／「毎回確認」／「Off」です。
ルート証明書を確認する	「セキュリティ設定」→「ルート証明書表示」→ルート証明書を選択
認証情報の保存期間を設定する お買い上げ時 ブラウズ中保持	「セキュリティ設定」→「認証情報保持設定」→「ブラウズ中保持」／「On」／「Off」
警告メッセージを表示するかどうか設定する お買い上げ時 PCサイトブラウザ起動・切替時：On、Yahoo!ケータイ切替時：On	「警告画面表示設定」→「PCサイトブラウザ起動・切替時」／「Yahoo!ケータイ切替時」→「On」／「Off」 ●PCサイトブラウザを起動したとき、またはYahoo!ケータイとPCサイトブラウザを切り替えたときに警告メッセージを表示するかどうか設定できます。
ブラウザを初期化する	「ブラウザ初期化」→操作用暗証番号を入力→■（OK）→「はい」
設定をリセットする	「設定リセット」→操作用暗証番号を入力→■（OK）→「はい」

設定

メディアプレイヤーの設定

ミュージックに関する設定

共通操作 ■→「メディアプレイヤー」→「設定」→「ミュージック」

再生パターンを設定する お買い上げ時 Off	「再生パターン設定」→項目を選択 ●選択できる項目は、「1曲リピート」／「シャッフル（リピート有）」／「シャッフル（リピート無）」／「全てリピート」／「Off」です。 ●1ファイルを繰り返し再生したり、すべてのミュージックやプレイリスト内のすべてのファイルをランダム再生したり、繰り返し再生するように設定できます。
サウンドエフェクトを設定する お買い上げ時 標準	「サウンドエフェクト設定」→項目を選択→■（OK） ●選択できる項目は、「標準」／「クラブ」／「ライブ」／「ロック」／「ソフト」／「ソフトロック」です。 ●ステレオイヤホンマイクまたは Bluetooth® 対応ステレオヘッドフォンを利用して聴いているときのみ使用できます。
再生中の音量を設定する お買い上げ時 70	「再生音量」→方向キーで音量を調節→■（保存）
表示するフォルダを設定する お買い上げ時 最近聴いた曲、よく聴く曲、アーティスト	「ミュージックメニュー」→表示したいフォルダをチェック→✉（保存） ●チェックできる項目は、「最近聴いた曲」、「よく聴く曲」、「アーティスト」、「アルバム」、「ジャンル」です。 ●メディアプレイヤーの「ミュージック」で表示するフォルダを設定できます。

ムービーに関する設定

共通操作 ■→「メディアプレイヤー」→「設定」→「ムービー」

再生パターンを設定する お買い上げ時 Off	「再生パターン設定」→項目を選択 ●選択できる項目は、「1ファイルリピート」／「シャッフル（リピート有）」／「シャッフル（リピート無）」／「全てリピート」／「Off」です。 ●1ファイルを繰り返し再生したり、すべてのムービーやプレイリスト内のすべてのファイルをランダム再生したり繰り返し再生するように設定できます。
再生中の音量を設定する お買い上げ時 70	「再生音量」→方向キーで音量を調節→■（保存）

バックライトを設定する お買い上げ時 標準	「バックライト」→「標準」／「常時On」／「常時Off」
表示するフォルダを設定する お買い上げ時 最近見たムービー、よく見るムービー	「ムービーメニュー」→表示したいフォルダをチェック→[保存キー]（保存） ●チェックできる項目は、「最近見たムービー」、「よく見るムービー」です。 ●メディアプレイヤーの「ムービー」で表示するフォルダを設定できます。
サムネイル表示を設定する お買い上げ時 On	「サムネイル表示」→「On」／「Off」
リンク情報を持つファイルの再生後にリンク先に接続するかどうか設定する お買い上げ時 On	「リンク接続事前確認設定」→「On」／「Off」 ●「On」に設定すると、リンク情報を持ったファイルの再生終了後にリンク先に接続するかどうかの確認メッセージが表示されます。

設定

カメラの設定

静止画撮影／動画撮影に関する共通の設定 共通操作 [カメラキー]（2秒以上）→[Y!キー]→「設定」→「一般」

ビューファインダーのアイコン表示を設定する お買い上げ時 On	「アイコン表示」→「On」／「Off」 ●「On」に設定するとアイコンが表示されます。
オートフォーカスを設定する お買い上げ時 On	「オートフォーカス」→「On」／「Off」
自動保存を設定する お買い上げ時 Off	「自動保存設定」→「On」／「Off」 ●「On」に設定すると、保存の操作をしなくても、撮影後自動で保存されます。
機能説明を設定する お買い上げ時 On	「機能説明」→「On」／「Off」 ●「On」に設定すると、選択中のメニューの説明が表示されます。

静止画撮影に関する設定

共通操作 (カメラキー)（2秒以上）→Y!→「設定」→「カメラ」

項目	操作・説明
画質を設定する　お買い上げ時 ノーマル	「画質設定」→項目を選択 ●選択できる項目は、「スーパーファイン」／「ファイン」／「ノーマル」／「エコノミー」です。
ISOを設定する　お買い上げ時 自動	「ISO」→項目を選択 ●選択できる項目は、「自動」／「100」／「200」／「400」です。
測光モードを設定する　お買い上げ時 標準	「測光」→「標準」／「スポット測光」
保存先を設定する　お買い上げ時 本体	「保存先設定」→項目を選択 ●選択できる項目は、「本体」／「メモリカード」／「デジタルカメラ」／「毎回確認」です。 ●320 x 240サイズまたは240 x 320サイズに設定している場合は、「デジタルカメラ」は選択できません。自動的に「メモリカード」に保存されます。 ●メモリカードを取り付けているときのデータの保存先を設定できます。 ●メモリカードが取り付けられていないときに、「メモリカード」／「デジタルカメラ」／「毎回確認」に設定している場合は、保存先は自動的に820SC本体になります。
グリッド線の表示を設定する　お買い上げ時 Off	「補助グリッド」→「On」／「Off」
シャッター音を設定する　お買い上げ時 パターン1	「シャッター音」→「パターン1」／「パターン2」／「パターン3」

動画撮影に関する設定

共通操作 (カメラキー)（2秒以上）→Y!→「設定」→「ビデオ」

項目	操作・説明
画質を設定する　お買い上げ時 エコノミー	「画質設定」→「ファイン」／「ノーマル」／「エコノミー」
保存先を設定する　お買い上げ時 本体	「保存先設定」→「本体」／「メモリカード」 ●メモリカードを取り付けていないときは、自動的に820SC本体に保存されます。

設定

S!アプリの設定

S!アプリに関する設定

共通操作 ■→「S!アプリ」→「S!アプリ設定」

S!アプリのサウンドや効果音などの音量を設定する お買い上げ時 レベル3	「音量設定」→✜を押して音量を調節→■（OK） ●マナーモード中の音量は、マナーモードの設定に従います。
ディスプレイのバックライトを設定する お買い上げ時 通常設定に従う	「バックライト設定」→「常にOn」／「常にOff」／「通常設定に従う」 ●「通常設定に従う」に設定すると、「ディスプレイ設定」の「バックライト」（➔P.13-22）の設定に従います。
S!アプリ利用中のバイブレータの有効／無効を設定する お買い上げ時 On	「バイブ設定」→「On」／「Off」
S!アプリを並べ替える お買い上げ時 日付順	「ソート」→「日付順」／「名前順」／「提供元順」
S!アプリの設定をお買い上げ時の状態に戻す	「S!アプリ設定リセット」→操作用暗証番号を入力→■（OK）→「はい」
Javaルート証明書の詳細を確認する	「Javaルート証明書」→証明書を選択

設定

テレビの設定

予約時間お知らせに関する設定

共通操作 📺→「設定」→「予約時間お知らせ」

予約通知のアラーム音を設定する お買い上げ時 Boarding School.mmf	「アラーム音」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを反転表示→✉（再生）→Y!（選択）
予約通知の音量を設定する お買い上げ時 レベル4	「音量」→✜を押して音量を調節→✉（再生）→■（選択）
予約時間にバイブレータでお知らせする お買い上げ時 Off	「バイブ」→「Off」／「パターン1」～「パターン5」→✉（再生）→■（選択）
予約時間にライトでお知らせする お買い上げ時 Off	「ライト」→「On」／「Off」
アラームの通知時間を設定する お買い上げ時 1分前	「アラーム通知時間」→「1分前」／「3分前」／「5分前」

アラームの鳴動時間を設定する お買い上げ時 10秒	「アラーム鳴動時間」→「10秒」／「20秒」／「30秒」

データ放送に関する設定

共通操作 (📺)→「設定」→「データ放送」

データ放送の録画内容を設定する お買い上げ時 映像＋データ放送	「録画設定」→「映像＋データ放送」／「映像のみ」
データ放送を保存するときの保存先を設定する お買い上げ時 本体メモリ	「画像保存先設定」→「本体メモリ」／「メモリカード」
通信接続確認を設定する お買い上げ時 毎回確認	「通信接続確認」→「On」／「Off」／「毎回確認」
製造番号を自動的に通知するかどうか設定する お買い上げ時 Off	「製造番号通知」→「On」／「Off」
放送局データを削除する	「放送局メモリ削除」→放送局を選択→削除したい項目を反転表示→[Y!]→「削除」／「全削除」 ●「全削除」を選択したときは、操作用暗証番号の入力が必要です。

ディスプレイに関する設定

画面の明るさを設定する お買い上げ時 レベル3	(📺)→「設定」→「画面明るさ設定」→[◀▶]で明るさを調節→[■]（選択）

サウンドに関する設定

共通操作 (📺)→「設定」→「サウンド設定」

番組に合わせた音質に設定する お買い上げ時 通常	「サウンドモード設定」→項目を選択 ●選択できる項目は、「通常」／「音楽」／「ニュース」／「映画」／「スポーツ」です。
音声切り替えを設定する お買い上げ時 主音声	「音声言語設定」→「主音声」／「副音声」／「主＋副音声」
音声出力を設定する お買い上げ時 イヤホン優先	「音声出力設定」→「イヤホン優先」／「スピーカー」

タッチキーに関する設定

共通操作 (📺)→「設定」→「タッチキーロック設定」

タッチキーをロックする お買い上げ時 15秒後	「キーロック秒数設定」→項目を選択 ●選択できる項目は、「Off」／「15秒後」／「30秒後」／「1分後」です。 ●最後にタッチキーを使用してから設定した時間でタッチキーをロックできます。
タッチキーロック時にメッセージを表示する お買い上げ時 Off	「キーロック解除表示」→「On」／「Off」 ●「On」に設定すると、タッチキーロック時に、タッチキーを使用すると警告メッセージを表示できます。

テレビ視聴中の着信・アラームに関する設定

テレビ視聴中の着信・アラームの動作を設定する お買い上げ時 音声着信／TVコール着信／S!一斉トーク着信：着信優先動作、アラーム：アラーム優先	(📺)→「設定」→「着信時優先動作」→項目を選択→「着信優先動作」／「着信通知動作」 ●選択できる項目は、「音声着信」／「TVコール着信」／「S!一斉トーク着信」／「アラーム」です。 ●「アラーム」の選択項目は「アラーム優先」／「アラーム通知」です。 ●「着信優先動作」／「アラーム優先」に設定すると、テレビは一時停止になり、着信画面やアラーム画面が表示されます。 ●「着信通知動作」／「アラーム通知」に設定すると、テレビの視聴画面のままで、ディスプレイ最上段に着信やアラームのお知らせが表示され、バイブレータが振動します。電話を受ける場合は(発信キー)を押します。着信を拒否して電話を切る場合は(終話キー)を押します。

オートオフに関する設定

共通操作 (📺)→「設定」→「オートオフ設定」

設定時間でテレビが消えるようにする お買い上げ時 Off	「オートオフ時間設定」→項目を選択 ●選択できる項目は、「Off」／「10分」／「30分」／「60分」／「120分」です。
テレビ視聴中にクローズポジションにするとテレビが消えるようにする お買い上げ時 On	「本体クローズ終了」→「On」／「Off」

設定

電話帳の設定

電話帳に関する設定

共通操作 ■→「電話帳」→「設定」

項目	操作
優先的に登録される電話帳を変更する お買い上げ時 本体	「保存先設定」→「本体」／「USIM」／「毎回確認」 ●「毎回確認」に設定すると、新規登録のたびに保存先の確認メッセージが表示されます。
優先的に表示される電話帳（820SC本体／USIMカード）を変更する お買い上げ時 本体	「表示切替」→「本体」／「USIM」
電話帳の検索方法を切り替える お買い上げ時 あかさたな	「検索方法」→「あかさたな」／「ヨミガナ」／「グループ」
電話帳のバックアップをとる	「バックアップ」→「本体→USIMへ全件コピー」／「USIM→本体へ全件コピー」→「はい」
電話帳の文字サイズを変更する お買い上げ時 標準	「文字サイズ」→「大」／「標準」／「小」

設定

待受ウィンドウの設定

待受ウィンドウに関する設定

共通操作 ■→「設定」→「待受ウィンドウ設定」

項目	操作
待受ウィンドウを設定／解除する お買い上げ時 On（手動）	「On/Off設定」→「On（常時）」／「On（手動）」／「Off」
ショートカットモードを設定／解除する お買い上げ時 On	「ショートカット設定」→「パネル表示On/Off」→「On」／「Off」
機能をショートカットに登録する	「ショートカット設定」→「ショートカット登録」→「登録」→設定したい項目を選択→「アプリケーション」→設定したい機能を反転表示→✉（登録）
Yahoo!ケータイのブックマークをショートカットに登録する	「ショートカット設定」→「ショートカット登録」→「登録」→設定したい項目を選択→「ブックマーク」→Yahoo!ケータイのブックマークを選択→アイコンを選択

ショートカットを解除する	「ショートカット設定」→「ショートカット登録」→「設定解除」→解除したい項目を選択
ショートカットモードでS!ともだち状況メンバーをメンバーリスト登録する	「ショートカット設定」→「メンバー登録」→「登録」→設定したい項目を選択→「S!ともだち状況」→登録したいメンバーを選択
ショートカットモードでS!ともだち状況メンバーを電話帳から設定する	「ショートカット設定」→「メンバー登録」→「登録」→設定したい項目を選択→「電話帳」→電話帳を検索し、選択（➲P.2-22）
ショートカットモードでS!ともだち状況メンバーを解除する	「ショートカット設定」→「メンバー登録」→「設定解除」→解除したいメンバーを選択
ショートカットモードでコンテンツを登録する	「ショートカット設定」→「S!速報ニュース登録」→「コンテンツ登録」→コンテンツを選択し、登録
ショートカットモードからコンテンツを削除する	「ショートカット設定」→「S!速報ニュース登録」→「コンテンツ解除」→削除したいコンテンツを反転表示→✉（削除）→「はい」 ●複数の削除を行うときは、「コンテンツ解除」→Y!→「削除」→「複数」／「全件」を削除します（➲P.1-26 ショートカットモードからS!速報ニュースのコンテンツを削除したい）。
ショートカットモードでS!ループを登録する	「ショートカット設定」→「S!速報ニュース登録」→「S!ループ登録」→トピックを登録
ショートカットモードからS!ループを削除する	「ショートカット設定」→「S!速報ニュース登録」→「S!ループ解除」→削除したいトピックを反転表示→✉（削除）→「はい」 ●複数の削除を行うときは、「S!ループ解除」→Y!→「削除」→「複数」／「全件」を削除します（➲P.1-27 ショートカットモードからS!ループを削除したい）。
ショートカットモードの表示方法を変更する お買い上げ時 ニュース（文字情報のみ）	「ショートカット設定」→「テンプレート変更」→テンプレートを選択
ニュースタイトルの表示速度を変更する お買い上げ時 標準	「ショートカット設定」→「表示設定」→「マーキー速度」→「速」／「標準」／「遅」
ニュースの表示種別を変更する お買い上げ時 未読&既読	「ショートカット設定」→「表示設定」→「未読／既読設定」→「未読＆既読」／「未読のみ」

ショートカットモードでニュース速報の更新間隔を設定する **お買い上げ時** 自動更新しない	「ショートカット設定」→「表示設定」→「自動更新設定」→「S!速報ニュース」→「速報」→■（OK）→項目を選択 ●選択できる項目は、「1時間毎」／「2時間毎」／「4時間毎」／「8時間毎」／「自動更新しない」です。
ショートカットモードで一般コンテンツの自動更新を設定する **お買い上げ時** 自動更新しない	「ショートカット設定」→「表示設定」→「自動更新設定」→「S!速報ニュース」→「一般」→■（OK）→「自動更新する」／「自動更新しない」
ショートカットモードでS!ループの自動更新を設定する **お買い上げ時** 自動更新しない	「ショートカット設定」→「表示設定」→「自動更新設定」→「S!ループ」→■（OK）→「自動更新する」／「自動更新しない」
ニュースヘッドラインモードを設定／解除する **お買い上げ時** On	「ニュースヘッドライン設定」→「パネル表示 On/Off」→「On」／「Off」
ニュースヘッドラインモードのコンテンツを追加する	「ニュースヘッドライン設定」→「コンテンツ登録」→コンテンツを選択し、登録
ニュースヘッドラインモードのコンテンツを削除する	「ニュースヘッドライン設定」→「コンテンツ解除」→削除したいコンテンツを反転表示→✉（削除）→「はい」 ●複数の削除を行うときは、「コンテンツ解除」→Y!→「削除」→「複数」／「全件」を選択します（➔P.1-27 ニュースヘッドラインモードのコンテンツを削除したい）。
ニュースヘッドラインモードでニュース速報の更新間隔を設定する **お買い上げ時** 自動更新しない	「ニュースヘッドライン設定」→「自動更新設定」→「S!速報ニュース」→「速報」→■（OK）→項目を選択 ●選択できる項目は、「1時間毎」／「2時間毎」／「4時間毎」／「8時間毎」／「自動更新しない」です。
ニュースヘッドラインモードで一般コンテンツの自動更新を設定する **お買い上げ時** 自動更新しない	「ニュースヘッドライン設定」→「自動更新設定」→「S!速報ニュース」→「一般」→■（OK）→「自動更新する」／「自動更新しない」
ニュースヘッドラインモードでS!ループの自動更新を設定する **お買い上げ時** 自動更新しない	「ニュースヘッドライン設定」→「自動更新設定」→「S!ループ」→■（OK）→「自動更新する」／「自動更新しない」
ニュースヘッドラインモードで画像の表示を設定する **お買い上げ時** On	「ニュースヘッドライン設定」→「画像表示」→「On」／「Off」

コミュニケーションモードを設定／解除する お買い上げ時On	「コミュニケーション設定」→「パネル表示 On/Off」→「On」／「Off」
S!ともだち状況メンバーをメンバーリストから追加登録する	「コミュニケーション設定」→「メンバー登録」→設定したい項目を選択→「S!ともだち状況」→登録したいメンバーを選択
S!ともだち状況メンバーを電話帳から追加登録する	「コミュニケーション設定」→「メンバー登録」→設定したい項目を選択→「電話帳」→電話帳を検索し、選択（➔P.2-22）
S!ともだち状況メンバーを解除する	「コミュニケーション設定」→「メンバー解除」→解除したいメンバーを選択

設定

音／バイブレータの設定

音に関する設定

共通操作 ■→「設定」→「音・バイブ・着信ライト設定」

音量を設定する お買い上げ時音声着信／TVコール着信／メール着信／S!ともだち状況着信／S!一斉トーク着信／着信お知らせ機能／配信確認／操作音：レベル3、S!速報ニュース：Off	「音量」→項目を選択→音量を調節→✉（再生）→■（選択） ●選択できる項目は、「音声着信」／「TV コール着信」／「メール着信」／「S!ともだち状況着信」／「S!一斉トーク着信」／「着信お知らせ機能」／「S!速報ニュース」／「配信確認」／「操作音」です。 ●「操作音」を選択した場合は、再生することができません。
音声通話／TV コール／S!一斉トークの着信音を設定する お買い上げ時音声着信：Right Here.mmf、TVコール着信：Revelation.mmf、S!一斉トーク着信：Sunny day.mp4	「着信音」→「音声着信」／「TVコール着信」／「S!一斉トーク着信」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを反転表示→✉（再生）→Y!（選択）
電話以外の着信音を設定する お買い上げ時Sunny day.mp4	「着信音」→項目を選択→「着信音選択」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを反転表示→✉（再生）→Y!（選択） ●選択できる項目は、「メール着信」／「S!ともだち状況着信」／「着信お知らせ機能」／「S!速報ニュース」／「配信確認」です。

電話以外の着信鳴動時間を設定する　お買い上げ時 5秒	「着信音」→項目を選択→「鳴動時間」→時間を入力 ●選択できる項目は、「メール着信」／「S!ともだち状況着信」／「着信お知らせ機能」／「S!速報ニュース」／「配信確認」です。
バイブレータを設定する　お買い上げ時 Off	「バイブ」→項目を選択→「Off」／「パターン1」～「パターン5」→[✉]（再生）→[■]（選択） ●選択できる項目は、「音声着信」／「TV コール着信」／「メール着信」／「S!ともだち状況着信」／「S!一斉トーク着信」／「着信お知らせ機能」／「S!速報ニュース」／「配信確認」です。
ボタン確認音を設定する　お買い上げ時 木琴	「操作音」→「ボタン確認音」→「ブザー」／「木琴」／「Off」
S!一斉トークの効果音を設定する　お買い上げ時 木琴	「操作音」→「S!一斉トーク」→項目を選択 ●選択できる項目は、「動物王国」／「鳥」／「ファンタジー」／「ゲーム」／「ジョーク」／「木琴」／「電子音」です。
効果音を設定する　お買い上げ時 個別設定On	「操作音」→「効果音」→設定する項目をチェック→[✉]（保存） ●チェックできる項目は、「全チェック／全解除」、「ポップアップ音」、「通話時間通知（毎分）」、「呼び出し開始音」、「通話終了音」、「電源On」、「電源Off」、「オープン／クローズ音」、「通話中イベント通知」です。
受信中に照明の点滅でお知らせする　お買い上げ時 On	「着信ライト」→「着信時ライト」→項目を選択→「On」／「Off」 ●選択できる項目は、「音声着信」／「TVコール着信」／「メール着信」／「S!ともだち状況着信」／「S!一斉トーク着信」／「着信お知らせ機能」です。
不在時に着信などがあったことを照明の点滅でお知らせする　お買い上げ時 On	「着信ライト」→「通知ライト」→項目を選択→「On」／「Off」 ●選択できる項目は、「不在着信通知」／「メール着信通知」／「簡易留守録通知」／「S!ともだち状況着信通知」／「着信お知らせ機能」です。

設定

マナーモードの設定

マナーモードに関する設定

共通操作 ■→「設定」→「マナーモード設定」

バイブレータを設定する お買い上げ時 音声着信／TVコール着信／メール着信／S!ともだち状況着信／S!一斉トーク着信／着信お知らせ機能／配信確認：パターン1、S!速報ニュース：Off	「バイブ」→項目を選択→「Off」／「パターン1」～「パターン5」→✉（再生）→■（選択） ●選択できる項目は、「音声着信」／「TV コール着信」／「メール着信」／「S!ともだち状況着信」／「S!一斉トーク着信」／「着信お知らせ機能」／「S!速報ニュース」／「配信確認」です。
効果音を設定する お買い上げ時 通話中イベント通知	「効果音」→設定する項目をチェック→✉（保存） ●チェックできる項目は、「全チェック／全解除」、「通話時間通知（毎分）」、「呼び出し開始音」、「通話終了音」、「通話中イベント通知」です。
受信中に照明の点滅でお知らせする お買い上げ時 On	「着信ライト」→「着信時ライト」→項目を選択→「On」／「Off」 ●選択できる項目は、「音声着信」／「TVコール着信」／「メール着信」／「S!ともだち状況着信」／「S!一斉トーク着信」／「着信お知らせ機能」です。
不在時に着信などがあったことを照明の点滅でお知らせする お買い上げ時 On	「着信ライト」→「通知ライト」→項目を選択→「On」／「Off」 ●選択できる項目は、「不在着信通知」／「メール着信通知」／「簡易留守録通知」／「S!ともだち状況着信通知」／「着信お知らせ機能」です。
簡易留守録を設定する お買い上げ時 On	「簡易留守録」→「On」／「Off」

●「マナーモード設定」では、「モード設定」の「マナーモード」の設定内容を変更できます。

設定

画像／文字表示の設定

画像や文字表示に関する設定

共通操作 ■→「設定」→「ディスプレイ設定」

設定項目	操作
ディスプレイの壁紙の設定を変更する お買い上げ時 プリセット	「壁紙」→（➔P.2-6 ディスプレイの壁紙を設定する❷）
メニュースタイルを設定する お買い上げ時 水滴	「メインメニュースタイル」→「水滴」／「パノラマ」／「ネオン」 ●メニュー画面（Yahoo!ケータイのメニューを除く）の表示タイプを変更できます。
待受画面に表示する情報を設定する お買い上げ時 Off	「時計／カレンダー表示」→項目を選択し、必要に応じて編集→■（OK） ●選択できる項目は、「デジタル時計」／「デュアル時計」／「カレンダー（1ヶ月表示）」／「カレンダー（2ヶ月表示）」／「今日」／「Off」です。 ●デジタル時計は、表示する時計の種類を選択できます。時計の種類を設定するには、「デジタル時計」→◀▶で時計の種類を選択→■（OK）を押します。 ●「デュアル時計」に設定すると、待受画面に2つの時計が表示されます。上側には「一般設定」の「日時設定」で設定した地域の時計が表示されます。下側に表示される時計は、「デュアル時計」→タイムゾーン欄を反転表示→◀▶で設定したい地域を指定→必要に応じてサマータイム欄を反転表示してチェック→✉（OK）を押して設定できます。
文字について設定する お買い上げ時 文字1	「文字表示」→「文字タイプ」→「文字1」／「文字2」
メニューリストのメニュー文字サイズを変更する お買い上げ時 大	「文字表示」→「文字サイズ」→「メニューリスト」→「大」／「小」
ブラウザのメニュー文字サイズを変更する お買い上げ時 標準	「文字表示」→「文字サイズ」→「ブラウザ」→「大」／「標準」／「小」
電話帳のメニュー文字サイズを変更する お買い上げ時 標準	「文字表示」→「文字サイズ」→「電話帳」→「大」／「標準」／「小」
文字入力画面の文字サイズを変更する お買い上げ時 標準	「文字表示」→「文字サイズ」→「エディタ」→「大」／「標準」／「小」

メール本文の文字サイズを変更する お買い上げ時 標準	「文字表示」→「文字サイズ」→「メール」→項目を選択 ●選択できる項目は「大」／「標準」／「小」／「最小」です。
S!おなじみ操作を設定する	「S!おなじみ操作」→「S!おなじみ操作ダウンロード」→目的のS!おなじみ操作の情報画面を表示→S!おなじみ操作を選択→ダウンロードしたS!おなじみ操作を選択
ディスプレイの明るさを調整する お買い上げ時 3	「バックライト」→「明るさ」→[十字キー]で明るさを調整→[■]（OK）
バックライト点灯時間を設定する お買い上げ時 On：15秒、省電力設定：15秒	「バックライト」→「バックライト点灯時間」→On欄を選択→時間を選択→省電力設定欄を選択→時間を選択→[✉]（保存） ●選択できる点灯時間は、「Off」／「5秒」／「10秒」／「15秒」／「30秒」／「1分」、省電力設定は「5秒」／「10秒」／「15秒」／「30秒」／「1分」です。 ●点灯時間を「Off」に設定すると、画面が暗くなります。 ●点灯時間で設定した時間を経過すると画面が暗くなり、さらに「省電力設定」で設定した時間を経過するとディスプレイが消灯します。
サブディスプレイの壁紙を変更する お買い上げ時 プリセット画像	「サブディスプレイ」→「壁紙」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→[十字キー]で位置を調節→[✉]（ズームアウト）／[Y!]（ズームイン）でサイズを調節→[■]（切り取り）→[■]（設定）
サブディスプレイに表示する情報を設定する お買い上げ時 日付	「サブディスプレイ」→「日付／メッセージ」→「日付」／「メッセージ」→[左右キー]で表示位置を選択→[■]（OK） ●「メッセージ」では[✉]（編集）を押すと、メッセージを入力できます。
サブディスプレイの時計表示を設定する お買い上げ時 標準	「サブディスプレイ」→「時計表示設定」→「常時On」／「標準」 ●「常時On」に設定すると、常に時計とアイコンが表示されます。
ポップアップメニューを設定する お買い上げ時 Off	「ポップアップメニュー」→「On」／「Off」 ●メニューの中項目を反転表示したときに、小項目を吹き出しで表示するかどうか設定できます。 ●小項目がない中項目を反転表示したときは吹き出しが表示されません。ツールメニューの「アラーム」も吹き出しが表示されません。

待受中にダイヤル入力したときの文字タイプを設定する お買い上げ時 文字タイプ：標準1	「ダイヤル表示スタイル」→「文字タイプ」→◀▶で文字タイプを切り替え→■（OK） ●「標準1」または「標準2」を設定したときは、文字のサイズや色、背景色も変更できます。
待受中にダイヤル入力したときの文字サイズを設定する お買い上げ時 標準	「ダイヤル表示スタイル」→「文字サイズ」→◀▶でサイズを切り替え→■（OK）
待受中にダイヤル入力したときの文字色を設定する お買い上げ時 標準	「ダイヤル表示スタイル」→「文字カラー」→◀▶で設定を切り替え→▼で色の選択欄にカーソル移動→◀▶で色を切り替え（「単色」の場合のみ）→■（OK）
待受中にダイヤル入力したときの背景色を設定する	「ダイヤル表示スタイル」→「背景色」→◀▶で色を切り替え→■（OK）
事業者名の表示設定をする お買い上げ時 Off	「事業者名表示」→「On」／「Off」

設定

本体機能の設定

本体機能に関する設定

共通操作 ■→「設定」→「一般設定」

ディスプレイの表示言語を切り替える お買い上げ時 日本語	「Language」→項目を選択 ●選択できる項目は、「自動切替」／「日本語」／「English」／「한국어」です。
タイムゾーンの更新の設定をする お買い上げ時 最初に確認	「日時設定」→タイムゾーンの更新欄を選択→「手動」／「最初に確認」／「自動」→■（選択）→✉（保存） ●「自動」に設定すると再起動の確認メッセージが表示され、「はい」を選択すると820SCが再起動します。 ●「タイムゾーンの更新」は、設定を変更しても動作しません。
タイムゾーンを変更する お買い上げ時 GMT+09:00	「日時設定」→タイムゾーン欄を選択→◀▶で目的の地域を指定→■（OK）→✉（保存） ●お使いの地域に合わせて日付や時刻を切り替えます。「時計／カレンダー表示」で「デュアル時計」を設定するには、あらかじめこの設定を行ってください。

サマータイムを設定する　**お買い上げ時** チェックなし	「日時設定」→タイムゾーン欄を選択→「サマータイム」をチェック→[✉]（選択）→[✉]（保存）
時刻を設定する	「日時設定」→時間欄を反転表示→時刻を入力→[✉]（保存） ●設定しないとご利用になれない機能があります。
「AM」／「PM」を設定する（時刻表示形式「12H」の場合）	「日時設定」→時間欄を反転表示→[◁]で「AM」／「PM」にカーソルを合わせる→[◁]で設定を切り替え→[✉]（保存）
日付を設定する	「日時設定」→日付欄を反転表示→年月日を入力→[✉]（保存） ●設定しないとご利用になれない機能があります。
時刻の表示形式を変更する　**お買い上げ時** 24H	「日時設定」→時刻表示形式欄を選択→「12H」／「24H」→[✉]（保存）
日付の表示形式を変更する　**お買い上げ時** 年／月／日	「日時設定」→日付表示形式欄を選択→項目を選択→[✉]（保存） ●選択できる項目は、「日／月／年」／「月／日／年」／「年／日／月」／「年／月／日」です。
S!おなじみ入力の設定をする　**お買い上げ時** Off	「S!おなじみ入力」→項目を選択 ●選択できる項目は、「Off」／「603T」／「810SH」／「A5509T」／「N901iC」／「P901i」／「V603SH」です。 ●820SCの入力操作を、すでに発売されているソフトバンク携帯電話またはその他の携帯電話の入力操作イメージに変更できます。変更した場合、コピーや記号入力など一部の入力操作に制限が出ることがあります。 ●機種を反転表示して[✉]（プレビュー）を押すと、操作が確認できます。
ユーザ辞書を登録する	「ユーザ辞書」→「新規登録」→語句欄を選択→単語や文を入力→読み欄を選択→ヨミガナを入力→[✉]（保存）
ユーザ辞書の登録内容を編集する	「ユーザ辞書」→「辞書編集」→編集する内容を選択→語句やヨミガナを編集→[✉]（保存）
ユーザ辞書の登録内容を削除する	「ユーザ辞書」→「全削除」→操作用暗証番号を入力→[■]（OK）→「はい」

文字入力履歴をリセットする	「ユーザ辞書」→「ユーザ辞書リセット」→操作用暗証番号を入力→■（OK）→「はい」 ●予測候補や変換候補には、過去に変換した文字列や漢字が優先して表示されます。表示される内容を、お買い上げ時の状態に戻すことができます。
スピード検索の設定をする　お買い上げ時 Off	「スピード検索設定」→「On」／「Off」 ●「On」に設定し、待受画面で数字を入力すると、その数字のダイヤルボタンに割り当てられた文字に対応する「ヨミガナ」を先頭にもつ電話番号を電話帳から検索して表示します。
サイドキー操作で応答拒否する／着信音を消す　お買い上げ時 着信音サイレント	「サイドキー設定」→「着信拒否」／「着信音サイレント」 ●着信中に／を1秒以上押したときの動作を設定します。
エニーキーアンサーを設定する　お買い上げ時 Off	「エニーキーアンサー」→「On」／「Off」 ●「On」に設定すると、、■、、、、を除くどのボタンを押しても電話を受けられます。
着信中に820SCを開くだけで応答するかどうか設定する　お買い上げ時 Off	「オープン通話」→「On」／「Off」
820SCをビューアポジションにしたときに起動する機能を設定する　お買い上げ時 TV視聴	「自動起動設定」→「TV視聴」／「カメラ」／「Off」 ●待受画面の状態でビューアポジションにしたときに、自動でテレビまたはカメラを起動できます。
キーライトを設定する　お買い上げ時 通常モード	「キーライト」→「通常モード」／「節電モード」→節電開始時刻欄を選択→節電開始時刻を入力→節電終了時刻欄を選択→節電終了時刻を入力→（保存） ●「通常モード」に設定すると、820SCを操作後「バックライト点灯時間」で設定した時間の間、キーが点灯します。 ●「節電モード」に設定すると、節電時刻の間、キーは点灯しません。

設定

セキュリティの設定

セキュリティに関する設定

共通操作 ■→「設定」→「セキュリティ設定」

電源On時ロックを設定する お買い上げ時 Off	「電源On時ロック」→「On」／「Off」→操作用暗証番号を入力→■（OK）
キー操作ロックを設定する お買い上げ時 Off	「キー操作ロック」→「On」／「Off」→操作用暗証番号を入力→■（OK）
USIM照合を設定する お買い上げ時 Off	「USIM照合」→「On」／「Off」→USIMパスワード（4〜8桁の任意の番号）を入力→■（OK）→必要に応じてもう一度USIMパスワードを入力→■（OK）
顔認証機能を設定する お買い上げ時 Off	「顔認証機能」→「On/Off設定」→「On」／「Off」→操作用暗証番号を入力→■（OK）
顔認証時の表示を設定する お買い上げ時 プレビュー	「顔認証機能」→「ガイド設定」→「Off」／「プレビュー」
顔認証機能のセキュリティレベルを設定する お買い上げ時 標準	「顔認証機能」→「セキュリティレベル」→「高」／「標準」／「低」
顔認証機能のユーザ登録をする お買い上げ時 全て空き	「顔認証機能」→「ユーザ登録」→「ユーザ1」〜「ユーザ5」→「顔画像」→画像1〜5を反転表示→✉（キャプチャ）→■（キャプチャ）→■（保存）→「はい」→■（OK）→CLEAR/メモ→「ユーザ名」→ユーザ名を入力→「質問」→質問を入力→「答え」→答えを入力 ●「顔認証機能」の「On/Off 設定」が「Off」に設定されている場合は、顔画像保存後に「On」にするかどうかの確認メッセージが表示されます。「On」にするときは、「はい」を選択します。
アプリケーションロックを設定する お買い上げ時 全てのロックを解除	「アプリケーションロック」→ロックしたい項目をチェック→✉（保存）→操作用暗証番号を入力→■（OK） ●チェックできる項目は、「全チェック／全解除」／「電話帳」／「カレンダー」／「メール」／「通話履歴」／「データフォルダ」です。
シークレットモードを設定する お買い上げ時 表示しない	「シークレットモード」→操作用暗証番号を入力→■（OK）→「表示する」／「表示しない」

データフォルダのサブフォルダにシークレットモード設定をする お買い上げ時 表示しない	「シークレットデータフォルダ」→操作用暗証番号を入力→■（OK）→「表示する」／「表示しない」
電話帳やメールなどを消去する	「リセット」→「オールリセット」→操作用暗証番号を入力→■（OK）→「はい」
設定をリセットする	「リセット」→「設定リセット」→操作用暗証番号を入力→■（OK）→「はい」
PIN認証を設定する お買い上げ時 Off	「PIN認証」→「On」／「Off」→PINコードを入力→■（OK）
PINコードを変更する	「PIN変更」→現在のPINコードを入力→■（OK）→新しいPINコードを入力→■（OK）→もう一度新しいPINコードを入力→■（OK）
PIN2コードを変更する	「PIN2変更」→現在のPIN2コードを入力→■（OK）→新しいPIN2コードを入力→■（OK）→もう一度新しいPIN2コードを入力→■（OK）
操作用暗証番号を変更する お買い上げ時 9999	「暗証番号変更」→現在の操作用暗証番号を入力→■（OK）→新しい操作用暗証番号を入力→■（OK）→もう一度新しい操作用暗証番号を入力→■（OK）
IPサービス設定を設定する お買い上げ時 Off	「IPサービス設定」→「On」／「Off」
モバイルトラッカーを設定する お買い上げ時 Off	「モバイルトラッカー」→操作用暗証番号を入力→■（OK）→設定欄を選択→「On」→宛先欄を選択→To欄を選択→宛先を入力→✉（保存）→送信者欄を選択→送信者名を入力→✉（保存）→表示内容を確認→■（同意）／Y!（拒否）

設定

通話の設定

通話に関する設定

共通操作 ■→「設定」→「通話設定」

呼び出し時間なしで留守番電話サービスを開始する	「通話サービス」→「留守番・転送電話」→「留守番電話設定」→「呼出なし（0秒）」
呼び出し時間を設定して留守番電話サービスを開始する	「通話サービス」→「留守番・転送電話」→「留守番電話設定」→「呼出あり（5-30秒）」→呼び出し時間を選択 ●選択できる項目は、「5秒」／「10秒」／「15秒」／「20秒」／「25秒」／「30秒」です。

転送電話サービスを設定する	「通話サービス」→「留守番・転送電話」→「転送電話設定」→「音声／TVコール」／「音声通話」／「TVコール」→「呼出なし（0秒）」／「呼出あり（5-30秒）」→「前回転送先番号」／「電話帳」／「番号入力」→転送先の設定操作
留守番電話サービス／転送電話サービスを解除する	「通話サービス」→「留守番・転送電話」→「留守番・転送全停止」→「はい」
留守番電話サービス／転送電話サービスの設定を確認する	「通話サービス」→「留守番・転送電話」→「設定確認」
留守番電話の伝言メッセージを聞く	「通話サービス」→「留守番・転送電話」→「留守番再生」→[発信]
割込通話サービスを開始／解除する	「通話サービス」→「割込通話」→「On」／「Off」
割込通話サービスの設定を確認する	「通話サービス」→「割込通話」→「設定確認」
発信規制を設定する	「通話サービス」→「発着信規制」→「発信規制」→「全発信規制」／「滞在国以外規制」／「日本／滞在国以外規制」→「On」／「Off」→規制暗証番号を入力→[■]（OK）
着信規制を設定する	「通話サービス」→「発着信規制」→「着信規制」→「全着信規制」／「国際着信規制」→「On」／「Off」→規制暗証番号を入力→[■]（OK）
発着信規制の制限をすべて解除する	「通話サービス」→「発着信規制」→「全ての発着信規制解除」→規制暗証番号を入力→[■]（OK）→「はい」
発着信規制の設定を確認する	「通話サービス」→「発着信規制」→「設定確認」→項目を選択 ●選択できる項目は、「全発信規制」／「滞在国以外規制」／「日本／滞在国以外規制」／「全着信規制」／「国際着信規制」です。
発着信規制用暗証番号を変更する	「通話サービス」→「発着信規制」→「規制暗証番号変更」→現在欄に規制暗証番号を入力→[■]（OK）→新規欄に新しい規制暗証番号を入力→[■]（OK）→確認欄にもう一度新しい規制暗証番号を入力→[■]（OK）
着信お知らせ機能を設定する	「通話サービス」→「着信お知らせ機能」→[■]（発信）
ネットワークモードを切り替える お買い上げ時 自動	「通話サービス」→「国際設定」→「3G/GSM選択」→「自動」／「手動」 ●「手動」で選択できる項目は、「3G/GSM」／「3G」／「GSM」です。

国際コードを登録する　お買い上げ時 0046010	「通話サービス」→「国際設定」→「国際コード」→操作用暗証番号を入力→■（OK）→国際コードを入力
国番号を追加／変更／削除する お買い上げ時 1：日本、2：韓国、3：イギリス、4：イタリア、5：スイス、6：スペイン、7：ドイツ、8：ポルトガル、9：オランダ、0：フランス、＊：モナコ、＃：アメリカ合衆国、スウェーデン、オーストラリア、中国、香港、台湾	「通話サービス」→「国際設定」→「国番号リスト」→追加／変更／削除操作 ●追加／変更するときは、国番号リストから追加／変更したい項目を反転表示→■（変更）→国名欄を選択→国名を入力→国番号欄を反転表示→国番号を入力→✉（保存）を押します。 ●削除するときは、削除したい項目を反転表示→✉（削除）→「はい」を選択します。
接続するネットワークを選択する	「通話サービス」→「国際設定」→「事業者設定」→「自動」／「手動」 ●「手動」を選択したときは、ネットワークを選択します。
優先されるネットワークをリストから設定する	「通話サービス」→「国際設定」→「事業者設定」→「優先ネットワーク設定」→「優先度リスト」→挿入したい位置のネットワークを選択→ネットワークリストから挿入したいネットワークを反転表示→■（挿入）
優先されるネットワークを新規追加する	「通話サービス」→「国際設定」→「事業者設定」→「優先ネットワーク設定」→「新規追加」→国番号を入力→ネットワークコードを入力→「GSM」／「3G」
すべての通話の合計通話時間／合計通話料金を確認する	「通話時間・料金」→「累積」 ●通話時間／通話料金をリセットするには、✉（リセット）→PIN2 コードを入力→■（OK）を押します。
前回の通話時間／通話料金を確認する	「通話時間・料金」→「直前の通話」 ●前回の通話時間／通話料金をリセットするには、✉（リセット）を押します。
累積データ通信量を確認する	「通話時間・料金」→「累積データ通信量」 ●送信データ量／受信データ量をリセットするには、✉（リセット）を押します。
通話終了後に通話料金を表示するかどうか設定する　お買い上げ時 Off	「通話時間・料金」→「通話後料金表示」→「On」／「Off」 ●本機能はご利用になれない場合があります。
通話料金の通貨単位を変更する	「通話時間・料金」→「通貨設定」→PIN2コードを入力→■（OK）→レート欄を選択→円に対するレートを入力→通貨欄を選択→通貨単位を入力→✉（保存）

通話料金の限度額を設定する	「通話時間・料金」→「通話料金上限設定」→ ✉（編集）→PIN2コードを入力→ ■（OK）→現在の通話料金上限欄を選択→限度額を入力→ ✉（保存） ●通話料金の上限を超えると、緊急電話発信を除くすべての電話の発信やメールの送受信、ウェブ接続（通話料、通信料が課金される操作）ができなくなります。 ●「通話後料金表示」がご利用になれない場合、通話料金の限度額を設定する機能はご利用になれません。
通話料金の限度額の設定を解除する	「通話時間・料金」→「通話料金上限設定」→ Y!（解除）→PIN2コードを入力→ ■（OK）
簡易留守録を設定する お買い上げ時 Off	「簡易留守録」→「簡易留守録設定」→「On」／「Off」
簡易留守録の応答時間を設定する お買い上げ時 18秒	「簡易留守録」→「応答時間」→項目を選択→ ■（選択） ●選択できる項目は、「5秒」／「10秒」／「15秒」／「30秒」／「その他（0-30秒）」です。 ●「その他（0-30秒）」を選択した場合は、 を押して時間を入力します。
簡易留守録に録音された用件を確認する	「簡易留守録」→「録音メッセージ再生」→用件を反転表示→ ■（再生） ●録音された用件を1件削除するには、削除したい用件を反転表示→ ✉（削除）→「はい」を選択します。 ●録音された用件をすべて削除するには、一覧画面で Y!（全削除）→操作用暗証番号を入力→ ■（OK）→「はい」を選択します。
応答メッセージの言語を設定する お買い上げ時 日本語	「簡易留守録」→「応答言語」→「日本語」／「English」／「한국어」 ● ✉（再生）を押すと、選択した言語でメッセージが再生されます。
自画像の代わりに送信する代替画像をお買い上げ時の画像に設定する	「TVコール」→「代替画像」→「プリセット画像」→ ■（OK）
自画像の代わりに送信する代替画像を設定する	「TVコール」→「代替画像」→「ピクチャー」→ファイルを選択→ ■（OK） ●メモリカードを取り付けているときは、「ピクチャー」を選択したあとに「ピクチャー」／「デジタルカメラ」を選択してから画像を選択します。
TVコール中の相手画像の画質を調整する お買い上げ時 標準	「TVコール」→「受信画質」→「動き優先」／「標準」／「画質優先」

TVコール中の自画像の画質を調整する お買い上げ時 標準	「TVコール」→「送信画質」→「動き優先」／「標準」／「画質優先」
TVコール中の保留画像をお買い上げ時の画像に設定する	「TVコール」→「保留設定」→「プリセット画像」→■（OK）
TVコール中の保留画像について設定する	「TVコール」→「保留設定」→「ピクチャー」→ファイルを選択→■（OK） ●メモリカードを取り付けているときは、「ピクチャー」を選択したあとに「ピクチャー」／「デジタルカメラ」を選択してから画像を選択します。
TVコール中の音声の送信について設定する お買い上げ時 Off	「TVコール」→「私の音声ミュート」→「On」／「Off」 ●「On」に設定している場合、TVコール中に一時的に音声を送信するには✉（ミュート）→「音声」のチェックを外す→✉（完了）を押します。
TVコール中にスピーカーホンを利用するかどうか設定する お買い上げ時 On	「TVコール」→「スピーカーホン」→「On」／「Off」
TVコール中のバックライトの明るさを設定する お買い上げ時 On	「TVコール」→「バックライト」→「On」／「Off」 ●「Off」に設定するとディスプレイは「On」の設定時より暗くなります。
TVコールがつながらなかったときの動作を設定する お買い上げ時 毎回確認	「TVコール」→「再発信方法」→項目を選択 ●選択できる項目は、「毎回確認」／「音声通話」／「メール」／「なし」です。 ●「なし」に設定すると、何も表示せずに発信を終了できます。 ●TVコールがつながらなかったときに、設定した方法で再発信をうながすメッセージを表示することができます。
指定した相手からのTVコール着信を自動で受ける お買い上げ時 Off	「TVコール」→「自動応答」→「On/Off設定」→「On」／「Off」 ●指定した相手からTVコールの着信があったときに、通知音でお知らせして自動的に電話を受けることができます。
TVコール着信を自動で受ける相手を指定する	「TVコール」→「自動応答」→「自動応答リスト」→Y!→「追加」→操作用暗証番号を入力→■（OK）→電話番号の登録操作→■ ●登録操作は「直接入力」／「電話帳」／「通話履歴」から選択できます。 ●指定した相手を削除するには「自動応答リスト」を選択後、削除したい相手を反転表示→Y!→「削除」→「1件」／「全件」→「はい」を選択します。「全件」を選択したときは、操作用暗証番号の入力が必要です。

TVコール発信時の自画像の送信について設定する お買い上げ時 On	「TVコール」→「自画像送信」→「On」／「Off」
電話番号を指定して着信の許可／拒否を設定する お買い上げ時 Off	「着信拒否」→「電話番号指定」→「On/Off設定」→「On」／「Off」 ●着信拒否に登録した電話番号からかかってきたとき、相手には話中音を流し電話を受けません。待受画面には「不在着信」と表示してお知らせします。✉（表示）を押すと不在着信履歴を確認できます。
着信拒否する電話番号を登録する	「着信拒否」→「電話番号指定」→「拒否リスト編集」→Y!→「追加」→電話番号の登録操作→✉（保存） ●電話番号の登録操作は「直接入力」／「電話帳」／「通話履歴」から選択できます。 ●登録した電話番号を削除するには、「着信拒否リスト」→削除したい電話番号を反転表示→Y!→「削除」→「1件」／「全件」→「はい」を選択します。「全件」を選択したときは、操作用暗証番号の入力が必要です。
電話帳に登録していない番号からの着信の許可／拒否を設定する お買い上げ時 Off	「着信拒否」→「電話帳以外」→「On」／「Off」
非通知着信の許可／拒否を設定する お買い上げ時 Off	「着信拒否」→「非通知」→「On」／「Off」
公衆電話からの着信の許可／拒否を設定する お買い上げ時 Off	「着信拒否」→「公衆電話」→「On」／「Off」
電話番号が通知不可能な着信の許可／拒否を設定する お買い上げ時 Off	「着信拒否」→「通知不可」→「On」／「Off」
オフラインモードを設定する お買い上げ時 Off	「オフラインモード」→「On」／「Off」
発信者番号の通知／非通知を設定する	「発信者番号通知」→「通知／非通知」→「通知する」／「通知しない」 ●現在の設定を確認するには、「設定確認」を選択します。

お話し中だった相手に自動的にリダイヤルする お買い上げ時 Off	「オートリダイヤル」→「On」／「Off」 ●音声電話やTVコールをかけた相手がお話し中だったときに、自動的に電話を切り、すぐにリダイヤルを開始するように設定できます。オートリダイヤルは、Y!（キャンセル）／[終話]を押すまで最大10回繰り返されます。 ●TVコールの再発信方法を設定しているときは、オートリダイヤルの設定が優先されます。 ●相手が転送電話サービスや留守番電話サービスを設定しているときは、電話が転送され、オートリダイヤルは行われません。
着信音調節機能を設定する お買い上げ時 On	「着信音調節機能」→「On」／「Off」 ●音声電話やTVコールの着信音量が大きな音で設定されている場合、着信時にいきなり大きな音で呼び出すことを防ぐために、レベル1の音量で2秒間呼び出したあと、設定されている音量で呼び出します。
イヤホン通話を使う お買い上げ時 イヤホン通話を使う：Off	「イヤホン通話」→「イヤホン通話を使う」→「On」／「Off」→「電話番号指定」→電話番号の登録操作→[✉]（保存） ●電話番号の登録操作は「直接入力」／「電話帳」／「通話履歴」から選択できます。 ●ステレオイヤホンマイクのスイッチを 1 秒以上押して、指定した電話番号に電話をかけられるように設定できます。指定した電話番号を変更する場合は同じ操作を繰り返し、変更する電話番号を登録します。
通話中の音量を調節する	「受話音量」→[◀▶]で音量を調節→[■]（選択）

設定

モードの設定

モードに関する設定

共通操作 [■]→「設定」→「モード設定」

モードを切り替える	「通常モード」／「マナーモード」／「運転中モード」／「会議モード」／「アウトドアモード」 ●各モードの設定内容を変更するには、設定したいモードを反転表示して[✉]（編集）を押し、各項目の設定をします。

設定

外部接続の設定

Bluetooth®に関する設定

共通操作 ■→「設定」→「外部接続」→「Bluetooth」

Bluetooth®機能を設定／解除する お買い上げ時 Off	「Bluetooth On/Off設定」→「On」／「Off」
Bluetooth®対応機器を検索して登録する	「周辺機器検索」→「周辺デバイス検索」→検索に応答した機器が表示されたら、登録する機器を選択→認証コード（4～16桁）を入力→■（OK）→相手機器側で30秒以内に同じ認証コードを入力
接続したデバイスのデータを参照する	「登録済みデバイス」→デバイスを選択→参照される側で接続の承認操作 ●参照しているファイルを受信するには、承認操作のあと、受信したいファイルを選択します。 ●参照しているフォルダを受信するには、承認操作のあと、受信したいフォルダを反転表示してY!を押し、「取得」を選択します。
他のBluetooth®機器から検索／登録する お買い上げ時 公開する	「マイデバイス設定」→「公開設定」→「公開する」／「非公開にする」 ●相手のBluetooth®機器側から検索と登録をする場合は「公開する」に設定し、お客様の820SCを公開する必要があります。
ハンズフリー機器接続時の通話の開始方法を設定する お買い上げ時 ハンズフリーモード（常時ハンズフリー）	「マイデバイス設定」→「ハンズフリー設定」→「プライベートモード（発着信方法に依存）」／「ハンズフリーモード（常時ハンズフリー）」 ●設定内容は次のとおりです。 「プライベートモード（発着信方法に依存）」： 820SCで発着信した場合は、820SCで通話します。ハンズフリー機器から発着信した場合は、ハンズフリー機器で通話します。 「ハンズフリーモード（常時ハンズフリー）」： すべてハンズフリー機器で通話します。

データ転送時の認証を設定する お買い上げ時 On	「マイデバイス設定」→「データ転送認証」→「On」/「Off」 ●「On」に設定すると、データを送信するときに確認のメッセージが表示されます。
着信時の応答方法を設定する お買い上げ時 通常	「マイデバイス設定」→「応答設定」→「通常」/「エニーキー」/「自動」 ●自動的に着信するまでの秒数を設定するには「自動」を選択し、秒数を選択します。
820SCの機器アドレスを確認する	「マイデバイス設定」→「デバイス情報」
820SCの表示名を編集する お買い上げ時 820SC	「マイデバイス設定」→「デバイス情報」→「デバイス名称」→名前を編集
利用できるBluetooth®の機能を確認する	「マイデバイス設定」→「Bluetoothサービス説明」→確認したい機能を選択
S!アプリの通信を設定/解除する お買い上げ時 On	「S!アプリ要求」→「On」/「Off」
電話帳、カレンダー、ブックマークをそれぞれ一括送信する	「全件データ送信」→デバイスを選択→操作用暗証番号を入力→■(OK)→「電話帳」/「カレンダー」/「ブックマーク」

赤外線通信に関する設定

共通操作 ■→「設定」→「外部接続」→「赤外線通信」

赤外線通信を設定/解除する お買い上げ時 Off	「赤外線On/Off設定」→「On(3分間)」/「Off」
データを一括送信する	「全件データ送信」→操作用暗証番号を入力→■(OK)→「電話帳」/「カレンダー」/「ブックマーク」→「はい」→認証コード(4桁)を入力→■(OK) ●電話帳を選択した場合に、画像データを転送するときは、「はい」を選択します。

カードリーダーモードに関する設定

共通操作 ■→「設定」→「外部接続」

カードリーダーモードを起動する	「カードリーダーモード」→操作用暗証番号を入力→■(OK)→820SCとパソコンをUSBケーブルで接続→パソコンからデータを読み書き

ネットワークに関する設定

共通操作 ■→「設定」→「外部接続」

ネットワーク自動調整を手動で行う	「ネットワーク自動調整」→「はい」/「いいえ」

設定

メモリの設定

820SCのメモリに関する設定 共通操作 ■→「設定」→「メモリ設定」

メモリカードの詳細情報を確認する	「メモリカード」→「詳細」 ●メモリカードの名前、メモリ容量、メモリ残量を確認できます。
メモリカードをフォーマット（初期化）する	「メモリカード」→「メモリカード初期化」→操作用暗証番号を入力→■（OK）→「はい」
メモリカードの表示名を編集する	「メモリカード」→「名前変更」→名前を入力
メモリのバックアップをとる	「メモリカード」→「バックアップ」→「メモリカードへ保存」→「はい」→操作用暗証番号を入力→■（OK）→項目を選択→「はい」 ●選択できる項目は、「電話帳」／「カレンダー」／「予定リスト」／「コンテンツ・キー」／「ブックマーク」です。
バックアップしたデータから復元する	「メモリカード」→「バックアップ」→「メモリカードから読込み」→「はい」→操作用暗証番号を入力→■（OK）→項目を選択→ファイルを選択→「追加」／「上書き」 ●選択できる項目は、「電話帳」／「カレンダー」／「予定リスト」／「コンテンツ・キー」／「ブックマーク」です。
820SC本体のメモリの詳細情報を確認する	「本体」→「詳細」 ●820SC本体のメモリ容量、メモリ残量を確認できます。
820SC本体のメモリを消去する	「本体」→「メモリ消去」→消去したい項目をチェック→✉（削除）→操作用暗証番号を入力→■（OK）→「はい」 ●チェックできる項目は、「全件」、「データフォルダ」、「メール」、「電話帳」、「カレンダー」、「ユーザ辞書」です。

データの保存先を820SC本体／メモリカードに指定する お買い上げ時 本体	「保存先設定」→「本体」／「メモリカード」／「毎回確認」 ●メモリカードを取り付けているときの、データの保存先を820SC本体またはメモリカードのどちらにするかを設定できます。画像編集時、S!メールの添付ファイル保存時、情報画面からのファイルダウンロード時、Bluetooth®経由でのデータ受信時などのデータが対象になります。 ●メモリカードが取り付けられていないときに、「メモリカード」または「毎回確認」に設定している場合は、保存先は自動的に820SC本体になります。
メモリ容量を確認する	「メモリ容量確認」→項目を選択 ●選択できる項目は、「共有メモリ」／「メール」／「データフォルダ」／「カレンダー」／「電話帳」です。 ●確認したメモリを削除するには［✉］（削除）を押します（➔P.2-52 登録／保存した内容を削除してメモリを整理したい）。

資料／付録

電池パックと充電器のお取り扱い

電池パックと充電器をご利用になる前に

初めてお使いになるときや、長時間ご使用にならなかったときには、ご使用前に必ず充電してください。

充電について

- 電池残量のない状態で保管、放置はしないでください。電池パックを長期間保管または放置される場合でも、半年に1回程度、電池パックの充電を行ってください。
  長い間ご使用にならなかった電池パックは十分に充電されず、使用時間が短くなったり、使用できなくなる場合があります。
- 電池パックはリチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池はメモリ効果がないため、継ぎ足し充電ができます。
- 次のような場所では充電しないでください。
  - 周囲の温度が5℃以下、または40℃以上になる場所
  - 湿気、ほこり、振動の多い場所（誤動作の原因となります）
  - ラジオなどのそば（ラジオなどに雑音が入ることがあります）
- 充電中に電池パックや充電器が温かくなることがありますが、異常ではありません。ただし、手で触れられないほど熱くなった場合は、充電を中止し、お問い合わせ先（➔P.14-31）までご相談ください。
- 電池パックは消耗品です。電池パックを完全に充電しても使用できる時間が極端に短くなったら、交換時期です。新しい電池パックをお買い求めください。

注意

- **820SCに使用する充電用機器は、必ず当社指定のものをご使用ください。また、820SC以外の製品に使用しないでください。**
- **電池パック単体で充電することはできません。必ず820SCに電池パックを取り付けた状態で充電してください。電池パックなしの状態では、充電することも電源を入れることもできません。**
- **充電器を長時間ご使用にならない場合は、プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。**

電池パックの持ちについて

次のような使いかたや操作をすると、電池パックの消耗が早まり、利用可能時間が短くなります。

- 使用環境
  - 極端な低温または高温の状態での使用、および保存（5～40℃の温度範囲でご使用ください）
  - 電波の弱い場所での通話や、圏外表示での待ち受け（なるべく電波状態の良い環境でご使用ください）
  - 820SCや電池パック、充電器の充電端子の汚れ（汚れのために接触が悪くなると、正常に充電できなくなります）
- 操作
  - S!アプリを起動しているとき
  - カメラでの撮影を何度も行ったとき
  - 動画や音楽を再生したとき
  - S!アプリ機能（ゲームなど）やメール作成などで連続したボタン操作をしたとき（照明の点灯時間が長くなるため）
  - Bluetooth®通信を何度も行ったとき
  - 820SCを頻繁に開閉したとき
  - テレビを視聴しているとき

●設定
- スライドショーを設定しているとき
- 「ディスプレイ設定」の「バックライト」で明るさのレベルを上げているときや、長時間の点灯を設定しているとき
- メディアプレイヤーのバックライトが「常時On」に設定されている状態で、ムービーを再生したとき

不要になった電池パックは

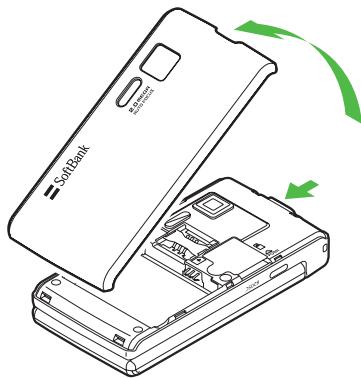
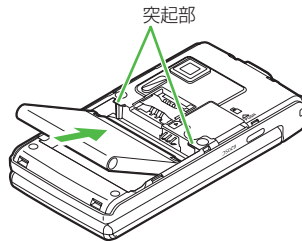
不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てずに、端子にテープなどを貼り付けて絶縁し、個別回収に出すか最寄りのソフトバンクショップへお持ちください。電池を分別廃棄している市町村の場合は、その条例に基づいて廃棄してください。
リチウムイオン電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。

電池が切れると

電池がほとんど残っていない状態になると、警告音とメッセージでお知らせします。電池パックを充電してください。そのまま充電をしないでいると、自動的に820SCの電源が切れます。

電池パックを取り付ける／取り外す

取り付ける

1 ロックを矢印の方向に押しながら電池カバーを持ち上げて、取り外す

2 820SCの突起部に電池パックのくぼみを合わせて取り付ける

3 電池カバーの左右のツメと本体のくぼみを合わせるように電池カバーを置き、取り付ける

注意

- 電池カバーを外すときには、電池カバーのツメを820SCのくぼみに差し込んだまま無理に開かないでください。電池カバーのツメが壊れる場合があります。
- 取り付けるときに、電池パックに無理な力を加えないでください。820SCの充電端子が壊れる場合があります。

取り外す

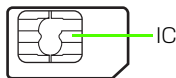
電池パックの取り外しは、電源を切ってから行ってください。また、急速充電器またはシガーライター充電器を接続していない状態で行ってください。

1 ロックを矢印の方向に押しながら電池カバーを持ち上げて、取り外す

2 電池パックを持ち上げて、取り外す

USIMカードのお取り扱い

USIMカードをご利用になる前に

USIMカードは電話番号やお客様情報が入ったICカードです。USIMカード対応のソフトバンク携帯電話に取り付けて使用します。820SCは、USIMカードが取り付けられていないと利用できません。

USIM（ユーシム）カード

USIMカードには電話帳とSMSを保存できます。USIMカードに保存したデータは、他のUSIMカード対応のソフトバンク携帯電話でもご利用いただけます。次の点にご注意ください。USIMカードの詳細については、USIMカードに付属の説明書を参照してください。

- USIMカードの取り付けや取り外しをするときには、必要以上に力を入れないでください。
- 他社製品のICカードリーダーなどにUSIMカードを挿入し、故障したときは、お客様ご自身の責任となり当社では責任を負いかねますのでご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れするときは、乾いた柔らかい布などで拭いてください。
- USIMカードにラベルなどを貼り付けないでください。USIMカードは非常に薄く、精密に作られているため、ラベルやシール程度の厚みでも接触不良やデータの破壊などの原因となることがあります。

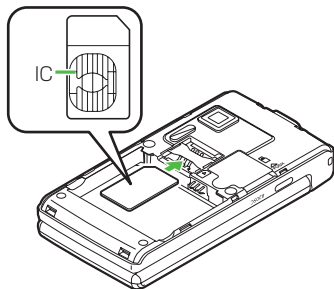
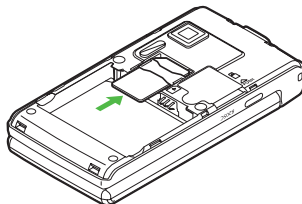
注意

- **USIMカードの所有権は当社に帰属します。**
- **紛失、破損などによるUSIMカードの再発行は有償となります。**
- **解約、休止などの際は、USIMカードを当社にご返却ください。**
- **お客様からご返却いただいたUSIMカードは、環境保全のためリサイクルされています。**
- **USIMカードの仕様、性能は予告なしに変更する可能性があります。ご了承ください。**
- **国内外を問わず、USIMカードならびにソフトバンク携帯電話（USIMカード挿入済み）の盗難・紛失の際は、必ず緊急利用停止の手続きを行ってください。緊急利用停止の手続きについては、お問い合わせ先（➲P.14-31）までご連絡ください。**
- **820SCの修理やUSIMカードの交換、機種変更を行った場合、本体やメモリカードに保存した着うた®や着うたフル®、S!アプリ、動画などのファイルがご利用になれなくなる可能性があります。あらかじめご了承ください。**
- **820SCにお買い上げ時と異なるUSIMカードを取り付けた場合、お買い上げ時に登録されているS!アプリ、ブックサーフィン®のファイルはご利用になれなくなる可能性があります。**
- **お客様ご自身でUSIMカードに登録された情報内容は、別途メモなどに控えて保管することをおすすめします。万一、データが消失または変化した場合でも、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。**

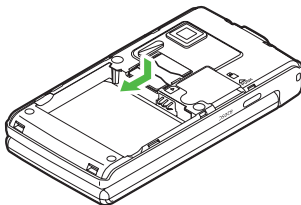
USIMカードを取り付ける／取り外す

USIMカードの取り付けや取り外しをするときは、電池パックを取り外す前に必ず電源を切ってください。

取り付ける

1. 電池パックを取り外す（➔P.14-4）
2. USIMカードの金色のIC部分を下側にして、挿入口に差し込む

3. USIMカードが固定されるように、奥まで押し込む

取り外す

1. 電池パックを取り外す（➔P.14-4）
2. USIMカードに指を押し当て、スライドさせながら静かに引き抜く

注意

- 無理に取り付けたり取り外したりすると、USIMカードや820SCが破損することがありますのでご注意ください。
- 取り外したUSIMカードは、紛失しないようにご注意ください。
- USIMカードの取り付けや取り外しを行うときは、IC部分に不用意に触れたり、傷をつけたりしないでください。また、電池パックとの接点部分にも触れないようにしてください。

PINコード

USIMカードには、「PINコード」と「PIN2コード」の2つの暗証番号があります。

PINコード

第三者によるソフトバンク携帯電話の無断使用を防ぐための4～8桁の暗証番号です。

- PINコードは変更できます（➔P.11-3）。
- 「PIN認証」を「On」に設定すると、USIMカードを820SCに取り付けて電源を入れたとき、PINコードを入力しないと820SCを使用できなくなります（➔P.11-2）。

PIN2コード

累積通話料金のリセットや、通話料金の上限設定を行うときに使用する4〜8桁の暗証番号です。

- PIN2コードは変更できます（➲P.11-3）。

PINロック解除コード（PUK/PUK2コード）

PINロック解除コード（PUKコード）とは、PINロック状態を解除するために使用する暗証番号です。PINコードまたはPIN2コードの入力を3回続けて間違えると、PINロック状態になります。
PINロック解除コードについては、お問い合わせ先（➲P.14-31）までご連絡ください。

注意

- **PINロック解除コードを10回続けて間違えると、USIMカードがロックされ、820SCを使用できなくなります。PINロック解除コードはメモに控えるなどして、お忘れにならないようにご注意ください。**
- **USIMカードがロックされた場合、ロックを解除する方法はありません。お問い合わせ先（➲P.14-31）までご連絡ください。**

故障かな？と思ったら

■ 電源が入らない

☑ 電池切れになっていませんか？
➡ 電池パックを交換するか充電してください。

☑ 電池パックが820SCに装着されていますか？
➡ 正しく装着してください。

■ 電源を入れるとPINコードの入力画面が表示される

☑「PIN認証」が「On」に設定されていませんか？
➡「PIN認証」が「On」に設定されているときは、画面の指示に従ってPINコードを入力してください。

■ 電源を入れるとUSIMパスワードの入力画面が表示される

☑「USIM照合」が「On」に設定されていませんか？
➡「USIM照合」が「On」に設定されているときは、USIMパスワードを入力してください。

■ 電源を入れたときや機能の操作時に「USIM未挿入です。」、「USIMが正しくありません」、「USIMエラーです」と表示される

☑ USIMカードは正しく取り付けられていますか？
➡ USIMカードが正しく取り付けられていることを確認してください。正しく取り付けられているのに表示が出る場合は、破損している可能性があります。

☑ USIMカードのデータ読み込み中ではありませんか？
➡ しばらくたってから操作し直してください。

☑ 違ったUSIMカードをお使いではありませんか？
➡ 正しいUSIMカードであることを確認してください。当社で指定されたUSIMカードを使用してください。

☑ USIMカードのIC部分に指紋などの汚れがついていませんか？
➡ 乾いたきれいな布で汚れを落として、正しくお取り付けください。

■「圏外」または「Out」が表示され、電話がかけられない

☑ サービスエリア外か電波の届きにくい場所にいませんか？

➡ 電波の届く場所に移動してかけ直してください。

■ 通話が途切れたり、切れたりする

☑「圏外」または「Out」が表示されているか、または電波状態が悪い場所にいませんか？

➡ 電波の届く場所に移動してかけ直してください。

☑ 電池切れになっていませんか？

➡ 電池パックを交換するか充電してください。

■ 電話がかけられない

☑ 発着信規制サービスの発信規制が設定されていませんか？

➡ 発信の規制を停止してください。

☑ オフラインモードが設定されていませんか？（「 」表示）

➡「オフラインモード」を「Off」に設定してください。

■ 電話帳、データフォルダ、通話履歴、カレンダーやメールの各種の機能が呼び出せない

☑「アプリケーションロック」が設定されていませんか？

➡「アプリケーションロック」を解除してください。

■ 通話中に「プチッ」と音が入る

☑ 電波が弱くなって別のエリアに切り替わるときに発生することがあります。

■ 充電できない

☑ 急速充電器の接続コネクターが共通充電器変換アダプタに確実に差し込まれていますか？

➡ 確実に差し込んでください。

☑ 共通充電器変換アダプタが820SCに確実に差し込まれていますか？

➡ 確実に差し込んでください。

☑ 急速充電器のプラグがしっかりとコンセントに差し込まれていますか？

➡ 確実に差し込んでください。

☑ 電池パックが820SCに取り付けられていますか？

➡ 正しく取り付けてください。

☑ 820SC、電池パックの充電端子や急速充電器の接続コネクター、820SCの外部接続端子の接続端子が汚れていませんか？

➡ 乾いた綿棒などで端子部の汚れを落としてください。

☑ 周囲の温度が5℃より低い場所または40℃を超える場所で充電していませんか？

➡ 周囲の温度が5〜40℃の範囲内で充電してください。

☑ 電池パックに異常はありませんか？
➡ 新しい電池パックに交換してください。

☑ 充電を繰り返しても、十分に充電できませんか？
➡ 電池パックの交換時期です。新しい電池パックに交換してください。

☑ 充電中に820SCや電池パックの温度が上昇していませんか？
➡ 温度が上昇すると充電を中断することがあります。820SCや電池パックが冷めてから、充電し直してください。

■ 熱くなる

☑ 充電中に、急速充電器が発熱することがあります。

☑ 充電したり、長時間通話したりすると820SCが発熱することがあります。
➡ 手で触れることのできる温度であれば、異常ではありません。手で触れられないほど熱くなった場合はただちに充電、使用を中止してお問い合わせ先（➲P.14-31）までご連絡ください。

■ 電池の消費が早い

☑ 使用環境（気温／充電状況／電波状態）、操作や設定状況によっては電池の消費が早くなります。
➡ 適切な環境下でご使用のうえ、電池の消費の大きな機能の使用を控えてください（➲P.14-2）。

■ テレビが視聴できない

☑ USIMカードを取り外していませんか？
➡ USIMカードが取り付けられていないときは視聴できません。USIMカードを取り付けてください。

☑ ご契約を解除されましたか？
➡ テレビの視聴は、ご契約中のみとなります。

■ ディスプレイの表示がちらつく

☑ 蛍光灯の近くで使用していませんか？
➡ 蛍光灯からなるべく離れてご使用ください。

■ ディスプレイの表示が暗くなったり消えたりする

☑ ディスプレイの特性によるものです。故障ではありません。暗くなったり消えたりするまでの秒数はバックライトの設定で変更できます。

■ スピーカーで音楽が再生できない

☑ 「マナーモード」が設定されていませんか？
➡ 「マナーモード」を解除してください。

☑ ステレオイヤホンマイクを接続していませんか？
➡ ステレオイヤホンマイクの接続コネクターを820SCから抜いてください。

■ 「これ以上起動できません」と表示された

☑ メモリ不足です。
➡ 不要なS!メールは削除してください。多くの機能を一度に起動している場合は、いくつかの機能を終了してください。

■ Samsung PC Studioを利用してBluetooth®やUSB通信ができない

☑ USBドライバはインストールされていますか？（USB通信の場合）

➡ 付属のUSBケーブルでパソコンと接続して通信する場合は、ドライバのインストールが必要です。付属のCD-ROMからドライバのインストールを行ってください。

☑ パソコン側で接続方法が正しく設定されていますか？

➡ ご利用になる通信に合わせて、Samsung PC StudioのConnection managerまたは接続ウィザードで接続方法を「USB」または「Bluetooth」に設定してください。

☑ パソコン側のBluetooth®やUSBの接続ポートがSamsung PC Studioで設定しているポートと同じですか？

➡ Samsung PC StudioのConnection managerまたは接続ウィザードでポートを合わせてください。

■ 電話帳やメールのフォルダ、カレンダーのスケジュール、予定リストなどが表示されない

☑「シークレットモード」が「表示しない」に設定されていませんか？

➡「シークレットモード」を「表示する」に設定してください。

■「メール送信できませんでした」と表示された

☑ メールが送信できなかったときに、その理由とあわせて表示されます。

➡ 送信できなかった理由を確認し、送信できる状態になってから送信してください。

■「サービスは許可されていません」と表示された

☑ 3Gサービスエリア外から送信しようとしたときに表示されます。

➡ サービスエリア内から送信してください。

■「サービスを利用できません」と表示された

☑ オフラインモード中に送信しようとしたときに表示されます。

➡ 他のモードに切り替えて送信してください。

■「保存領域が＊＊バイト不足しています。データフォルダ内のファイルを整理しますか？」と表示された

☑ 820SCのメモリがいっぱいです。

➡ 不要なファイルを消去してから、やり直してください。

■「ダウンロードできません。コンテンツが不正です。」と表示された

➡ 820SCではダウンロードできないデータです。ダウンロードを中止してください。

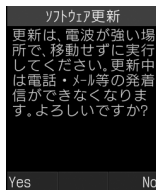
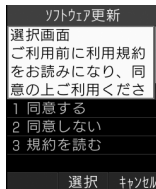
■ ステレオイヤホンマイクやBluetooth®から発信できない

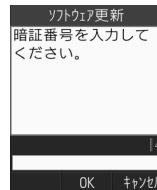
☑「イヤホン通話を使う」の設定が「Off」になっていませんか？

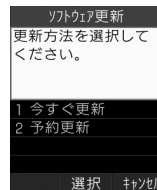
➡「イヤホン通話」に指定先の電話番号を登録しても、「イヤホン通話を使う」が「Off」に設定されているときは発信できません。「イヤホン通話を使う」を「On」に設定してください。

ソフトウェアを更新する

820SCのソフトウェアを更新する必要があるかどうかを確認し、必要な場合は通信を利用して最新のソフトウェアに更新できます。更新には、すぐに行う「今すぐ更新」と、更新日時を予約して行う「予約更新」があります。

1 ■→「ツール」→「ソフトウェア更新」

2 ✉（Yes）

- ✉（Yes）を押すと、ネットワークに接続します。

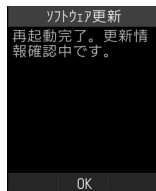
3 規約を読み、「同意する」

- 「同意する」を選択する前に、規約をよくお読みください。

4 交換機用暗証番号（➲P.1-19）を入力→■（OK）→■（OK）

- チェック結果画面が表示されます。

❺ 更新方法の選択操作

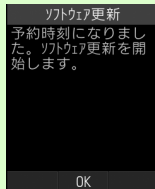
■ 今すぐ更新するとき

「今すぐ更新」

- ソフトウェア更新が実行されます。更新が完了すると、820SCが再起動し、完了通知画面が表示されます。

完了通知画面

■ 予約更新するとき

「予約更新」→[✉]（Yes）→予約する日付を選択→予約する時間帯を選択→予約した日時を確認→[■]（OK）

- 操作のご案内については、ソフトバンクホームページ「http://www.softbank.jp」からもご確認いただけます。
- 確認や更新に通信料はかかりません。
- 予約更新の日時になると、更新メッセージが表示され、[■]（OK）を押すか、約10秒経過すると更新が開始されます。他の機能を利用中の場合は、機能を終了すると更新のメッセージが表示されます。ただし、他の機能を利用したまま予約更新の日時から10分以上経過すると、予約更新は解除されます。

更新メッセージ画面

- 予約更新をキャンセルするには、操作❶～❹を行い「予約キャンセル」を選択し、[✉]（Yes）を押します。

注意

- 電池が十分に残っている状態で更新を行ってください。更新中に電池残量が少なくなると、更新が失敗することがあります。
- 予約更新日時に圏外になった場合は、ソフトウェア更新は行われません。
- 電波の状態が良好な場所で移動せずにご利用ください。
- 820SCに保存されているデータを残したまま更新が行われますが、万一に備えてバックアップやメモなどをとることをおすすめします。データが消失した場合の損害につきましては当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 更新中は、通話やメッセージの受信などができません。
- 更新が完了するまでに時間がかかる場合があります。
- 更新に失敗して820SCが使用できなくなった場合は、ソフトバンクの故障受付にご相談ください。

機能一覧

メインメニュー／中項目		参照先
メール		
	受信ボックス	P.4-11、P.4-13
	メール作成	P.4-3
	新着メール受信	P.4-24
	下書き	P.4-13、P.4-28
	テンプレート	P.4-13、P.4-23、P.4-24
	送信済みボックス	P.4-13
	未送信ボックス	P.4-13
	サーバーメール操作	P.4-28
	SMS新規作成	P.4-8
	設定	P.13-2
	メモリ容量確認	P.2-39
Yahoo!ケータイ		
	Yahoo!ケータイ	P.5-3
	ブックマーク	P.5-7
	お気に入り	P.5-8
	URL入力	P.5-3、P.5-5

メインメニュー／中項目		参照先
Yahoo!ケータイ		
	アクセス履歴一覧	P.5-17、P.5-23
	PCサイトブラウザ	P.5-4
	設定	P.13-6
メディアプレイヤー		
	ミュージック	P.8-4
	ムービー	P.8-7
	ストリーミング	P.5-9
	設定	P.13-9
コミュニケーション		
	S!タウン	P.5-14
	S!ループ	P.5-15
	S!ともだち状況	P.10-2
	S!一斉トーク	P.10-6
	ちかチャット	P.10-11
カメラ		
	カメラ	P.7-6
	ビデオカメラ	P.7-11
	バーコードリーダー	P.9-12
	ダイナミックエフェクト	P.7-15
	ムービー編集	P.8-10
	スライドショー	P.2-6

メインメニュー／中項目		参照先
S!アプリ		
	S!アプリライブラリ	P.8-11
	S!アプリ設定	P.13-12
ツール		
	アラーム	P.9-2
	カレンダー	P.9-3
	電卓	P.9-5
	通貨・単位換算	P.9-5
	世界時計	P.9-7
	メモ帳	P.9-8
	予定リスト	P.9-8
	ボイスレコーダー	P.9-10
	音声認識	P.9-11
	バーコードリーダー	P.9-12
	ストップウォッチ	P.9-15
	辞典	P.9-16
	ソフトウェア更新	P.14-11
データフォルダ		
	ピクチャー	P.2-25
	マイ絵文字	P.2-25
	着うた・メロディ	P.2-25
	S!アプリ	P.2-25
	ミュージック	P.2-26
	ムービー	P.2-26

メインメニュー／中項目		参照先
データフォルダ		
	ブック	P.2-26
	S!おなじみ操作	P.2-8、P.2-26
	S!メールテンプレート	P.2-26
	Flash®	P.2-26
	着信音Flash®	P.2-26
	その他ファイル	P.2-26
	メモリ容量確認	P.2-26
エンタテイメント		
	S!速報ニュース	P.5-10
	ブックサーフィン®	P.9-17
TV		
	TV視聴	P.6-6
	番組表	P.6-6
	TVリンク	P.6-7
	TVプレイヤー	P.6-9
	録画／視聴予約	P.6-10
	設定	P.13-12
電話帳		
	電話帳	P.2-22
	新規登録	P.2-19
	通話履歴	P.3-9
	グループ設定	P.2-47

メインメニュー／中項目		参照先
電話帳		
	オーナー情報	P.2-25
	スピードダイヤル設定	P.3-8
	S!電話帳バックアップ	P.12-16
	設定	P.13-15
	メモリ容量確認	P.2-46
設定		
	待受ウィンドウ設定	P.13-15
	音・バイブ・着信ライト設定	P.13-18
	マナーモード設定	P.13-20
	ディスプレイ設定	P.13-21
	一般設定	P.13-23
	セキュリティ設定	P.13-26
	通話設定	P.13-27
	モード設定	P.13-33
	外部接続	P.13-34
	メモリ設定	P.13-36

文字入力用ボタン一覧

1つのボタンには複数の文字が割り当てられています。文字を入力するには、目的の文字が表示されるまでボタンを繰り返し押します。

[＊]は濁点を付けるなどの機能が、[＃]には全角記号／半角記号入力モードへの切り替えなどの機能が割り当てられています。

ボタン	漢字／かな	カタカナ（全角／半角）	英字（全角／半角）	数字（全角／半角）
[1]	あいうえおぁぃぅぇぉ 1	アイウエオァィゥェォ 1	.@-_/:~（全角のときは「～」）1	1
[2]	かきくけこ2	カキクケコ2	abcABC2	2
[3]	さしすせそ3	サシスセソ3	defDEF3	3
[4]	たちつてとっ 4	タチツテトッ 4	ghiGHI4	4
[5]	なにぬねの5	ナニヌネノ5	jklJKL5	5
[6]	はひふへほ6	ハヒフヘホ6	mnoMNO6	6
[7]	まみむめも7	マミムメモ7	pqrsPQRS7	7
[8]	やゆよゃゅょ 8	ヤユヨャュョ 8	tuvTUV8	8
[9]	らりるれろ9	ラリルレロ9	wxyzWXYZ9	9
[0]	わをん、。ー0	ワヲン、。ー0	,.-_!?〈スペース〉0	0
[＊]	● 濁点あり／半濁点あり／濁点なしの変換（文字の決定前で、変換可能な場合のみ） ● 絵文字／顔文字入力モードへの切り替え		● 絵文字／顔文字入力モードへの切り替え	
[＃]	● 全角記号／半角記号入力モードへの切り替え			
[通話]	● 1つ前の割り当て文字の表示（文字の決定前のみ）			－
[A/a]	● 大文字／小文字の変換（文字の決定前で、変換可能な場合のみ）			

記号／絵文字一覧

記号

全角記号

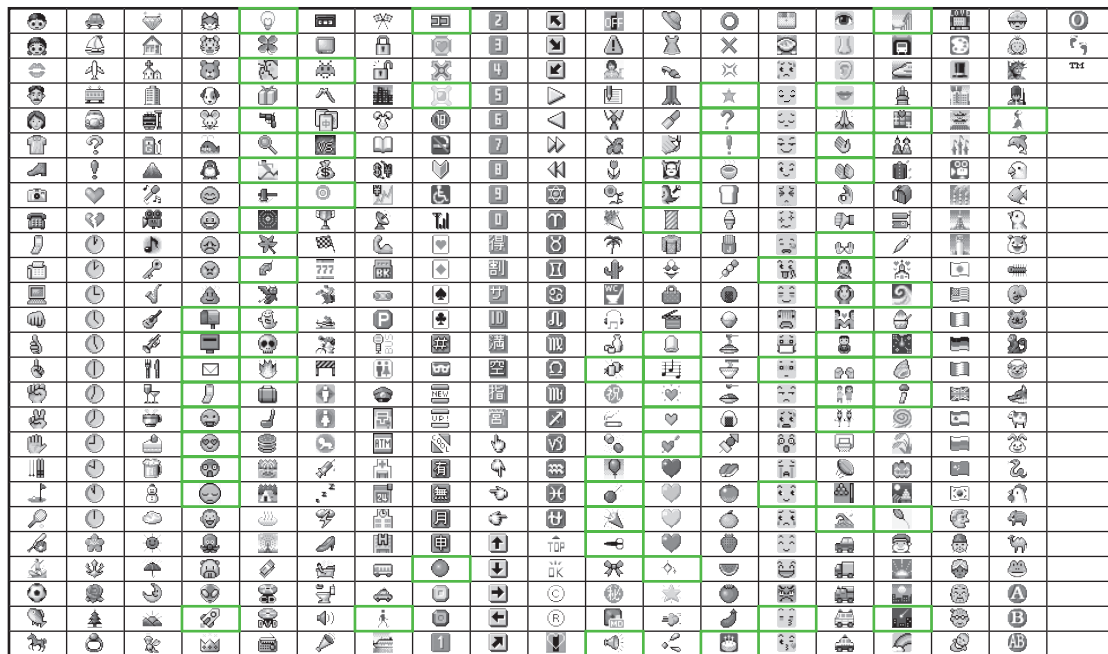
↲ 、 。 ！ ？ 〈スペース〉 ， ． ・ ： ； ゛ ゜ ´ ｀ ¨ ＾ ￣ ＿ ヽ ヾ ゝ ゞ 〃
仝 々 〆 〇 ー ― ‐ ／ ＼ ～ ∥ ｜ … ‥ ‘ ’ “ ” （ ） 〔 〕
［ ］ ｛ ｝ 〈 〉 《 》 「 」 『 』 【 】 ＋ － ± × ÷ ＝ ≠ ＜
＞ ≦ ≧ ∞ ∴ ♂ ♀ ° ′ ″ ℃ ￥ ＄ ￠ ￡ ％ ＃ ＆ ＊ ＠ § ☆
★ ○ ● ◎ ◇ ◆ □ ■ △ ▲ ▽ ▼ ※ 〒 → ← ↑ ↓ 〓 ∈ ∋ ⊆
⊇ ⊂ ⊃ ∪ ∩ ∧ ∨ ￢ ⇒ ⇔ ∀ ∃ ∠ ⊥ ⌒ ∂ ∇ ≡ ≒ ≪ ≫ √
∽ ∝ ∵ ∫ ∬ Å ‰ ♯ ♭ ♪ † ‡ ¶ ◯ ゎ ゐ ゑ ヮ ヰ ヱ ヴ ヵ
ヶ Α Β Γ Δ Ε Ζ Η Θ Ι Κ Λ Μ Ν Ξ Ο Π Ρ Σ Τ Υ Φ
Χ Ψ Ω α β γ δ ε ζ η θ ι κ λ μ ν ξ ο π ρ σ τ
υ φ χ ψ ω А Б В Г Д Е Ё Ж З И Й К Л М Н О П
Р С Т У Ф Х Ц Ч Ш Щ Ъ Ы Ь Э Ю Я а б в г д е
ё ж з и й к л м н о п р с т у ф х ц ч ш щ ъ
ы ь э ю я ─ │ ┌ ┐ ┘ └ ├ ┬ ┤ ┴ ┼ ━ ┃ ┏ ┓ ┛ ┗
┣ ┳ ┫ ┻ ╋ ┠ ┯ ┨ ┷ ┿ ┝ ┰ ┥ ┸ ╂ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥
⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ Ⅰ Ⅱ Ⅲ
Ⅳ Ⅴ Ⅵ Ⅶ Ⅷ Ⅸ Ⅹ ㍉ ㌔ ㌢ ㍍ ㌘ ㌧ ㌃ ㌶ ㍑ ㍗
㌍ ㌦ ㌣ ㌫ ㍊ ㌻ ㎜ ㎝ ㎞ ㎎ ㎏ ㏄ ㎡ ㍻ 〝 〟 №
㏍ ℡ ㊤ ㊥ ㊦ ㊧ ㊨ ㈱ ㈲ ㈹ ㍾ ㍽ ㍼ ∮ ∑ ∟ ⊿

半角記号

↲ ､ ｡ ! ? 〈スペース〉 " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = >
@ [¥] ^ _ ` { | } ~ ｢ ｣ ･ ｰ ﾞ ﾟ

変換記号

記号名（入力文字）	記　号	記号名（入力文字）	記　号
あっと	＠@	こめ	※
いこーる	＝=	ころん	：；
えん	￥¥	さんかく	△▲▽▼
おんぷ	♪	しかく	◇◆□■
かける	×	どう	ゝ〃々
かっこ	()「」『』【】〈〉［］‘’“”（）〔〕[]{}〈〉《》	ぱーせんと	％%
		ほし	☆★
		まる	○●◎
から	～	やじるし	→←↑↓

絵文字

- 　　　　部分の絵文字は動く文字です。
- 一部の絵文字および動く絵文字は、相手のソフトバンク携帯電話の機種により表示されない場合があります。

メモリ容量一覧

S!メール	受信ボックス	最大500件
	下書き	最大10件
	送信済みボックス	最大250件
	未送信ボックス	最大10件
SMS	受信ボックス	最大500件
	下書き	最大10件
	送信済みボックス	最大250件
	未送信ボックス	最大10件
データフォルダ	ピクチャー	各フォルダにつき最大999件(ファイルおよびサブフォルダの合計数)
	マイ絵文字	
	着うた・メロディ	
	S!アプリ	
	ミュージック	
	ムービー	
	ブック	
	S!おなじみ操作	
	S!メールテンプレート	
	Flash®	
	着信音Flash®	
	その他ファイル	

主な仕様

定格および仕様は予告なく変更することがあります。

SoftBank 820SC

項 目	仕 様
質量	約132g
連続通話時間	音声電話:約250分(日本国内・W-CDMA)/約400分(GSM) TVコール:約120分(日本国内・W-CDMA)
連続待受時間(ディスプレイ消灯時)	約450時間(日本国内・W-CDMA・GSM)
サイズ(W×H×D)	約51.3×102.8×18.4 ㎜(閉じた状態)
最大出力	0.25 W

- 上記は、電池パック装着時の数値です。
- 電池の利用可能時間は、電波が安定した状態で算出した当社計算値です。電波の弱い場所での通話や「圏外」表示での待ち受けは電池の消耗が多いため、ご利用時間が半分以下になることがあります。
- ディスプレイの照明がついている状態でのご利用(Yahoo!ケータイの操作など)が多い場合、連続通話時間および連続待受時間は短くなります。
- 待受画面などに動きのある画像を設定した場合、連続通話時間および連続待受時間が著しく短くなることがあります。
- S!アプリを起動させた状態では、通話時間および待受時間が短くなる場合があります。

●連続通話時間とは、「静止状態で連続して通話状態を保った場合の計算値」、また連続待受時間とは、「充電を満たした新品の電池パックを装着し、820SCを閉じた状態で通話や操作をせず、電波が正常に受信できる静止状態により算出した計算値」です。実際に使う場合は、通話と待ち受けの組み合わせとなるため、通話時間も待受時間も短くなります。連続通話時間ならびに連続待受時間は、使用環境（充電状態、気温など）によって変動することがあります。

電池パック

項　目	仕　様
電圧	3.7 V
使用電池	リチウムイオン電池
容量	1100 mAh
サイズ（W×H×D）	約44.3×36.8×6.6 ㎜（突起部を含まず）

索引

英数字

あ

い

え

お

か

に

ね

は

ひ

ふ

ほ

ま

も

ゆ

よ

る

わ

目的別索引

便利な機能索引

保証とアフターサービス

保証について

820SC本体をお買い上げいただいた場合は、保証書が付いております。

- お買い上げ店名、お買い上げ日をご確認ください。
- 内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、保証書をご覧ください。

本製品の故障、または不具合などにより、通話などの機会を逸したためにお客様または第三者が受けた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

修理を依頼される場合

「故障かな？と思ったら」をお読みのうえ、もう一度お確かめください。それでも異常がある場合は、ご契約いただいた各地域の故障受付（➔P.14-31）または最寄りのソフトバンクショップへご相談ください。

その際できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。

- 保証期間中は保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
- 保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。

注意

- **故障または修理により、お客様が登録・設定した内容が消去・変化する場合がありますので、大切な電話帳などは控えをとっておかれることをおすすめします。なお、故障または修理の際に820SCに登録したデータ（電話帳やデータフォルダの内容など）や設定した内容が消失・変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。**
- **本製品を分解、改造すると電波法に触れることがあります。また、改造された場合は修理をお引受けできませんので、ご注意ください。**

お問い合わせ先一覧

お困りのときや、ご不明な点などがございましたら、お気軽に下記お問い合わせ先までご連絡ください。

番号はお間違いのないようにおかけください。

ソフトバンクお客さまセンター	
総合案内	ソフトバンク携帯電話から157（無料）
紛失・故障受付	ソフトバンク携帯電話から113（無料）

ソフトバンク国際コールセンター
海外からのお問い合わせおよび盗難・紛失のご連絡 +81-3-5351-3491（有料）

一般電話からおかけの場合

ご契約地域	お問い合わせ先	
北海道・青森県・秋田県・岩手県・山形県・宮城県・福島県・新潟県・東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県・栃木県・群馬県・山梨県・長野県・富山県・石川県・福井県	総合案内	0088-240-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-240-113（無料）
愛知県・岐阜県・三重県・静岡県	総合案内	0088-241-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-241-113（無料）
大阪府・兵庫県・京都府・奈良県・滋賀県・和歌山県	総合案内	0088-242-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-242-113（無料）
広島県・岡山県・山口県・鳥取県・島根県・徳島県・香川県・愛媛県・高知県・福岡県・佐賀県・長崎県・大分県・熊本県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県	総合案内	0088-250-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-250-113（無料）

SoftBank 820SC　取扱説明書

2008 年　3 月　第 2 版発行

ソフトバンクモバイル株式会社

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するために、お客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器をブランド・メーカーを問わず上記のマークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

※回収した電話機・電池・充電器はリサイクルするためご返却できません。

※プライバシー保護の為、電話機に記憶されているお客様の情報（電話帳・通信履歴・メール等）は事前に消去願います。

＊ご不明な点はお求めになられたソフトバンク携帯電話取扱店にご相談ください。

機種名　SoftBank 820SC
製造元　Samsung Electronics Co.,Ltd.